

令和2年度 授業評価実施結果の概要について

本学では、毎年度全授業科目について学生による授業評価を実施しています。この授業評価結果については、当該担当教員にフィードバックし学生の記述内容を確認いただいた後、各教員から調査結果に対する授業内容・方法への改善などを記述したレポートを、所属の学科長等に直接提出することとしております。

各学科長等はこれを受けて「考察」をまとめ「学部長等会議」で報告した後、授業評価結果と併せて公表しております。

- (1) 授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また、「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」を尋ねる記述式の質問項目を設けております。
- (2) 授業評価結果の各質問項目月の集計結果については、「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」「無回答」のそれぞれの割合(%)により表記しております。
自由記述は「授業に対する肯定的評価」「授業に対する要望等」「施設・設備等に関する要望等」について、その内容の主なものを表記しております。
- (3) さらに、「講義・演習科目」及び「実習・実験科目」における共通質問項目について、肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合を前年度と比較しており、主な項目は次のとおりです。

<医療保健学部・助産学専攻科>

	令和2年度	令和元年度
あなた自身について	88.1%	78.0%
授業内容について	86.2%	75.3%
教員の考え方・姿勢について	79.8%	73.6%

<東が丘看護学部>

	令和2年度	令和元年度
あなた自身について	90.1%	82.5%
授業内容について	90.2%	81.1%
教員の考え方・姿勢について	83.4%	78.9%

<立川看護学部>

	令和2年度	令和元年度
あなた自身について	89.3%	82.5%
授業内容について	87.2%	81.1%
教員の考え方・姿勢について	79.5%	78.9%

<千葉看護学部>

	令和2年度	令和元年度
あなた自身について	92.7%	80.8%
授業内容について	91.0%	77.0%
教員の考え方・姿勢について	85.3%	72.5%

<和歌山看護学部>

	令和2年度	令和元年度
あなた自身について	94.9%	84.2%
授業内容について	93.2%	80.2%
教員の考え方・姿勢について	87.0%	76.3%

<大学院医療保健学研究科>

※質問項目を変更したため前年度比較はなし

	令和2年度	令和元年度
あなた自身について	84.2%	—
授業内容について	92.6%	—
教員の考え方・姿勢について	85.3%	—

<大学院看護学研究科>

	令和2年度	令和元年度
あなた自身について	83.2%	87.9%
授業内容について	77.9%	88.3%
教員の考え方・姿勢について	72.7%	82.3%

<大学院和歌山看護学研究科>

※令和2年度より設置

	令和2年度	令和元年度
あなた自身について	93.6%	—
授業内容について	93.9%	—
教員の考え方・姿勢について	96.9%	—

- (4) 授業評価結果の経年比較では、各項目によってポイントに多少の増減が見られますが、これらの集計結果を公表することにより、授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるものと判断されます。

本学においては、これらの集計結果を公表し、教員の授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるよう、今後も努めてまいります。

令和2年度 医療保健学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部看護学科長
坂本 すが

看護学科での4年間は「いのち」に携わる医療人として、その基盤をつくる期間です。これからの医療分野においては、家庭・学校・職場・地域との連携が必要です。その連携には、人と人をつなぐ「協働」が求められます。

変化する社会で多様な人々のニーズに対応するために、知識・技術の向上に努めることはもちろん、自分と違う考え方も認めることができ、仲間と協力しながらあらゆる困難にも立ち向かい、心あるケア提供ができる力の育成を目指しています。

そのため、医療保健学部看護学科では、「地域への愛」「へこたれない力」を育てることを目標に、1. 変革と創造、2. 技と心の育成、3. 生涯学習への支援、4. グローバル化への対応と発信、5. チームで地域共創、6. 自由な発想と研鑽についてビジョンを策定しています。

多様性と協働が求められる時代、本学で育ったへこたれない看護職たちが地域のリーダーとしてのびのびと活躍していく、それが本学科のめざすところです。

1. 授業評価の結果について

- 昨年度は緊急事態宣言によるリモート授業が開始され、教員、学生共に慣れない環境での授業であったが、学生の感想に励まされたと感じた。
- 多くの学生が積極的に意見を述べるなど、授業への主体的参画が見られたことに支えられた1年であった。
- 初めてのオンライン授業で、教員も手探りで、学生も不安だったと思われるが、積極的に学んでいたことが垣間見え、少し安心した。
- 前期は、予定通り授業を進行することを基本とし、オンデマンド授業に切り替えてスタートした。発表・ディスカッションを行う授業についてもオンデマンドとレポート機能で実施し、遅滞なく進行することができた。しかし、紙上でディスカッションを行うことは、学生への負荷が高かったことがわかった。今後はリアルタイム授業を活かしていきたい。
- リアルタイム授業に加え、講義を録画したものを、授業後に何度も視聴できるようにした。講義録画を何度も見られることで、理解が進んだという意見があり、今後も録画の利点を活かしていきたい。
- 学生自身が積極的かつ主体的に学習に取り組んでいたこと、様々なICTや学習方法へのサポートが適切に行っていた結果だと考える。

2. 授業において工夫した点について

- 前年度中に新たな教材資料を作成しており、タイムリーにまとまった課題提示を行うことができたと考える。
- 演習・代替実習においては、事例を作成し、初期対応から事後措置までのプロセスについて、根拠を示した判断・対応のシミュレーションを行った。
- 複数の科目でレポート期限が重なり、学生の負荷が過重になることもあったため、レポート期限を長くし、学生の自己管理能力を高める支援を行った。
- 学生からの提出物を短時間で取りまとめて、授業内でフィードバックを行った。教員側には負担もあったが、学生たちが一体感を持ちながらディスカッションに臨むことにつながった。
- 集まって顔を合わせることはできないが、授業内で Forms を用いることにより、学生の意見を共有することにより、瞬時に互いの考えを把握しあった。
- LMS の仕組みが整えられ、随時、WebClass を活用してアナウンスしたり、学生からの質問には回答を公開したりして、質問がしにくい学生へも伝わるようにした。
- オンデマンドによる授業については、対面と比べ、気軽に教員や友人に不明点を尋ねることができない環境であることに配慮し、指示を簡潔・明確にすること、集中力を保ちながら学べるように、動画を分割すること（1本あたり20分以内）、ペーパー上での共有による他者の意見を知る機会の確保を工夫した。

3. 今後の授業への生かし方について

- 令和3年度の3年生授業では、すでに昨年度の学生とは異なり、リモート授業を受け身の姿勢があることも危惧し、随所にフィードバックを行ったり、ブレークアウトセッションによりグループワークを行ったりすることにより、モチベーションを高める工夫を行っていく。
- 学生の様々な意見をよく聞くために、雑談的な話をリアルタイム授業後、自由・任意参加の時間に行いたい。
- covid-19 感染拡大による授業制限レベルがあった場合でも、対面授業と授業間隔の確保（学生の授業準備・学習時間の確保）を行えるよう学科内・教務委員会とも調整を行いながら進めていきたい。

4. その他

特になし

令和2年度 医療栄養学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療栄養学科長

小西 敏郎

医療栄養学科では、学生の皆さんが、強いリーダーシップをもって栄養サポートチーム(NST：nutrition support team)を支えることができる管理栄養士として、社会で活躍できるように、カリキュラムを編成し授業を行っています。また学科の教員全員は、それぞれが毎年学生の皆さんから頂く授業評価を参考にして、授業を改善する努力を続けています。

令和2年度の授業はコロナ禍により、前期はすべて遠隔授業で行わざるをえませんでした。後期には、講義の授業は遠隔授業を続けましたが、実習・実験授業については、感染対策を十分に取り入れて、できるだけ対面授業で行いました。しかし医療現場での活動の実際を早く理解できるようにと行っている1年次の病院見学は動画での病院紹介となりました。

遠隔授業はほとんどの教員にとって初めての経験でしたので、学生の皆さんから不満・意見もいただきました。各教員は遠隔授業についてさまざまな改善の努力を続けながら授業を行いましたので、本年度は遠隔授業を中心に考察いたしました。

1. 授業評価に関する感想

教員側も学生側も初めて経験する遠隔授業でしたので、大いに反省させられる評価も少なくありませんでした。遠隔授業では、教員と学生や学生同士のコミュニケーションの機会が減少し、動画配信授業では学生の反応を直接確認することは不可能でした。また遠隔授業になって、学生にとって課題レポート提出の負担が大きくなることになりました。しかし、例年に比べ若干評価が高いと感じた教員もみられました。これは教員が改善の努力を重ねたことや、今回は履修者数に対し回答者数が少なかったことから、回答したのは熱心な学生が多かったためかもしれません。

2. 授業において工夫した点について

それぞれの教員が、オンデマンドまたはオンラインの遠隔授業を行いながら、さまざまに工夫して、改善の努力を重ねてきました。改善の内容は多種に分かれますので、大きく①授業方法や内容の改善、②課題レポートの負担の増加に対する改善、③コミュニケーション不足への改善、④教員間の連絡改善、⑤在学生アンケート結果を踏まえた対応、に分けて以下に記載しました。

①授業方法や内容の改善

1) 配信動画の改善、動画作成・放映の工夫

○教員の声が聞き取りにくいとの感想には、滑舌の良い講義としたり、ヘッドセットを利用してレコーディングすることで改善しました。

- 実習や実験科目をオンデマンドで授業する場合は、動画や写真を利用してわかりやすい授業資料を作ることを行いました。また、実験では食べたり・触ったりせずに動画やスライドを見て判断できる実験内容に切り替えること、学生が見るだけでなく、実際にやりたいという気持ちを考え、自宅でできる実験も加えました。
- 調理実習の動画は、見るポイントを捉え、手元をズームして撮影することで見やすくなり、調理経験が少ない学生がポイントを見逃さないようにしました。
- OSCE は実施できませんでしたが、これまでの模擬患者に対する栄養食事指導にて多かった失敗例を取り入れたシナリオを作成し、自身で模擬患者に対し実演し、その動画を学生に視聴させ、問題点を探させる演習を行いました。さらに、個別の栄養食事指導の演習をオンラインにて実施しました。
- WebClass が導入されてからは、各回の授業終了後に復習用として授業動画の掲載を継続して行うようにしました。
- 2) レジュメ・講義資料の準備・改善
- 後期は前期の自身の反省から、授業資料を PDF で配布したり、小テストの解説動画を授業動画とは別にしたり、学生が学習しやすいようにしました。
- 3) 小テスト・宿題の工夫
- 毎回の授業終了後、ミニテストを実施し、当日の講義内容のポイントと重要な項目に特化した問題をだすようにしました。回答を直後に行うことで、学生本人が当日の講義を理解しているかどうかを自己判断する事を目的としました。課題提出は、a 授業内容 b 関心がある内容を調べる c 上記の 2 項目から学んだ内容と、自分の興味がある内容をさらに深めるように工夫しました。
- 毎回の出席確認用の小テストに質問を記入できる欄を設けました。
- 次回以降の授業動画に、小テストで正答率が低かった問題の解説や、出された質問への回答を含め、一方通行にならないよう工夫しました。
- WebClass のループリックによる評価機能を活用するなど、学生が評価内容を理解しやすいようにしました。
- ②課題レポートの負担の増加に対する対策
- 遠隔授業になって負担が増加した課題・レポートの提出の増加に対しては、遠隔授業では週単位（月曜日から金曜日まで）で動画などの授業を完全に視聴し終える方法で統一し、レポート等課題は、学生の取り組み時間に配慮した期限を各科目で設定するようにしました。
- 1 年次のレポート作成において、担当教員間でレポートの書式化とレポート作成方法を文章化して指導に用いました。
- ループリックでの評価項目を学生に伝えて、学生が課題・レポートを作成する参考となるようにしました。
- ③教員と学生、学生同士のコミュニケーションの機会が減少したことに対する改善策
- 配信動画授業では学生の反応が確認できないので、多くの教員は毎回の講義後の出席確認のレポートに学生の感想・意見を求めて、それを確認して改善を諮るようにはしました。

- 講義科目は学生が聴いているだけにならないように、授業開始時に質問（クイズ）を投げかけ、授業を聴いていくことで答えを導けるよう心掛けました。
- 質問などはメールだけでなく電話でも受け付けるよう配慮しました。その結果、「直接質問ができ、説明も丁寧に聞けて良かった」という学生もいた。
- 授業が、一方的・受動的なものにならないように、シャトルカードの活用、学生個々の課題レポート記述内容の周知等を行い、講義内容の深化を図りました。
- オンライン授業ではブレイクアウトルームを活用し、グループワークができるようにしました。毎回、全ての班を巡回し、全員に不明点がないか声をかけるようにしたため、ある程度の質問には対応できたと考えます。
- 実習科目の場合、学生の演習時間が多いため、遠隔であっても学生が質問できるよう、zoomでの質問時間を設けて対応しました。
- オンライン遠隔授業後に学生同士の 30 分間の Zoom 討論を行うなどの工夫をしています。
- 対面の実験授業では、実験手順などをグループごとに学生間で進めるようにしたところ、学生同士のコミュニケーションが図りやすくなったと思います。
- 学生がいつでも教員に質問ができるよう質問コーナーを設けました。
- アドバイザー教員と学生の個人面談（や集団面談）を、対面登校時や Zoom を用いてセメスターごとに複数回行っており、学生が孤立しないように努力しています。

④教員間のコミュニケーション改善策

- 学生の出席状況あるいはレポート提出状況で問題がある場合は、早めに（毎週）授業担当者からアドバイザーへメールで連絡し、アドバイザーが対応するようにしています。
- 対面で行う実験科目で実験器具などを各科目間で共有する場合は、関係教員間で情報共有を行い、各器具を取り扱う初回の科目対面実習時に詳しく説明するようにしています。
- オンデマンド（非対面授業）でも、教員学生間および学生間でコミュニケーションがいつでもとれるよう webclass のツールを多く活用しました。
- ルーブリック評価を関連する教員間で共有化するなどして、学生の課題・レポートの増加に対して対策を行いました。

⑤在学生アンケート結果を踏まえた対応

- 学生支援センターが実施した在学生アンケートの自由記述にて、遠隔授業に関する内容を抜粋し、学科教員で共有し、以下の 5 点について配慮することとした。
- 授業動画の音を聞き取りやすいものとする
- 授業動画再生時に画面を最大化できないため、小さいサイズでも見やすいものとする
- 遠隔授業では学生が質問しにくいいため、質問できる場を設け、その方法を学生に提示すること

- 配布資料は必要と感じている学生が多いが、自宅にプリンターの無い学生がいること、印刷を想定した資料ならば枚数に配慮すること。
- 予定変更が生じた場合に速やかに学生に周知すること。

3. 今後の授業への生かし方について

とにかくりアルタイム方式、オンデマンド方式のいずれかでの遠隔授業が、今後間違いなく増えてゆきますので、遠隔授業についてさまざまな改善を図ってゆきたいと考えています。前述のこれまでの多くの改善策は、個々の教員や少数の教員による努力で行われており、今後は学科内で各種の改善策を共有して、さらなる改善が行われるように取り組みます。

4. 学生に対して

ある教員からは「今回の学生の感想等から、オンデマンドの授業の在り方に対する教師の研究不足を痛感した。たとえオンデマンドであっても、学生にとって魅力あふれる授業の構築を目指したい」と反省しています。多くの教員は学生の皆さんからの意見を待っています。残念ながら、授業評価アンケートに回答する学生数は、遠隔授業になってから全科目で減少しています。学生の皆さんは授業評価アンケートを提出するようにしてください。また自由記載の意見は大変参考になりますので、積極的に記入してください。

また、遠隔授業に限ったことではありませんが、当学科では、従来のアドバイザー制度に加えて、本年から学生問題相談員会を立ち上げて、教員間で連絡を取りながら、学生生活、進路、学業等に悩みを持つ学生を早期に見出し、より適切に対応できる体制としました。学生の皆さんはオフィスアワーをもっと利用して授業に対する意見・希望を教員に伝えて頂きたいと思います。

令和2年度 医療情報学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療情報学科長

石原 照夫

1. 授業評価結果アンケート結果の感想

- 令和2年度はコロナ禍のために、緊急的な対応として全科目遠隔授業として授業が開始され、感染状況を見ながら対面授業が取り入れられ、全体として遠隔授業と対面授業の混在したハイブリッド型になりました。最大の関心事は遠隔授業が対面授業と同等の教育効果をもたらしたかという点です。これはアンケートのみで評価できるものではなく、また、学修の継続性を見る上でも時間を要する内容だと考えていますが、各授業科目の到達目標は概ね得られているように受け止めました。ただし、このアンケート結果からも双方向性については大きな課題を残していると考えます。双方向性の確保は、遠隔授業として一律に考えるべきではなく、授業科目毎にきめ細かく対応する必要があるようです。また、演習系の科目では、遠隔よりも対面での指導を望む学生がおります。今後の新しい授業形態として、遠隔授業の利点を活かした、遠隔授業と対面授業を適宜組み合わせる行う、ハイブリッド型授業を広く取り入れていきたいと思えます。
- 前年度もみられましたが、シラバスの学修上での有用性の評価が低い科目がみられます。全科目、当初予定していた授業計画の変更が必要になりましたのでその周知は重要な課題であったと考えています。今後も対面授業の制限レベルに応じて、授業計画に変更が生じると思われますので、その際はシラバスを修正し、学生に十分に周知するように各教員に注意喚起したいと思えます。
- 昨年度は従前と異なり、定期試験が行われなかった科目もありました。成績評価の方法についてシラバスへの具体的な記載が十分でなかった科目があります。公平性、公正性の保たれた、また学生の今後の学修に活かされるような評価法が行われるべきだと考えますので、シラバス作成の上で留意すべき点として指導して参りたいと思えます。
- 昨年度から習熟度別のクラス編成を取り入れた授業科目がありますが、今回の授業評価結果からは、まだ十分な効果をあげているとはいいがたい状況です。改善に取り組んでいきたいと思えます。
- 1～2年次の臨床医学総論・各論等の医学的な内容に関する科目は、依然としてと低めの評価になっています。専門性の高い内容、一方向的な座学中心の授業内容、網羅的な知識の教授などがその要因の一つと考えられます。この学年での臨床医学の学修は難しいとも思われますが、一方でその後の学年で学修する応用臨床医学、診療情報論演習、医療管理総論等では違った観点から同様の内容の授業が行われます。授業を重ねるにしたがって理解が深まるような工夫が必要であり、そのための科目間での緊密な連携がまだ十分でないと思われま

す。

- 総じて、医療系の授業科目は若干空回りしている印象です。各授業科目の到達目標に応じて、より医療の現場に近い視点での授業内容を構成して興味を引き出すように務めています。この評価結果では必ずしもすべての学生に興味をもって頂いたという結果にはなっていません。総じて、医療に関する体験的な学修には消極的な姿勢を感じていますが、学生の積極的な取り組みを促す工夫を今後も続けていきたいと思っています。

2. 授業において工夫した点について

各授業科目の特性を考慮に入れ、担当教員によって以下のような工夫を行いました。十分な成果のみられていないものについては、改善あるいは変更を行っていく考えです。また、評価の高かった取り組みについては、導入が可能な他科目にも広めていきたいと思っています。

○ 遠隔授業の方法について

- ・ オンデマンド方式の動画コンテンツについてはテーマ毎に分割して配信。
- ・ 長い時間の動画コンテンツについてはダウンロード可に。
- ・ 学生からの質問については E-mail や Slack の活用、また、オンデマンド方式では Zoom による質問コーナーの設定。
- ・ 実験科目では学生の居宅から大学実験室へ VPN 接続を可能。

○ 授業内容の工夫

- ・ 授業形態は基本的には遠隔・対面いずれも LMS をベースに構成。
- ・ オンデマンド方式では、基本、講義資料と動画コンテンツを配信。
- ・ 授業形態の特徴、メリットを活かしたハイブリッド型授業の実施。
- ・ 事前学習での動画の活用。
- ・ 教育用電子カルテおよび診療現場で用いられる医療機器の体験。
- ・ ICT、リアクションペーパー、レポートを活用した双方向性の確保。

3. 今後の授業にどう生かすか

- 受講の仕方、授業の進め方について資料等で記載しても十分に理解されていないようです。口頭での説明も加えて内容がしっかり伝わるようにします。
- 昨年度は緊急的な対応、いわばトライアルの面も見られる授業形態、進行であったと思います。今後はこの遠隔授業の経験を活かして、新しい授業形態の確立を目指したいと思っています。学生同士の、また教員と学生との直接的交流は大学生活では欠くことが出来ない要素ですので、対面授業が柱ですが、遠隔授業のメリットを活かして併用することにより、対面授業による教育効果も上がるものと考えています。
- LMS の活用はまだ十分ではありません。FD 活動の一環として教員のスキルの向上に努め、アクティブラーニングをベースにした教育の DX を進めたいと考えています。

- 本学科は、医学・医療に関連した情報分野で活躍する人材の育成をめざしています。この分野でも、AI、IoT、VR などの新しい情報通信技術が展開されるようになり、また医療ビッグデータの解析を行うデータサイエンティストの育成が喫緊の課題となっています。このような新しい動きを反映した授業の充実にも努めてまいります。
- 新カリキュラムが導入されて 6 年が経過しました。この間、Society5.0 を目指した社会整備と施策が打ち出され、小・中・高校の新たな情報教育の開始、大学での理系、文系を問わない数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの認定制度の開始などが見られるようになりました。また、医学・医療の世界にも変化がみられています。それらに対応したカリキュラムの編成が必要になると考え、検討を進めています。

4. その他

- 授業の改善は、教員のための努力では達成できません。学生自身も授業に能動的に参加し、授業に対する意見、授業内容に対する質問等を積極的に出して頂きたいと思います。授業改善にあたっての重要な手がかりになりますので、忌憚のない意見をお寄せください。その意味で今回の各授業評価の回答数が、全体的に少ないのが懸念されます。
- LMS を用いた新しい授業評価アンケートの方法になったと思いますので、結果の教員へのフィードバックを、次年度の授業に生かせるように、早くしていただきたいと思います。また、その分析法についても新しい視点を加えて頂きたいと思います。

令和2年度 助産学専攻科の授業評価結果に対する考察

副学長・助産学専攻科長

坂本 すが

1. 授業評価アンケートについて

1) 助産学専攻科の科目全体の授業評価集計結果は、概ね 4.0 以上の評価を頂きました。学生が自身の授業に対する意欲や出席等の取り組みを評価する項目では、特に、助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱや助産学実習など、全体の科目の中でも単位数が多く、より学生の主体的な参画が求められる科目で高い傾向がありました。助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱでは、グループ課題として周産期各期の症例検討に組み込み、分娩介助演習等もグループメンバー相互で自習を重ねるなど、学生に求められる学修レベルが高い分、達成感が得られたのだと考えます。

令和2年度は、コロナ禍により、初めての遠隔講義の中で、課題学習やグループ学習も実施しましたが、開始当初はやや遠隔講義でのグループワークに戸惑う場面も見られましたが、最終的な成果としては、対面で実施するものと同レベルの達成となっていました。

助産学実習においては、コロナ禍により、従来の実習開始時期よりも約1か月遅れての開始となり、今年度の実習を断られる施設もありましたが、新規施設との調整も重ね、全学生が臨地実習を経験することができました。実習開始が遅れた1か月を利用し、学内において分娩介助事例の実践を2例程度は行っていたことで、例年よりも臨地実習開始時の混乱が少なかったと思われます。

総合評価における「遠隔での学習」に関する評価では、技術演習を伴う診断・技術学Ⅱや実習科目において点数が低い傾向があり、やはり実際に自身で実践したり、対象者の実在する臨地に身を置く体験ができたことが、学習達成度や満足度に繋がったと考えます。

2) 教員の姿勢については、講義内容や授業展開などに関する指摘はありませんでしたが、実習施設での調整や教員間の引継ぎ、また授業時間外での指導方法に関する指摘がありました。

コロナ禍による実習期間の短縮と、それに伴う臨地調整や指導の煩雑さや例年以上の過密スケジュール等があり、学生への負荷も相当に高かったと思われます。1年課程の助産学専攻科は、例年でも多忙ですので、学生のメンタルヘルスへの支援も含め、学生の状況を丁寧に把握した上での適切な教育や指導を目指してまいります。

2. 授業において工夫した点

授業等では、授業と演習科目の連動を意識し、進行状況に合わせた具体的な教育方法を、教員間で詳細に共有し、継続して授業に臨んでおります。演習形式の授業は、一人ひとりの学生の理解が図れるように、複数の教員でデモンストレーションや質問に対応しています。特に、昨年度より助産診断能力の強化を図るため、臨床推論を用いた症例検討を実施し、それを基に臨床実習における実際の対象者の経過診断の指導に繋げていきました。今年度は特に、リアルタイムで刻一刻と変化する産婦の症例について、学内で実習同様に展開してから臨地実習を開始したことで、例年よりも実習開始当初の混乱が減少したように思われます。

今年度はコロナ禍により、遠隔授業が導入されましたが、助産学専攻科は約20名と少数であることもあり、学生のネット環境等の整備も早かったため、早期よりリアルタイムでの双方向型講義を取り入れることができました。また遠隔でのグループワークにおいても、随時教員も質疑応答に応じながら進めたため、対面での実施と同様の学習効果を得ることができたと考えます。

健康教育に関する学習では、昨年度より新たな取り組みとして、産後の母子を対象とした集団支援クラスを企画運営しておりますが、今年度は更に、集団クラスを遠隔で実施しました。コロナ禍により、対面での集団クラス開催がほぼ中止されている状況下において、遠隔での集団クラス開催の経験と学習ができたことは、ポストコロナにおける集団指導を企画運営していく能力の向上にも繋がったものと考えます。母子保健法の改正等からも産後ケアの重要性が謳われるようになり、本学の産後ケア研究センターにおける臨地実習においても学生の評価は高かったことから、今後も地域の母子への支援の学習強化に努めてまいります。

3. 授業評価結果を今後の授業にどの様に生かしていくか

授業や実習および研究の評価を分析し、課題やグループワーク、研究などの学生の多重課題の取り組みや、それらに伴うメンタルヘルスの問題に関して、教員間で教育目標や指導方針を十分に共有し、引き続きよりよい授業や教育・実習が行えるように発展させていきます。

4. その他

助産学専攻科は1年の課程で助産師教育のプログラムを実践していくため、多重課題や厳しい学習状況もありますが、メンタルヘルスに関する学生支援も強化して、今後も助産師として学生が自ら考え行動できる能力を培える教育を探究していきたいと考えます。

以上

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○全科目数 391科目 ○調査対象者数 24,074人（延人数）
○総回答数 15,667件（回答率（65.1％）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈質問項目番号の（ ）は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

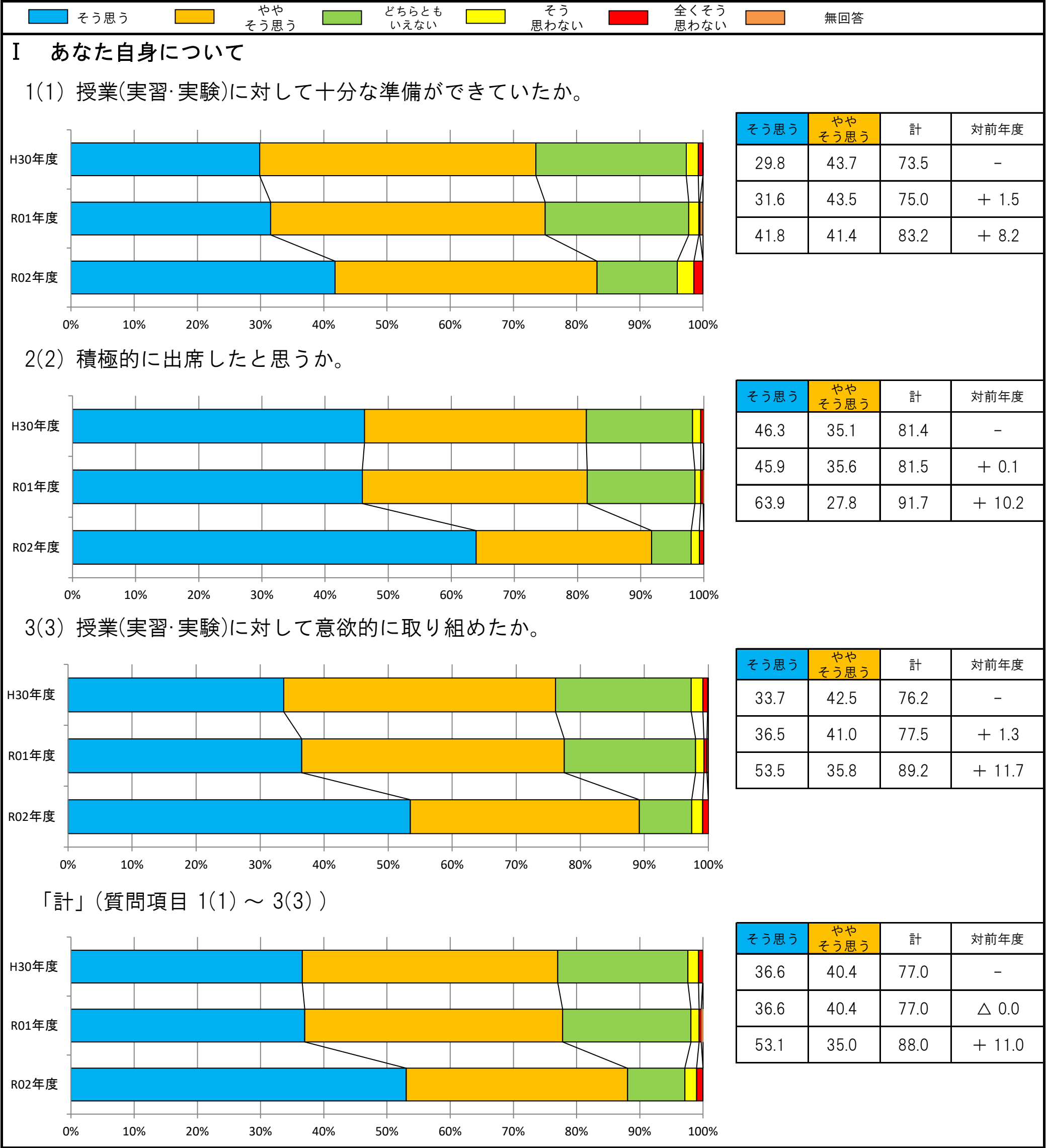
質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(31.6) 41.8	(43.5) 41.4	(22.7) 12.7	(1.6) 2.6	(0.1) 1.4	(0.5) 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(45.9) 63.9	(35.6) 27.8	(17.1) 6.3	(0.9) 1.3	(0.4) 0.7	(0.1) 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(36.5) 53.5	(41.0) 35.8	(20.5) 8.2	(1.3) 1.7	(0.5) 0.9	(0.2) 0.0	(100) 100
計	(38.0) 53.1	(40.0) 35.0	(20.1) 9.1	(1.3) 1.9	(0.3) 1.0	(0.3) 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(28.7) 39.9	(44.1) 43.8	(23.3) 11.8	(2.6) 3.4	(1.1) 1.1	(0.2) 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(34.3) 51.3	(42.4) 37.4	(20.3) 8.7	(1.8) 1.7	(1.0) 1.0	(0.2) 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(34.6) 47.8	(40.4) 36.6	(21.6) 12.2	(2.2) 2.3	(1.0) 1.1	(0.2) 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(36.9) 53.4	(39.7) 34.8	(20.2) 9.4	(1.9) 1.5	(1.0) 0.9	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(33.6) 48.1	(41.7) 38.1	(21.4) 10.5	(2.1) 2.2	(1.0) 1.0	(0.2) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(28.6) 41.0	(37.4) 33.1	(28.5) 20.8	(3.2) 3.2	(2.1) 1.9	(0.2) 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(36.2) 52.6	(38.9) 32.8	(21.1) 11.6	(2.4) 1.9	(1.2) 1.2	(0.2) 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(38.3) 50.7	(36.4) 30.8	(19.3) 12.6	(2.9) 3.8	(1.6) 2.1	(1.5) 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(35.1) 41.5	(37.3) 31.3	(22.7) 20.0	(2.9) 4.3	(1.6) 2.8	(0.4) 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(38.0) 51.8	(37.9) 33.0	(20.1) 10.7	(2.4) 2.9	(1.4) 1.7	(0.2) 0.0	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(40.5) 56.6	(37.4) 31.2	(19.2) 9.7	(1.6) 1.5	(1.1) 1.0	(0.2) 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(35.3) 40.0	(37.8) 32.7	(21.9) 19.8	(2.8) 4.5	(1.9) 2.9	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(36.0) 47.7	(37.6) 32.1	(21.8) 15.0	(2.6) 3.2	(1.6) 1.9	(0.4) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 42.9	(-) 30.8	(-) 15.4	(-) 6.9	(-) 4.0	(-) 0.0	(-) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(35.1) 44.6	(38.4) 38.3	(19.7) 12.1	(2.6) 3.4	(1.3) 1.7	(2.9) 0.0	(100) 100
計	(35.1) 43.7	(38.4) 34.5	(19.7) 13.7	(2.6) 5.1	(1.3) 2.8	(2.9) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(35.7) 48.2	(39.4) 34.9	(20.7) 12.1	(2.1) 3.1	(1.1) 1.7	(1.0) 0.0	(100.0) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

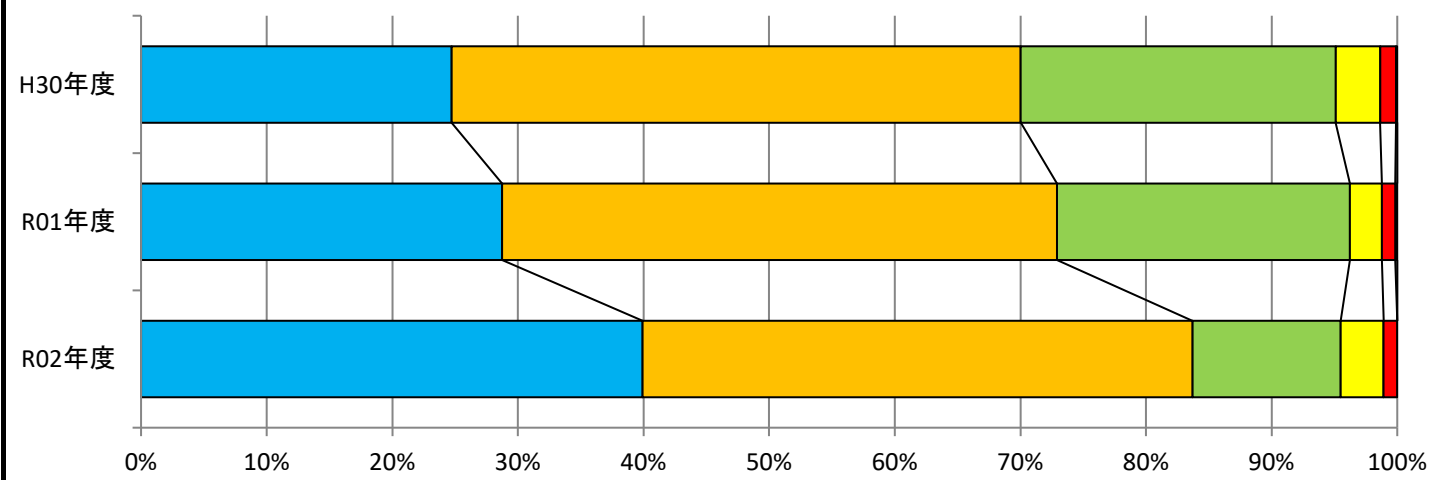
	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	340科目	348科目	363科目	360科目	391科目
調査対象者数	23,623人	23,367人	22,616人	22,689人	24,074人
総回答数（回答率）	20,274枚（85.8%）	19,759枚（84.6%）	19,799枚（87.5%）	19,212枚（84.8%）	15,667件（65.1%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



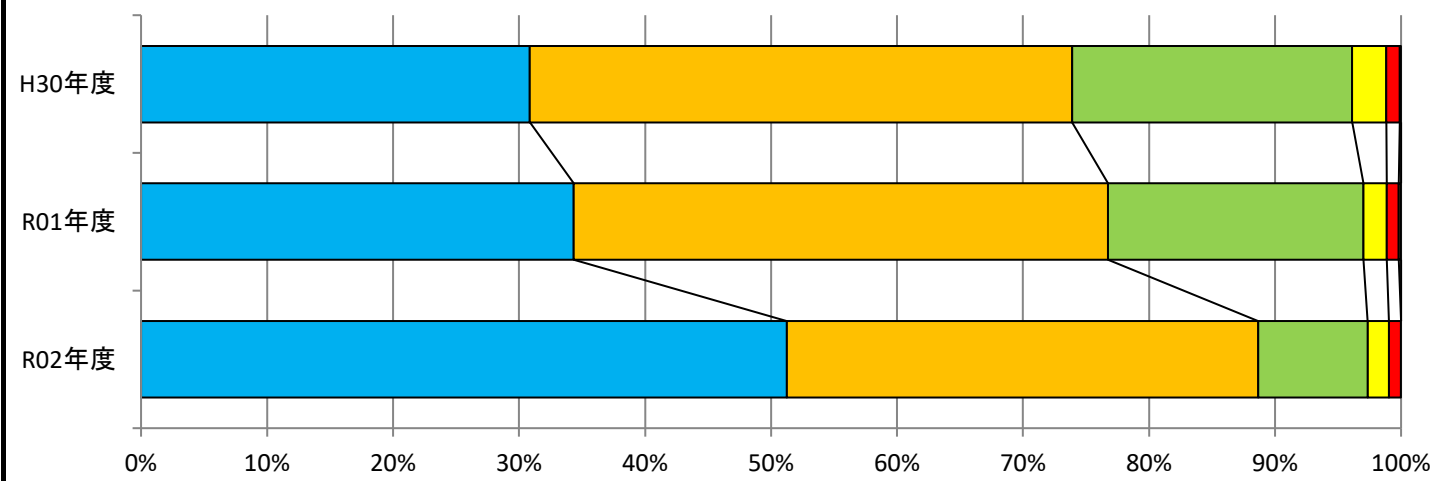
Ⅱ 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



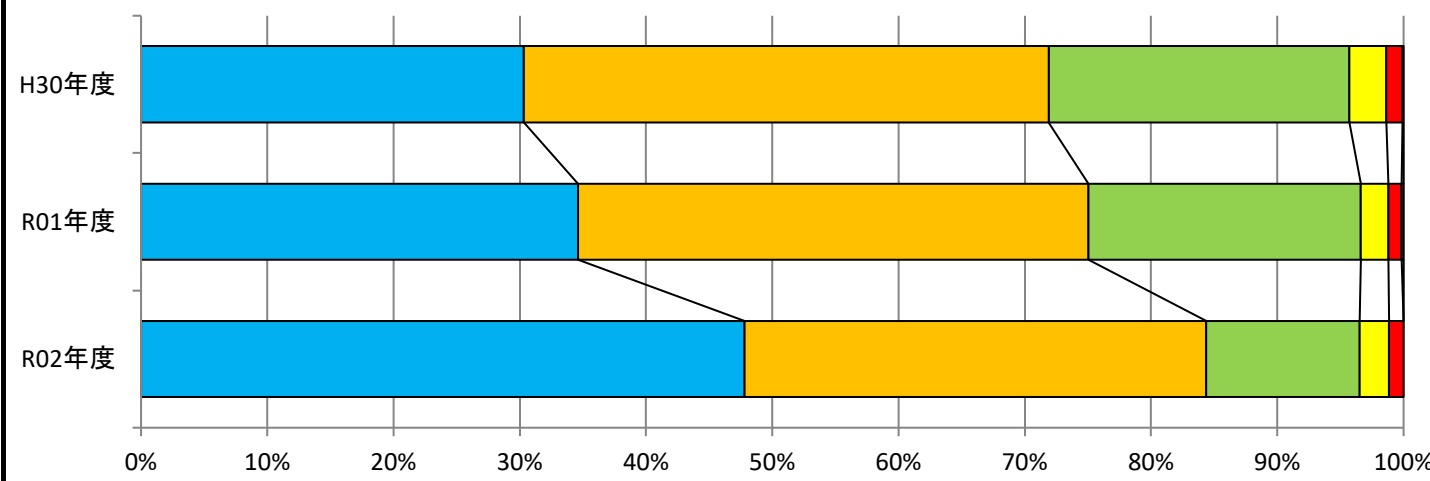
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24.7	45.3	70.0	-
28.7	44.1	72.9	0
39.9	43.8	83.7	+ 10.8

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



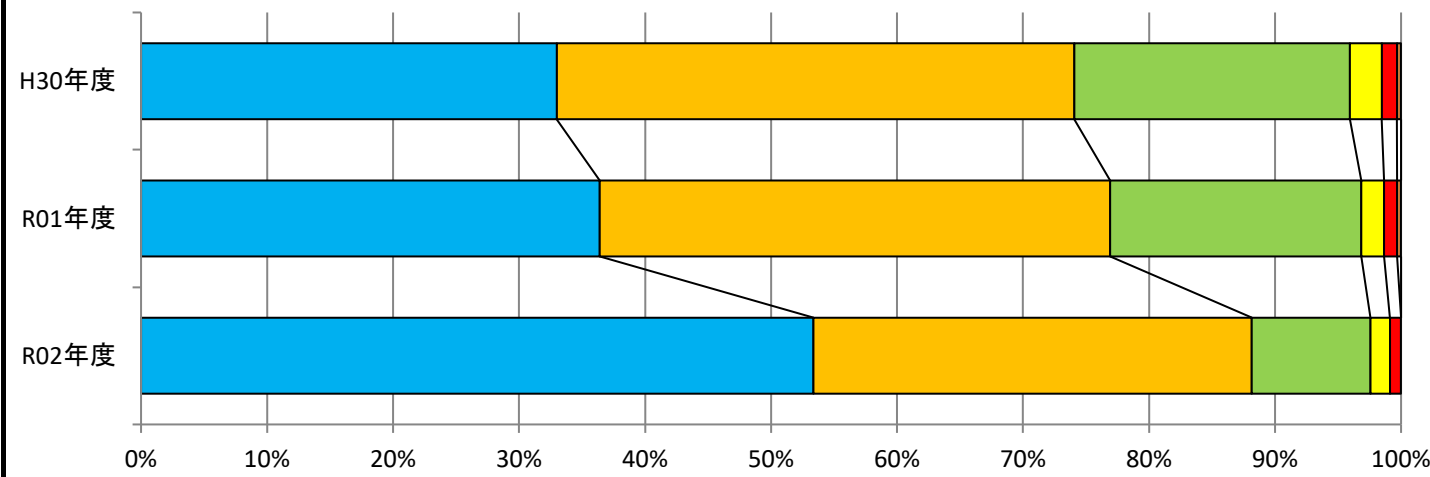
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
30.9	43.0	73.9	-
34.3	42.4	76.7	+ 2.8
51.3	37.4	88.7	+ 11.9

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



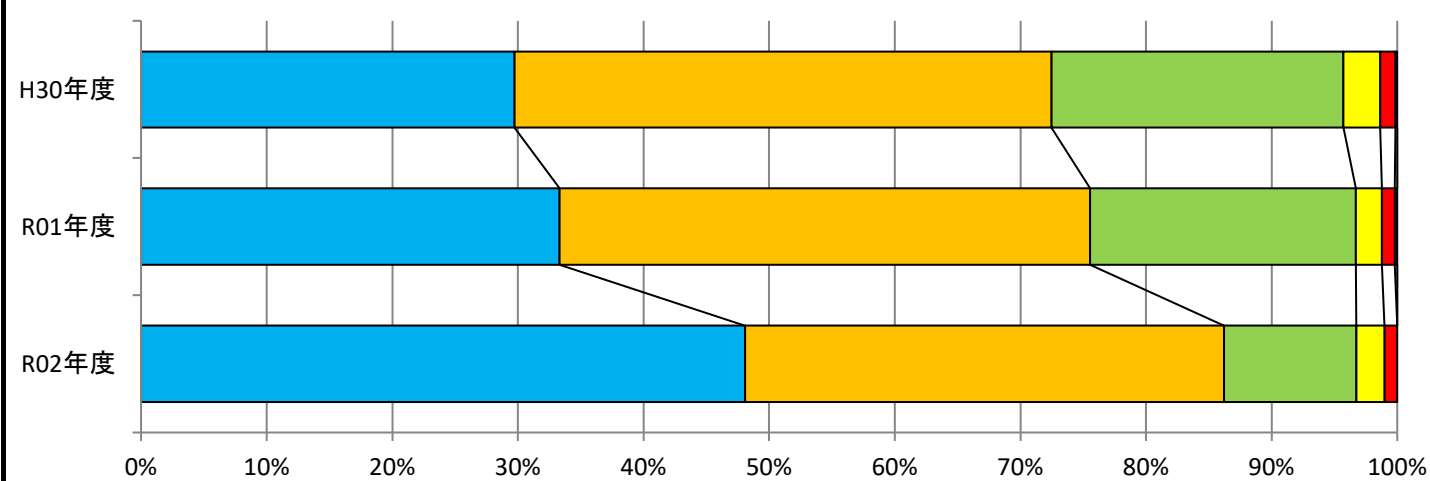
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
30.3	41.6	71.9	-
34.6	40.4	75.0	+ 3.1
47.8	36.6	84.4	+ 9.3

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.0	41.1	74.1	-
36.9	41.1	78.0	+ 3.9
53.4	34.8	88.2	+ 10.2

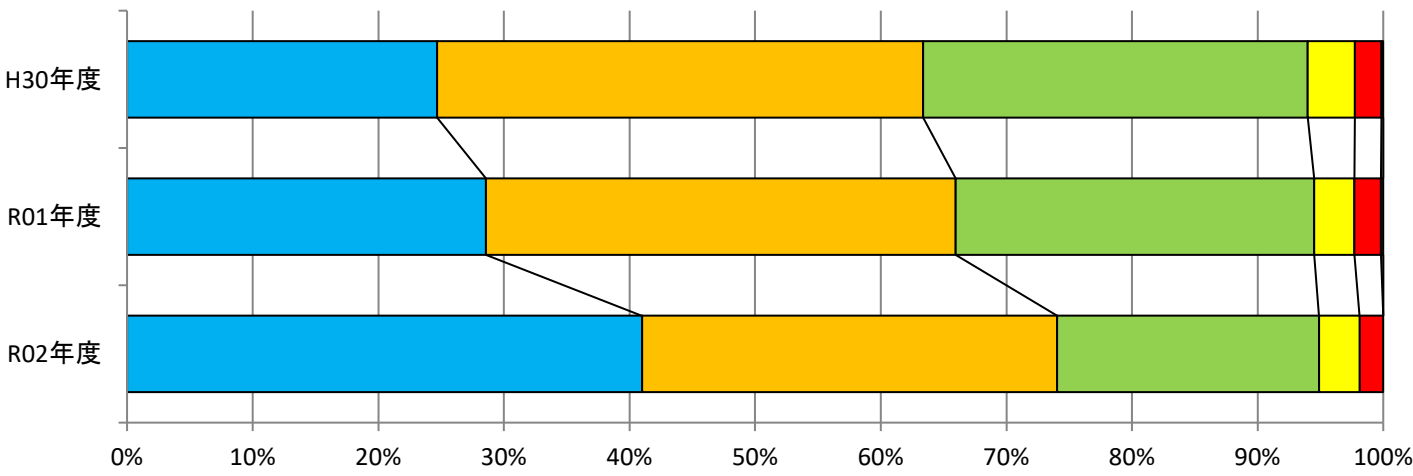
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
29.7	42.7	72.5	-
33.6	42.7	76.3	+ 3.9
48.1	38.1	86.2	+ 9.9

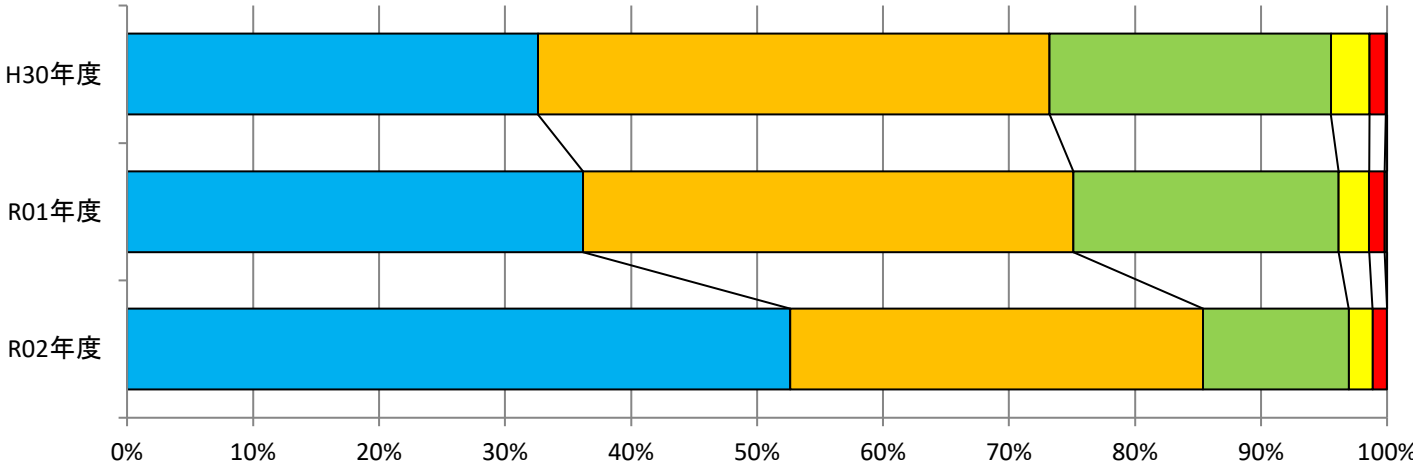
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



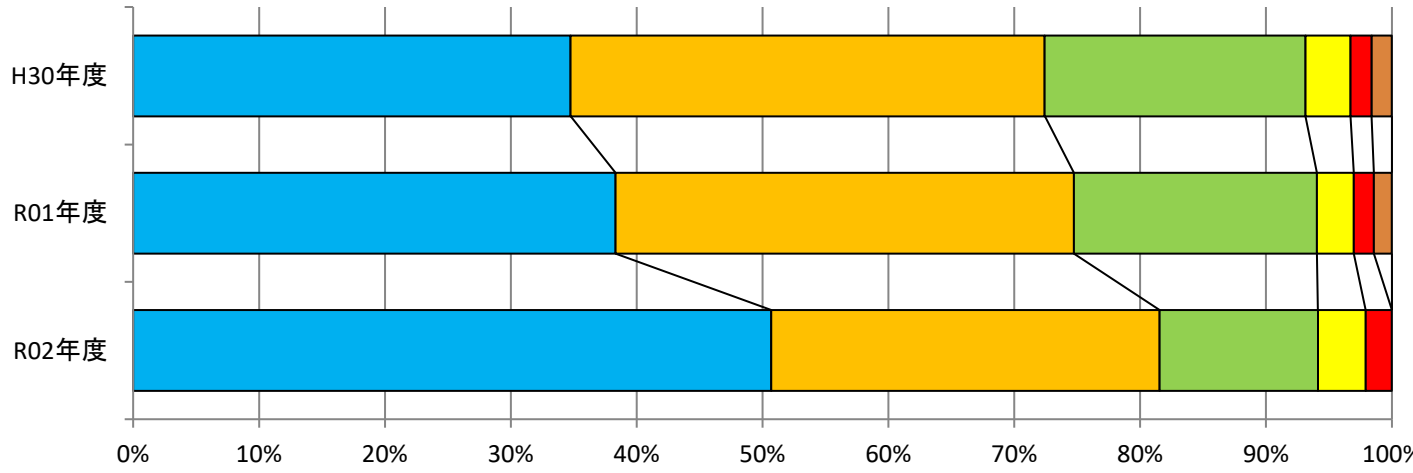
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24.7	38.7	63.4	-
28.6	37.4	66.0	+ 2.6
41.0	33.1	74.1	+ 8.1

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



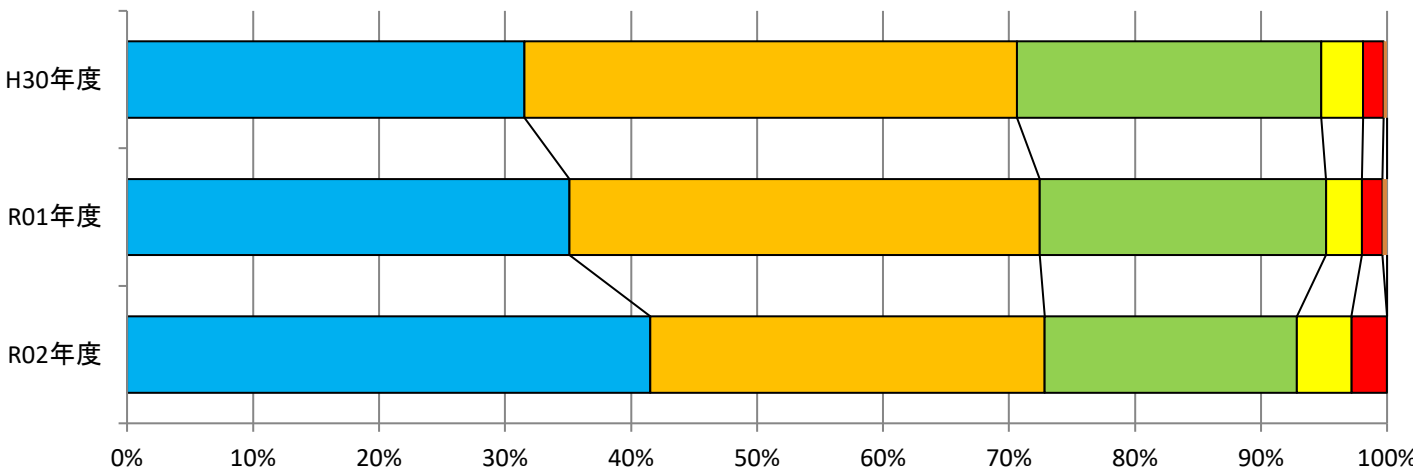
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.6	40.6	73.2	-
36.2	38.9	75.1	+ 1.9
52.6	32.8	85.4	+ 10.3

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



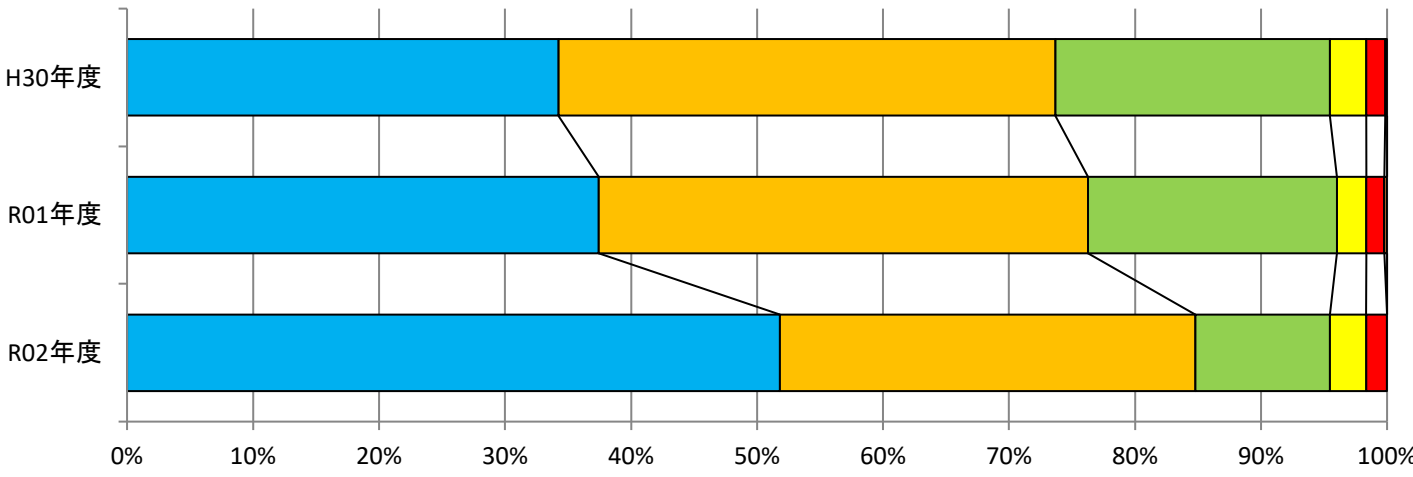
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.7	37.7	72.4	-
38.3	36.4	74.7	+ 2.3
50.7	30.8	81.6	+ 6.8

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



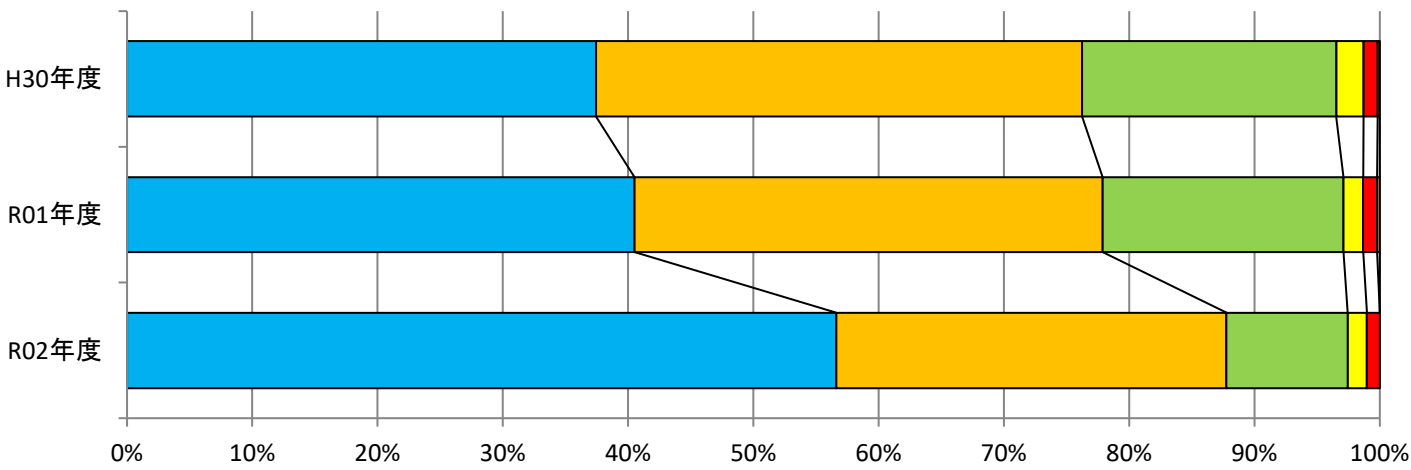
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.5	39.1	70.6	-
35.1	37.3	72.4	+ 1.8
41.5	31.3	72.8	+ 0.4

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



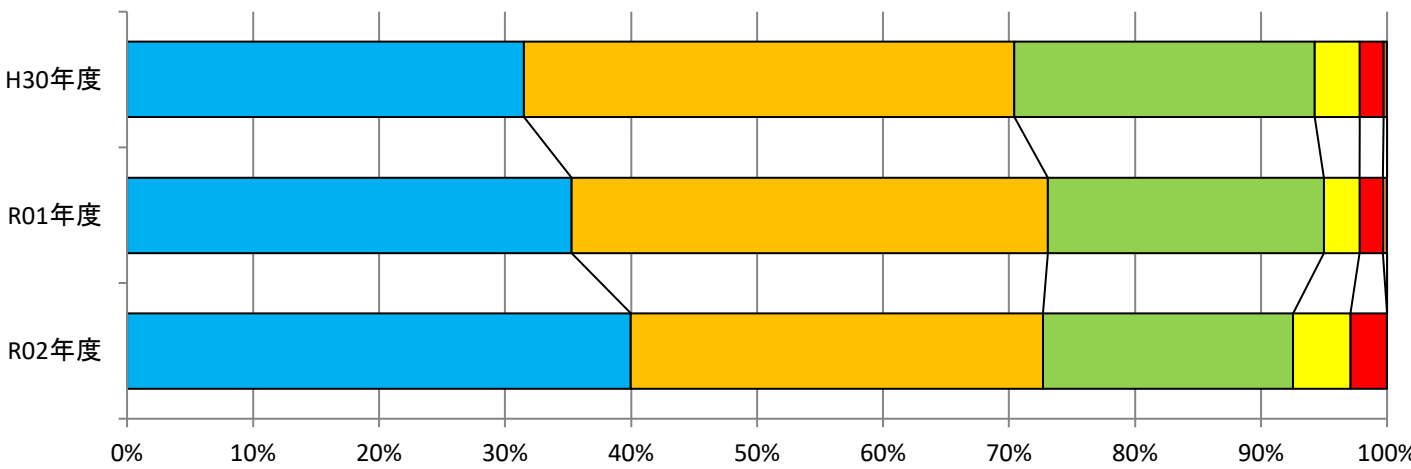
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.2	39.4	73.7	-
38.0	39.4	77.4	+ 3.7
51.8	33.0	84.8	+ 7.4

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



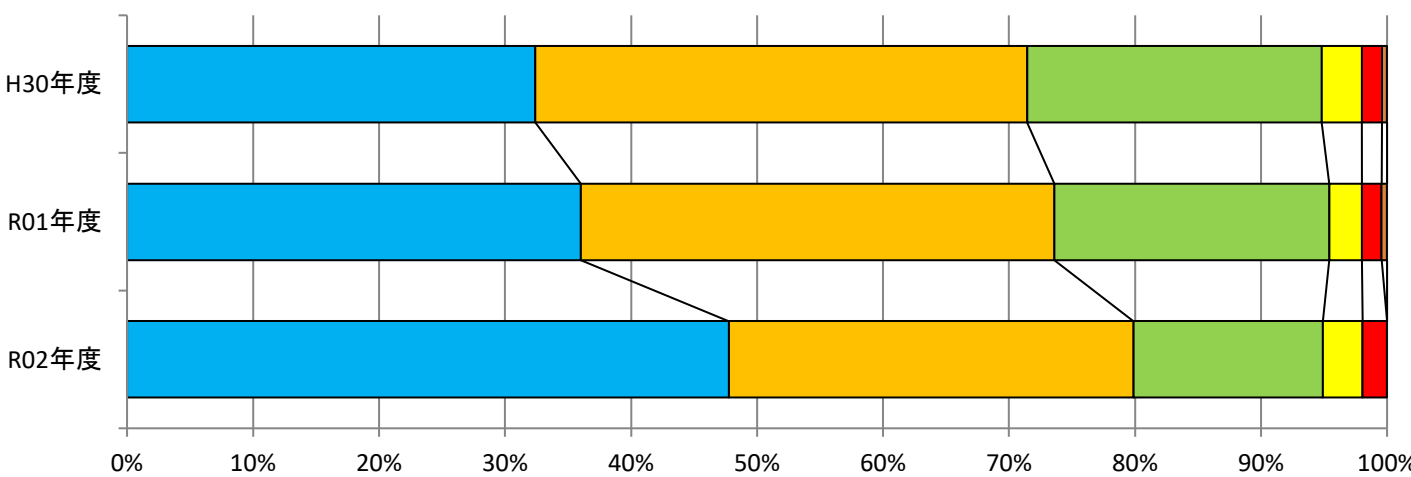
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.4	38.8	76.2	-
40.5	37.4	77.9	+ 1.6
56.6	31.2	87.8	+ 9.9

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.5	38.9	70.4	-
35.3	37.8	73.1	+ 2.7
40.0	32.7	72.7	△ 0.4

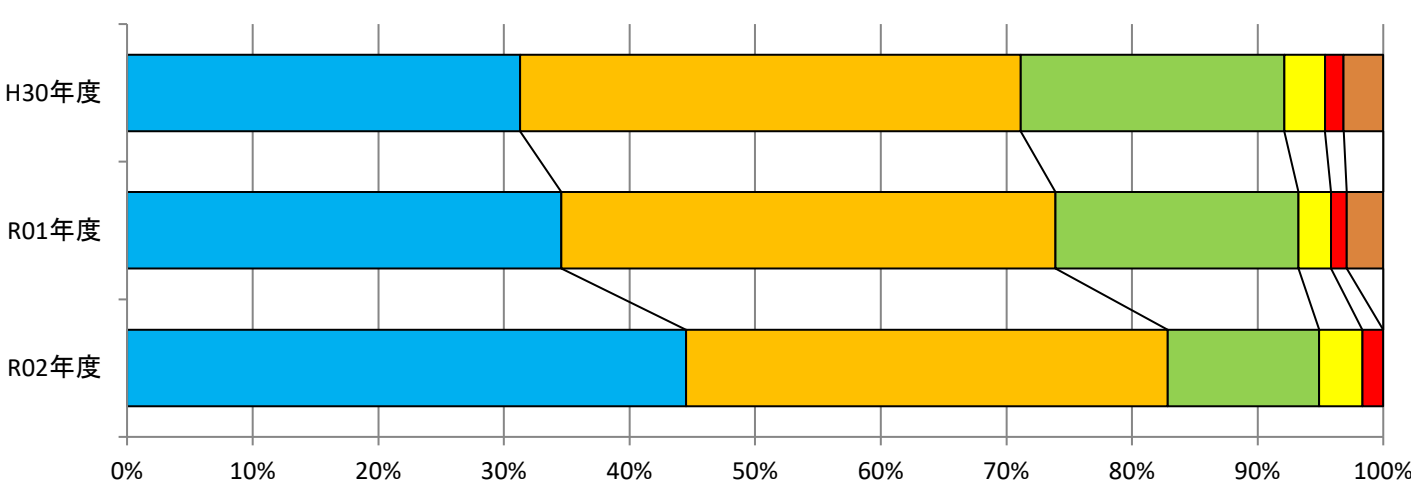
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.4	39.0	71.4	-
36.0	37.6	73.6	+ 2.2
47.7	32.1	79.9	+ 6.3

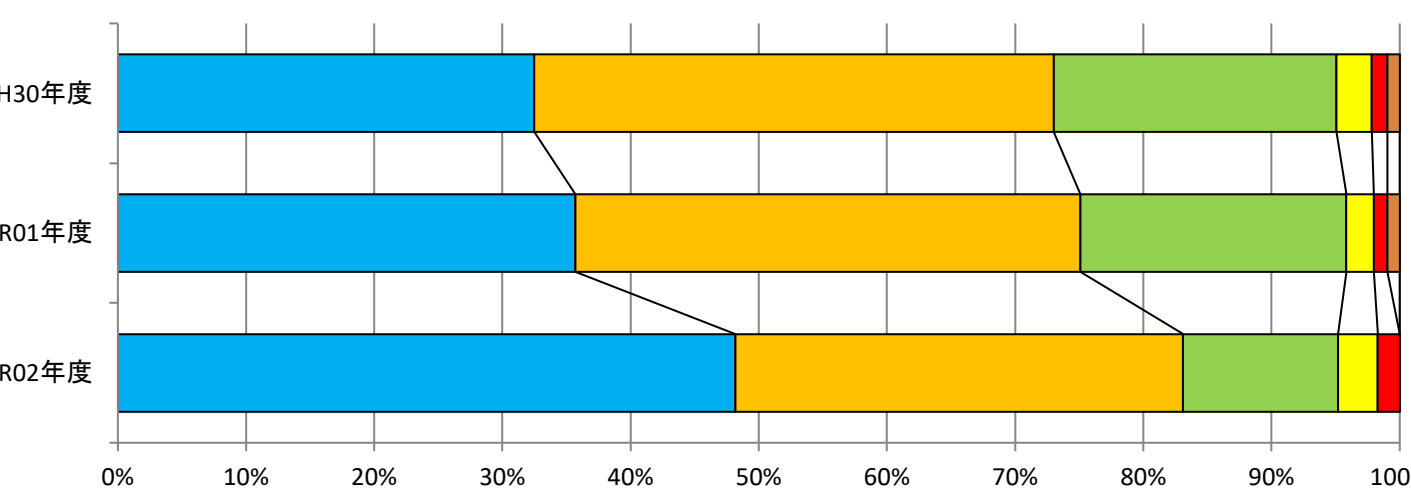
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.3	39.9	71.1	-
35.1	39.9	75.0	+ 3.9
44.6	38.4	83.0	+ 8.0

全質問項目の平均

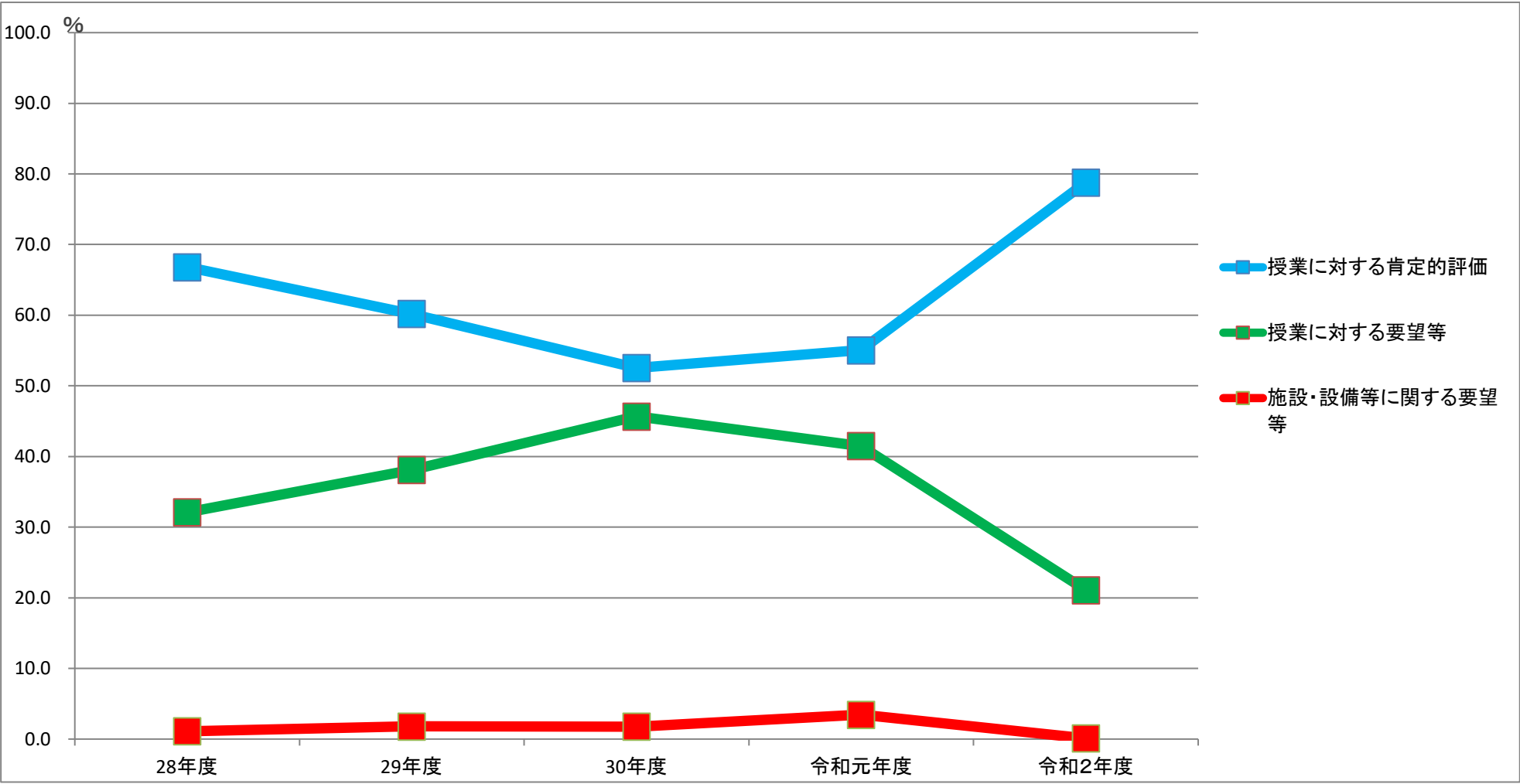


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.5	40.5	73.0	-
35.7	39.4	75.1	+ 2.1
48.2	34.9	83.1	+ 8.0

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(66.8%)	427	(60.2%)	307	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(78.8%)	583
授業に対する要望等	(32.1%)	205	(38.0%)	194	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(21.1%)	156
施設・設備等に関する要望等	(1.1%)	7	(1.8%)	9	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.1%)	1
総件数	(100.0%)	639	(100.0%)	510	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	740

※（ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	583	・ 授業の最初に前回のアンケートの質問を全員で共有できるようにしていただき、改めて深く理解することができました。 ・ 課題を提出すると、毎回コメントを返してくれるのがよかった。 ・ この授業でセルフマネジメントを理解することができたので、学んだだけで終わりにせず実践していこうと思います。 ・ 機能看護で学んだことは看護の場だけではなく、日常生活を送るうえでも大切だと思いました。 ・ オンデマンドだからこそ、自分のペースで進めることができた。 ・ 遠隔授業で不安に思うこともありましたが、逆に自分の自己学習の時間を多くとれたため、遠隔授業のよさも感じました。 ・ 自分の看護観を形成するのに非常に役立ちました。
授業に対する要望等	156	・ 課題に対してのフィードバックも教員ごとに量や質が全く違ったため、均等にしてほしい ・ 音声小さすぎて学習がスムーズにいかなかった、活舌の問題なのか聞き取りにくい部分もあった ・ 教員がzoomの操作を理解しておらず、あまりにも不手際が多かった。 ・ 教員は指導方針や方法を統一して欲しい。 ・ 熟読してくださいはい少し困ります。重点的に読むところを教えてください。 ・ 終わりの時間はしっかりと守り、簡潔かつ分かりやすい指導を心掛けて頂きたい。 ・ 対面で学んでみたかったです。 ・ 政治に関わる表現は学問としては控えた方が宜しいのかとも感じました。 ・ 授業動画の音声聞き取りにくい。スライドが多すぎる。
施設・設備等に関する要望等	1	・ 学校で録画している動画で空調の音が入って頭痛くなった。
計	740	

令和2年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○講義・演習科目数 340科目 ○調査対象者数 20,844人(延人数)
○総回答数 13,606件(回答率 65.3%)

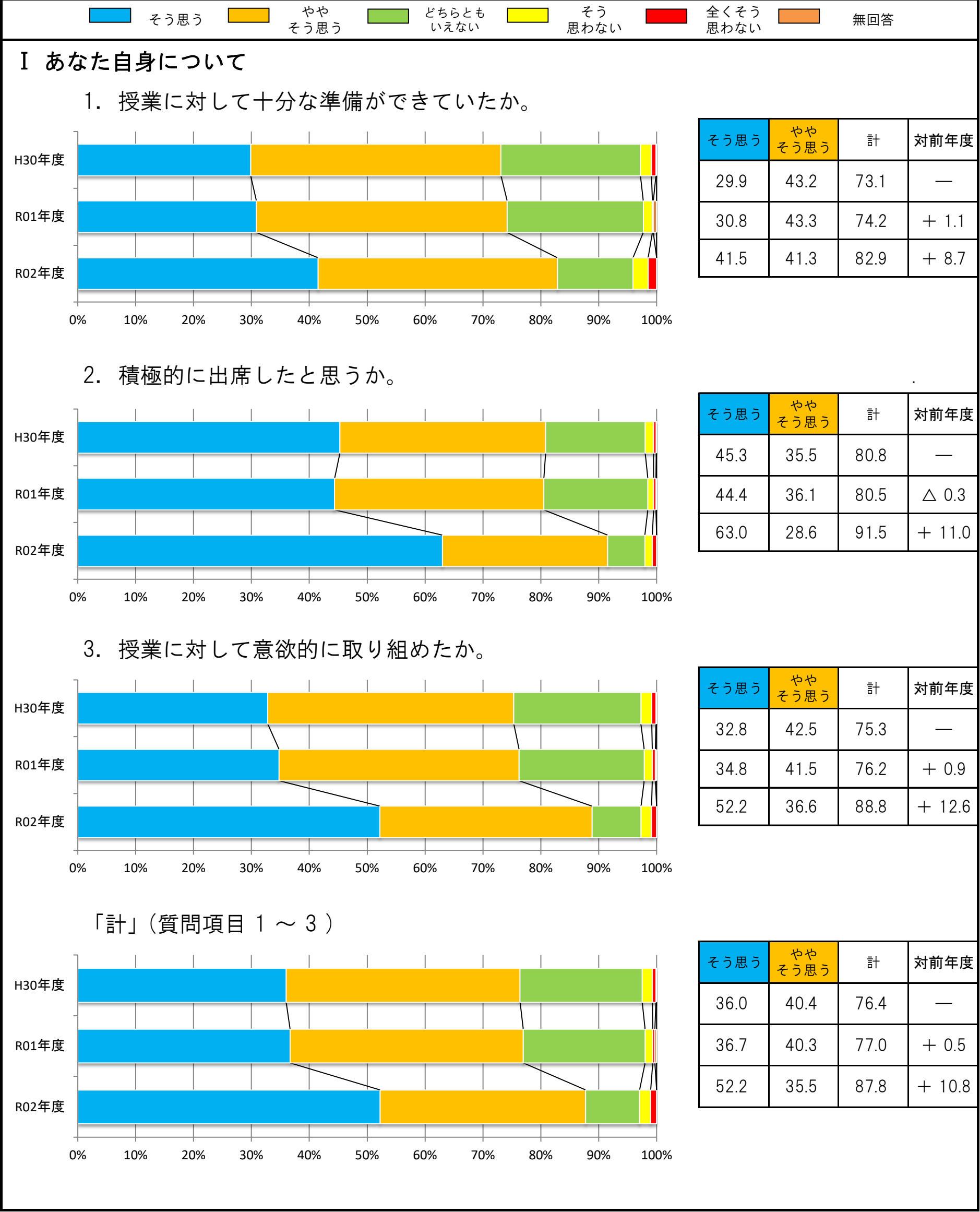
◆ 質問項目別集計結果 〈上段()は令和元年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(30.8) 41.5	(43.3) 41.3	(23.5) 13.0	(1.6) 2.6	(0.2) 1.5	(0.6)	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(44.4) 63.0	(36.1) 28.6	(18.0) 6.4	(1.0) 1.3	(0.4) 0.7	(0.1)	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(34.8) 52.2	(41.5) 36.6	(21.6) 8.5	(1.4) 1.8	(0.5) 0.9	(0.2)	(100) 100
計	(36.7) 52.2	(40.3) 35.5	(21.0) 9.3	(1.3) 1.9	(0.4) 1.0	(0.3)	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(27.6) 39.0	(43.9) 44.2	(24.4) 12.1	(2.7) 3.6	(1.2) 1.1	(0.2)	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(33.1) 50.6	(42.2) 37.8	(21.5) 8.9	(1.9) 1.8	(1.1) 1.0	(0.2)	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(33.3) 46.9	(40.4) 37.0	(22.6) 12.5	(2.3) 2.4	(1.2) 1.2	(0.2)	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(35.3) 52.4	(40.0) 35.3	(21.2) 9.8	(2.0) 1.6	(1.2) 0.9	(0.3)	(100) 100
計	(32.4) 47.2	(41.6) 38.6	(22.4) 10.8	(2.2) 2.4	(1.2) 1.0	(0.2) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(27.8) 40.4	(37.0) 33.1	(29.5) 21.2	(3.3) 3.4	(2.2) 1.9	(0.2) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(35.1) 52.7	(38.8) 32.5	(22.0) 11.7	(2.6) 1.9	(1.3) 1.2	(0.2) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(36.9) 49.9	(36.4) 30.9	(20.2) 12.8	(3.2) 4.1	(1.7) 2.3	(1.6) 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(32.9) 48.4	(34.8) 29.0	(23.4) 16.4	(3.3) 3.6	(2.1) 2.7	(3.5) 0.0	(100) 100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(34.9) 55.9	(37.8) 30.6	(20.6) 9.1	(3.5) 3.2	(1.6) 1.2	(1.6) 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(33.7) 40.2	(37.3) 31.7	(23.9) 20.6	(3.0) 4.6	(1.7) 3.0	(0.4) 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(36.8) 51.2	(37.9) 33.1	(21.0) 11.0	(2.5) 3.0	(1.6) 1.7	(0.2) 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(39.2) 55.8	(37.6) 31.5	(20.1) 10.0	(1.7) 1.7	(1.2) 1.1	(0.2) 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(33.8) 38.7	(37.8) 32.9	(23.0) 20.6	(2.9) 4.7	(2.0) 3.0	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(34.6) 48.1	(37.3) 31.7	(22.6) 14.8	(2.9) 3.3	(1.7) 2.0	(0.9) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(-) 44.2	(-) 31.3	(-) 14.7	(-) 6.2	(-) 3.6	(-) 0.0	(-) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(33.5) 44.2	(38.5) 38.5	(20.7) 12.2	(2.8) 3.4	(1.4) 1.7	(3.1) 0.0	(100) 100
計	(33.5) 44.2	(38.5) 34.9	(20.7) 13.4	(2.8) 4.8	(1.4) 2.6	(3.1) 0.0	(100.0) 100
全質問項目の平均	(34.3) 47.9	(39.4) 35.2	(21.7) 12.1	(2.3) 3.1	(1.2) 1.7	(1.1) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

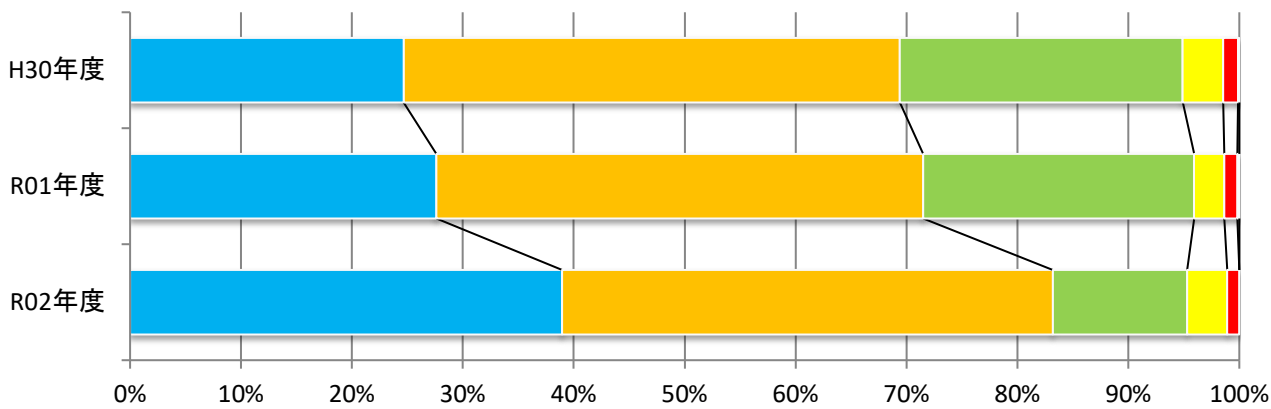
	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	304科目	315科目	340科目
調査対象者数	19,967人	19,577人	20,844人
総回答数（回答率）	17,236枚（86.3%）	16,913枚（86.0%）	13,606件（65.3%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



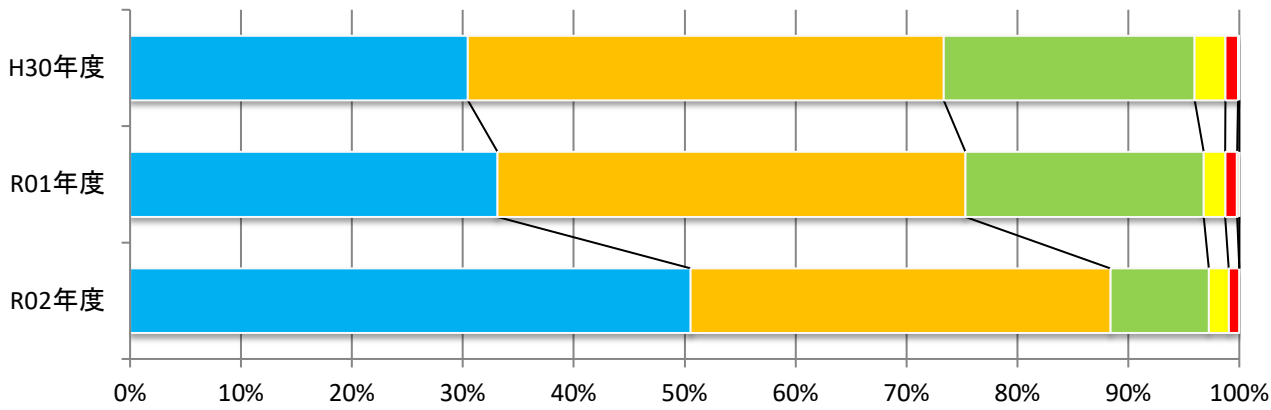
Ⅱ 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



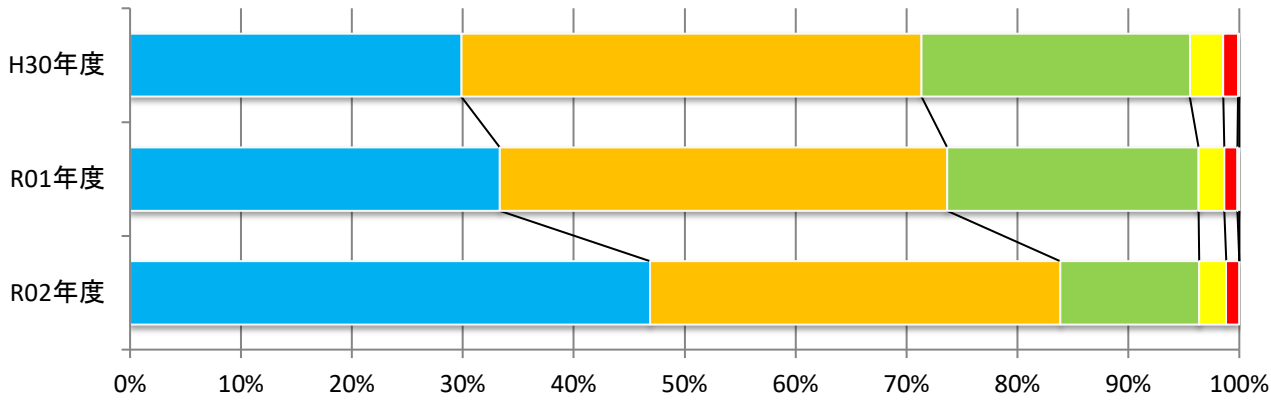
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24.5	44.5	69.1	—
27.6	43.9	71.5	+ 2.5
39.0	44.2	83.2	+ 11.7

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



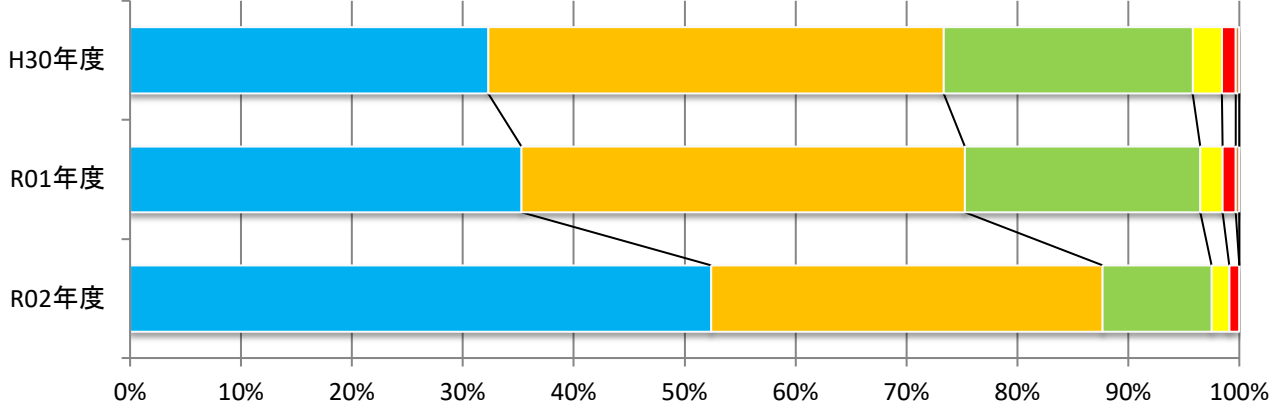
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
30.5	42.9	73.3	—
33.1	42.2	75.3	+ 2.0
50.6	37.8	88.4	+ 13.0

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



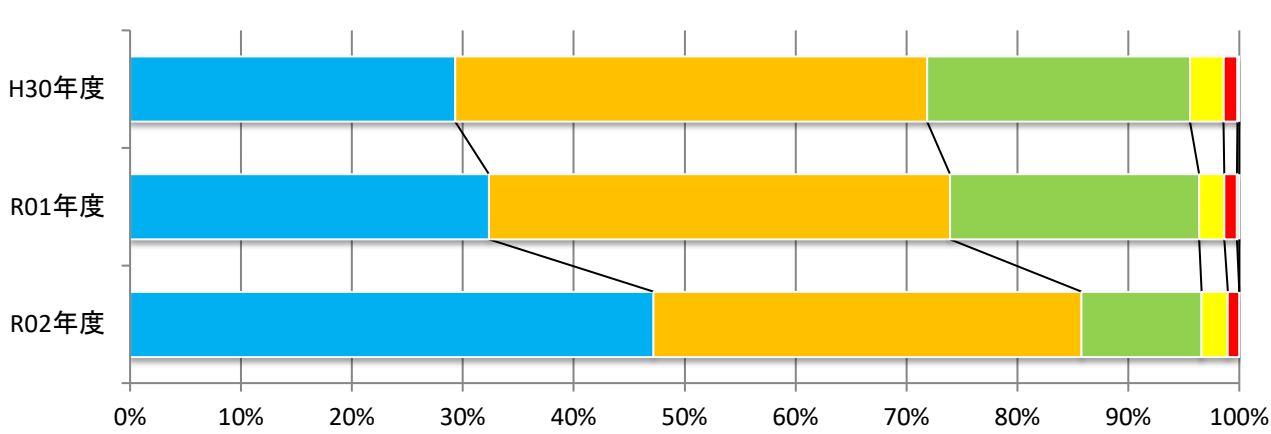
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
29.9	41.5	71.4	—
33.3	40.4	73.7	+ 2.3
46.9	37.0	83.8	+ 10.2

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.3	41.1	73.3	—
35.3	40.0	75.3	+ 2.0
52.4	35.3	87.7	+ 12.4

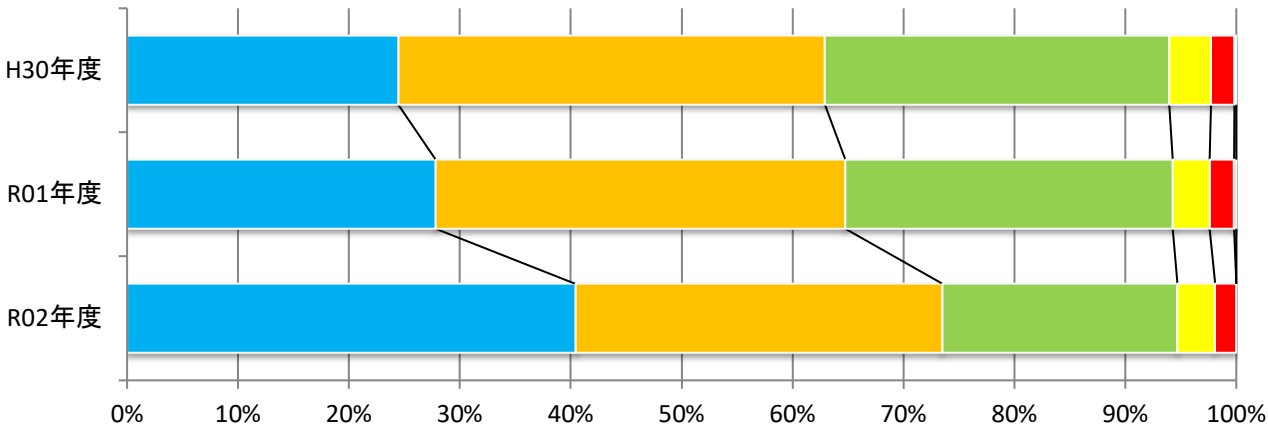
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
29.3	42.5	71.8	—
32.4	41.6	74.0	+ 2.2
47.2	38.6	85.8	+ 11.8

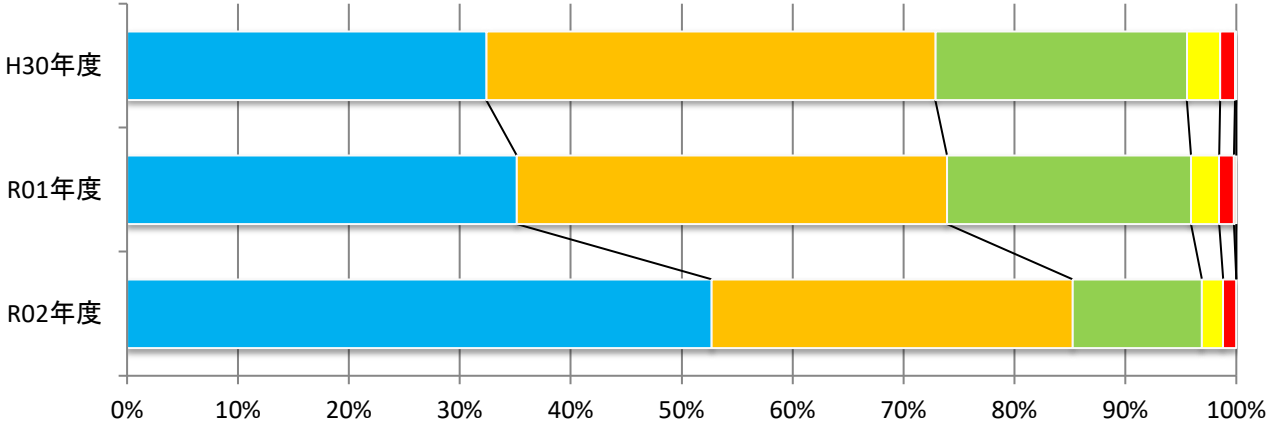
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



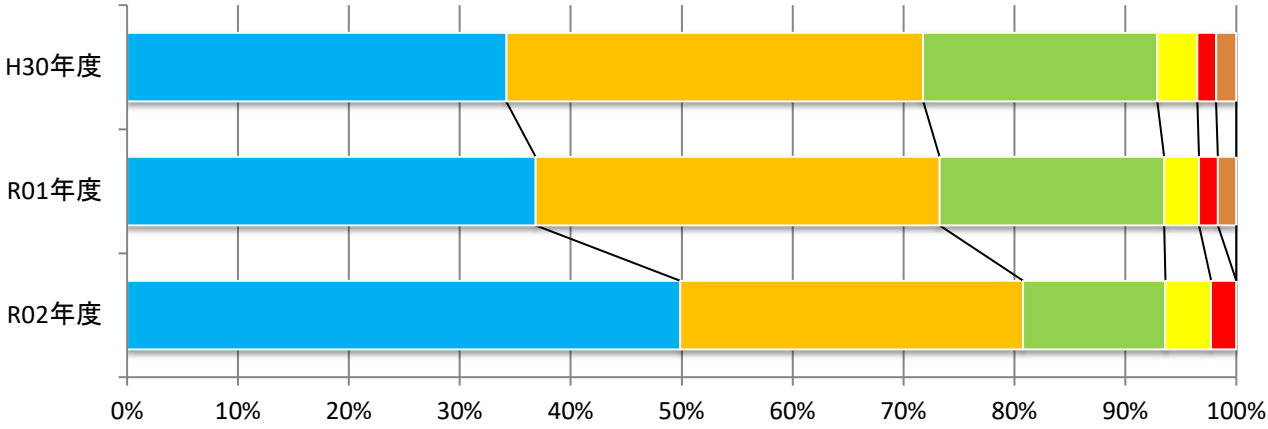
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24.5	38.5	62.9	—
27.8	37.0	64.8	+ 1.9
40.4	33.1	73.5	+ 8.8

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



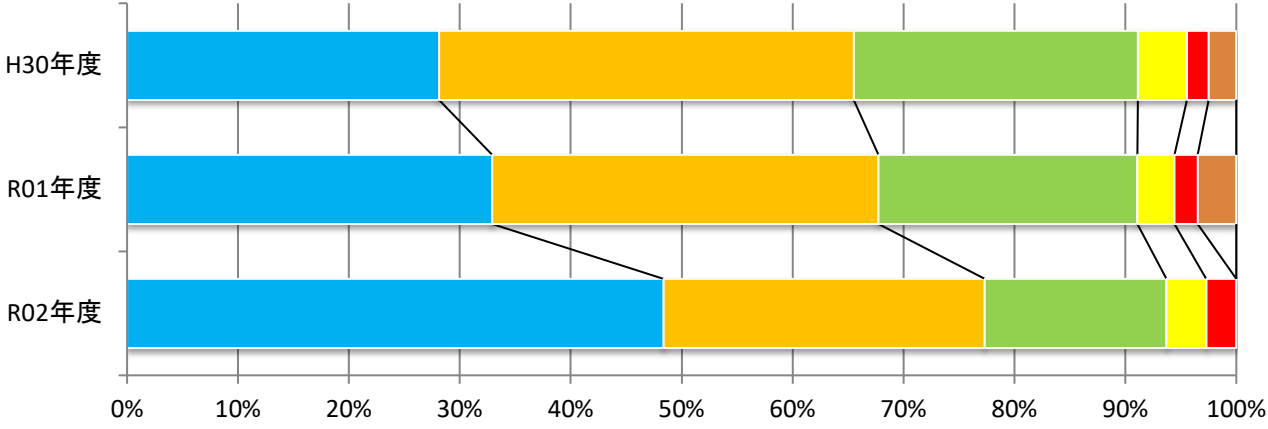
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.4	40.5	72.9	—
35.1	38.8	73.9	+ 1.1
52.7	32.5	85.2	+ 11.3

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



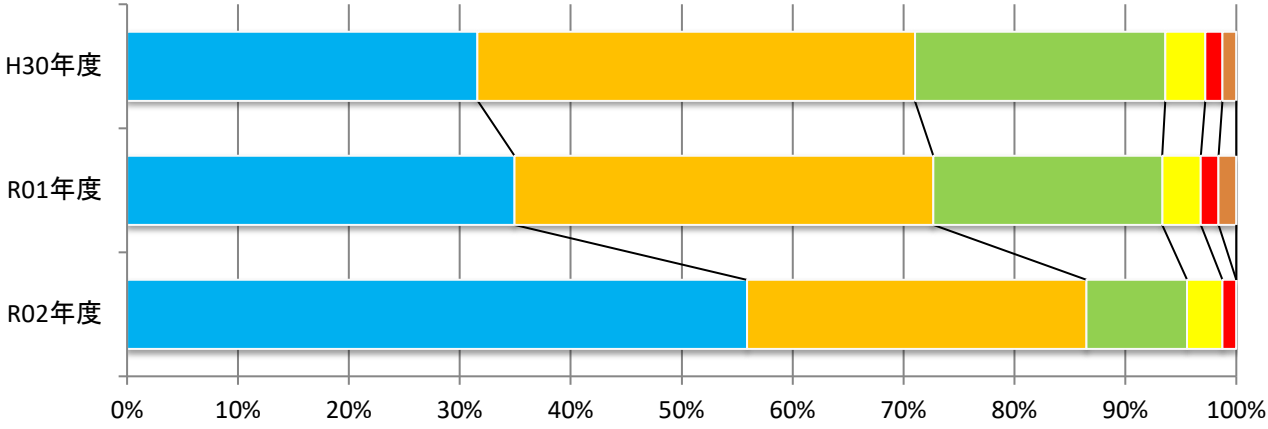
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.2	37.6	71.8	—
36.9	36.4	73.3	+ 1.5
49.9	30.9	80.8	+ 7.5

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



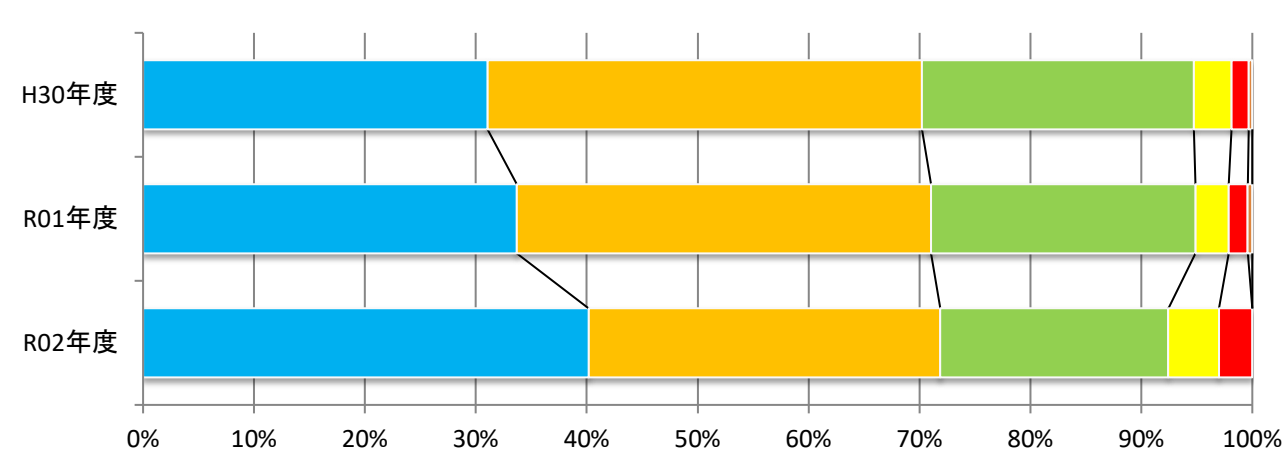
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
28.1	37.4	65.5	—
32.9	34.8	67.7	+ 2.2
48.4	29.0	77.3	+ 9.6

11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



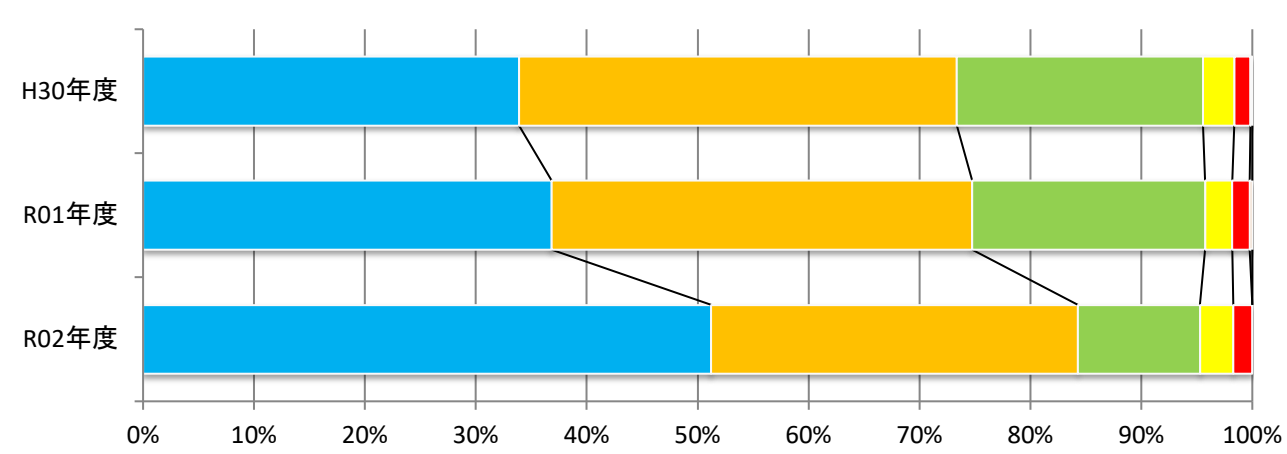
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.6	39.4	71.0	—
34.9	37.8	72.7	+ 1.7
55.9	30.6	86.5	+ 13.8

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



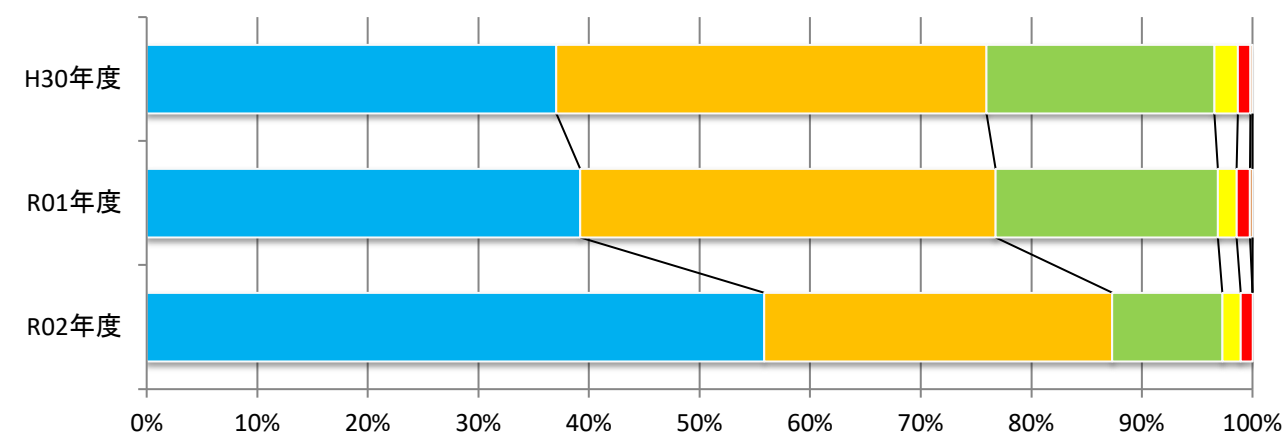
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.1	39.2	70.2	—
33.7	37.3	71.0	+ 0.8
40.2	31.7	71.9	+ 0.8

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



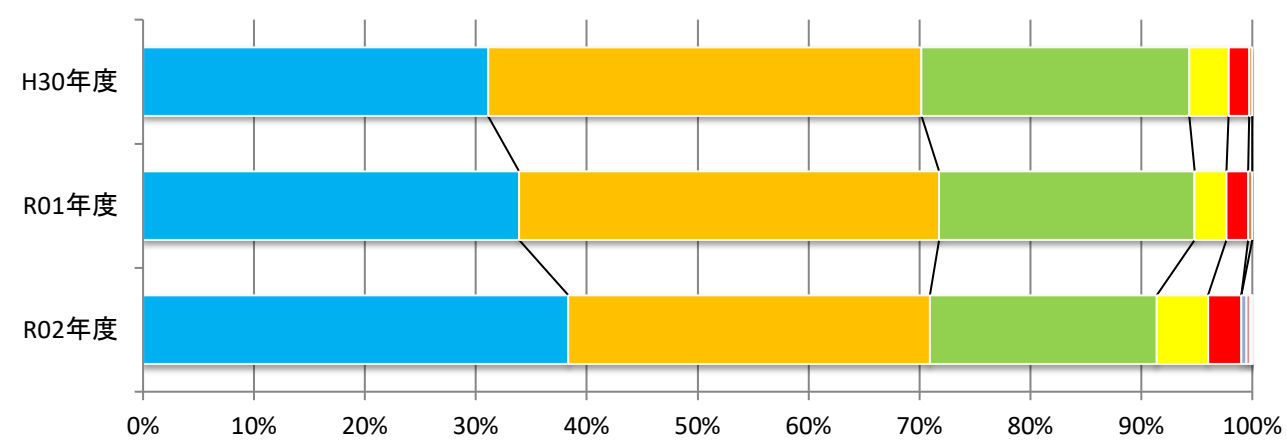
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.9	39.5	73.4	—
36.8	37.9	74.7	+ 1.4
51.2	33.1	84.3	+ 9.5

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



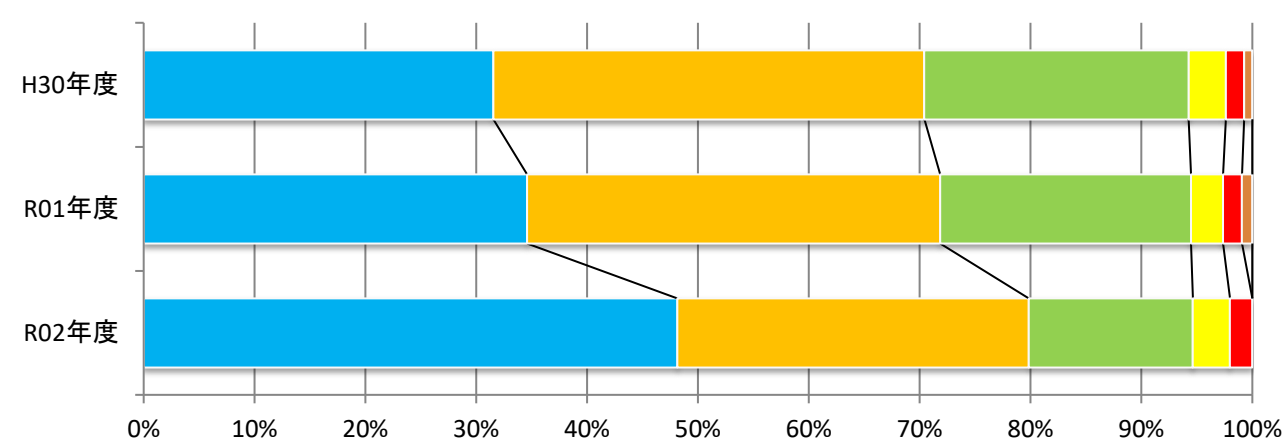
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.1	38.9	76.0	—
39.2	37.6	76.8	+ 0.8
55.8	31.5	87.3	+ 10.6

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.1	39.1	70.2	—
33.8	37.8	71.7	+ 1.5
38.7	32.9	71.7	△ 0.0

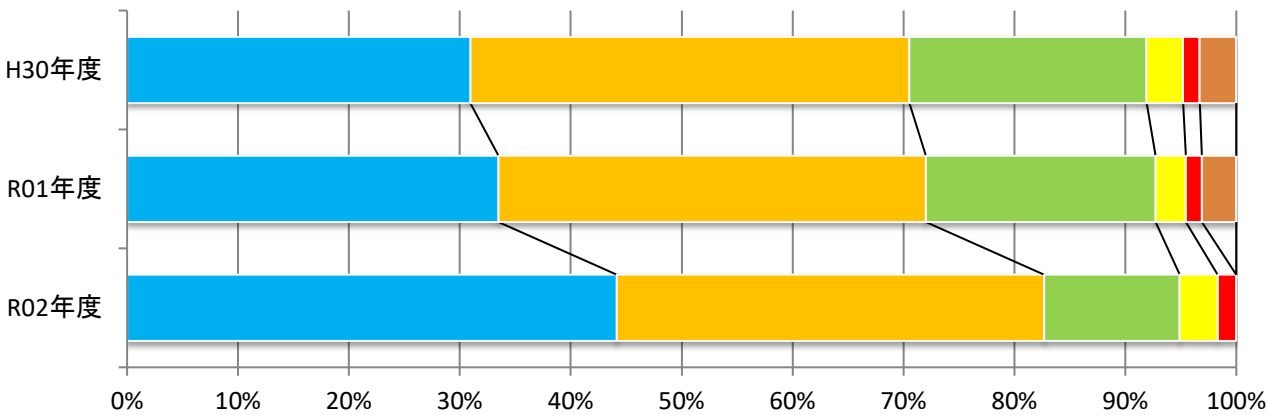
「計」（質問項目 8 ～ 15）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.5	38.9	70.4	—
34.6	37.3	71.8	+ 1.4
48.1	31.7	79.8	+ 8.0

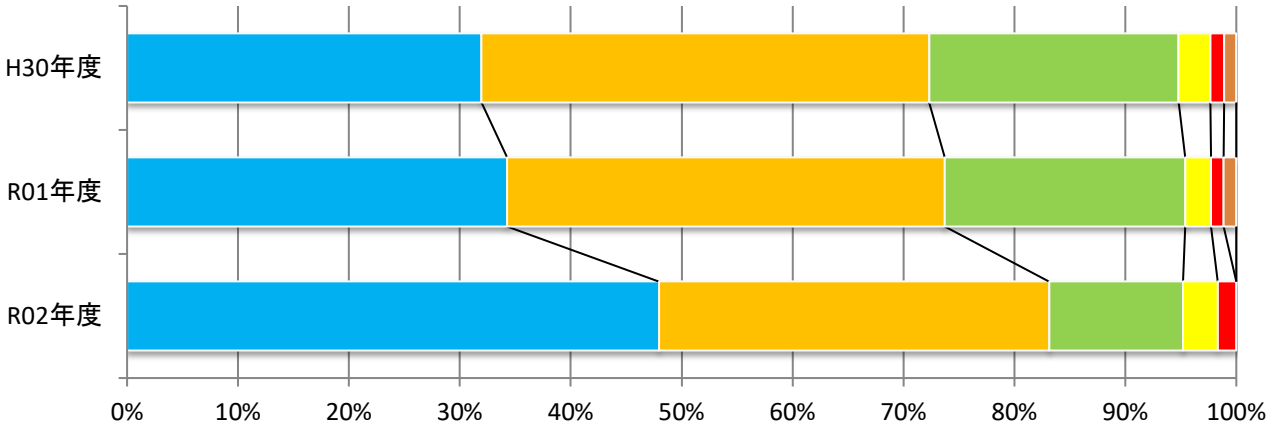
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



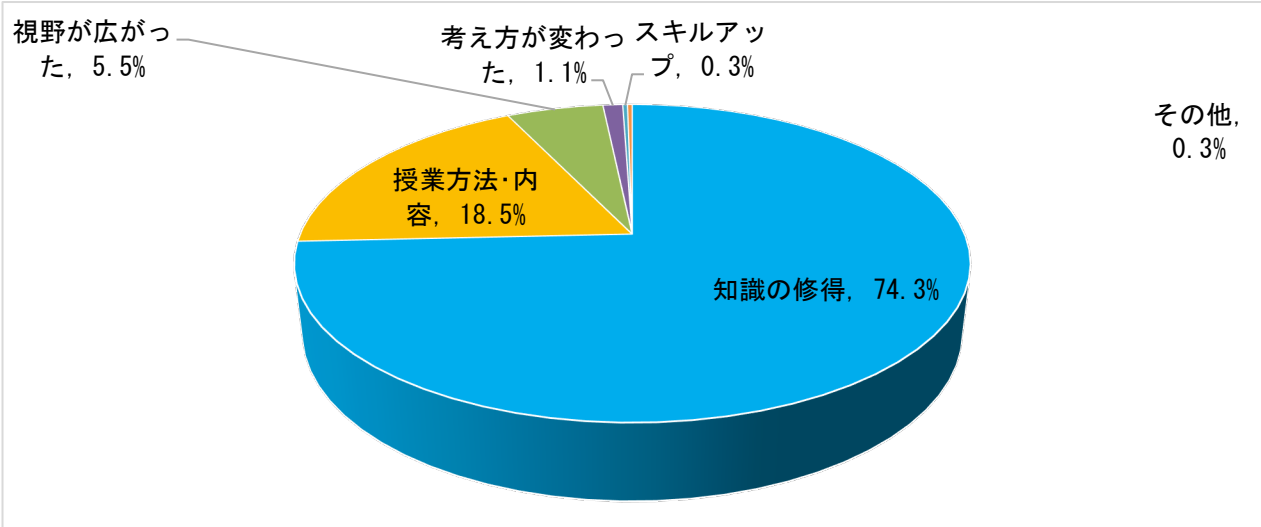
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
30.9	39.6	70.5	—
33.5	38.5	72.0	+ 1.5
44.2	38.5	82.7	+ 10.7

全質問項目の平均



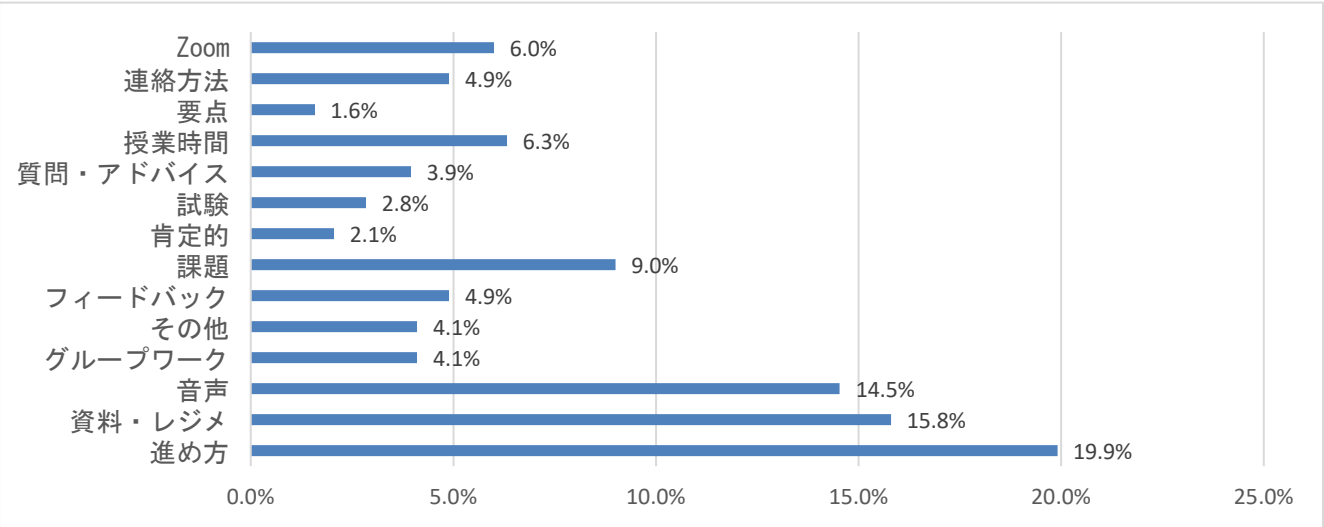
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.9	40.3	72.3	—
34.3	39.4	73.7	+ 1.4
47.9	35.2	83.1	+ 9.4

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 2,211】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	クリティカルシンキングⅠ	98	どのような文章構成にすれば、論理的な文章にすることができるのか分かったこと。批判的にとらえることで自分の視野を広げることができたこと。 クリティカルに考えるということが苦手だったが、この授業の様々な課題を通して、少しできるようになったと感じられている。クリティカルに考える過程を学ぶことができてよかった。
	看護学概論	50	看護の本質を理解することができたことです。看護とは何か、授業を受ける前は漠然としたイメージしか持つことができなかったのですが、この授業で看護について学んだことにより自分の中での答えを出すことができました。 質問を記入した際にはそのフィードバックや、さらに理解を深めることが出来るような資料があった点。看護の基本的な知識を学び、最後に演習として各領域に分かれ演習を行い、理解をさらに深めることが出来た点。
	機能看護学Ⅰ	47	自分だけでなく、レポートを共有することでたくさんの人と意見交換をしたり、自分では気づくことのできなかった視点に目を向けることが出来た。 セルフマネジメントについて、さまざまな動画などを視聴し自分自身にとってセルフマネジメントとはなにか。という問いを考えたことで、最後には自分の言葉でセルフマネジメントを説明できるようになったことがよかった。
	体の仕組みと働きⅠ	48	解剖生理学を学ぶことは看護技術にも欠かせないので、とても役に立った。また、人間の体や仕組みについて本当に納得して学ぶことができた。実際に「そうなんだ」と思うことが非常に多くて役立つ内容を分かりやすく学べて良かった。
医療栄養学科	医学・医療概論	15	医療についての知識がほとんどなかったので、この授業を受けたことによって医療に関する知識を得ることができてよかったと思います。また、管理栄養士として将来、医療現場で働く可能性があるので受講してよかったと思っています
	栄養学総論	12	それぞれの栄養素の過剰症や欠乏症について知り、改善点を探すことができたので良かったです。 基礎栄養学について詳しく学ぶことができたので良かったです。管理栄養士になる上で重要な科目であると思うので、しっかりと復習をする必要があると思いました。
	健康管理概論	13	課題を提出する際に自分の考えを述べる部分があって、授業で受けるだけ（一方的）よりも理解を深められた 健康の身体的な部分だけではなく、ストレスの精神的の面や健康に関する制度のことなどをいろんな面で健康んついて知ることができたことです
医療情報学科	情報ワークショップⅠ	19	その日になにをするのかを最初に細かく説明してくれるので、非常にやりやすかった。 また、分からない場所を質問できる環境も整っており、丁寧に教えてくれたため無事解決できた。 オンラインが何度かあったことで他人の作成したものを知ることができ、知識が深まりました。
	コンピュータシステムⅠ	18	教材を読んだだけではわからないような計算問題のやり方を授業動画で丁寧に教えていたこと。 コンピューターの仕組みを名称、役割ともに知る作業は人体の仕組みを知ることと似ているように思えます。看護学科や栄養学科もある本校でこの授業を学ぶことには大きな価値を見出せました。
	プログラミング演習Ⅰ	10	課題の1問ずつにヒントがあつて難しかったのですが頑張ることができ、完成した時は達成感がとてもあつて良かったです。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 633】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	老年看護援助論Ⅱ	15	学生の理解状況に合わせて事後に動画をアップしてくださっていたのですが、その内容の授業の時にアップして下さったほうがより理解できたし動画も見忘れないと思いました。
			看護展開課題の際、最初から動画で様式の書き方について説明をした方が良かったのではないかと思います。あのPDFでは理解するのに時間がかかり、看護展開課題に取り組むまでにとっても時間を要しました。
	体の仕組みと働きⅠ	14	講義動画が長すぎる回があったのもう少し短くしてほしかった。集中力が続かない。
			授業の動画の数が多くて授業動画を見るだけで、2時間以上かかってしまうのもう少し減らしてほしいなと思いました。
	母性看護援助論Ⅱ	10	ZOOMを用いてグループワークで看護計画を考えていくのは、やや困難であると思った。グループで取り組むより個人で取り込む方が力になると感じた。
医療栄養学科			最終試験の事例が4つあるが1時間の間ですべて解くことが時間的に難しかった。事例数が少ないか、時間がもう少し長く設けられていれば解くことができたと感じた。
	看護学概論	7	もう少し興味を持った他の領域の演習を行ったり、ZOOM等を用いて他の人の意見を聞く機会があればさらに自分の考えを深めることが出来ると感じた。
			グループディスカッションで学んだことが特に印象に残ったのもう少しZOOMの授業をしたかったです。
	総合学習Ⅰ	7	ノートをとる部分が多かったため非常に大変でした。だから、大まかなまとめのプリントなどが1枚あるとよりスムーズに授業を受けられたと思います。何度も何度も止めながら受けていたので、受け終わるまで授業の倍かかりました。
			パワーポイントの内容が文字多めな感じがあったのもう少し改善したほうが良いと思いました。
医療情報学科	給食経営管理論Ⅰ	6	この科目ではレジュメを配ってくださらなかったの授業内容を自分で記録するしかありませんでした。しかし毎回5000文字以上の板書をするのは現実的に無理があり、すぐについていけなくなってしまいました。
			声の速度をもう少しゆっくりにしていただけるとよかったです。雑音が少し気になりました。授業のスライドをコピーできるようにしてほしかったです。
	栄養学演習	4	2人の先生でやるならしっかりと連携を取ってもらわないと混乱する。連携が取れていないからこそ「もう一人の先生に教わったと思うのでできると思います。」と教わっていないことを教わっているかのように思われそのまま授業が進められた。
			課題をもう少し早い時間に差し戻して欲しかった。
	食品学Ⅰ	3	授業内容と出題される問題の難易度に差があってもう少し、解説や考え方などの補足があってほしかった
医療情報学科	臨床医学各論Ⅳ	4	資料の内容を疾患ごとにもっと詳細を記述していただくとわかりやすいです。
	体の仕組みと働きⅠ	4	資料がアバウトすぎて細かいところの記載がなかったためわかりづらかったです。口頭で重要なことを言っていたのですが分かりにくかった。
	IT入門Ⅰ	5	もう少し文字を大きく書いていただけると有難かったです。授業のレポートについてももう少し細かく説明していただけると有難かったです。
	医療情報総合演習Ⅰ	5	メールの件名に提出課題の締切を記載していただけると嬉しいです。

令和2年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○実習・実験科目数 51科目 ○調査対象者数 3,230人（延人数）
○総回答数 2,061件（回答率 63.8%）

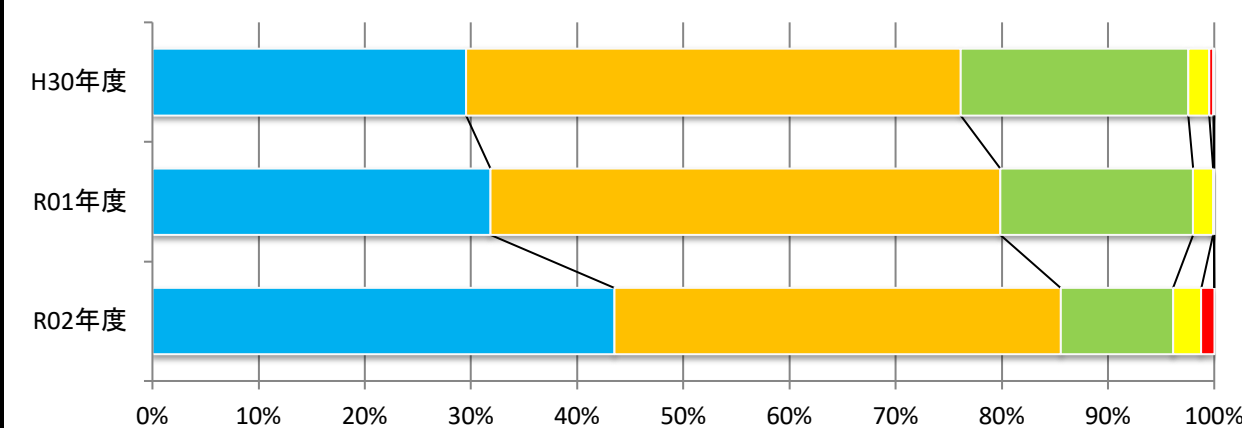
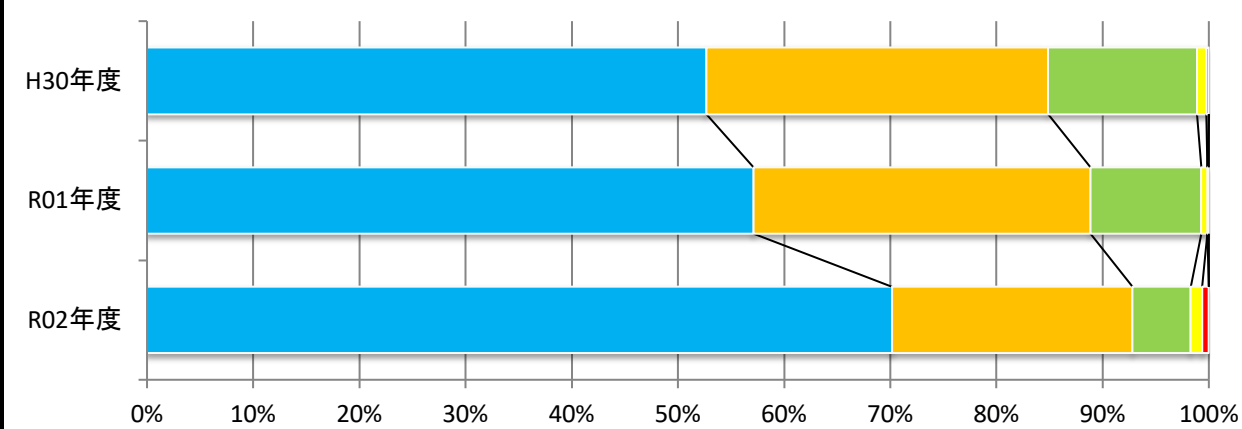
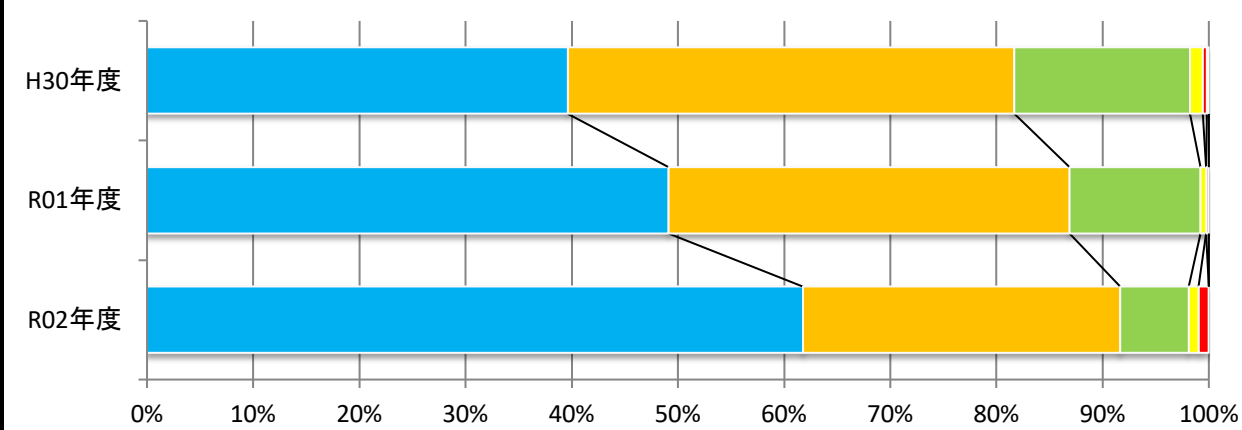
◆ 質問項目別集計結果 〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(36.8) 43.5	(44.5) 42.0	(16.8) 10.6	(1.7) 2.7	(0.1) 1.2	(0.1) 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(57.1) 70.2	(31.8) 22.7	(10.4) 5.5	(0.6) 1.1	0.0 0.6	(0.1) 0.0	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(49.1) 61.8	(37.8) 29.9	(12.3) 6.5	(0.5) 0.9	0.0 1.0	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(47.7) 58.5	(38.0) 31.5	(13.2) 7.5	(0.9) 1.6	(0.0) 0.9	(0.2) 0.0	(100) 100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(36.8) 46.4	(46.1) 40.7	(15.6) 10.0	(1.3) 1.9	(0.2) 1.0	(0.0) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(43.3) 55.8	(43.8) 34.7	(11.8) 7.4	(0.9) 1.0	(0.1) 1.0	(0.1) 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(43.9) 53.9	(41.0) 34.0	(13.6) 9.6	(1.2) 1.6	(0.3) 1.0	(0.0) 0.0	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(48.6) 59.7	(37.4) 31.5	(12.8) 6.8	(0.7) 1.2	(0.2) 0.8	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(43.2) 54.0	(42.1) 35.2	(13.4) 8.5	(1.0) 1.4	(0.2) 0.9	(0.1) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(34.3) 44.6	(40.5) 32.9	(21.6) 18.6	(2.2) 2.1	(1.4) 1.8	(0.0) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(44.2) 52.2	(39.8) 34.3	(14.1) 10.9	(1.5) 1.7	(0.4) 1.0	(0.0) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(49.3) 56.4	(36.2) 30.3	(12.7) 10.8	(1.3) 1.6	(0.4) 0.9	(0.1) 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(45.5) 50.5	(37.3) 28.7	(14.4) 16.4	(1.6) 2.8	(1.1) 1.7	(0.1) 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(46.7) 55.7	(37.5) 32.4	(13.5) 8.7	(1.5) 1.8	(0.7) 1.5	(0.1) 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(50.0) 61.7	(36.0) 29.0	(12.6) 7.8	(0.9) 0.7	(0.3) 0.8	(0.2) 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(45.9) 48.2	(37.7) 31.4	(13.9) 14.6	(1.6) 3.7	(0.8) 2.0	(0.1) 0.0	(100) 100
計	(45.1) 52.8	(37.9) 31.3	(14.7) 12.5	(1.5) 2.1	(0.7) 1.4	(0.1) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 34.3	(-) 27.4	(-) 20.2	(-) 11.2	(-) 6.9	(-) 0.0	(-) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(46.9) 47.2	(37.4) 36.5	(12.3) 11.2	(1.0) 3.5	(0.4) 1.6	(2.0) 0.0	(100) 100
計	(46.9) 40.7	(37.4) 32.0	(12.3) 15.7	(1.0) 7.4	(0.4) 4.3	(2.0) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(45.7) 51.5	(38.8) 32.5	(13.4) 11.0	(1.1) 3.1	(0.3) 1.9	(0.6) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	59科目	50科目	51科目
調査対象者数	3,168人	2,712人	3,230人
総回答数（回答率）	2,563枚（80.9%）	2,299枚（85.0%）	2,061件（63.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う やや そう思う どちらとも いえない そう 思わない 全くそう 思わない 無回答																			
I あなた自身について																			
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>29.5</td><td>46.6</td><td>76.1</td><td>—</td></tr><tr><td>29.5</td><td>44.5</td><td>74.0</td><td>△ 2.1</td></tr><tr><td>43.5</td><td>42.0</td><td>85.5</td><td>+ 11.5</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	29.5	46.6	76.1	—	29.5	44.5	74.0	△ 2.1	43.5	42.0	85.5	+ 11.5	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
29.5	46.6	76.1	—																
29.5	44.5	74.0	△ 2.1																
43.5	42.0	85.5	+ 11.5																
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>52.7</td><td>32.2</td><td>84.9</td><td>—</td></tr><tr><td>57.1</td><td>31.8</td><td>88.9</td><td>+ 4.0</td></tr><tr><td>70.2</td><td>22.7</td><td>92.8</td><td>+ 3.9</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	52.7	32.2	84.9	—	57.1	31.8	88.9	+ 4.0	70.2	22.7	92.8	+ 3.9	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
52.7	32.2	84.9	—																
57.1	31.8	88.9	+ 4.0																
70.2	22.7	92.8	+ 3.9																
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>39.6</td><td>42.1</td><td>81.7</td><td>—</td></tr><tr><td>49.1</td><td>37.8</td><td>86.9</td><td>+ 5.2</td></tr><tr><td>61.8</td><td>29.9</td><td>91.7</td><td>+ 4.7</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	39.6	42.1	81.7	—	49.1	37.8	86.9	+ 5.2	61.8	29.9	91.7	+ 4.7	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
39.6	42.1	81.7	—																
49.1	37.8	86.9	+ 5.2																
61.8	29.9	91.7	+ 4.7																
<u>「計」（質問項目 1 ～ 3）</u>		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>40.6</td><td>40.3</td><td>80.9</td><td>—</td></tr><tr><td>47.7</td><td>38.0</td><td>85.7</td><td>+ 4.8</td></tr><tr><td>58.5</td><td>31.5</td><td>90.0</td><td>+ 4.3</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	40.6	40.3	80.9	—	47.7	38.0	85.7	+ 4.8	58.5	31.5	90.0	+ 4.3	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
40.6	40.3	80.9	—																
47.7	38.0	85.7	+ 4.8																
58.5	31.5	90.0	+ 4.3																

Ⅱ 実習・実験内容について																			
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>26.1</td><td>47.3</td><td>73.4</td><td>—</td></tr><tr><td>36.8</td><td>46.1</td><td>82.9</td><td>+ 9.5</td></tr><tr><td>46.4</td><td>40.7</td><td>87.1</td><td>+ 4.2</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	26.1	47.3	73.4	—	36.8	46.1	82.9	+ 9.5	46.4	40.7	87.1	+ 4.2
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
26.1	47.3	73.4	—																
36.8	46.1	82.9	+ 9.5																
46.4	40.7	87.1	+ 4.2																
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>33.7</td><td>43.9</td><td>77.6</td><td>—</td></tr><tr><td>43.3</td><td>43.8</td><td>87.1</td><td>+ 9.5</td></tr><tr><td>55.8</td><td>34.7</td><td>90.5</td><td>+ 3.4</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	33.7	43.9	77.6	—	43.3	43.8	87.1	+ 9.5	55.8	34.7	90.5	+ 3.4
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
33.7	43.9	77.6	—																
43.3	43.8	87.1	+ 9.5																
55.8	34.7	90.5	+ 3.4																
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>33.4</td><td>42.0</td><td>75.5</td><td>—</td></tr><tr><td>43.9</td><td>41.0</td><td>85.0</td><td>+ 9.5</td></tr><tr><td>53.9</td><td>34.0</td><td>87.9</td><td>+ 2.9</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	33.4	42.0	75.5	—	43.9	41.0	85.0	+ 9.5	53.9	34.0	87.9	+ 2.9
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
33.4	42.0	75.5	—																
43.9	41.0	85.0	+ 9.5																
53.9	34.0	87.9	+ 2.9																
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>37.7</td><td>41.1</td><td>78.8</td><td>—</td></tr><tr><td>48.6</td><td>37.4</td><td>86.0</td><td>+ 7.3</td></tr><tr><td>59.7</td><td>31.5</td><td>91.2</td><td>+ 5.2</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	37.7	41.1	78.8	—	48.6	37.4	86.0	+ 7.3	59.7	31.5	91.2	+ 5.2
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
37.7	41.1	78.8	—																
48.6	37.4	86.0	+ 7.3																
59.7	31.5	91.2	+ 5.2																
「計」（質問項目 4 ～7）																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>32.7</td><td>43.6</td><td>76.3</td><td>—</td></tr><tr><td>43.2</td><td>42.1</td><td>85.3</td><td>+ 8.9</td></tr><tr><td>54.0</td><td>35.2</td><td>89.2</td><td>+ 3.9</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	32.7	43.6	76.3	—	43.2	42.1	85.3	+ 8.9	54.0	35.2	89.2	+ 3.9
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
32.7	43.6	76.3	—																
43.2	42.1	85.3	+ 8.9																
54.0	35.2	89.2	+ 3.9																

Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26.1	40.3	66.4	—
34.3	40.5	74.8	+ 8.4
44.6	32.9	77.5	+ 2.7

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.2	41.5	75.7	—
44.2	39.8	84.0	+ 8.3
52.2	34.3	86.5	+ 2.5

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.6	38.2	76.8	—
49.3	36.2	85.5	+ 8.7
56.4	30.3	86.7	+ 1.2

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.6	38.8	73.4	—
45.5	37.3	82.8	+ 9.4
50.5	28.7	79.2	△ 3.6

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。

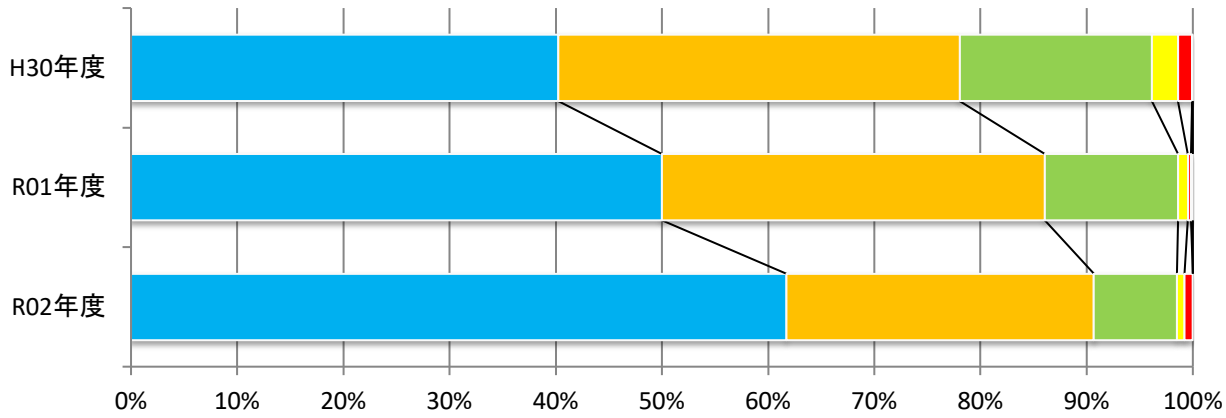
H30年度

R01年度

R02年度

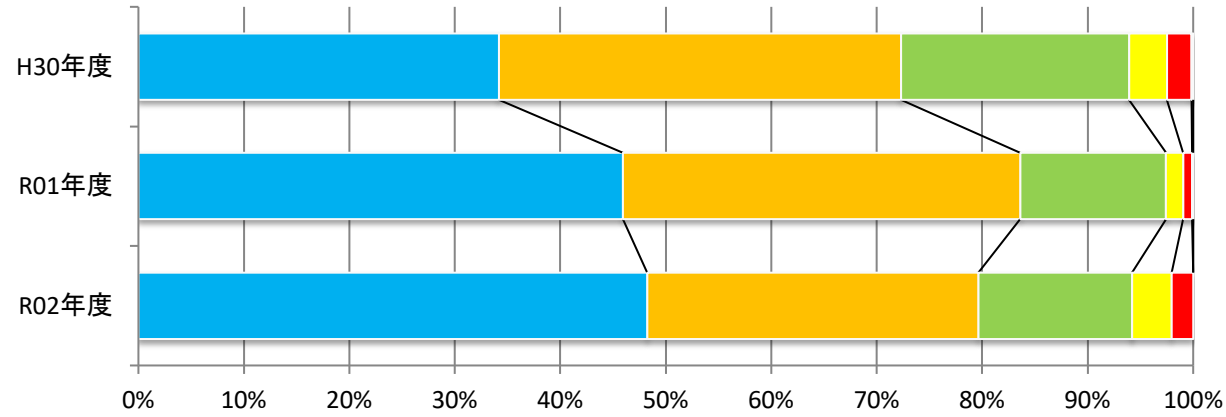
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.4	39.3	75.7	—
46.7	37.5	84.2	+ 8.5
55.7	32.4	88.1	+ 3.8

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



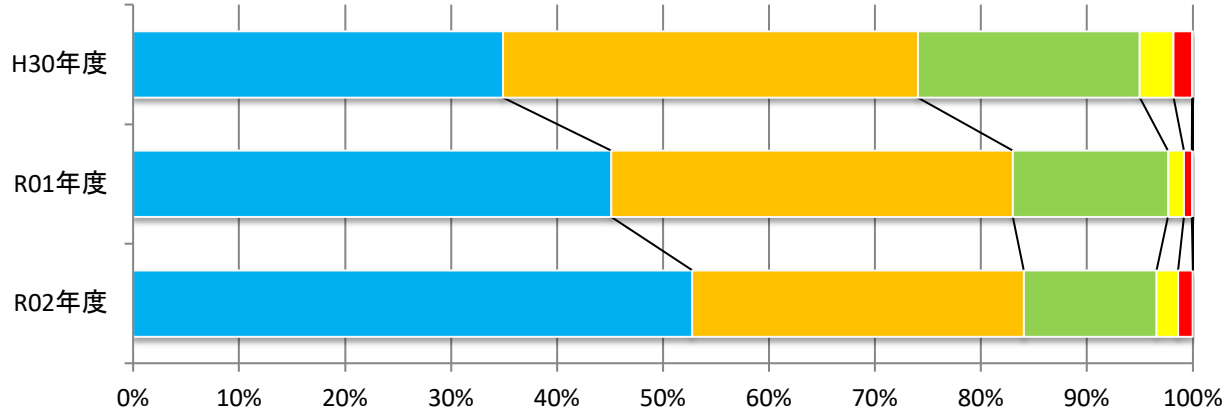
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.2	37.8	78.0	—
50.0	36.0	86.0	+ 8.0
61.7	29.0	90.7	+ 4.6

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.2	38.1	72.3	—
45.9	37.7	83.7	+ 11.4
48.2	31.4	79.7	△ 4.0

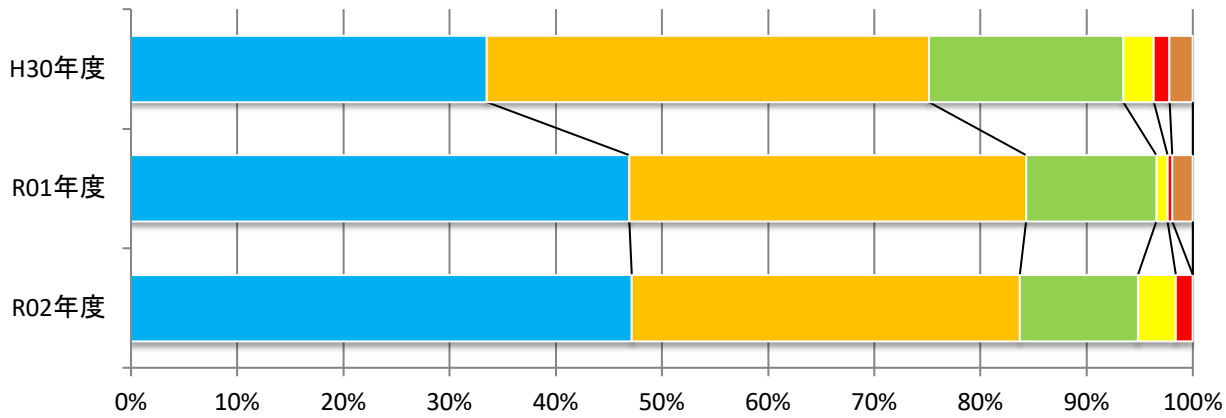
「計」(質問項目 8 ～ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.9	39.1	74.0	—
45.1	37.9	83.0	+ 9.0
52.8	31.3	84.0	+ 1.0

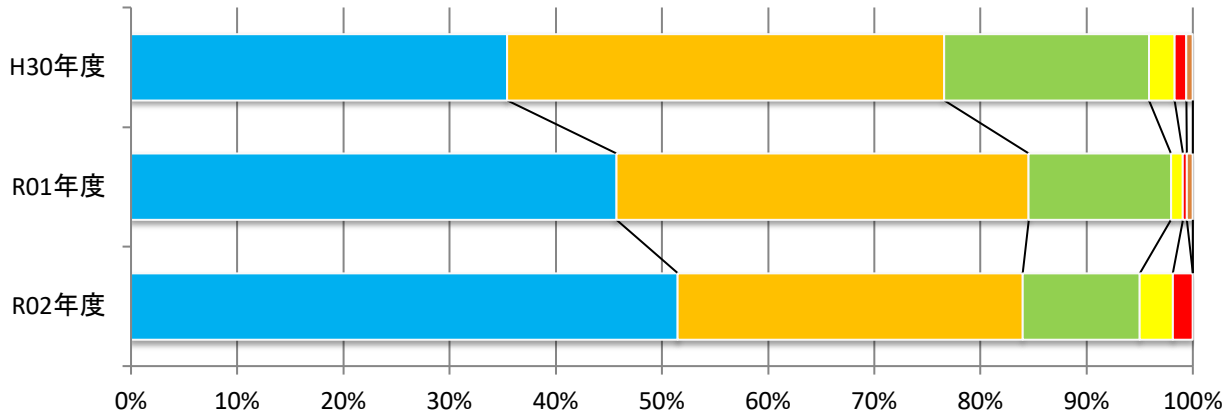
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



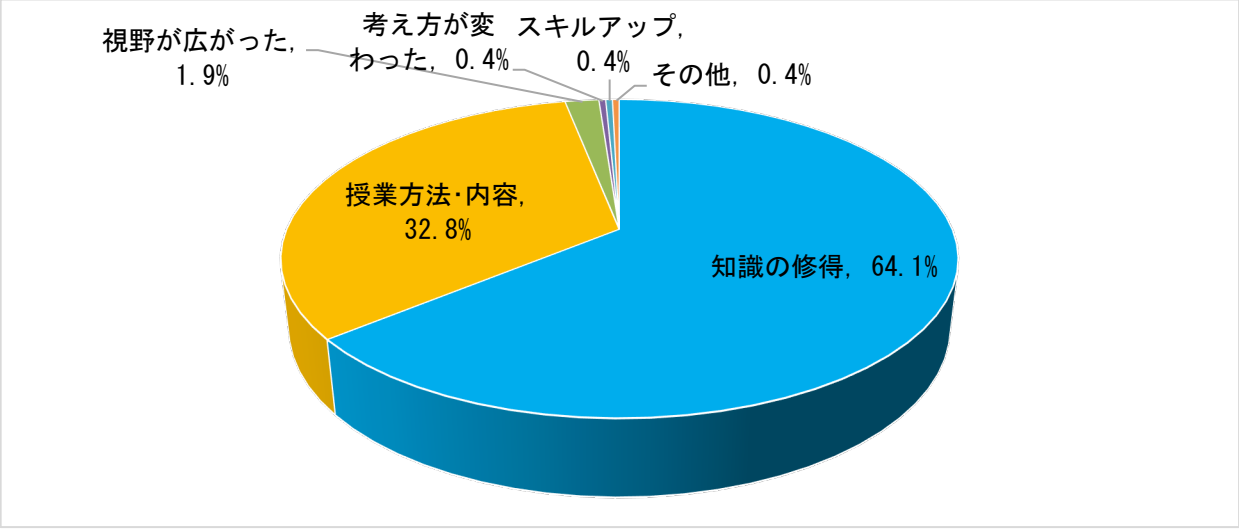
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.5	41.6	75.1	—
46.9	37.4	84.3	+ 9.2
47.2	36.5	83.7	△ 0.6

全質問項目の平均



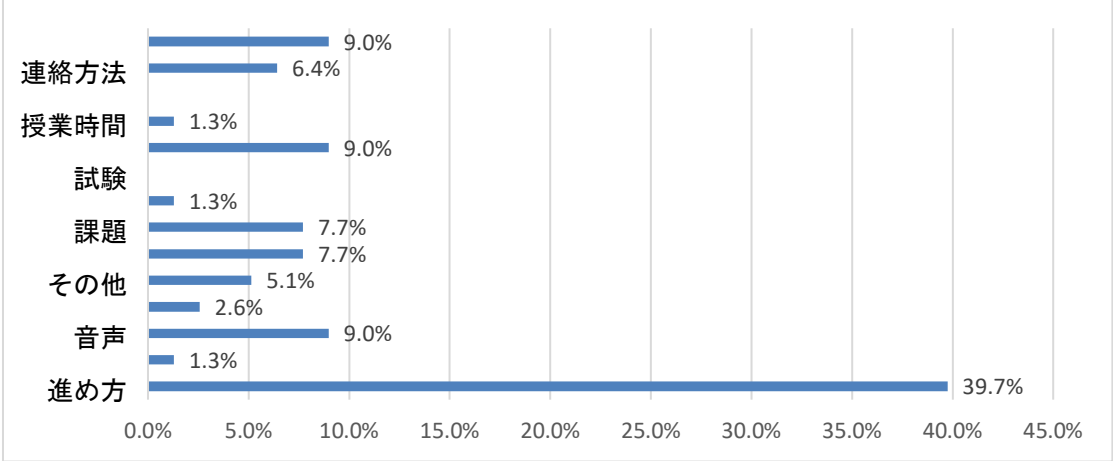
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.4	41.2	76.6	—
45.7	38.8	84.6	+ 8.0
51.5	32.5	84.0	△ 0.6

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 259】



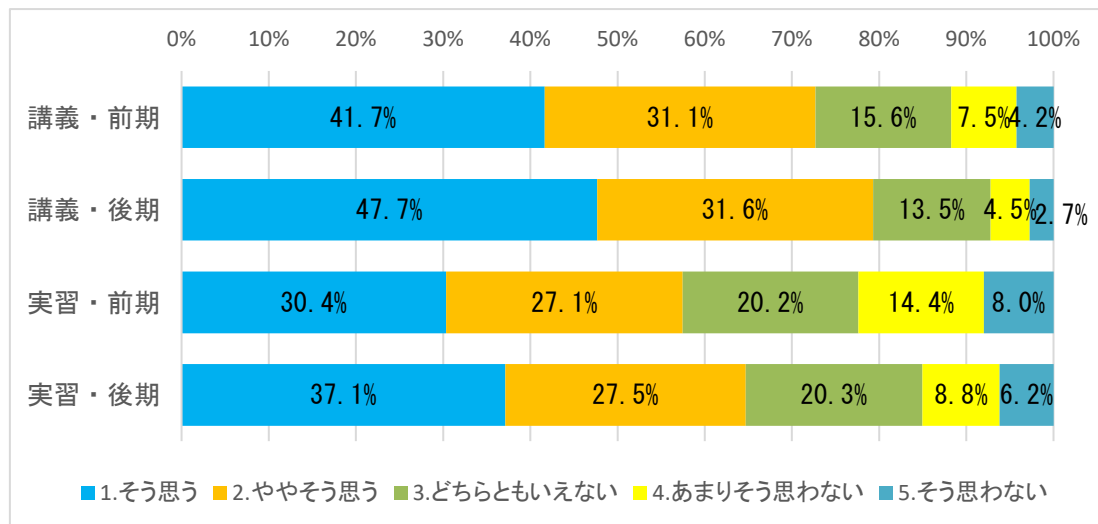
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ	39	初めての实習で、学校で生徒同士で練習していた時とは大きく違うということが分かったり、個別性の意味を理解することが出来たり、自分の出来ない所が分かったりすることが出来て良かった。
			実際に患者さんに関わることが出来たこと。記録を通して、患者さんに今何が必要であるのか、自分に何ができるのかを熟考し、挑戦することができたこと。
	精神看護学実習	17	先生方が患者役をやってくださったため、オンラインでの実習では学ぶことが難しいコミュニケーションについて実践的に学ぶことができた。
			プロセスレコードを記載する実習は、チームメンバーがどのように患者さんに話しかけているのかが分かり、それは、臨地実習ではいつも分からない所であったため、とても勉強になりました。 精神障害を持つ患者とのコミュニケーションを通して自身のコミュニケーションについて考えることができた。
医療栄養学科	調理学実習Ⅰ	29	遠隔にはなってしまったが、全行程を自分で行うという経験が出来たので、全スキルが安定してつけられたと思います。
			調理の基礎を最初から知ることができたのはよかったと思うし、今までの包丁の持ち方、使い方を見直すことができて良かったと思う。
	食品化学実験	23	自分で実験していないので、最初はどの数字がどれなのかわからず授業を受けていましたが、考察などをまとめてみて何の目的で実験をしているのかをわかるようになり、日常生活で気にするようになりました。
			実際に実験をすることはできませんでしたが、参考動画なども紹介してくださり、ある程度は器具の扱いかた等を理解できたので、良かったと思います。
	食品学実験	9	普段飲んでいる飲料にどのくらいの糖分が入っているのかを実験をしたことがなかったので、新しい発見に気が付くことができたので、良かったです。
医療情報学科	スポーツ実習	1	医療の科目でも役に立つことをしていたところが良かった

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 78】

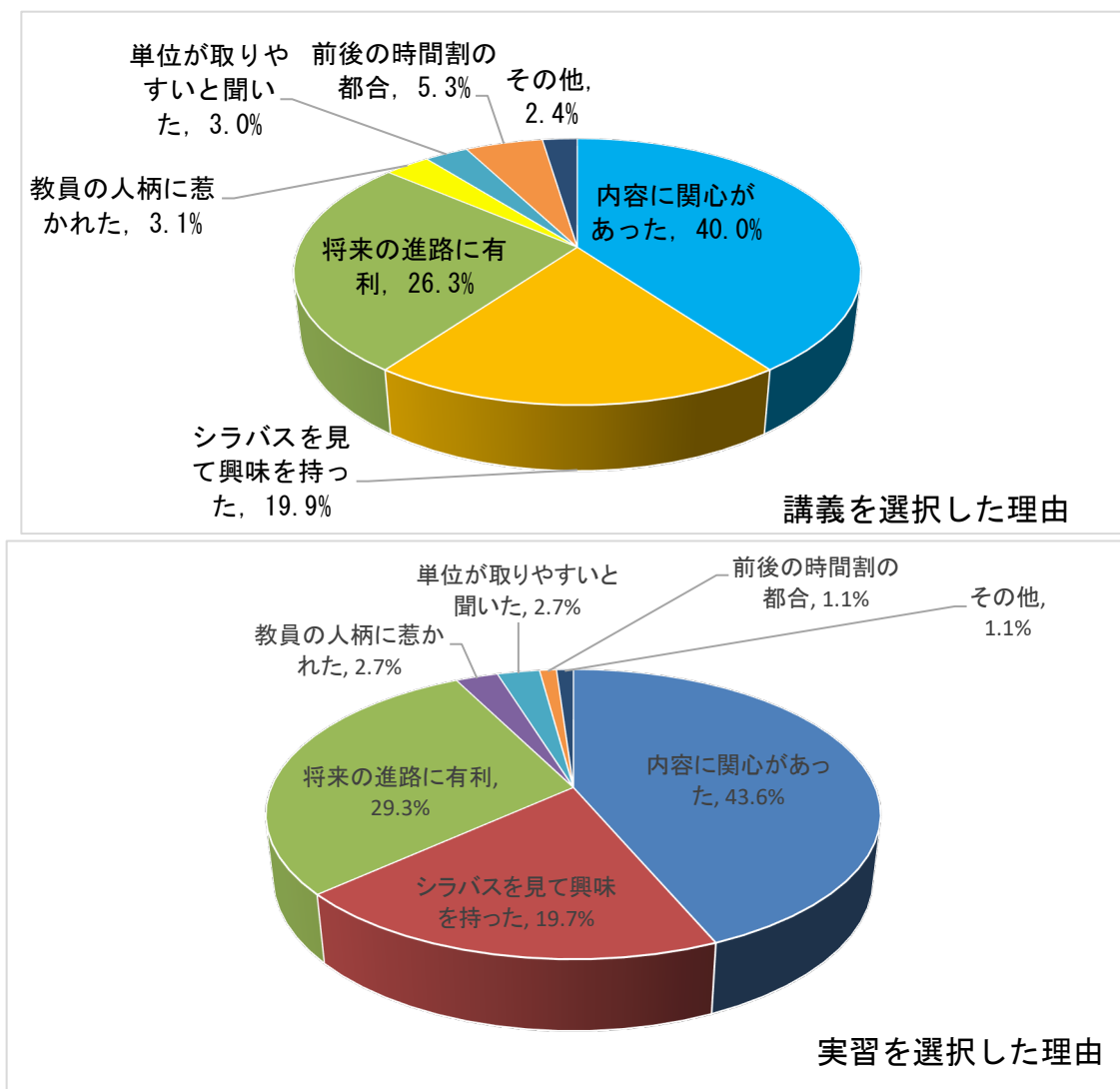


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	母性・小児看護学実習	8	母性・小児ともに個人ワークが主だったため、他者の意見や新しい気づきなどが他の実習に比べて少なく、これなら座学と大差がないように感じたため、教員との話し合いや、グループでの話し合いの機会を他の領域と同じように作るべき。
	老年・在宅看護学実習	9	各教員で指示が違うときがあり混乱した。情報を統一してほしい
			改善は難しいことなのですが、臨地に行けた学生と、行けなかった学生の学習量がかなり違うと感じたので、来年の在宅・老年看護実習は全員臨地に行けるといいなと思っています。（高齢者の反応や、認知症高齢者の1日1日の変化などは臨地でしか感じることはできないものだととても感じた）
	看護の統合実習	3	領域や担当教員によって、最終レポートや発表の仕方・形式に差がありすぎる。準備や作業にかかった労力があまりにも違いすぎて違う科目かと思うほどだった。
医療栄養学科	公衆栄養学実習	5	説明と補足が足りていなくて課題取り組みの際とても分かりづらかった。やりづらかった。授業や課題のところで少し説明と補足を入れてほしかったです。
	調理学実習Ⅰ	9	もしも計算などが間違っていた時にすぐに確認することが出来なくて少し不安だったため、次の授業のときに「前回の食材の分量の答え」といったような、ちゃんと分量の計算が合っているか確認できるものなどの資料があるととても助かります。
	食品加工学実習	3	この授業は実際やってみないとほんとにわからない授業なので、この授業だけは、遠隔操作の授業でやるのではなく、実際に学校に行ってやるべきだったと思いました。先生がやっているのを見るだけではちゃんとした学びにはつながらないと感じました。
医療情報学科	情報基礎実験Ⅱ	2	先生の確認待ちをするのではなく、セルフチェックをして自分で進める方がいいと思います。

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和2年度 東が丘看護学部および東が丘・立川看護学部臨床看護学コース の授業評価結果に対する考察

副学長・東が丘看護学部長
山西 文子

1. 授業評価の結果について

- 授業評価の対象になった科目数は、東が丘看護学部及び臨床看護学コース 107 科目、立川看護学部及び災害看護学コース 83 科目で、授業評価に係る質問に回答した学生数は、東が丘及び臨床コース延べ 9,497 人（回答率:77.9%）、立川及び災害コース延べ 8,332 人（回答率 81.6%）であった。回答率は前年より 8 ポイント低かったが、コロナ禍にあっても授業評価に対する学生の関心・意識は比較的高いことを示しています。

自由記述の内容も含めて授業評価の結果を各教員に配布し、導入可能な科目に於いてはリアクションシートの活用、ルーブリック評価の活用による学生へのフィードバックを重ね丁寧に実施してきた。また臨地、オンラインに関わらず、科目によってはアクティブ・ラーニングによる方法も導入し、より学生の学びやすさ、満足度を上げるための追及・工夫の必要性を教員が認識し、努力をしている教員が多くなっている。ICT 活用については相手の反応を確認しながら展開可能になるように領域教員間で繰り返し試行し、工夫を重ねながら授業のあり方の改善に鋭意取り組んできた結果と前向きに受け止めます。更に今後も謙虚に教員一同で努力して参りたいと思っております。

- 学生自身の授業態度（事前の十分な準備、積極的な出席、意欲的取り組み）については、3 つの質問項目平均は 90.1%の学生が肯定的な回答（「そう思う」及び「ややそう思う」）をしています。内訳は積極的な出席は 94.1%ですが、事前の十分な準備の質問項目は 84.5%とやや低くなっています。昨年と比較すると、否定的な回答（「どちらともいえない」を含む）をした学生は約 14.9%であり、前年度より消極的な回答は低くなっています。さらに「授業に対して積極的に取り組んだ」は、91.5%と全ての項目の中で高い結果となっており、コロナ禍で ICT 活用の授業形態も影響しているかも知れません。約 15%の否定的な意見の学生のモチベーション、授業前の十分な準備をいかに高めていくかが今後の課題と受け止めています。

本学部学生は、全体的にコロナ禍でアルバイト時間が短くなり生活費の困窮による支援を望んでいる学生が三割近く出ていました。1 日当たりの自主学習時間（シラバス上に明示されている事前学習・事後学習も含む）が、全国の文系・理系を合わせた大学生を対象にした調査の結果と比べて短い、深夜にわたるアルバイトをしている学生がかなりの割合いたという結果が一昨年度得られています。コロナ禍においては、アルバイト時間が短くなり、生活時間の調査は実施しておりませんが、学生自身の学修に対する姿勢が向上している結果から、学習に時間が使用された可能性があります。授業に意欲的に取り組むことができる学生生活のあり方について、更に学生・保護者ともに指導・支援を検討していく必要があります。

- 授業内容（4項目）に関する評価については、90.1%の学生が肯定的な回答をしています。その内容の内訳は、「授業の内容をよく理解できたか」「基本的な専門知識が得られたか」「自分にとって新しい考え方や発想が得られたか」「発展的な学びにつながる内容であったか」の質問項目です。講義・演習科目（95科目）では約10%、実習・実験科目（12科目）では5%弱の学生が、「どちらともいえない」と回答し、講義・演習科目の中には「理解できない」「専門知識が得られなかった」とネガティブな回答をした学生が僅かに存在しています。授業内容については、学部としてカリキュラム改定もあることから、各教員の教育力の向上を図るようFD活動に積極的に参加するよう推進したいと考えております。

- 教員の考え方・姿勢に関する質問項目評価（8項目）に関しては、講義・演習科目において肯定的回答は約83.3%、昨年より7ポイント向上。実習・実験科目では約90.7%の学生が肯定的な回答をしており、昨年より約5ポイント向上しています。今回はどの項目もプラス評価となっております。

しかし、「シラバスは学修するうえで役に立ったと思うか」の質問に対する肯定的な回答は、他の質問項目に比べて低く、講義・演習科目（95科目）において66.1%であり、実習・実験科目（12科目）においては73.1%となり、どちらも前年度より3ポイント弱低下しております。現在、シラバスは全科目電子化され学生自身でデスクネットに入り確認するようになっていきます。

自らデータを確認している学生は少なく、印刷して配布してほしいと希望しております。授業の開始時にガイダンスを実施する時間にシラバス・詳細な授業計画の印刷したものを配布している場合もありますが、アンケートにも3割程度の学生が反応しております。

他の項目に関しては、講義・演習科目について「学生が質問や意見を述べられるように配慮したか」77.7%、「学生の理解度を確認しながら授業を行ったか」76.8%の2項目は他の項目よりネガティブ回答がありました。

今後は授業に先立ち全ての学生が目を通し、事前学習、事後学習に「役立つ」シラバスにしていく必要があります。また、チャット機能や手を挙げる機能を使用することなど、途中で質問を確認すること、自由に発言できるように工夫が必要と考えます。

- 自由記述に関する結果については、授業に対する肯定的評価は313件、授業に対する要望等は40件、施設・設備等に関する要望等は1件でした。

肯定的評価の例は、「意見交換を行ったり、グループ全体でひとつのものを作り上げたりすることによって凄く絆が深まった」「看護を行う上でパソコンの利用方法を知ることが不可欠。情報の管理、資料作成など学修した内容を身に付けていきたい」「ナーシングスキルの活用や授業講義の動画を視聴するなど家での環境でできることを最大有効活用できた」「先生方が実習環境はどうか、大丈夫か頻繁に確認してくれた。次の実習が良くなるように常に考えていることが伝わり本当に実習が行いやすかった」「頭に残るように例を挙げて説明してくれたのでとても分かり易かった」などであります。

要望等についての例は、「先生同士の情報伝達が出来ておらず、内容がバラバラであり、誰の意見を聞き取れば良いのか不明確な場面が多々ある」「教科書

もレジュメの配布もなかったのは不満」「声の聞き取りやすいオンラインで受講したかった」「教員それぞれの意見がバラバラで指導もあまりなく、精神的苦痛になるような姿勢」などでした。これらの要望は出来るだけ解決の方向に向くようにしたいと思っております。

2. 授業において工夫した点について

- 講義の際に配布する資料については、学生からの要望が毎年繰返し出されていますが、資料は学生の理解を助けるうえでの重要な教材であり、教員の個別対応で徐々に改善でき、要望は減少しました。自由記載の中にありました「臨床のことを踏まえて教えて貰えてよかった」「授業のレジュメがどれも全部わかり易く、実習や今後の学習にずっと使えると思いました」とあるように肯定的な評価が増えました。しかし、オムニバス方式で外部講師と授業を計画している場合の非常勤講師へのサポートを、学生のニーズを知って授業資料や映像の確認等の支援がもっと必要だということが学生の評価から受け取れるので、サポート体制を取れるよう検討・工夫していきたいと考えております。
- 「実習・実験」科目に対しては、すべての評価項目の結果が高く出ています。本学部は、基本的には臨床看護学コースの全実習施設の関係者に参加いただき実施してきた「実習施設説明会」や東京医療センターとの間で「よい実習」を目指して進めている「実習連携会議」を通して実習指導者との間で検討してきた成果ではないかと考えています。「実習で目標とする看護師さんに出会えました」との記述は、毎年見られ指導者側の励みになっています。また、コロナ禍であっても、教員と実習指導者との信頼関係が深まっていることから、実習施設に入院中の患者事例を患者さんの許可を得て、情報提供され、かつ学内に実習指導者も来られ直接カンファレンスに参加、指導を行って下さるという非常にリアルな状況での指導が行われたことも評価結果が高く出た原因と考えられます。
- 本学部のカリキュラムの特徴である、1 年次前期セメスターから基礎看護学実習を計画、さらに 1～4 年次全ての学年に「実習」を計画していることに対して学生から高い評価を得ています。この点に関しては、就職支援委員会が中心となって進めている「卒業生と語る会」「オープンキャンパスでの在校生の説明」においても、卒業生や入学希望者から高く評価されています。実習指導の差が少なくなるように教員や実習指導者の指導力アップに繋がる努力も検討したいと思っています

3. 今後の授業への生かし方について

- 授業評価以外の本学部の教育全体に対する指標として「卒業時の看護技術の到達目標の達成レベル」「看護師国家試験の合格率」をあげること为目标に掲げております。「卒業時の看護技術到達度」(173 項目)に関して、臨床看護学コースとしては、目標レベルをほぼ 100%達成しており、講義、演習・実習の連携等が効果的・効率的に進められています。最近就職した 3 施設の看護部長さんから問題意識が高く、根拠についての的を得た質問をされる卒業生が

多いと言われていることも、後輩・教員の励みになっています。

また「看護師国家試験の合格率」（臨床看護学コース・災害看護学コース：97.4%）に関しては目標の100%を達成することはできませんでしたが、全国看護系大学の平均合格率（95.4%）を上回っており、授業評価結果と合わせて、効果的、効率的な授業の提供ができていると考えています。本学部が目標としている「tomorrow's Nurse の育成」を目指して教職員一同、教育の質の向上にさらに努めてまいります。

- 卒業研究について、本学部ではグループによる「英語論文のクリティーク 1 単位」「卒業研究 3 単位」の指導を行ってきております。そこでは看護研究のプロセスを学びます。また必要な研究倫理・倫理申請、利益相反、ガバナンスなどの考え方の基礎を修得します。科学的・論理的思考はもとよりグループダイナミックス、論文の書き方、研究発表の仕方も踏襲され看護職としての基礎的な総合力、キャリア開発能力が身につきます。そのために大学として、FD マップを作成し、定期的に研修会を持ち、教員の教育・研究に対する指導力を身に付けていくように尽力いたしております。
- 学習環境とくに講義室の整備に対して学生から毎年改善の要望が出されているので大学経営側に働きかけていきます。コロナ禍で学年を 2 グループに分け、講義する場合の環境において、講師がいない教室の学生からは声が聴きにくい、迫力が伝わらない、映像が明確ではない等の意見はあるが、マスク下、アクリルボードを通しての講義であるので個々に教員は努力しているが、席の間隔も空けており、望ましい教育環境ではないとは思っているが、学生が集中できるよう、教育環境の整備・充実を図ってまいります。

4. その他

- 最近、体調不良、単位未履修などの理由で、留年、休学、退学する学生が増加傾向にあります。一人ひとりの学生は、健康に関わる専門職を目指していることをしっかり認識し、セルフコントロール能力を高めていくことが必要であり、大学として支援を強化しております。就職施設の病院幹部から優秀な卒業生が欲しいと明確に言われるようになり、採用試験においても一度で内定結果が貰えるような指導を重ねて参ります。

以上

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科

○全科目数 107科目 ○調査対象者数 9,497人（延人数）
○総回答数 7,400件（回答率 77.9%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈質問項目番号の（ ）は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

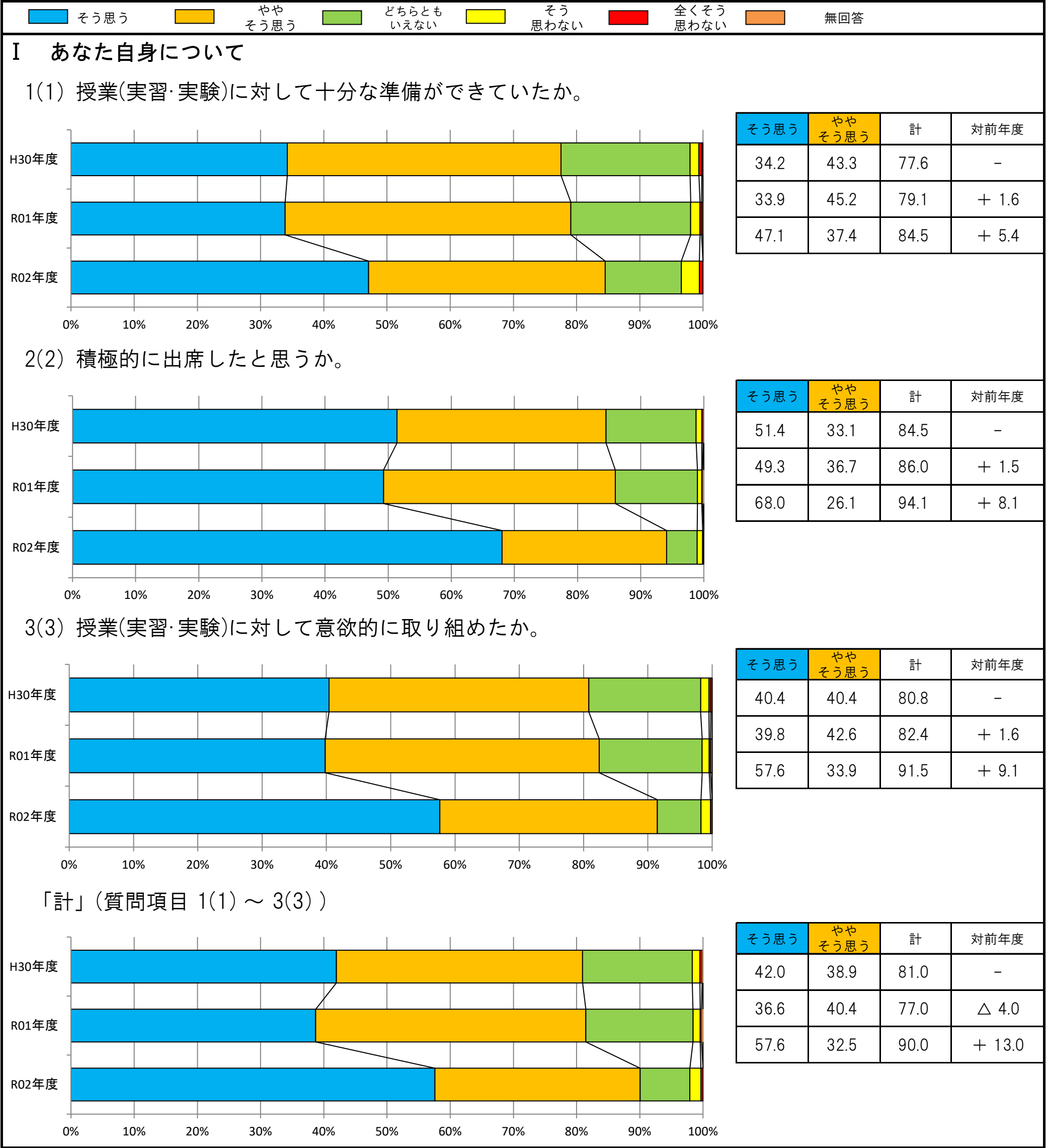
質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(33.9) 47.1	(45.2) 37.4	(19.0) 12.0	(1.5) 2.9	(0.2) 0.6	(0.2) 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(49.3) 68.0	(36.7) 26.1	(13.0) 4.8	(0.7) 0.9	(0.1) 0.2	(0.2) 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(39.8) 57.6	(42.6) 33.9	(16.0) 6.8	(1.1) 1.5	(0.2) 0.3	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(41.0) 57.6	(41.5) 32.5	(16.0) 7.9	(1.1) 1.7	(0.2) 0.3	(0.2) 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(33.8) 47.2	(45.4) 41.1	(17.9) 9.3	(2.2) 1.9	(0.5) 0.4	(0.2) 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(40.6) 57.6	(41.6) 34.1	(15.3) 6.7	(1.7) 1.3	(0.6) 0.3	(0.2) 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(41.2) 55.3	(40.1) 34.0	(16.0) 8.8	(1.9) 1.5	(0.6) 0.5	(0.2) 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(43.0) 60.9	(39.0) 30.7	(15.2) 6.7	(1.7) 1.2	(0.6) 0.4	(0.5) 0.0	(100) 100
計	(39.7) 55.2	(41.5) 35.0	(16.1) 7.9	(1.9) 1.5	(0.6) 0.4	(0.3) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(31.7) 38.3	(37.3) 28.6	(24.9) 23.4	(4.2) 6.3	(1.6) 3.4	(0.3) 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(41.3) 62.0	(40.0) 28.3	(15.9) 7.4	(1.9) 1.7	(0.6) 0.6	(0.3) 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(43.0) 60.2	(37.3) 27.7	(14.9) 8.8	(2.3) 2.3	(0.8) 1.1	(1.7) 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(40.9) 51.6	(37.4) 27.8	(18.0) 14.6	(2.5) 3.9	(0.8) 2.0	(0.4) 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(44.1) 63.3	(37.7) 26.3	(15.4) 7.5	(1.8) 2.0	(0.7) 0.9	(0.3) 0.0	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(45.5) 66.5	(37.5) 24.6	(14.7) 6.3	(1.5) 1.6	(0.5) 1.0	(0.3) 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(41.0) 50.1	(37.6) 28.7	(17.5) 15.1	(2.5) 4.0	(1.0) 2.1	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(41.1) 56.0	(37.8) 27.4	(17.3) 11.9	(2.4) 3.1	(0.9) 1.6	(0.5) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 49.9	(-) 28.7	(-) 12.3	(-) 6.2	(-) 2.8	(-) 0.0	(-) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(41.4) 52.6	(38.0) 34.9	(14.7) 9.3	(2.0) 2.3	(0.8) 0.9	(3.1) 0.0	(100) 100
計	(35.1) 51.2	(38.4) 31.8	(19.7) 10.8	(2.6) 4.3	(1.3) 1.9	(2.9) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(39.2) 55.0	(39.8) 31.7	(17.3) 9.6	(2.0) 2.7	(0.7) 1.0	(1.0) 0.0	(100.0) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

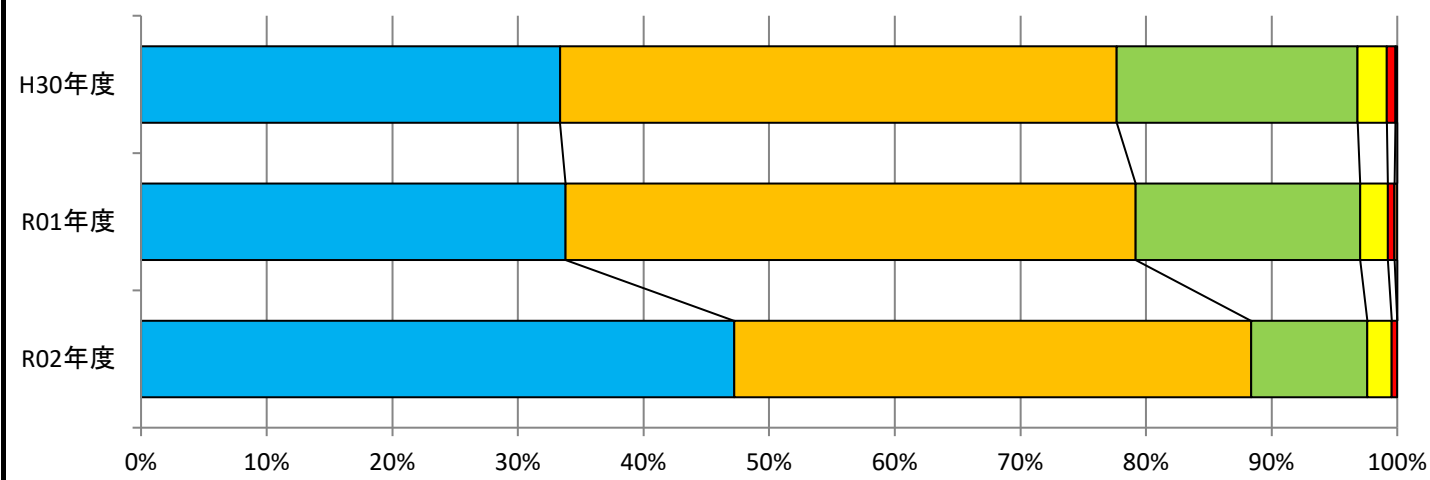
	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	190科目	211科目	195科目	192科目	107科目
調査対象者数	18,836人	20,005人	18,794人	18,211人	9,497人
総回答数(回答率)	17,709枚(94.0%)	17,180枚(85.9%)	17,185枚(91.4%)	17,510枚(96.2%)	7,400件(77.9%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



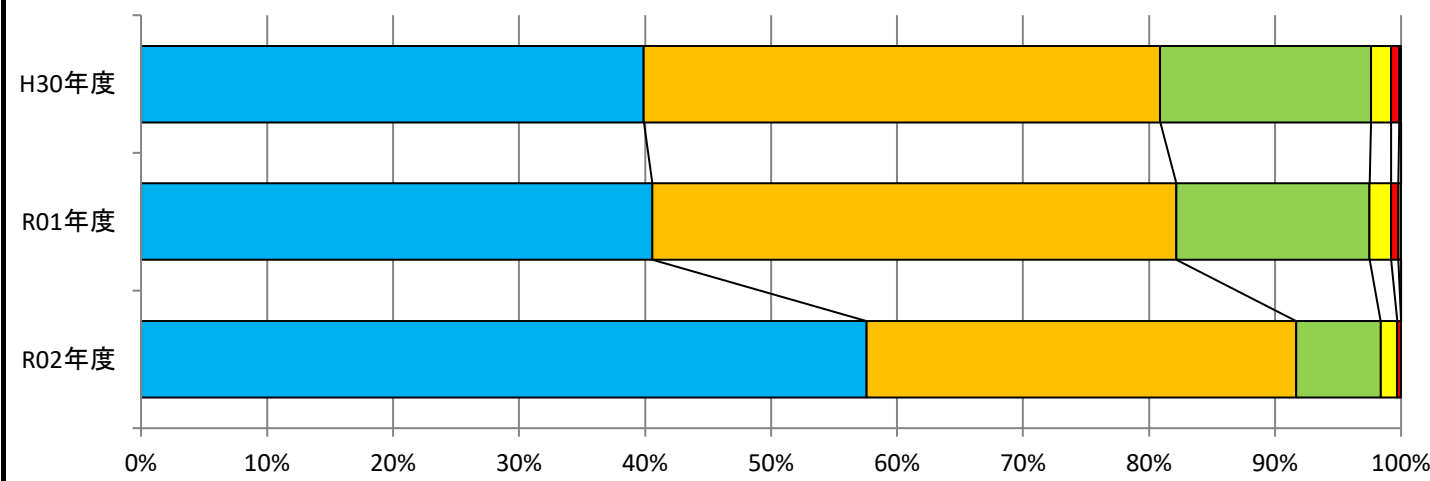
Ⅱ 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



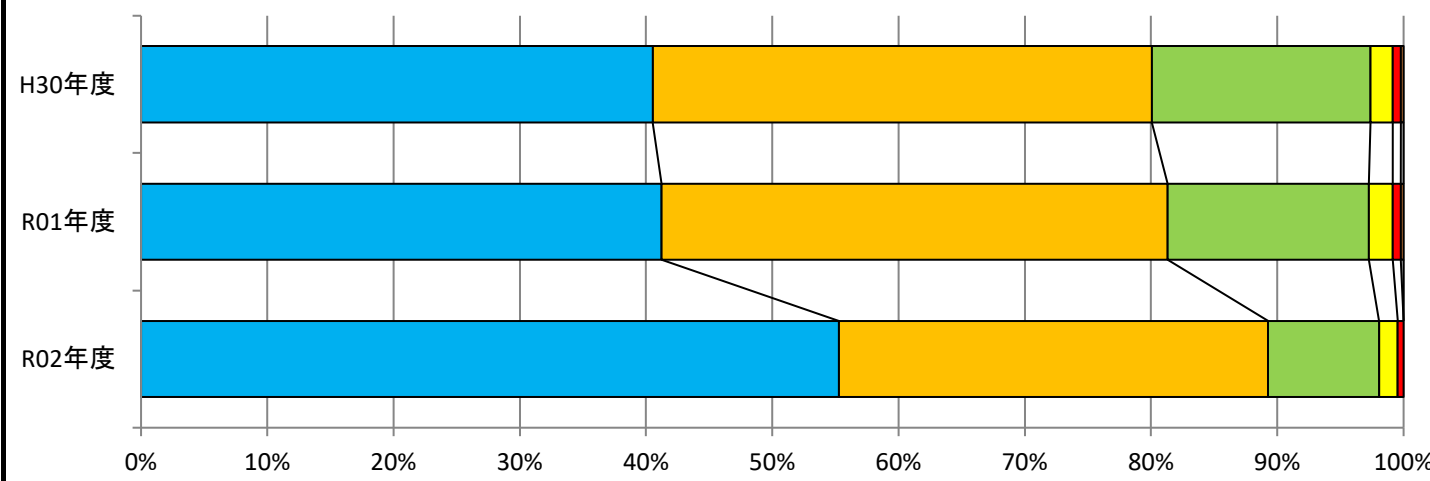
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.4	44.3	77.7	-
33.8	45.4	79.2	+ 1.5
47.2	41.1	88.4	+ 9.2

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



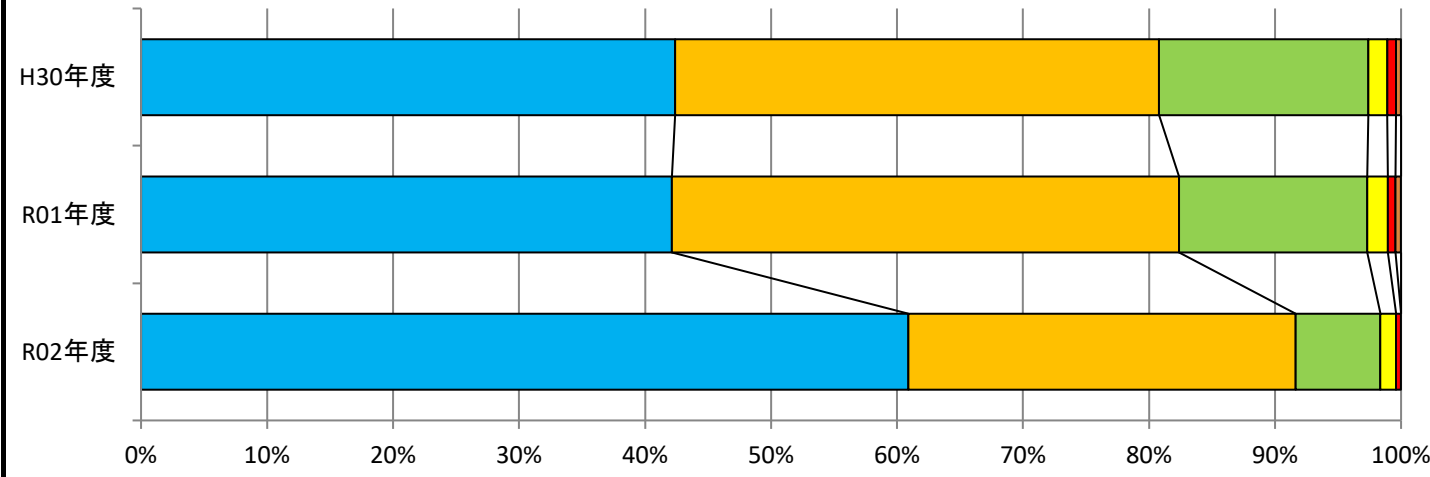
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.9	41.0	80.8	-
40.6	41.6	82.2	+ 1.3
57.6	34.1	91.7	+ 9.5

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



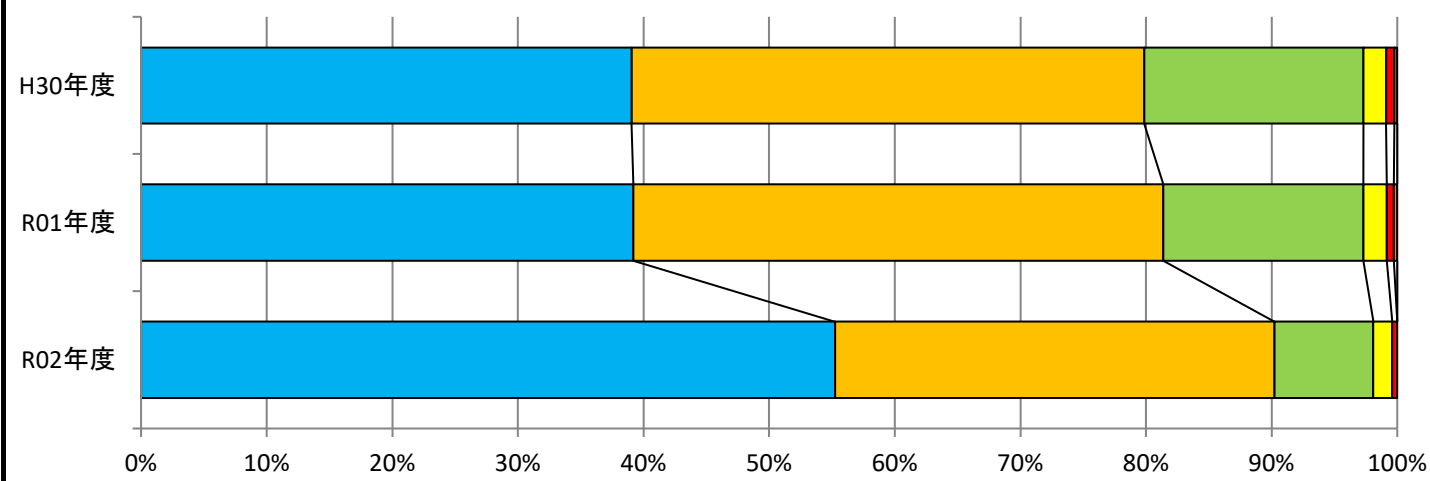
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.5	39.5	79.9	-
41.2	40.1	81.3	+ 1.4
55.3	34.0	89.3	+ 8.0

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.4	38.4	80.8	-
43.0	41.1	84.1	+ 3.3
60.9	30.7	91.6	+ 7.5

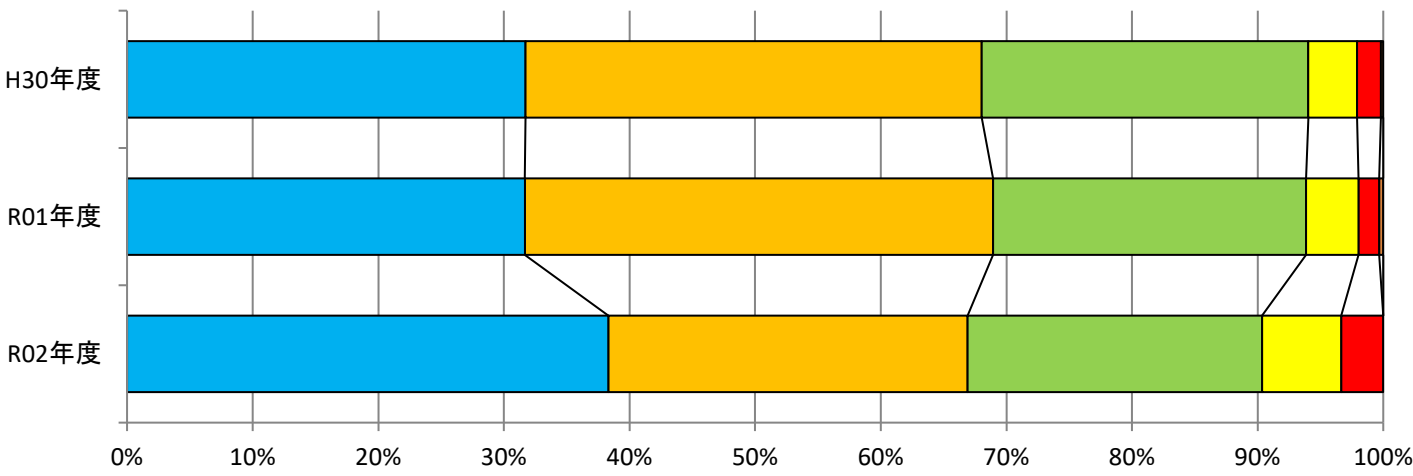
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.0	40.8	79.8	-
39.7	42.7	82.4	+ 2.5
55.2	35.0	90.2	+ 7.9

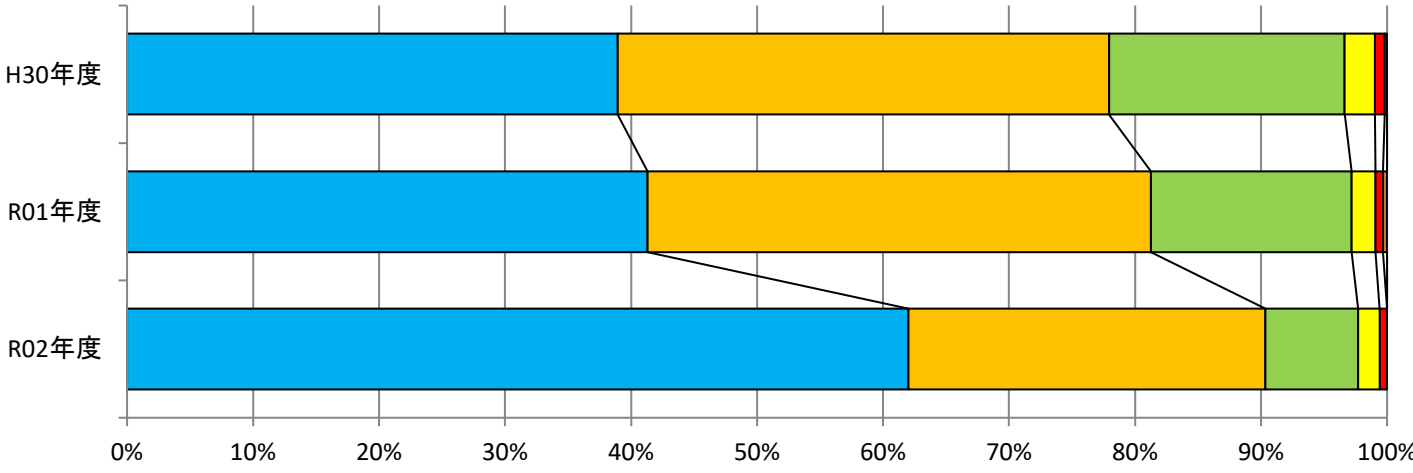
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



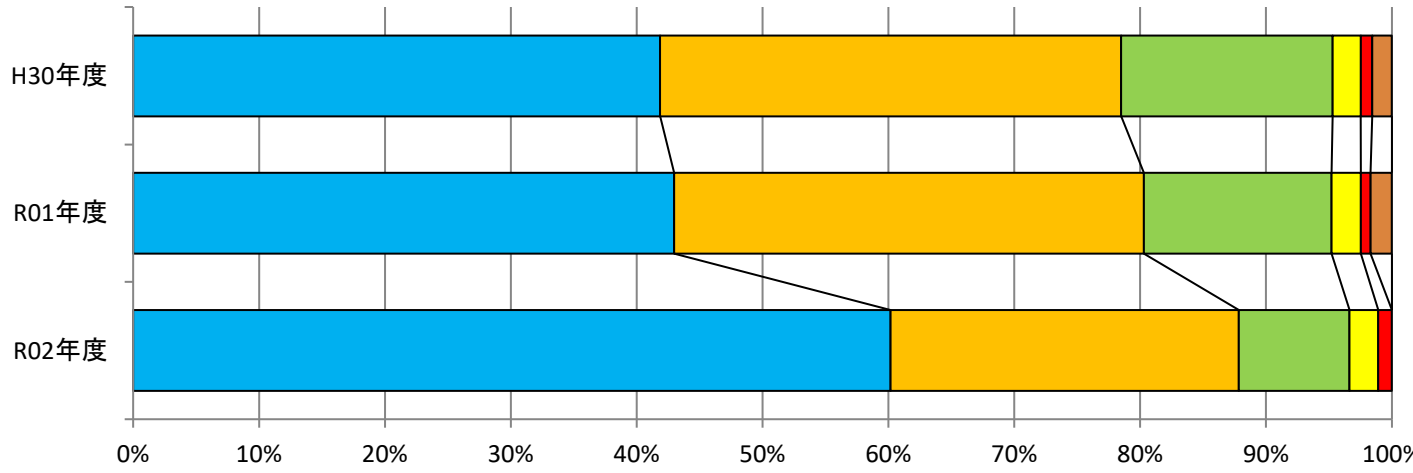
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.7	36.3	68.0	-
31.7	37.3	69.0	+ 0.9
38.3	28.6	66.9	△ 2.1

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



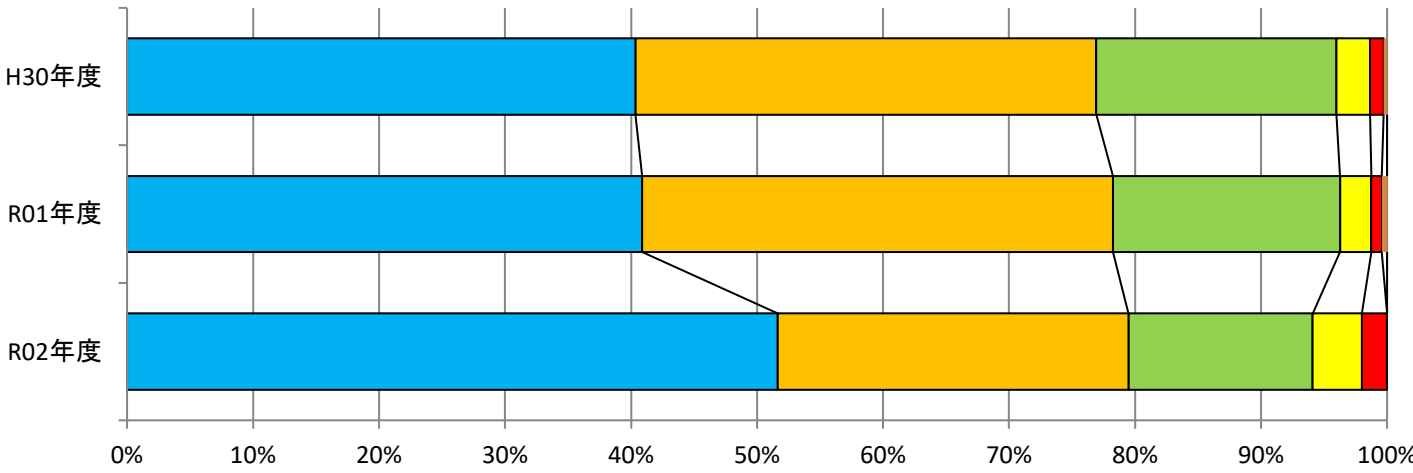
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.9	39.0	77.9	-
41.3	40.0	81.3	+ 3.4
62.0	28.3	90.3	+ 9.1

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



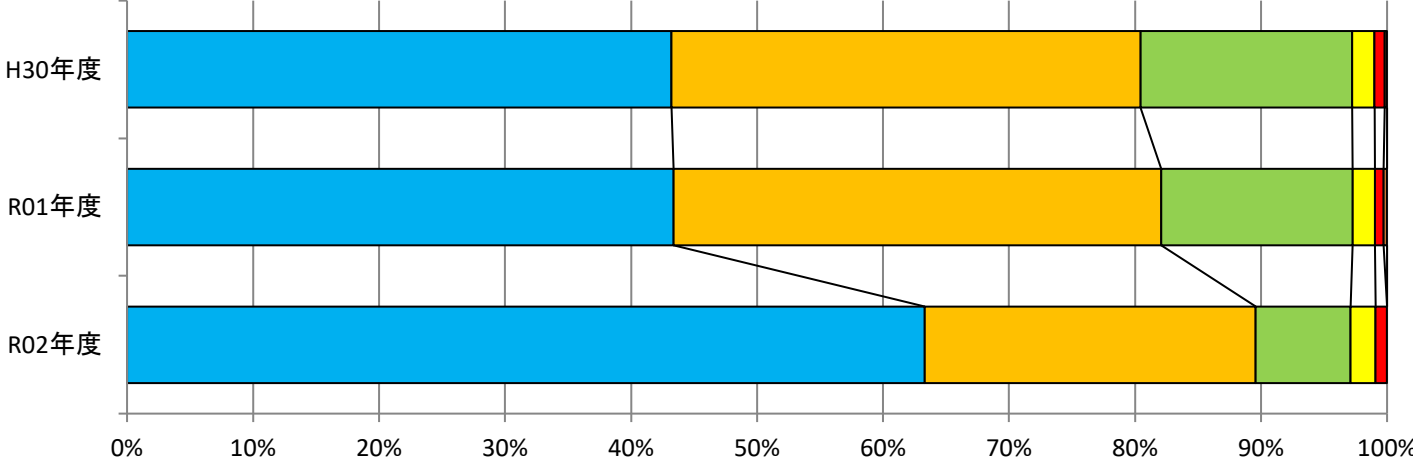
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.9	36.6	78.5	-
43.0	37.3	80.3	+ 1.7
60.2	27.7	87.9	+ 7.6

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



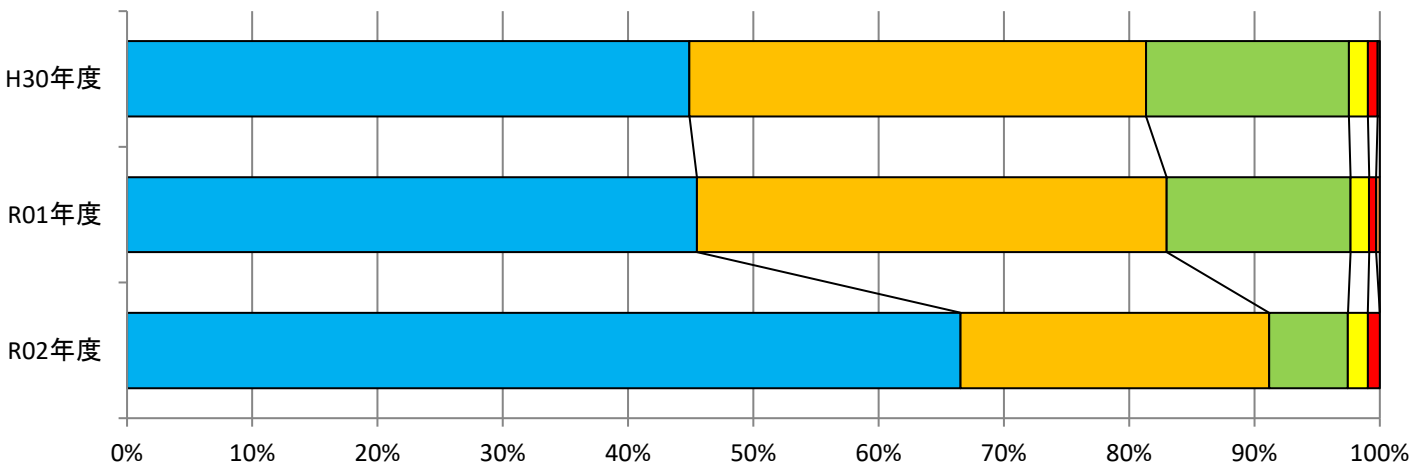
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.3	36.6	76.9	-
40.9	37.4	78.3	+ 1.4
51.6	27.8	79.5	+ 1.2

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



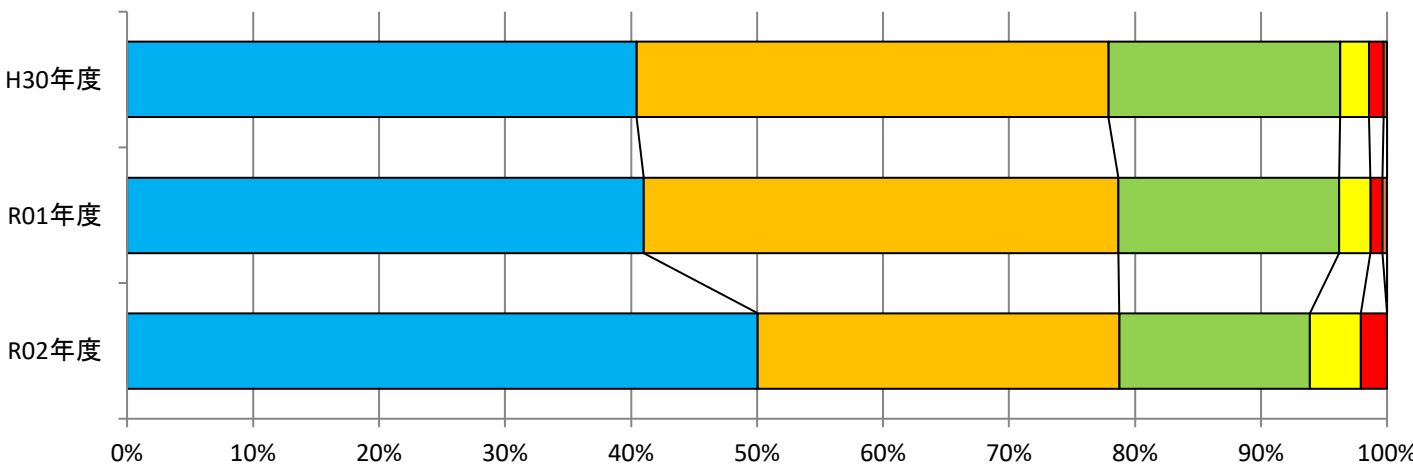
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.2	37.2	80.5	-
44.1	39.4	83.5	+ 3.0
63.3	26.3	89.6	+ 6.1

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



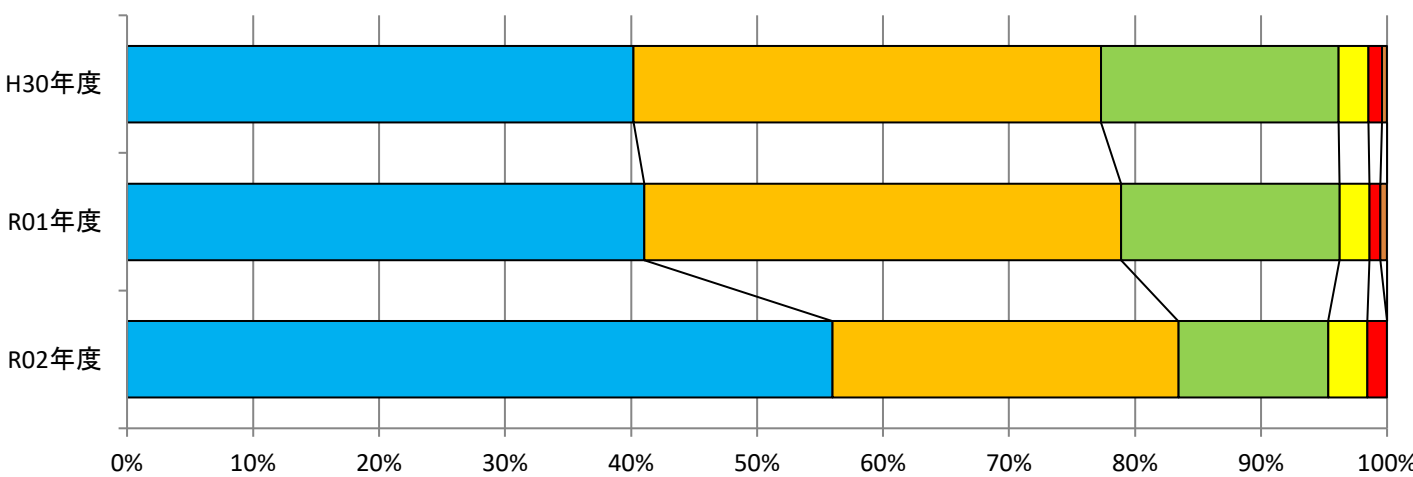
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.9	36.5	81.4	-
45.5	37.5	83.0	+ 1.6
66.5	24.6	91.1	+ 8.1

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.4	37.4	77.9	-
41.0	37.6	78.6	+ 0.7
50.1	28.7	78.7	+ 0.2

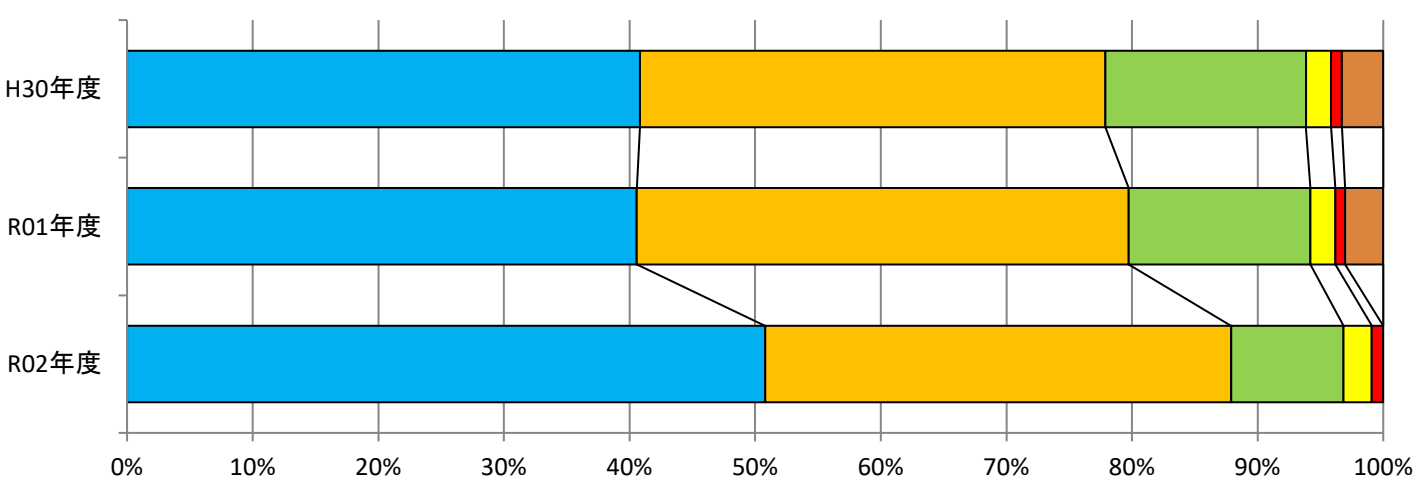
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.2	37.1	77.3	-
41.1	37.8	78.9	+ 1.6
56.0	27.4	83.4	+ 4.5

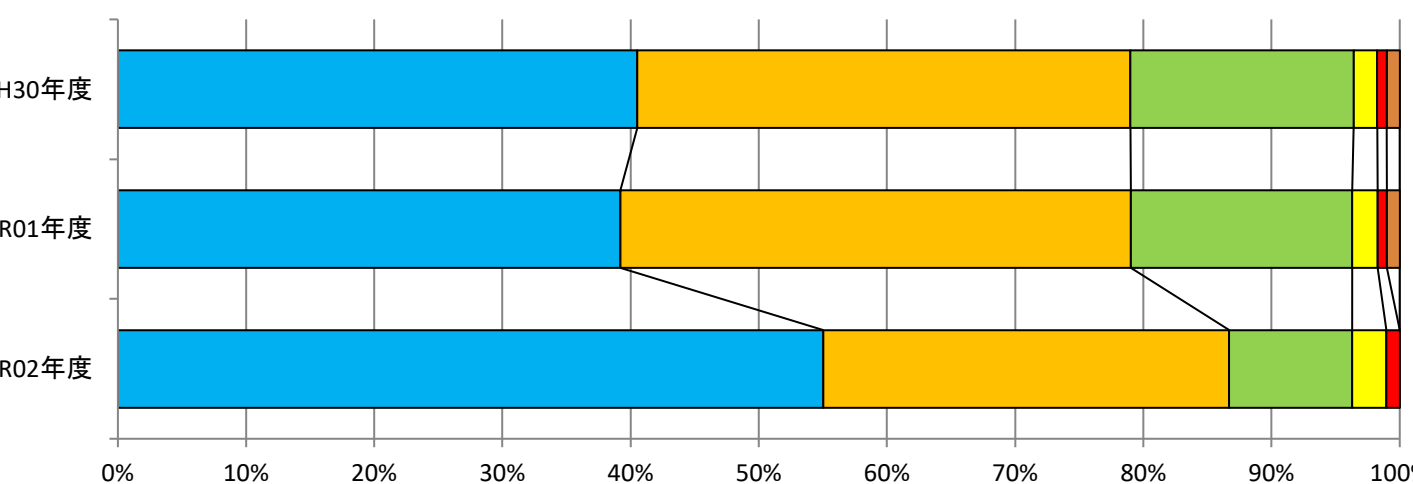
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.8	37.0	77.9	-
41.4	39.9	81.3	+ 3.4
52.6	38.4	91.0	+ 9.7

全質問項目の平均

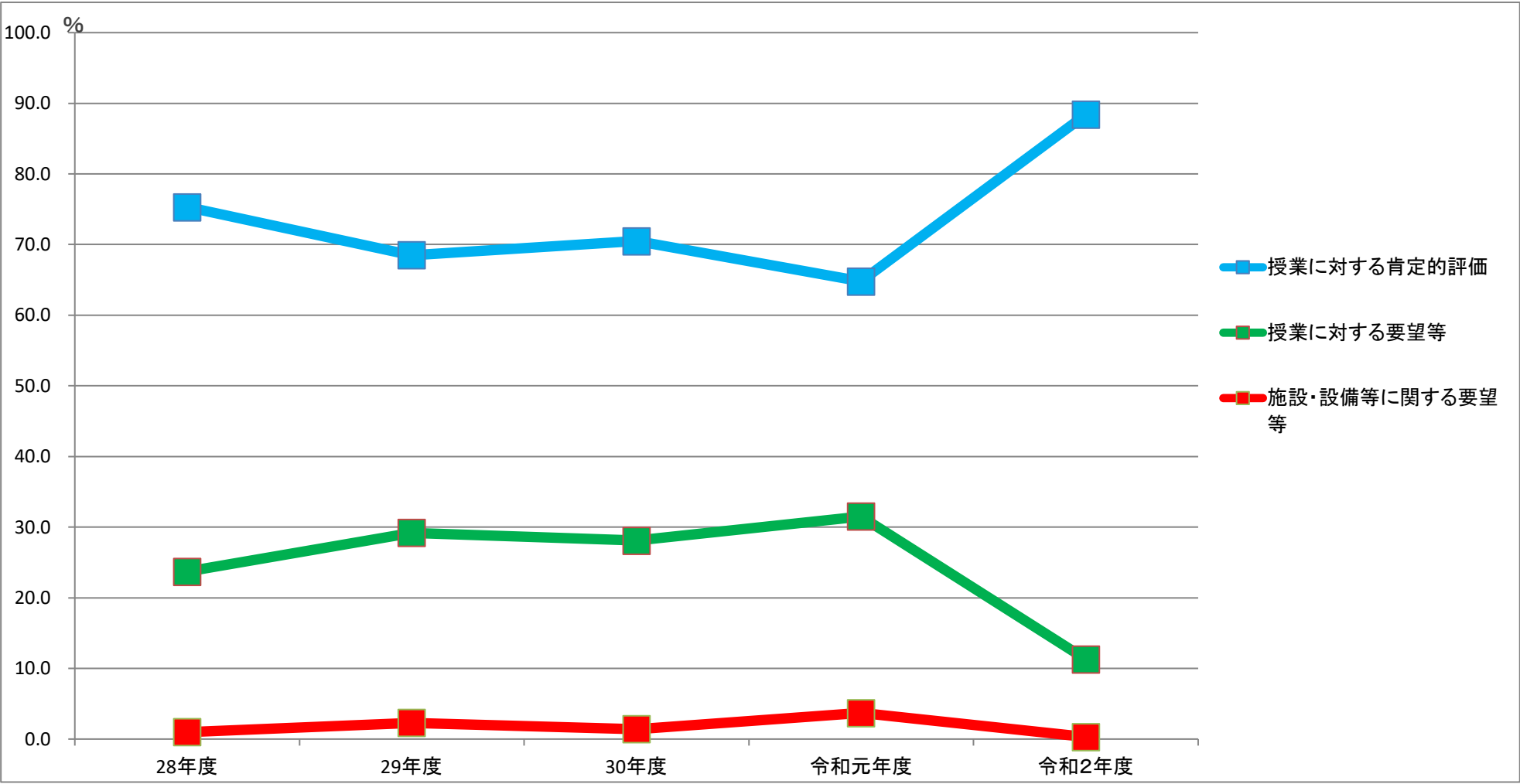


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.5	38.5	79.0	-
39.2	39.8	79.0	+ 0.0
55.0	31.7	86.7	+ 7.7

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(75.3%)	492	(68.5%)	268	(70.5%)	246	(64.8%)	243	(88.4%)	313
授業に対する要望等	(23.7%)	155	(29.2%)	114	(28.1%)	98	(31.5%)	118	(11.3%)	40
施設・設備等に関する要望等	(1.0%)	6	(2.3%)	9	(1.4%)	5	(3.7%)	14	(0.3%)	1
総件数	(100.0%)	653	(100.0%)	391	(100.0%)	349	(100.0%)	375	(100.0%)	354

※（ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	313	・意見交換を行ったり、グループ全体でひとつのものを作り上げたりすることによって、すごく絆が深まったと思います。 ・看護を行ううえで、パソコンの利用方法を知ることは不可欠なことだと思います。適切に情報を管理したり上手に資料を作成したりするためにも、学習した技術をしっかり身につけていきたい ・ナーシングスキルの活用や授業講義の動画を視聴するなど、家での環境でできることを最大限に有効活用できました。 ・先生方が、実習環境はどうか・大丈夫か頻繁に確認してくださって、次の実習が良くなるように常に考えていることが伝わり本当に実習が行いやすかった ・頭に残るように例を挙げて説明してくださったので、とてもわかりやすかった ・課題でたくさん悩んだ分、理解が深まりました。
授業に対する要望等	40	・先生同士の情報伝達が出来ておらず、みなさん言っていることがバラバラであるため、誰の意見を聞き取れば良いのか不明確な場面が多々あります。 ・教科書もレジュメの配布もなかったのが不満だった。 ・声の聞き取りやすいオンラインで受講したかった ・教員それぞれの意見がバラバラで指導もあまりなく、精神的苦痛になるような姿勢 ・板書が追いつかないことが多々あったため、レジュメの配布やパワーポイントのデータの配布等を検討して頂きたい ・前回のレポートのフィードバックができなかったことが、自分の理解が正しいのかわからなくて少し不安になりました。
施設・設備等に関する要望等	1	・自分の教室に先生がいない時に通信が悪く聞き取りづらいことがあったのでそこは改善してほしいと思いました。
計	354	

令和2年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科

○講義・演習科目数 95科目 ○調査対象者数 8,286人(延人数)
○総回答数 6,547件(回答率 79.0%)

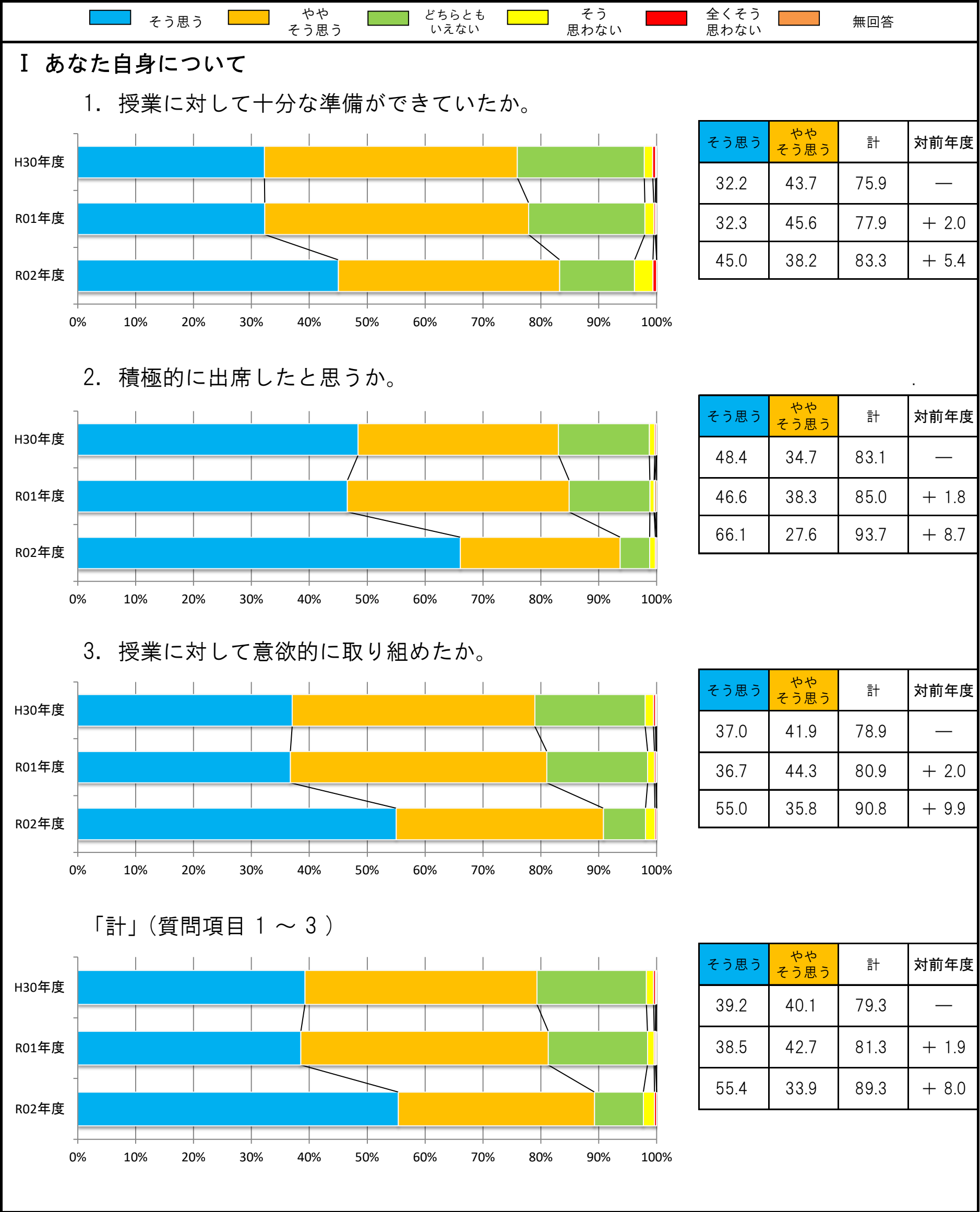
◆ 質問項目別集計結果 〈上段()は令和元年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(32.3) 45.0	(45.6) 38.2	(20.1) 12.9	(1.5) 3.2	(0.3) 0.6	(0.2)	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(46.6) 66.1	(38.3) 27.6	(14.0) 5.1	(0.7) 1.0	(0.1) 0.2	(0.3)	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(36.7) 55.0	(44.3) 35.8	(17.4) 7.3	(1.2) 1.6	(0.3) 0.3	(0.1)	(100) 100
計	(38.5) 55.4	(42.7) 33.9	(17.2) 8.4	(1.2) 1.9	(0.2) 0.4	(0.2)	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(31.4) 44.6	(46.1) 42.9	(19.3) 9.9	(2.4) 2.1	(0.6) 0.5	(0.2)	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(38.4) 55.6	(42.3) 35.5	(16.5) 7.1	(2.0) 1.4	(0.6) 0.3	(0.2)	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(38.6) 52.8	(41.1) 35.7	(17.2) 9.3	(2.1) 1.6	(0.7) 0.5	(0.3)	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(40.6) 59.0	(40.0) 32.2	(16.4) 7.1	(1.9) 1.3	(0.7) 0.4	(0.4)	(100) 100
計	(37.3) 53.0	(42.4) 36.6	(17.3) 8.4	(2.1) 1.6	(0.6) 0.4	(0.3) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(30.7) 36.8	(37.5) 29.3	(25.6) 23.8	(4.2) 6.5	(1.7) 3.6	(0.3) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(39.7) 60.9	(40.5) 29.2	(16.9) 7.5	(2.0) 1.8	(0.6) 0.6	(0.3) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(41.3) 58.3	(37.7) 28.7	(15.8) 9.4	(2.5) 2.4	(0.8) 1.1	(1.9) 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(32.8) 60.6	(35.8) 21.5	(20.7) 12.7	(3.3) 3.4	(1.2) 1.9	(6.2) 0.0	(100) 100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(41.4) 63.7	(37.5) 26.5	(16.2) 7.1	(2.7) 2.1	(1.0) 0.7	(1.2) 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(38.8) 48.7	(37.8) 29.0	(19.4) 16.0	(2.7) 4.2	(0.9) 2.1	(0.4) 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(42.7) 61.6	(38.1) 27.3	(16.4) 8.0	(1.8) 2.1	(0.7) 1.0	(0.3) 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(43.9) 65.0	(38.2) 25.7	(15.6) 6.7	(1.4) 1.6	(0.6) 1.0	(0.3) 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(38.8) 47.0	(38.4) 29.8	(18.8) 16.5	(2.6) 4.4	(1.0) 2.2	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(38.9) 55.8	(37.9) 27.5	(18.4) 12.0	(2.6) 3.2	(0.9) 1.6	(1.3) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(-) 50.3	(-) 29.7	(-) 11.9	(-) 5.7	(-) 2.4	(-) 0.0	(-) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(39.3) 51.0	(38.7) 36.3	(15.7) 9.4	(2.2) 2.3	(0.8) 0.9	(3.3) 0.0	(100) 100
計	(39.3) 50.7	(38.7) 33.0	(15.7) 10.7	(2.2) 4.0	(0.8) 1.7	(3.3) 0.0	(100.1) 100
全質問項目の平均	(38.5) 53.7	(40.4) 32.7	(17.2) 9.9	(2.0) 2.7	(0.7) 1.0	(1.3) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

	30年度	令和元年度	令和２年度
全科目数	168科目	165科目	95科目
調査対象者数	15,985人	15,492人	8,286人
総回答数（回答率）	14,788枚（92.5%）	15,092枚（97.4%）	6,547件（79.0%）

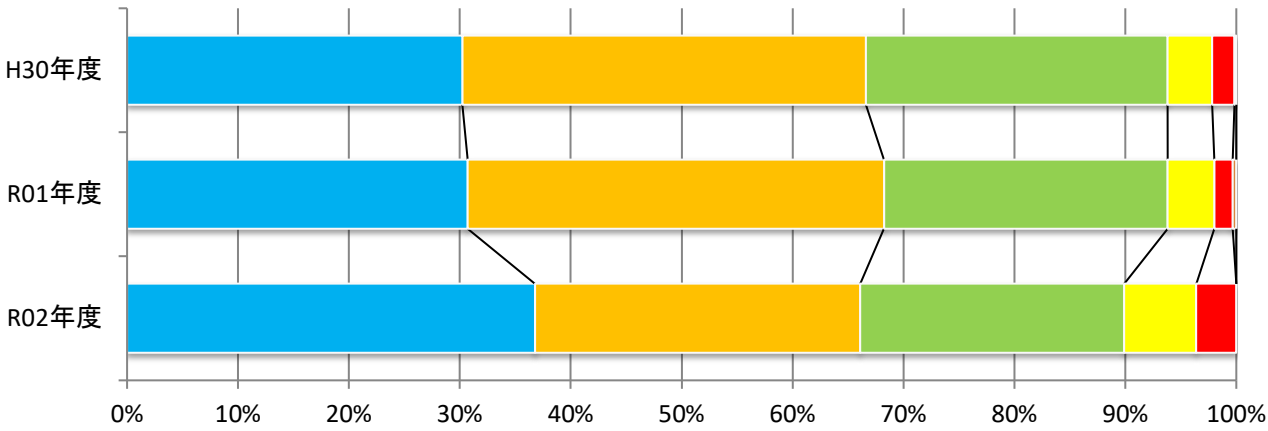
◆ 年度別・質問項目別 集計結果



Ⅱ 授業内容について																			
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30.4</td><td>45.2</td><td>75.7</td><td>—</td></tr> <tr> <td>31.4</td><td>46.1</td><td>77.5</td><td>+ 1.8</td></tr> <tr> <td>44.6</td><td>42.9</td><td>87.5</td><td>+ 10.0</td></tr> </tbody> </table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	30.4	45.2	75.7	—	31.4	46.1	77.5	+ 1.8	44.6	42.9	87.5	+ 10.0			
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
30.4	45.2	75.7	—																
31.4	46.1	77.5	+ 1.8																
44.6	42.9	87.5	+ 10.0																
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.4</td><td>41.9</td><td>79.2</td><td>—</td></tr> <tr> <td>38.4</td><td>42.3</td><td>80.8</td><td>+ 1.5</td></tr> <tr> <td>55.6</td><td>35.5</td><td>91.1</td><td>+ 10.3</td></tr> </tbody> </table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	37.4	41.9	79.2	—	38.4	42.3	80.8	+ 1.5	55.6	35.5	91.1	+ 10.3			
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
37.4	41.9	79.2	—																
38.4	42.3	80.8	+ 1.5																
55.6	35.5	91.1	+ 10.3																
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.6</td><td>40.5</td><td>78.1</td><td>—</td></tr> <tr> <td>38.6</td><td>41.1</td><td>79.8</td><td>+ 1.7</td></tr> <tr> <td>52.8</td><td>35.7</td><td>88.5</td><td>+ 8.8</td></tr> </tbody> </table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	37.6	40.5	78.1	—	38.6	41.1	79.8	+ 1.7	52.8	35.7	88.5	+ 8.8			
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
37.6	40.5	78.1	—																
38.6	41.1	79.8	+ 1.7																
52.8	35.7	88.5	+ 8.8																
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39.5</td><td>39.5</td><td>79.0</td><td>—</td></tr> <tr> <td>40.6</td><td>40.0</td><td>80.6</td><td>+ 1.6</td></tr> <tr> <td>59.0</td><td>32.2</td><td>91.2</td><td>+ 10.6</td></tr> </tbody> </table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	39.5	39.5	79.0	—	40.6	40.0	80.6	+ 1.6	59.0	32.2	91.2	+ 10.6			
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
39.5	39.5	79.0	—																
40.6	40.0	80.6	+ 1.6																
59.0	32.2	91.2	+ 10.6																
「計」（質問項目 4 ～ 7）																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36.2</td><td>41.8</td><td>78.0</td><td>—</td></tr> <tr> <td>37.3</td><td>42.4</td><td>79.7</td><td>+ 1.7</td></tr> <tr> <td>53.0</td><td>36.6</td><td>89.6</td><td>+ 9.9</td></tr> </tbody> </table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	36.2	41.8	78.0	—	37.3	42.4	79.7	+ 1.7	53.0	36.6	89.6	+ 9.9			
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
36.2	41.8	78.0	—																
37.3	42.4	79.7	+ 1.7																
53.0	36.6	89.6	+ 9.9																

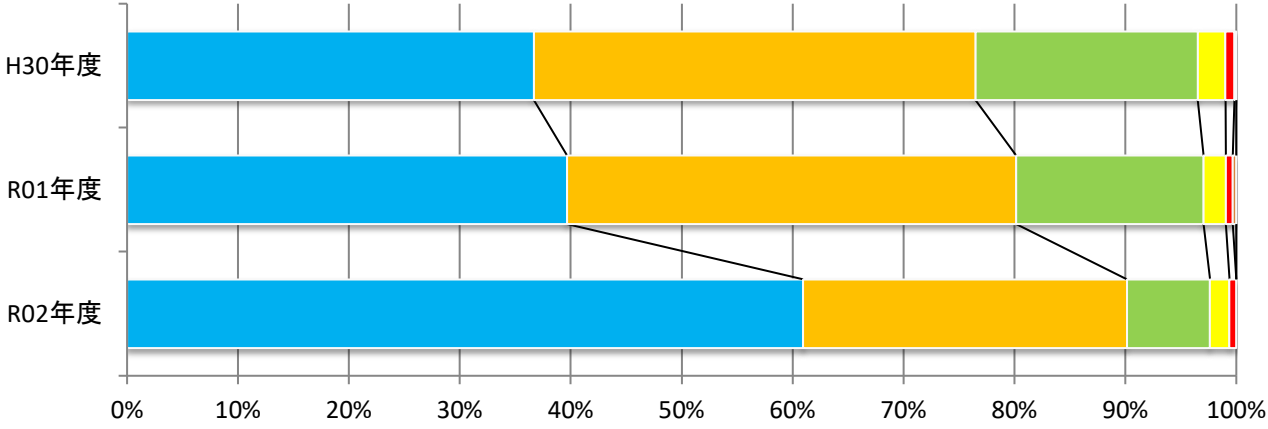
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



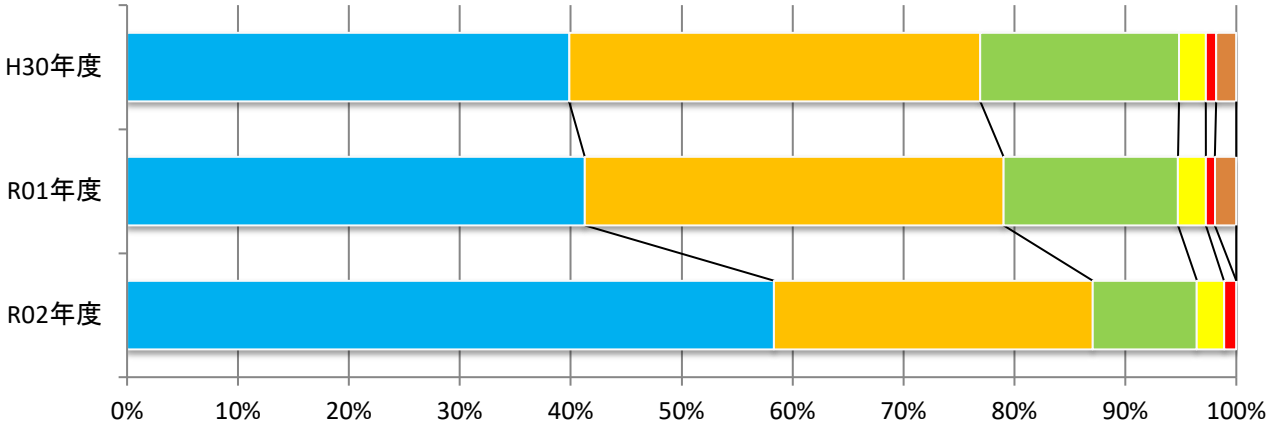
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
30.2	36.4	66.6	—
30.7	37.5	68.2	+ 1.6
36.8	29.3	66.1	△ 2.1

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



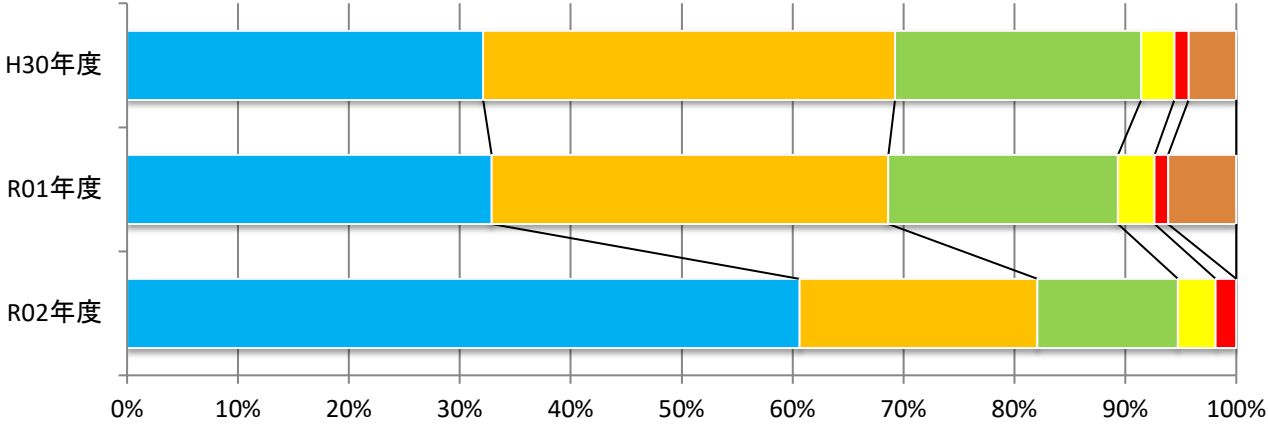
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.7	39.8	76.5	—
39.7	40.5	80.2	+ 3.7
60.9	29.2	90.1	+ 9.9

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



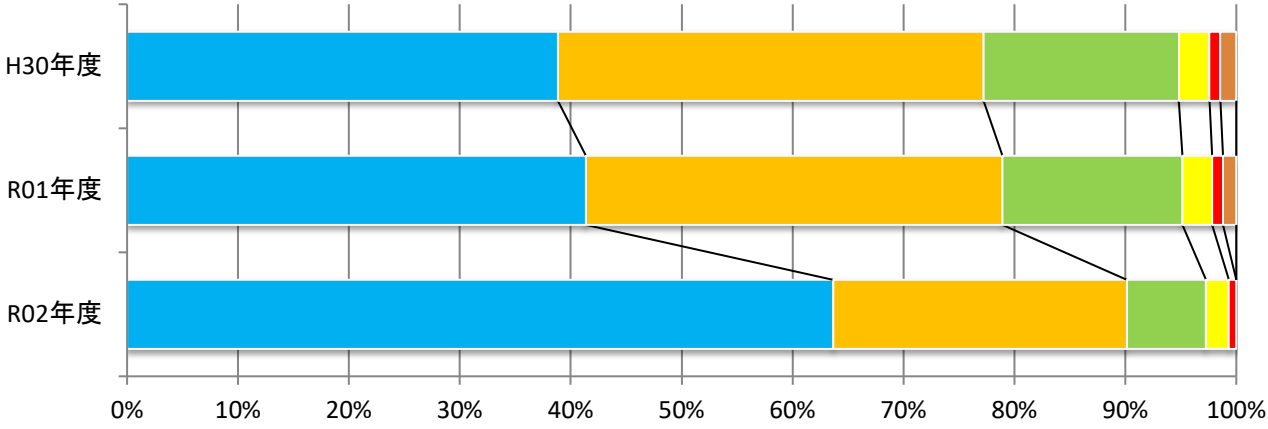
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.9	37.1	77.0	—
41.3	37.7	79.0	+ 2.0
58.3	28.7	87.1	+ 8.1

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



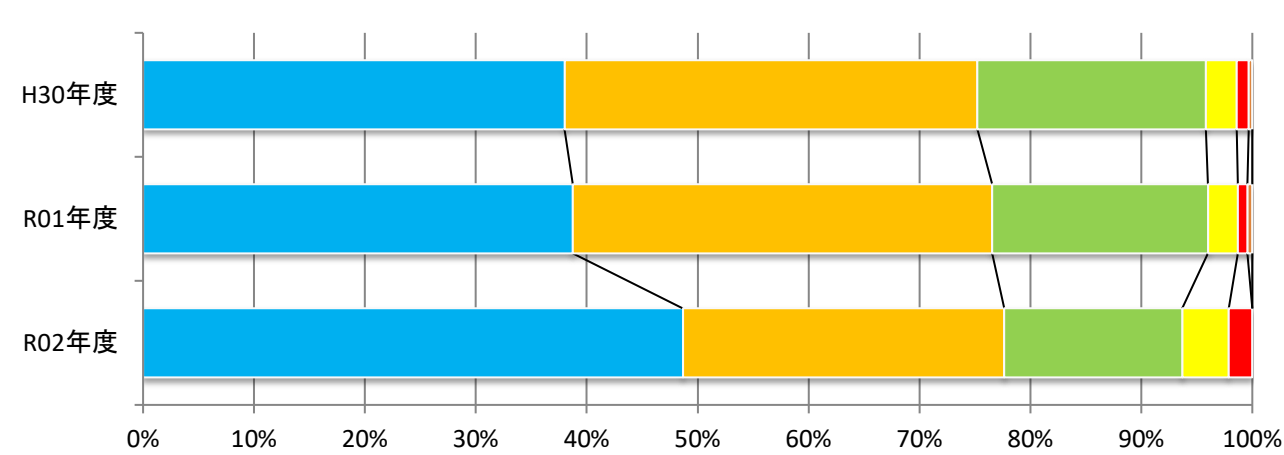
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.1	37.1	69.2	—
32.8	35.8	68.6	△ 0.6
60.6	21.5	82.1	+ 13.5

11. パワ・ポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



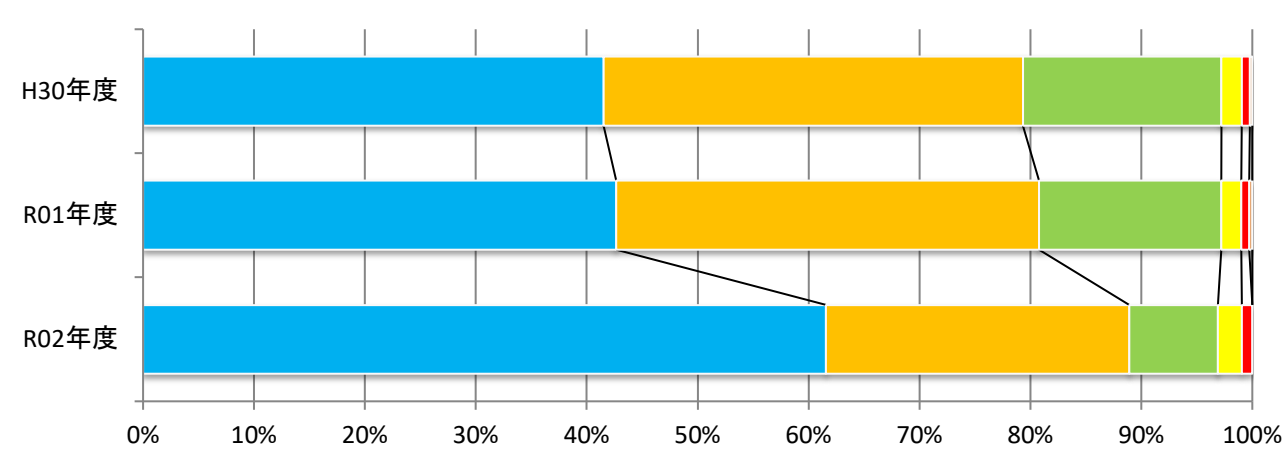
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.8	38.4	77.2	—
41.4	37.5	78.9	+ 1.7
63.7	26.5	90.1	+ 11.2

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



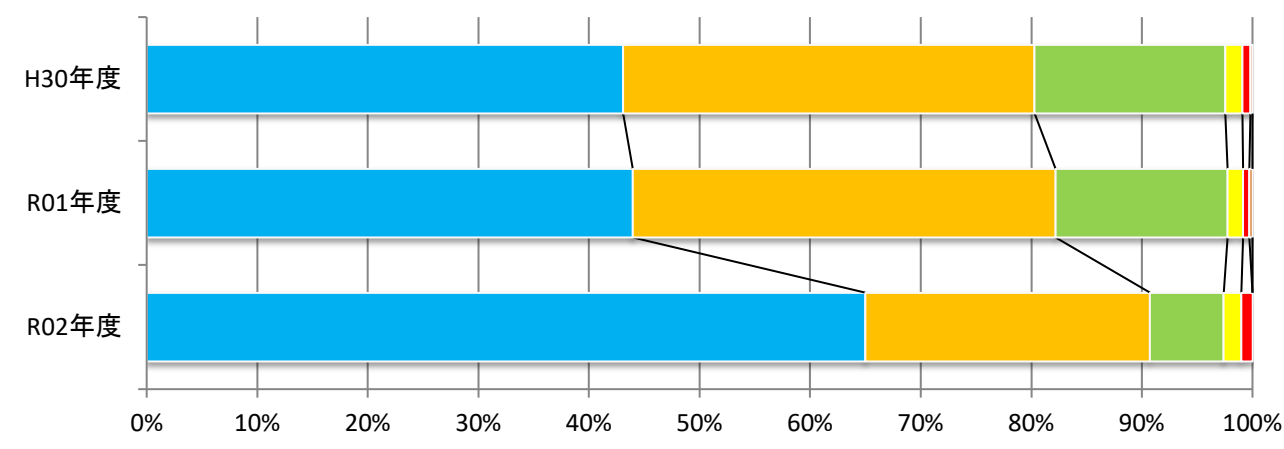
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.0	37.2	75.2	—
38.8	37.8	76.6	+ 1.4
48.7	29.0	77.6	+ 1.0

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



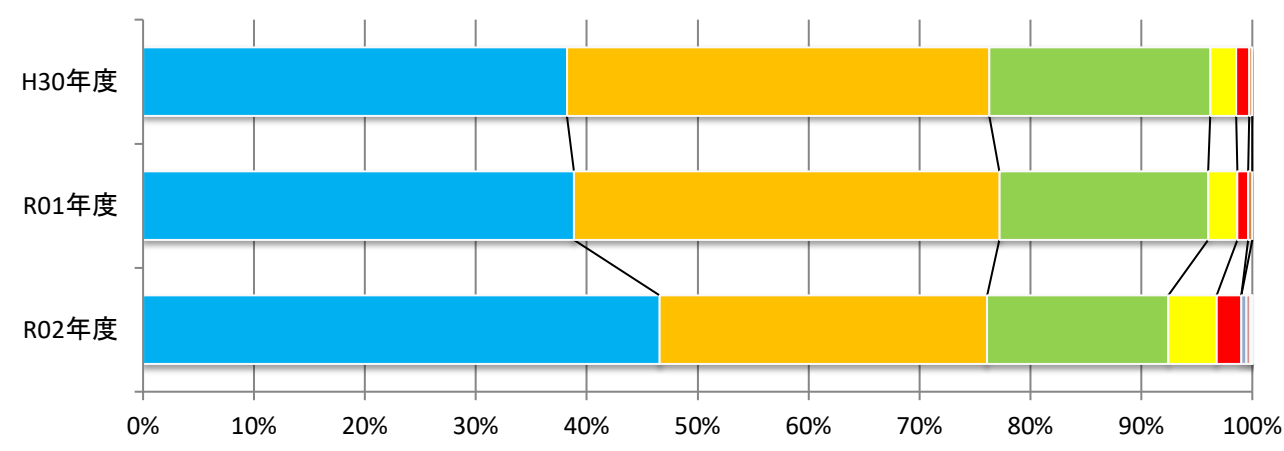
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.5	37.8	79.3	—
42.7	38.1	80.8	+ 1.5
61.6	27.3	88.9	+ 8.1

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



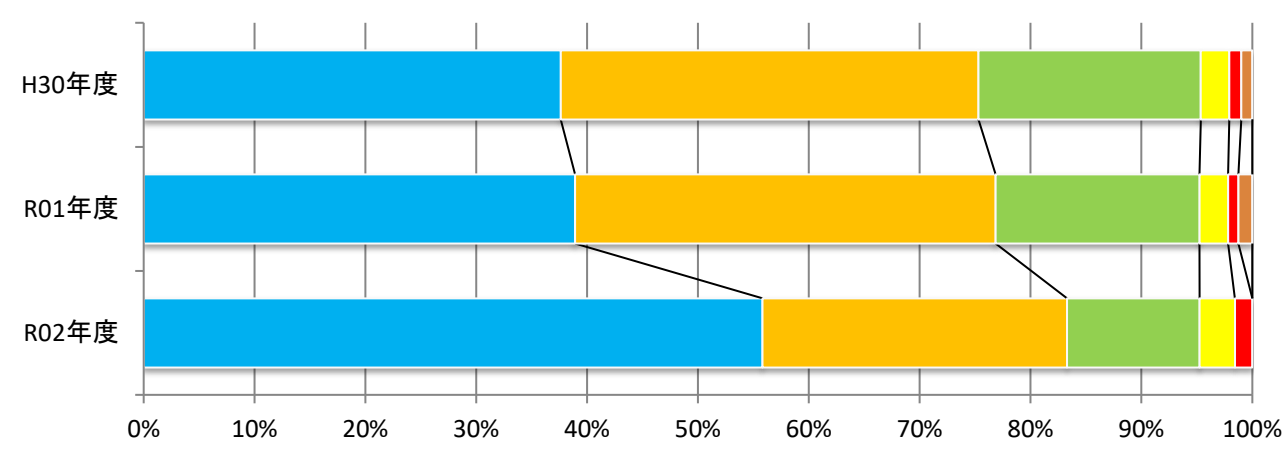
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.1	37.2	80.3	—
43.9	38.2	82.1	+ 1.8
65.0	25.7	90.7	+ 8.7

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.2	38.1	76.3	—
38.8	38.4	77.2	+ 0.9
47.0	29.8	76.9	△ 0.3

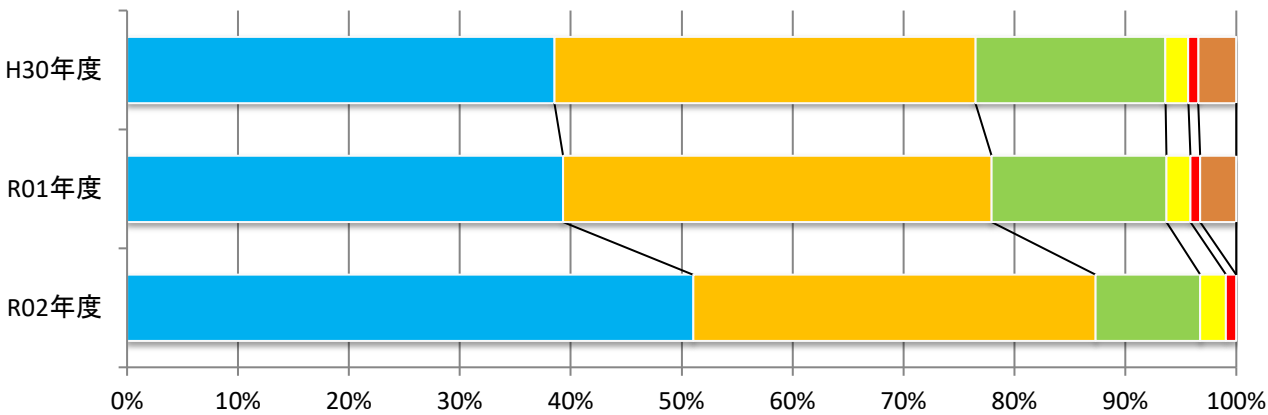
「計」（質問項目 8 ～ 15）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.6	37.7	75.3	—
38.9	37.9	76.8	+ 1.5
55.8	27.5	83.3	+ 6.5

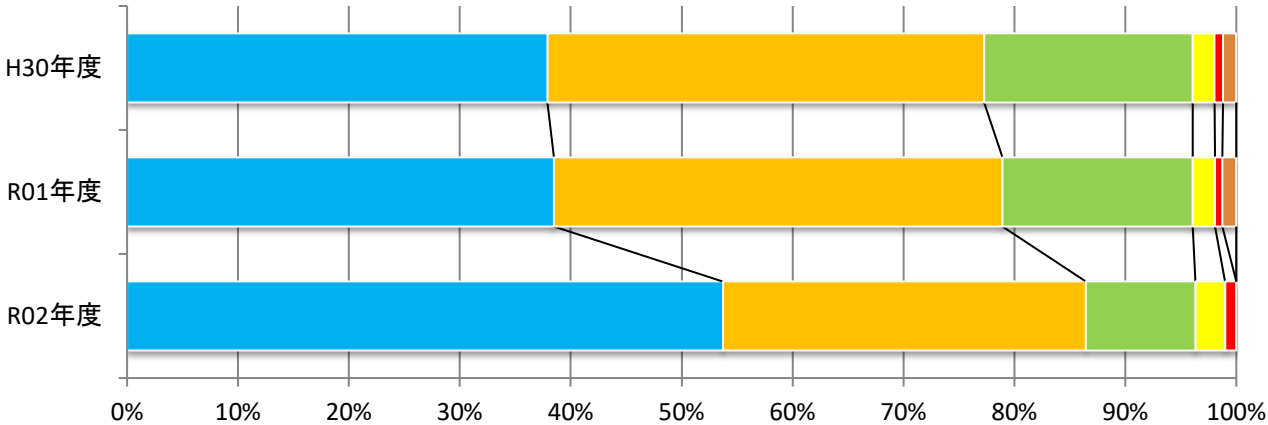
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



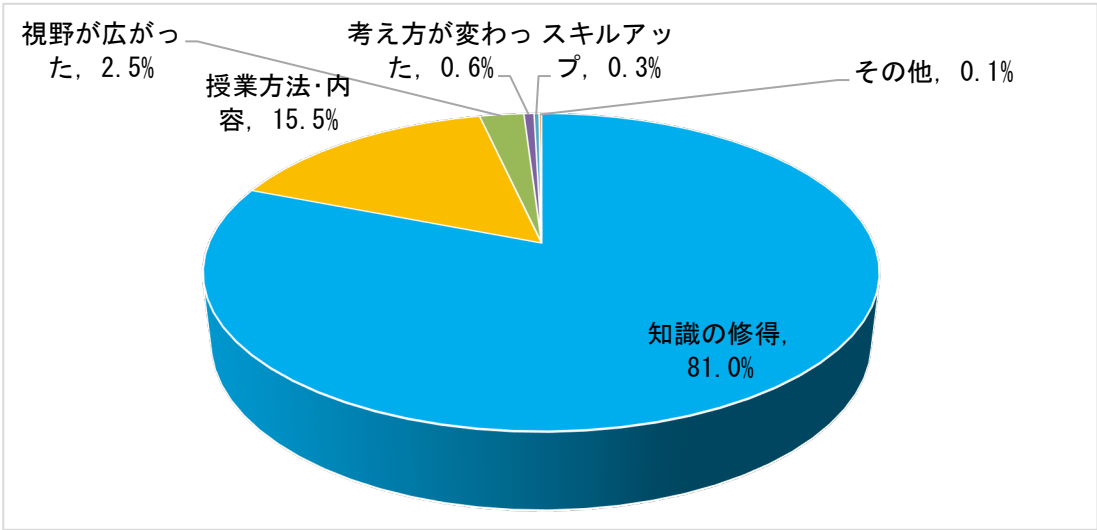
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.5	38.0	76.5	—
39.3	38.7	78.1	+ 1.6
51.0	36.3	87.3	+ 9.3

全質問項目の平均



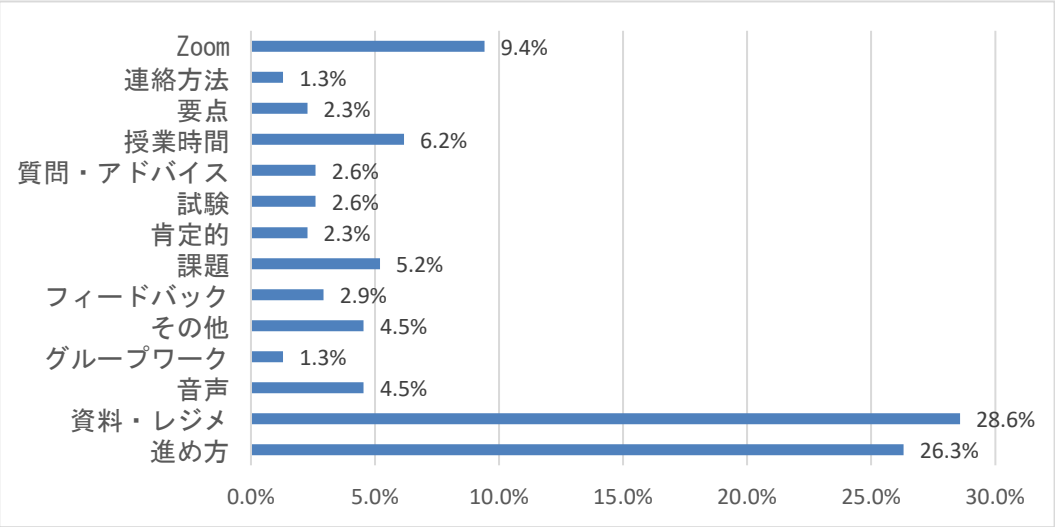
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.9	39.4	77.3	—
38.5	40.4	79.0	+ 1.7
53.7	32.7	86.4	+ 7.5

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 1,386】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護実践技術論Ⅰ	50	看護を提供する際に気を付けることや、作業方法、基準値などを分かりやすく説明してくれたり、実際に患者さんがいたらどのような選択をするかなどの課題があったおかげで、オンラインでも実際にやっているように考えて取り組むことができたのがよかった。
			看護技術について詳しく学ぶことができたことです。ナーシングスキルやナーシングチャネルの活用で援助のイメージができました。
	看護学概論	56	時々小テストで国家試験問題を出してくれたので国家試験問題に早くから触れられました。こんな感じの問題なのかと実感させられました。
			新しく学んだことについての感想や質問を共有してくださったので、他の視点での捉え方を知れたり、看護を提供する上でとても重要な基礎的な部分を自分で考えながら学べて良かったです。
	成人看護学概論	20	事前課題が課されていたので、授業の予習をしているようで授業では内容を思い出しながら参加することができてよかったと思いました。
			コンプライアンスモデルとアドヒアランスモデルの違いが分かるようになった
	看護実践技術論Ⅲ	19	何度も行ったので計画、実施、評価の基本を身につけることができたと思う。先生の推奨する方法、自分なりに工夫した方法、他の人の方法を比較して計画をより良くすることができた。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 308】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	医学概論	13	パワーポイントを始めに配布してくださいと嬉しいです。そこに書き込みをしたりすることで詳しくノート作成をしたり、復習がしやすくなると思います。
			パワーポイントをもう少し、文ばかりではなくて重要なポイントをわかりやすくして欲しいです。最後にくださったレジュメでも充分わかるので、それだけでも良いと感じました。
	疾病と治療Ⅴ	12	レジュメが紙媒体・電子媒体の両方においてほぼ配布されなかったので、復習がしづらかったです。画像は個人情報のために載せられないにしても、教科書内容の解説などはレジュメとして頂けたらと思いました。
			リモートで先生に直接質問することも難しい環境下で困ったこともありました。 資料が細かすぎて見えないこともあったので改善していただきたいです。
	看護実践技術論Ⅰ	8	リアルタイム授業の方が緊張感も持てますし、一回しか聞けないという事から学校で受ける授業のように巻き戻して聞けないことに慣れる事も出来、一言一句集中して授業を受ける事が出来ると感じました。
			習ったことを実際にやってフィードバックが頻繁にできたらいいと思います。
	国際看護学	6	二教室を使って遠隔授業をする場合、教員がいない方の教室では、はっきり大きな声で話してくれないと音声聞き取りにくかった。また、教員のホワイトボードの板書は反射するため画面からは全く見えませんでした。
			レジュメを配布して頂きたかった。

令和2年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科

○実習・実験科目数 12科目 ○調査対象者数 1,211人（延人数）
○総回答数 853件（回答率70.4%）

◆ 質問項目別集計結果 〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(43.9) 63.2	(43.0) 31.2	(11.7) 5.0	(1.1) 0.5	(0.1) 0.1	(0.2) 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(65.7) 82.9	(26.7) 14.4	(6.9) 2.6	(0.4) 0.1	(0.1) 0.0	(0.2) 0.0	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(59.3) 77.6	(32.4) 19.1	(7.7) 2.8	(0.3) 0.5	(0.1) 0.0	(0.2) 0.0	(100) 100
計	(56.3) 74.6	(34.0) 21.6	(8.7) 3.5	(0.6) 0.4	(0.1) 0.0	(0.2) 0.0	(100) 100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(48.9) 67.4	(41.1) 27.7	(9.0) 4.0	(0.5) 0.7	(0.3) 0.2	(0.2) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(54.0) 72.7	(36.9) 23.4	(8.2) 3.3	(0.5) 0.6	(0.2) 0.0	(0.2) 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(57.5) 74.1	(33.3) 20.9	(8.2) 4.5	(0.6) 0.6	(0.2) 0.0	(0.2) 0.0	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(58.1) 75.3	(32.5) 19.7	(7.8) 4.3	(0.6) 0.7	(0.3) 0.0	(0.7) 0.0	(100) 100
計	(54.6) 72.4	(35.9) 22.9	(8.3) 4.0	(0.5) 0.6	(0.2) 0.1	(0.3) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(37.8) 50.3	(35.9) 22.9	(21.0) 20.6	(3.4) 4.8	(1.6) 1.4	(0.3) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(51.3) 70.1	(36.8) 21.8	(9.5) 6.3	(1.5) 1.3	(0.5) 0.5	(0.4) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(53.5) 74.4	(34.9) 19.5	(9.7) 4.1	(1.1) 1.2	(0.6) 0.8	(0.2) 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(54.3) 74.4	(34.2) 19.1	(9.1) 3.9	(1.5) 1.5	(0.6) 1.1	(0.3) 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(53.1) 76.8	(35.0) 18.1	(9.3) 3.9	(1.6) 0.8	(0.7) 0.5	(0.3) 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(55.7) 78.1	(33.3) 16.2	(8.8) 3.6	(1.3) 1.5	(0.5) 0.6	(0.4) 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(54.2) 73.4	(33.9) 19.8	(9.2) 4.7	(1.5) 1.3	(0.8) 0.8	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(51.4) 71.1	(34.8) 19.6	(10.9) 6.7	(1.7) 1.8	(0.8) 0.8	(0.3) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 47.2	(-) 21.1	(-) 15.2	(-) 10.6	(-) 5.9	(-) 0.0	(-) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(54.0) 64.2	(33.4) 24.2	(8.5) 8.1	(1.7) 2.5	(0.5) 1.1	(1.9) 0.0	(100) 100
計	(54.0) 55.7	(33.4) 22.6	(8.5) 11.7	(1.7) 6.5	(0.5) 3.5	(1.9) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(54.1) 68.4	(34.5) 21.7	(9.1) 6.5	(1.1) 2.3	(0.4) 1.1	(0.7) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	27科目	27科目	12科目
調査対象者数	2,809人	2,719人	1,211人
総回答数（回答率）	2,397枚（85.3%）	2,418枚（88.9%）	853件（70.4%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う やや そう思う どちらとも いえない そう 思わない 全くそう 思わない 無回答																			
I あなた自身について																			
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。																			
H30年度 R01年度 R02年度																			
<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>46.4</td><td>41.4</td><td>87.7</td><td>—</td></tr><tr><td>29.5</td><td>43.0</td><td>72.5</td><td>△ 15.2</td></tr><tr><td>63.2</td><td>31.2</td><td>94.4</td><td>+ 21.9</td></tr></table>				そう思う	やや そう思う	計	対前年度	46.4	41.4	87.7	—	29.5	43.0	72.5	△ 15.2	63.2	31.2	94.4	+ 21.9
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
46.4	41.4	87.7	—																
29.5	43.0	72.5	△ 15.2																
63.2	31.2	94.4	+ 21.9																
2. 積極的に出席したと思うか。																			
H30年度 R01年度 R02年度																			
<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>69.6</td><td>23.3</td><td>92.9</td><td>—</td></tr><tr><td>65.7</td><td>26.7</td><td>92.4</td><td>△ 0.5</td></tr><tr><td>82.9</td><td>14.4</td><td>97.3</td><td>+ 4.9</td></tr></table>				そう思う	やや そう思う	計	対前年度	69.6	23.3	92.9	—	65.7	26.7	92.4	△ 0.5	82.9	14.4	97.3	+ 4.9
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
69.6	23.3	92.9	—																
65.7	26.7	92.4	△ 0.5																
82.9	14.4	97.3	+ 4.9																
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。																			
H30年度 R01年度 R02年度																			
<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>61.1</td><td>31.0</td><td>92.1</td><td>—</td></tr><tr><td>59.3</td><td>32.4</td><td>91.7</td><td>△ 0.4</td></tr><tr><td>77.6</td><td>19.1</td><td>96.7</td><td>+ 5.0</td></tr></table>				そう思う	やや そう思う	計	対前年度	61.1	31.0	92.1	—	59.3	32.4	91.7	△ 0.4	77.6	19.1	96.7	+ 5.0
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
61.1	31.0	92.1	—																
59.3	32.4	91.7	△ 0.4																
77.6	19.1	96.7	+ 5.0																
「計」（質問項目 1 ～ 3）																			
H30年度 R01年度 R02年度																			
<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>59.0</td><td>31.9</td><td>90.9</td><td>—</td></tr><tr><td>56.3</td><td>34.0</td><td>90.4</td><td>△ 0.6</td></tr><tr><td>74.6</td><td>21.6</td><td>96.1</td><td>+ 5.8</td></tr></table>				そう思う	やや そう思う	計	対前年度	59.0	31.9	90.9	—	56.3	34.0	90.4	△ 0.6	74.6	21.6	96.1	+ 5.8
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
59.0	31.9	90.9	—																
56.3	34.0	90.4	△ 0.6																
74.6	21.6	96.1	+ 5.8																

Ⅱ 実習・実験内容について																			
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>51.5</td><td>38.9</td><td>90.3</td><td>—</td></tr><tr><td>48.9</td><td>41.1</td><td>90.0</td><td>△ 0.4</td></tr><tr><td>67.4</td><td>27.7</td><td>95.1</td><td>+ 5.1</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	51.5	38.9	90.3	—	48.9	41.1	90.0	△ 0.4	67.4	27.7	95.1	+ 5.1
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
51.5	38.9	90.3	—																
48.9	41.1	90.0	△ 0.4																
67.4	27.7	95.1	+ 5.1																
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>55.4</td><td>35.2</td><td>90.6</td><td>—</td></tr><tr><td>54.0</td><td>36.9</td><td>90.9</td><td>+ 0.2</td></tr><tr><td>72.7</td><td>23.4</td><td>96.1</td><td>+ 5.3</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	55.4	35.2	90.6	—	54.0	36.9	90.9	+ 0.2	72.7	23.4	96.1	+ 5.3
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
55.4	35.2	90.6	—																
54.0	36.9	90.9	+ 0.2																
72.7	23.4	96.1	+ 5.3																
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>58.2</td><td>33.2</td><td>91.3</td><td>—</td></tr><tr><td>57.5</td><td>33.3</td><td>90.8</td><td>△ 0.5</td></tr><tr><td>74.1</td><td>20.9</td><td>95.0</td><td>+ 4.1</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	58.2	33.2	91.3	—	57.5	33.3	90.8	△ 0.5	74.1	20.9	95.0	+ 4.1
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
58.2	33.2	91.3	—																
57.5	33.3	90.8	△ 0.5																
74.1	20.9	95.0	+ 4.1																
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>59.9</td><td>31.5</td><td>91.5</td><td>—</td></tr><tr><td>58.1</td><td>32.5</td><td>90.6</td><td>△ 0.9</td></tr><tr><td>75.3</td><td>19.7</td><td>95.0</td><td>+ 4.3</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	59.9	31.5	91.5	—	58.1	32.5	90.6	△ 0.9	75.3	19.7	95.0	+ 4.3
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
59.9	31.5	91.5	—																
58.1	32.5	90.6	△ 0.9																
75.3	19.7	95.0	+ 4.3																
「計」（質問項目 4 ～7）																			
		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>56.3</td><td>34.7</td><td>90.9</td><td>—</td></tr><tr><td>54.6</td><td>35.9</td><td>90.6</td><td>△ 0.4</td></tr><tr><td>72.4</td><td>22.9</td><td>95.3</td><td>+ 4.7</td></tr></table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	56.3	34.7	90.9	—	54.6	35.9	90.6	△ 0.4	72.4	22.9	95.3	+ 4.7
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
56.3	34.7	90.9	—																
54.6	35.9	90.6	△ 0.4																
72.4	22.9	95.3	+ 4.7																

Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.9	36.0	76.9	—
37.8	35.9	73.7	△ 3.2
50.3	22.9	73.2	△ 0.5

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.7	33.8	86.5	—
51.3	36.8	88.0	+ 1.6
70.1	21.8	91.9	+ 3.9

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.2	33.9	88.1	—
53.5	34.9	88.4	+ 0.3
74.4	19.5	93.9	+ 5.5

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.8	32.7	87.5	—
54.3	34.2	88.5	+ 1.0
74.4	19.1	93.6	+ 5.1

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

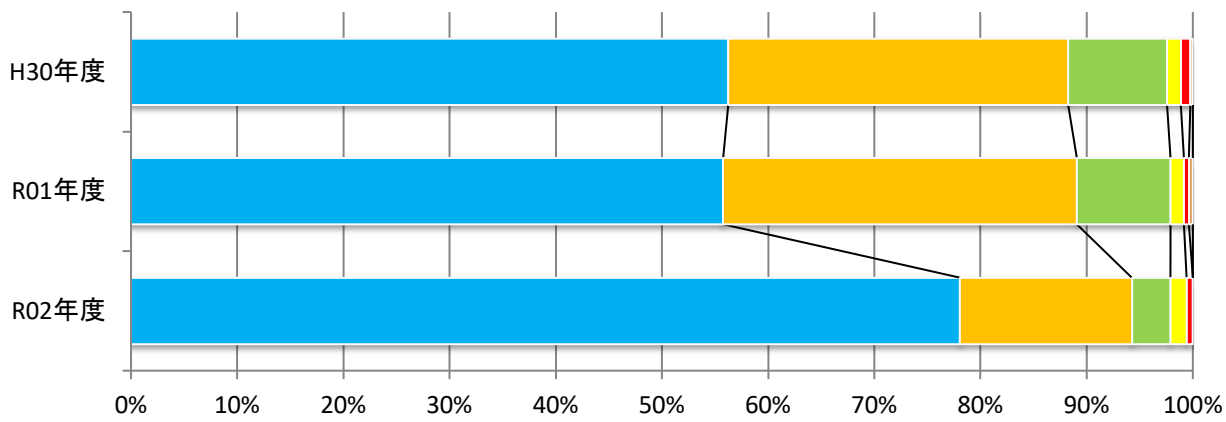
80%

90%

100%

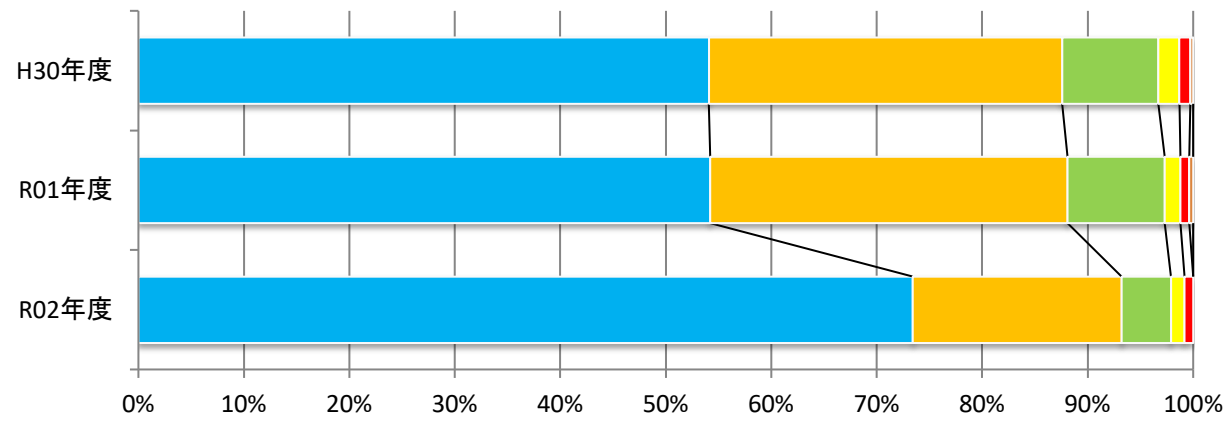
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.7	33.9	87.6	—
53.1	35.0	88.0	+ 0.5
76.8	18.1	94.8	+ 6.8

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



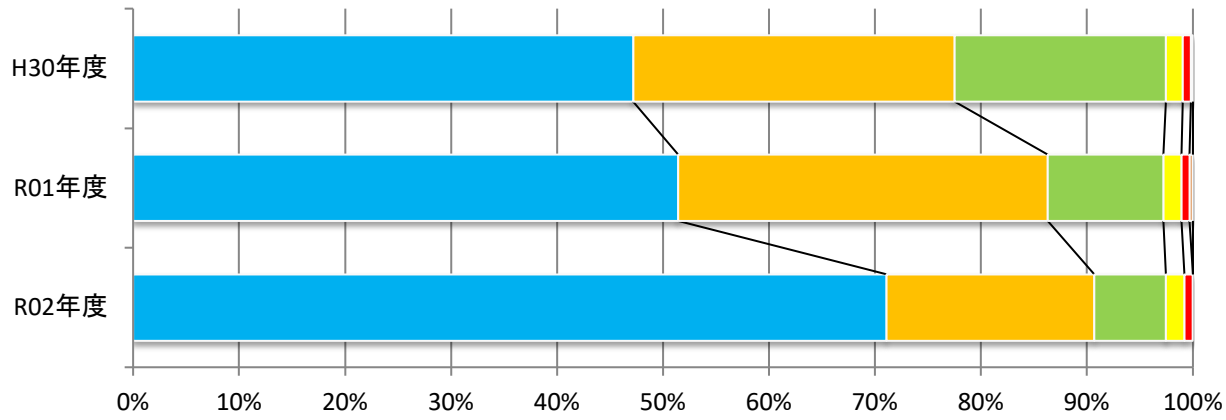
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.2	32.0	88.2	—
55.7	33.3	89.0	+ 0.9
78.1	16.2	94.3	+ 5.2

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.1	33.5	87.6	—
54.2	33.9	88.1	+ 0.6
73.4	19.8	93.2	+ 5.1

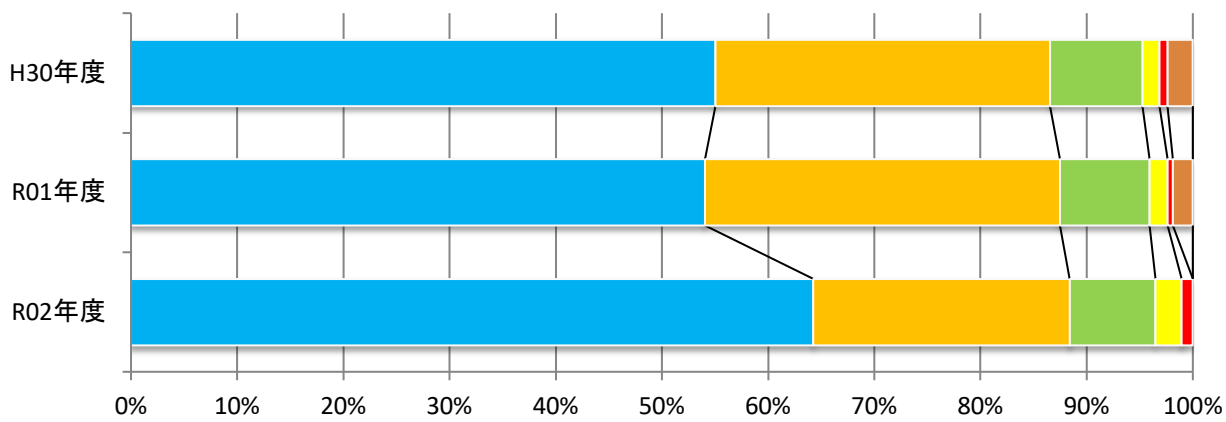
「計」(質問項目 8 ～ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.4	33.7	86.0	—
51.4	34.8	86.3	+ 0.2
71.1	19.6	90.7	+ 4.4

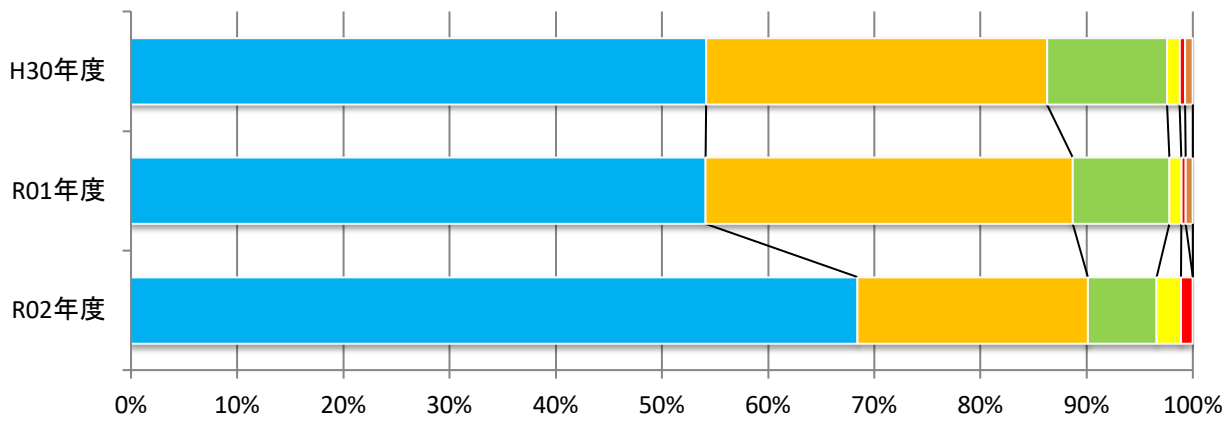
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



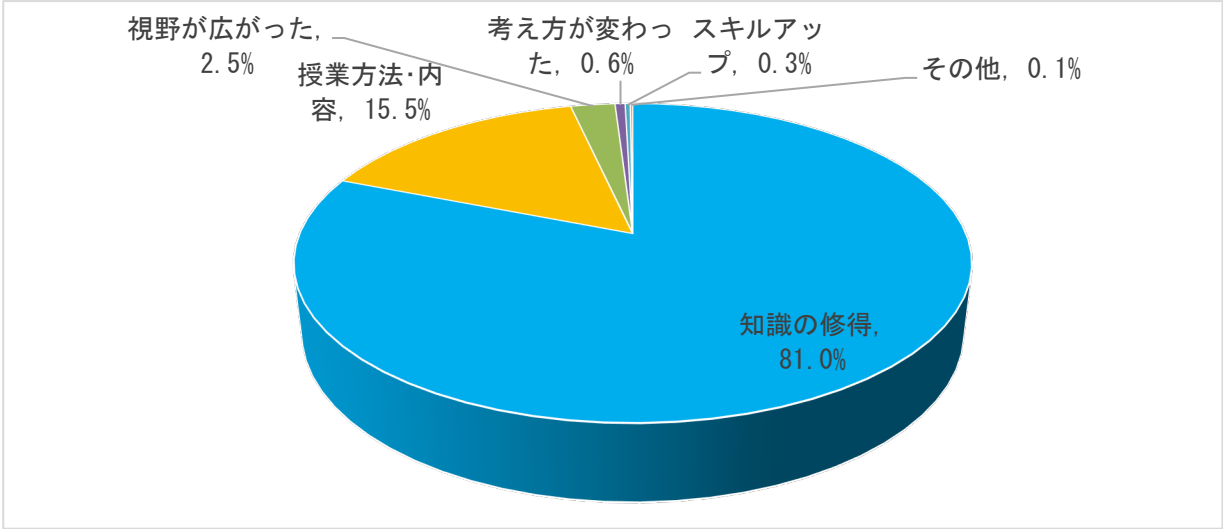
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.0	31.5	86.4	—
54.0	33.4	87.4	+ 0.9
64.2	24.2	88.4	+ 1.0

全質問項目の平均



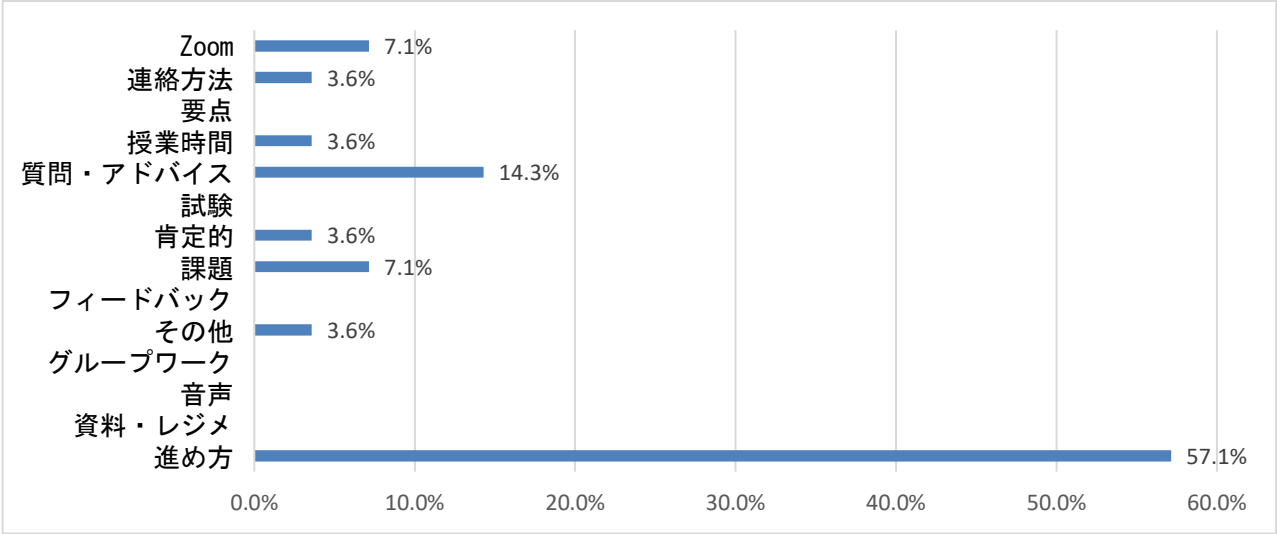
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.7	32.9	88.6	—
54.1	34.5	88.6	+ 0.0
68.4	21.7	90.1	+ 1.5

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 133】



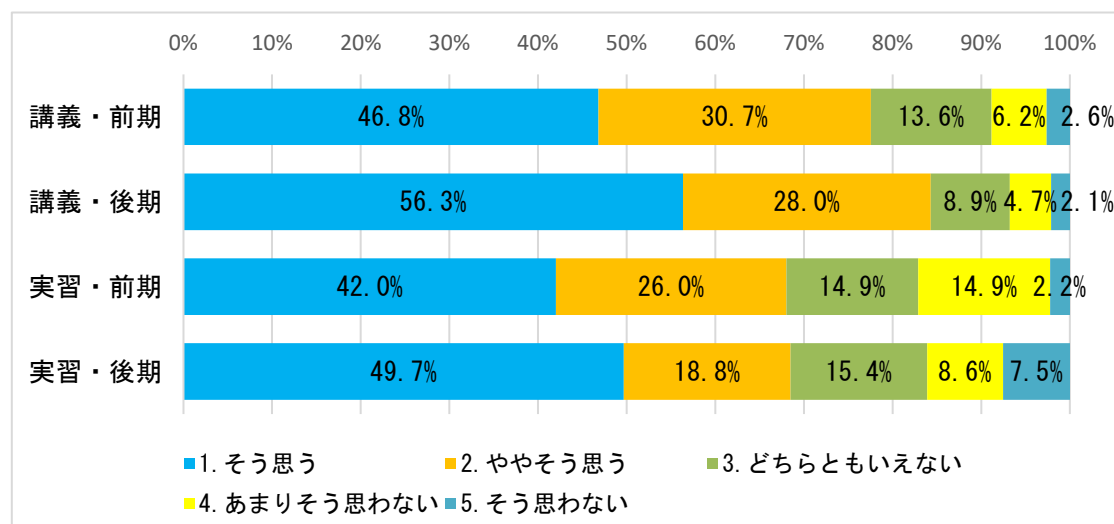
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学体験実習	58	オンラインという状態で最初は不安だったが、内容が深く自分が病院にいる気分になれたり、色々な人の意見を聞いて自分の考えを広げられたりしました。自分の考えを言葉にする力も身についたと思います。
			ビデオ学習や教科書だけではわからなかった、病院の流れや病院の機能や工夫の説明、看護師の細かな役割などを学習することができたのがよかった。また、グループで意見を発言したり、聞くことでより理解を深め考えを広げることができたところがよかった。オンラインで大変だったがグループの人と協力することもできた。
	日常生活援助展開実習	25	実際の患者さん相手ではありませんでしたが、自分の技術でまだ練習が必要な点がわかったり、計画の立て方(個別性に合わせた計画等)で自分の不十分な点がわかり、とても勉強になりました。
			実際の現場と同じように設定などを考えて、行わせてくださったことで自分の本当の知識・技術を知ることができ、今までの演習では気付かなかったことにも沢山気付くことができた。
			実際に1人の実在する患者さんの例を使って計画を立てて、実際に私たちが実施してはいるが先生に実施してもらうことで、患者の生の話を聞くこと合できてより看護師(学生)としての責任や、患者を客観的に正確に捉えてその患者に合う計画を考えて実施することの重要性を考えさせられていい経験になったので良かったです。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 28】

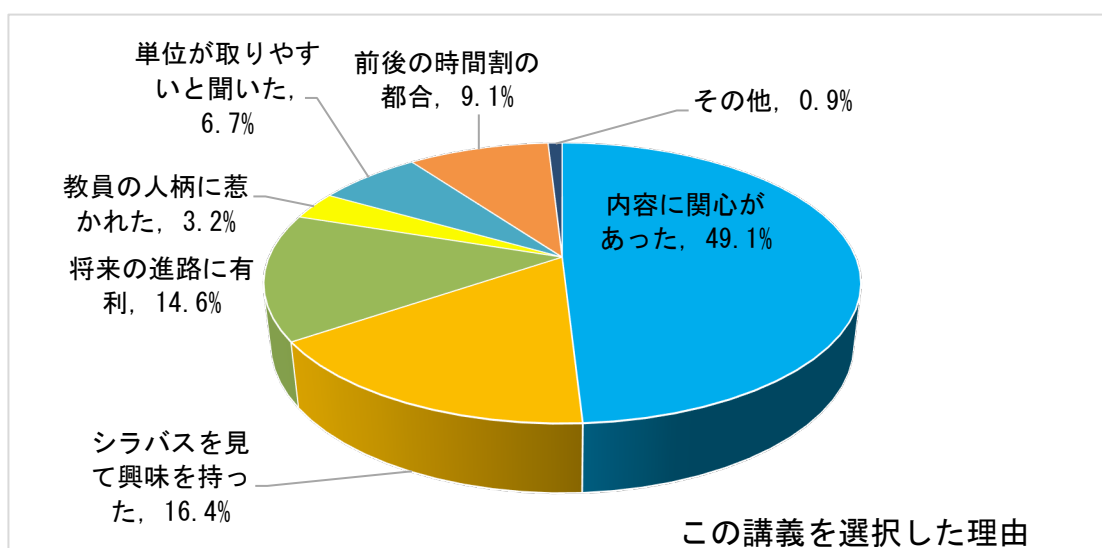


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学体験実習	6	4日目まできちんと講義があるのに5日目に発表は辛いと思います。1日発表準備日が無いと発表原稿やパワポ作成の負担の偏りは大きいと思いました。
	看護学統合実習	6	各領域で実習の内容を合わせるべきだと考える 小児看護学ゼミでは実習要項とは異なる独自の実習の仕方をしていたため、困惑するところがあった。
			臨地実習ではないゼミ生はレポートなど書く材料であるものがなかったのに実習を行った人と同じテーマで同じ文字数書くのは無理があるのではないかと思った。
	小児看護学実習	3	乳幼児を受け持つ学生と重症心身障害児を受け持つ学生では小児看護の学びの深まりが異なると感じた。

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和2年度 立川看護学部および東が丘・立川看護学部災害看護学コース
の授業評価結果に対する考察

副学長・立川看護学部長
山西 文子

1. 授業評価の結果について

- 授業評価の対象になった科目数は、東が丘看護学部及び臨床看護学コース 107 科目、立川看護学部及び災害看護学コース 83 科目で、授業評価に係る質問に回答した学生数は、東が丘及び臨床コース延べ 9,497 人（回答率:77.9%）、立川及び災害コース延べ 8,332 人（回答率 81.6%）であった。回答率は前年より 8 ポイント低かったが、コロナ禍にあっても授業評価に対する学生の関心・意識は比較的高いことを示しています。

自由記述の内容も含めて授業評価の結果を各教員に配布し、導入可能な科目に於いてはリアクションシートの活用による学生へのフィードバックを重ね丁寧に実施してきた。また臨地、オンラインに関わらず、より学生の学びやすさ、満足度を上げるための追及・工夫の必要性を教員が認識し、努力をしている教員が多くなっている。ICT 活用については相手の反応を確認しながら展開可能になるように領域教員間で繰り返し試行し、工夫を重ねながら授業のあり方の改善に鋭意取り組んできた結果と前向きに受け止めます。更に今後も謙虚に教員一同で努力して参りたいと思っています。

- 学生自身の授業態度（事前の十分な準備、積極的な出席、意欲的取り組み）については、3つの質問項目平均は 89.3%の学生が肯定的な回答（「そう思う」及び「ややそう思う」）をしています。内訳は積極的な出席は 92.5%であるが、事前の十分な準備の質問項目は 86.0%とやや低くなっています。昨年と比較すると、否定的な回答（「どちらともいえない」を含む）をした学生は約 10.7%であり、前年度より消極的な回答は低くなっています。授業に対して積極的に取り組んだ項目は、89.6%と前年より高い結果となっており、コロナ禍で ICT 活用の授業形態も影響しているかも知れません。約 10.7%の否定的な意見の学生のモチベーションや授業前の十分な準備を、どのように高めていくかが今後の課題と受け止めています。

本学部学生は、全体的にコロナ禍でアルバイト時間が短くなり生活費の困窮による支援を望んでいる学生が三割近く出ていました。1日当たりの自主学習時間（シラバス上に明示されている事前学習・事後学習も含む）が、全国の文系・理系を合わせた大学生を対象にした調査の結果と比べて短い、深夜にわたるアルバイトをしている学生がかなりの割合いたという結果が一昨年度得られています。コロナ禍においては、アルバイト時間が短くなり、生活時間の調査は実施していませんが、学生自身の学修に対する姿勢が向上している結果から、学習に時間が使用された可能性があります。授業に意欲的に取り組むことができる学生生活のあり方について、更に学生・保護者ともに指導・支援を検討していく必要があります。

- 授業内容(4 項目)に関する評価については、87.2%の学生が肯定的な回答をしています。その内容の内訳は、「授業の内容をよく理解できたか」「基本的な専門知識が得られたか」「自分にとって新しい考え方や発想が得られたか」「発展的な学びにつながる内容であったか」の質問項目である。講義・演習科目(70 科目)では約 10.8%、実習・実験科目(13 科目)では 4.2%弱の学生が、「どちらともいえない」と回答し、講義・演習科目の中には「理解できない」「専門知識が得られなかった」とネガティブな回答をした学生が僅かに存在しています。授業内容については、学部としてカリキュラム改定もあることから、各教員の教育力の向上を図るよう FD 活動に積極的に参加するよう推進したいと考えております。

- 教員の考え方・姿勢に関する質問項目評価(8 項目)に関しては、講義・演習科目において肯定的回答は約 78%、昨年と比較すると変化は殆ど見られない。実習・実験科目では約 86.2%の学生が肯定的な回答をしており、昨年より約 1 ポイント向上しています。今回はどの項目の評価も変化は見られない傾向となっております。

中でも「シラバスは学修するうえで役に立ったと思うか」の質問に対する肯定的な回答は、他の質問項目に比べて低く、講義・演習科目(70 科目)において 61.7%であり、実習・実験科目(13 科目)においては 60.2%となり、どちらも前年度より 7~13 ポイント低下しております。現在、シラバスは全科目電子化され学生自身でデスクネットに入り確認するようになっていきます。自らデータを確認していく学生に丁寧に指導していくように教員への周知徹底を再度したいと思います。印刷して配布してほしいと希望もありますが、ICT に慣れていくように指導を重ねたいと思います。また、授業の開始時、ガイダンスを実施する時間にシラバスのことも念を押していくことを試みるようにしたいと考えます。印刷物を希望する学生が 4 割程度いますが話し合ってみてみたいと思います。

他の項目に関しては、講義・演習科目について「学生が質問や意見を述べられるように配慮したか」74.1%、「学生の理解度を確認しながら授業を行ったか」73.7%の 2 項目は昨年よりも約 2~3 ポイント評価が低く回答され、ネガティブ回答もありました。

今後は授業に先立ち全ての学生が目を通し、事前学習、事後学習に「役立つ」シラバスにしていく必要があります。また、チャット機能や手を挙げる機能を使用することなど、途中で質問を確認すること、自由に発言できるように工夫が必要と考えます。

- 自由記述に関する結果については、授業に対する肯定的評価は 178 件、授業に対する要望等は 92 件、施設・設備等に関する要望等は 3 件でした。

肯定的評価の例は、「講義動画を自分のペースで止めながら見ることが出来たので理解しながら進めることが出来た」「授業前にスマホで行った確認テスト問題は、復習にも使えたので有難かった」「オフィスアワーを設けてくれる教員がいて質問しやすく理解を深めることが出来た」「倫理的問題を考えたりするのは難しかったが、自分が患者の気持ちを考えていくうえで足りない点などを知ることが出来たのでとても有意義だと感じました」などが挙げられてあり

ました。

要望等についての例は、「レジュメは背景を白にして頂きたいです」「授業の日程通りに配信して欲しい」「実習期間中に動画・資料アップをし、その後すぐにテストという形は避けて頂きたいです」「先生方の役割分担は進行の上で必要だと思うが、しっかり連携をとって欲しい」「声が聞き取りにくいことが多かった」などでした。これらの要望は出来るだけ解決の方向に向くように教員間で共有して改善をしたいと考えております。

2. 授業において工夫した点について

- 講義の際に配布する資料については、学生からの要望が毎年繰返し出されていますが、資料は学生の理解を助けるうえでの重要な教材であり、教員の個別対応で徐々に改善でき、要望は減少しました。自由記載の中にありました「臨床のことを踏まえて教えて貰えてよかった」「授業のレジュメがどれも全部わかり易く、実習や今後の学習にずっと使えると思いました」とあるように肯定的な評価が増えました。しかし、オムニバス方式で外部講師と授業を計画している場合の非常勤講師へのサポートを、学生のニーズを知って授業資料や映像の確認等の支援がもっと必要だということが学生の評価から受け取れるので、サポート体制を取れるよう検討・工夫していきたいと考えております。
- 「実習・実験」科目に対しては、すべての評価項目の結果が高く出ています。本学部は、基本的には災害看護学コースの全実習施設の関係者に参加いただき実施してきた「実習施設説明会」や災害医療センター・村山医療センター・共済立川病院との間で「よい実習」を目指して進めている「実習連携会議」を通して実習指導者との間で検討してきた成果ではないかと考えています。また、コロナ禍であっても、教員と実習指導者との信頼関係が深まっていることから、実習施設に入院中の患者事例を患者さんの許可を得て、情報提供され、かつ学内に実習指導者も来られ直接カンファレンスに参加、指導を行って下さるという非常にリアルな状況での指導が行われたことも評価結果が高く出た原因と考えられます。
- 本学部のカリキュラムの特徴である、1 年次前期セメスターから基礎看護学実習を計画、さらに 1～4 年次全ての学年に「実習」を計画していることに対して学生から高い評価を得ています。この点に関しては、就職支援委員会が中心となって進めている「卒業生と語る会」「オープンキャンパスでの在校生の説明」においても、卒業生や入学希望者から高く評価されています。実習指導の差が少なくなるように教員や実習指導者の指導力アップに繋がる努力も検討したいと考えています。

3. 今後の授業への生かし方について

- 授業評価以外の本学部の教育全体に対する指標として「卒業時の看護技術の到達目標の達成レベル」「看護師国家試験の合格率」をあげることが目標に掲げております。「卒業時の看護技術到達度」(173 項目)に関して、災害看護学コースとしては、目標レベルをほぼ 100%達成しており、講義、演習・実習

の連携等が効果的・効率的に進められています。最近就職した3施設の看護部長さんから問題意識が高く、根拠についての的を得た質問をされる卒業生が多いと言われていることも、後輩・教員の励みになっています。

また「看護師国家試験の合格率」(臨床看護学コース・災害看護学コース：97.4%)に関しては目標の100%を達成することはできませんでしたが、全国看護系大学の平均合格率(95.4%)を上回っており、授業評価結果と合わせて、効果的、効率的な授業の提供ができていると考えています。本学部が目標としている「看護の実践力、災害対応能力、看護を探究する能力を兼ね備えた地域から信頼される Nurse の育成」を目指して教職員一同、教育の質の向上にさらに努めてまいります。

- 卒業研究について、本学部ではグループによる「英語論文のクリティーク1単位」「卒業研究3単位」の指導を行ってきております。そこでは看護研究のプロセスを学びます。また必要な研究倫理・倫理申請、利益相反、ガバナンスなどの考え方の基礎を修得します。科学的・論理的思考はもとよりグループダイナミックス、論文の書き方、研究発表の仕方も踏襲され看護職としての基礎的な総合力、キャリア開発能力が身につきます。そのために大学として、FD マップを作成し、定期的に研修会を持ち、教員の教育・研究に対する指導力を身に付けていくように尽力いたしております。
- 学習環境とくに講義室の整備に対して学生から毎年改善の要望が出されているので大学経営側に働きかけていきます。コロナ禍で学年を2グループに分け、講義する場合の環境において、講師がいない教室の学生からは声が聴きにくい、迫力が伝わらない、映像が明確ではない等の意見はあるが、マスク下、アクリルボードを通しての講義であるので個々に教員は努力しているが、席の間隔も空けており、望ましい教育環境ではないとは思っているが、学生が集中できるよう、教育環境の整備・充実を図ってまいります。

4. その他

- 最近、体調不良、単位未履修などの理由で、留年、休学、退学する学生が増加傾向にあり、対応するたびに胸が痛みます。一人ひとりの学生は、健康に関わる専門職を目指していることをしっかり認識し、セルフコントロール能力を高めていくことが必要であり、大学として支援を強化しております。就職施設の病院幹部から優秀な卒業生が欲しいと明確に言われるようになり、採用試験においても一度で内定結果が得られるような指導を重ねて参ります。

以上

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○全科目数 104科目 ○調査対象者数 10,001人（延人数）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈質問項目番号の（ ）は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

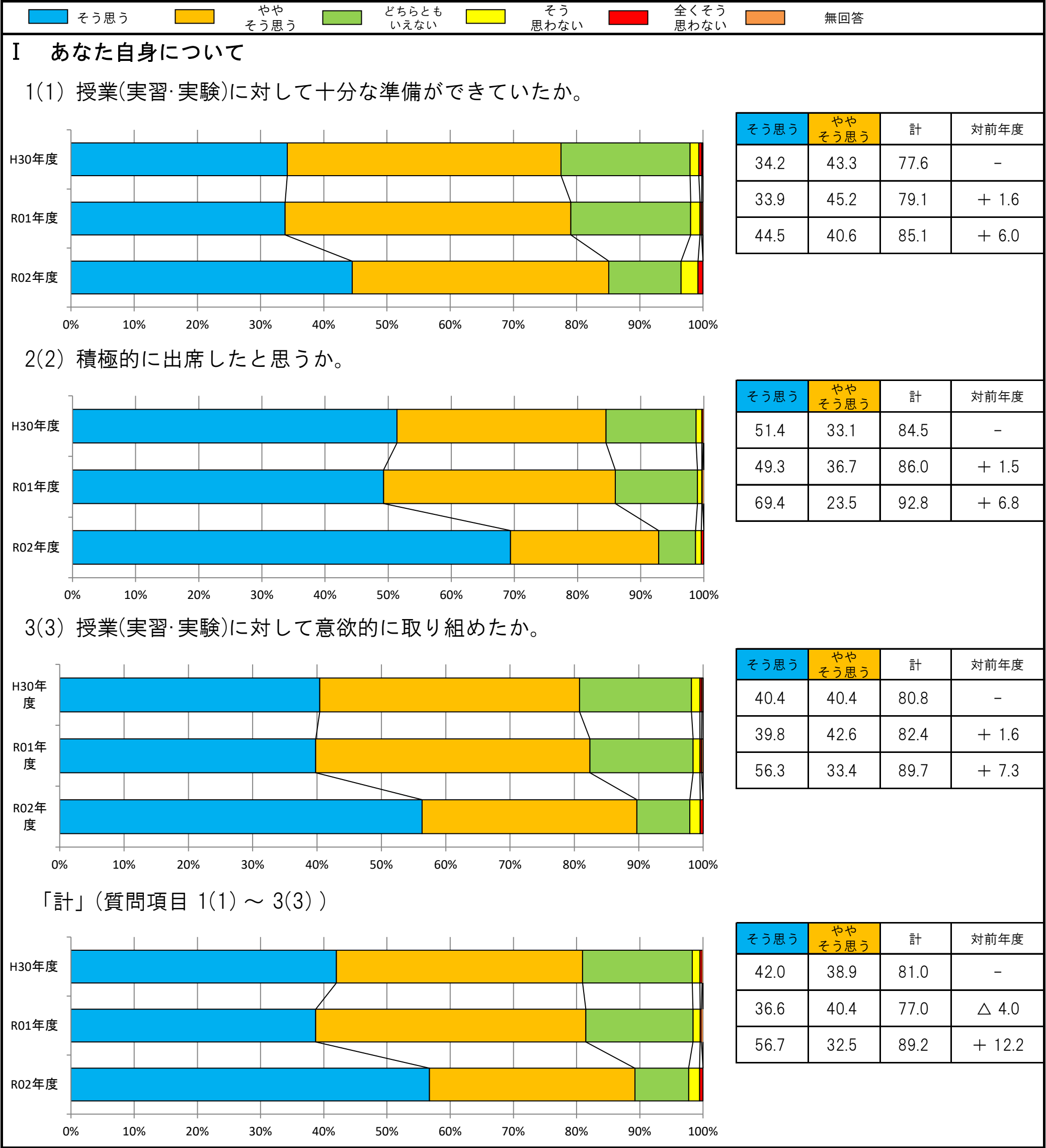
質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(33.9) 44.5	(45.2) 40.6	(19.0) 11.4	(1.5) 2.7	(0.2) 0.8	(0.2) 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(49.3) 69.4	(36.7) 23.5	(13.0) 5.8	(0.7) 0.9	(0.1) 0.4	(0.2) 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(39.8) 56.3	(42.6) 33.4	(16.0) 8.2	(1.1) 1.6	(0.2) 0.5	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(41.0) 56.7	(41.5) 32.5	(16.0) 8.5	(1.1) 1.7	(0.2) 0.5	(0.2) 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(33.8) 41.4	(45.4) 43.2	(17.9) 11.1	(2.2) 3.0	(0.5) 1.2	(0.2) 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(40.6) 53.8	(41.6) 34.6	(15.3) 8.7	(1.7) 1.9	(0.6) 1.0	(0.2) 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(41.2) 52.7	(40.1) 33.8	(16.0) 10.6	(1.9) 2.0	(0.6) 1.0	(0.2) 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(43.0) 56.7	(39.0) 31.6	(15.2) 8.9	(1.7) 2.0	(0.6) 0.8	(0.5) 0.0	(100) 100
計	(39.7) 51.2	(41.5) 35.8	(16.1) 9.8	(1.9) 2.2	(0.6) 1.0	(0.3) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(31.7) 33.3	(37.3) 27.9	(24.9) 27.6	(4.2) 6.8	(1.6) 4.4	(0.3) 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(41.3) 54.5	(40.0) 30.5	(15.9) 10.9	(1.9) 2.7	(0.6) 1.4	(0.3) 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(43.0) 55.6	(37.3) 29.6	(14.9) 10.8	(2.3) 2.4	(0.8) 1.6	(1.7) 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(40.9) 48.2	(37.4) 29.8	(18.0) 15.2	(2.5) 3.7	(0.8) 3.1	(0.4) 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(44.1) 54.0	(37.7) 30.0	(15.4) 11.0	(1.8) 3.0	(0.7) 1.9	(0.3) 0.0	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(45.5) 61.7	(37.5) 27.1	(14.7) 8.4	(1.5) 1.6	(0.5) 1.2	(0.3) 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(41.0) 45.6	(37.6) 30.9	(17.5) 16.4	(2.5) 4.1	(1.0) 3.0	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(41.1) 50.4	(37.8) 29.4	(17.3) 14.3	(2.4) 3.5	(0.9) 2.4	(0.5) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 44.2	(-) 27.8	(-) 17.2	(-) 6.4	(-) 4.3	(-) 0.0	(-) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(41.4) 46.1	(38.0) 35.7	(14.7) 12.7	(2.0) 3.7	(0.8) 1.9	(3.1) 0.0	(100) 100
計	(35.1) 45.2	(38.4) 31.8	(19.7) 14.9	(2.6) 5.0	(1.3) 3.1	(2.9) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(39.2) 50.9	(39.8) 32.4	(17.3) 11.9	(2.0) 3.1	(0.7) 1.8	(1.0) 0.0	(100.0) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

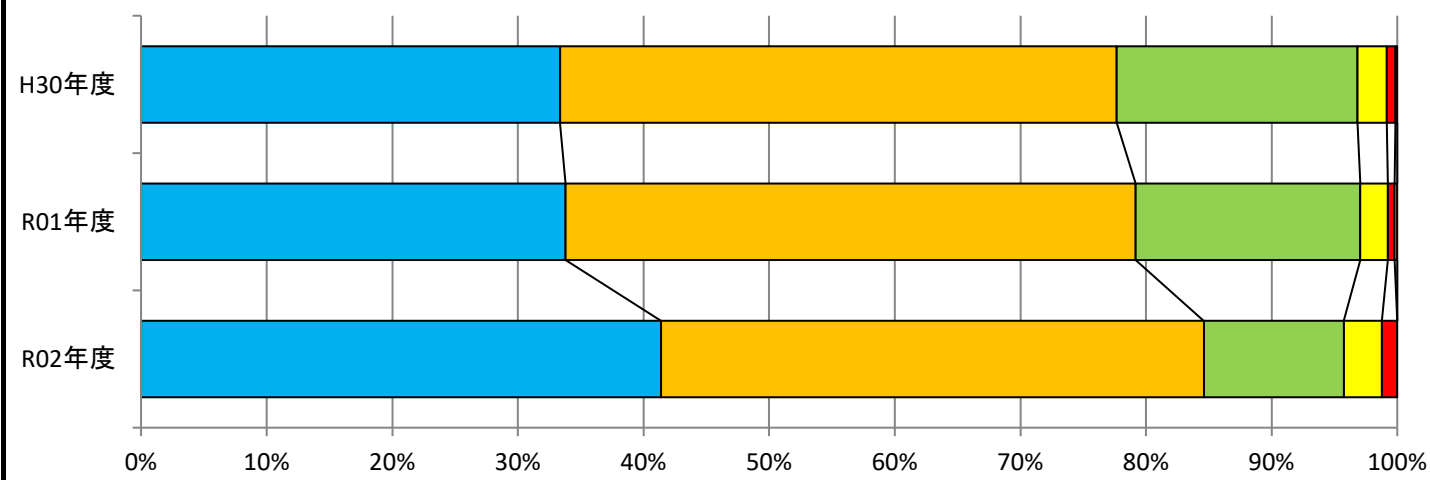
	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	190科目	211科目	195科目	192科目	104科目
調査対象者数	18,836人	20,005人	18,794人	18,211人	10,001人
総回答数(回答率)	17,709枚(94.0%)	17,180枚(85.9%)	17,185枚(91.4%)	17,510枚(96.2%)	8,399件(84.0%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



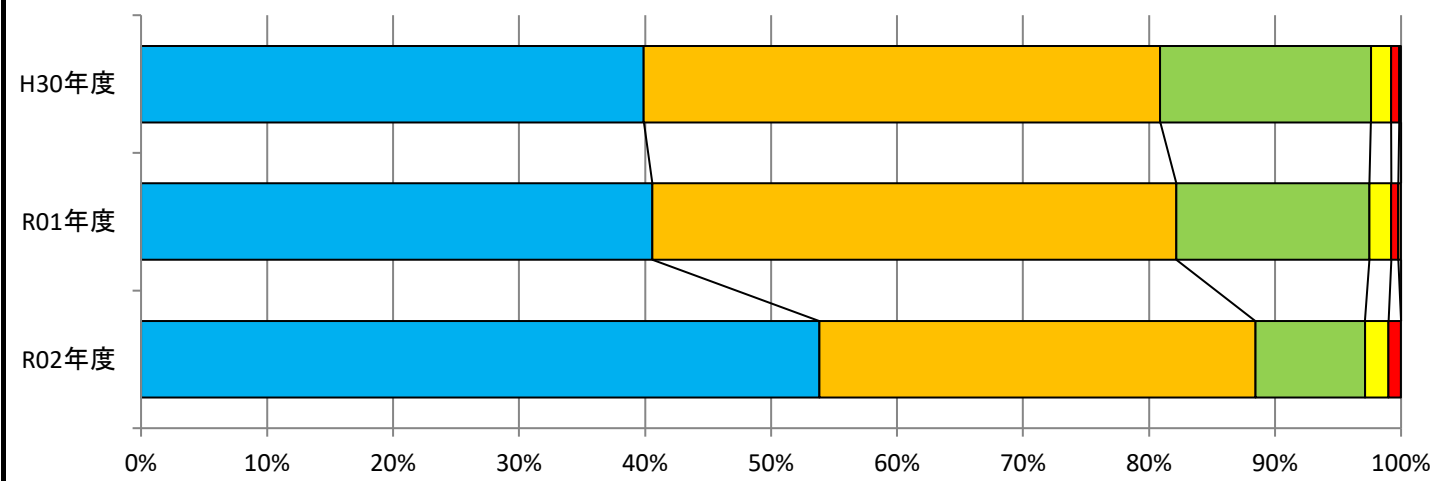
Ⅱ 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



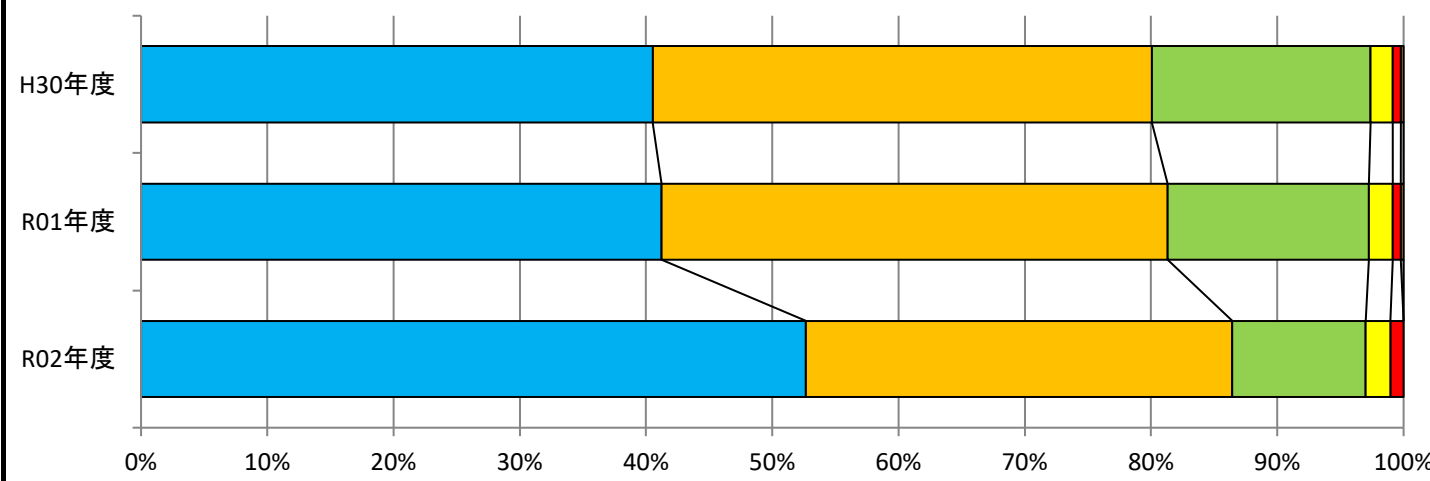
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.4	44.3	77.7	-
33.8	45.4	79.2	+ 1.5
41.4	43.2	84.6	+ 5.4

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



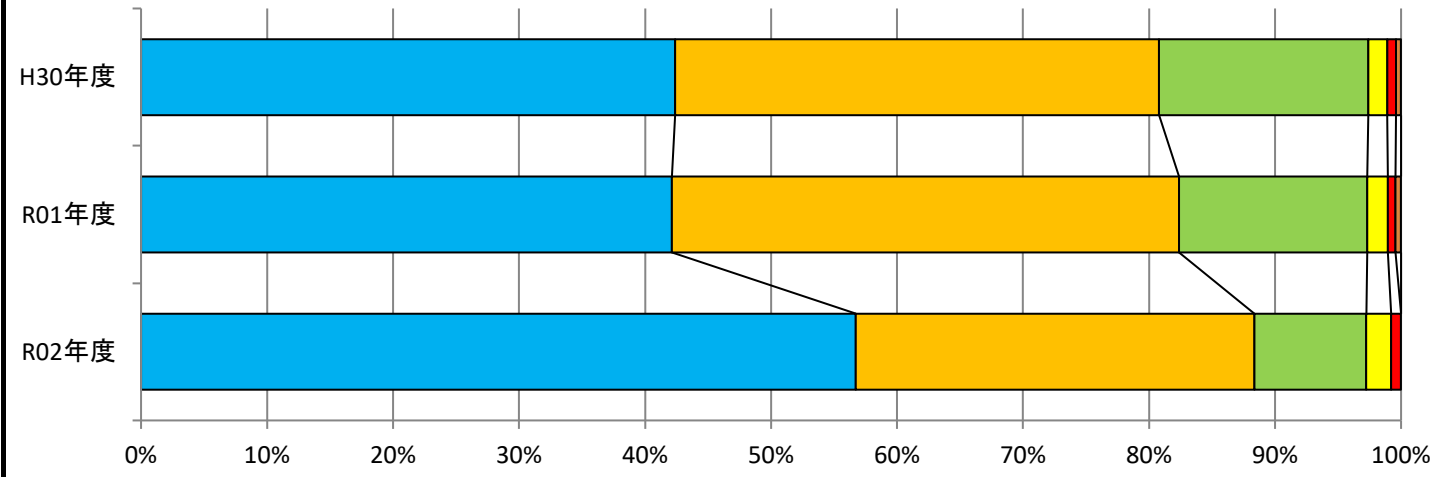
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.9	41.0	80.8	-
40.6	41.6	82.2	+ 1.3
53.8	34.6	88.4	+ 6.3

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



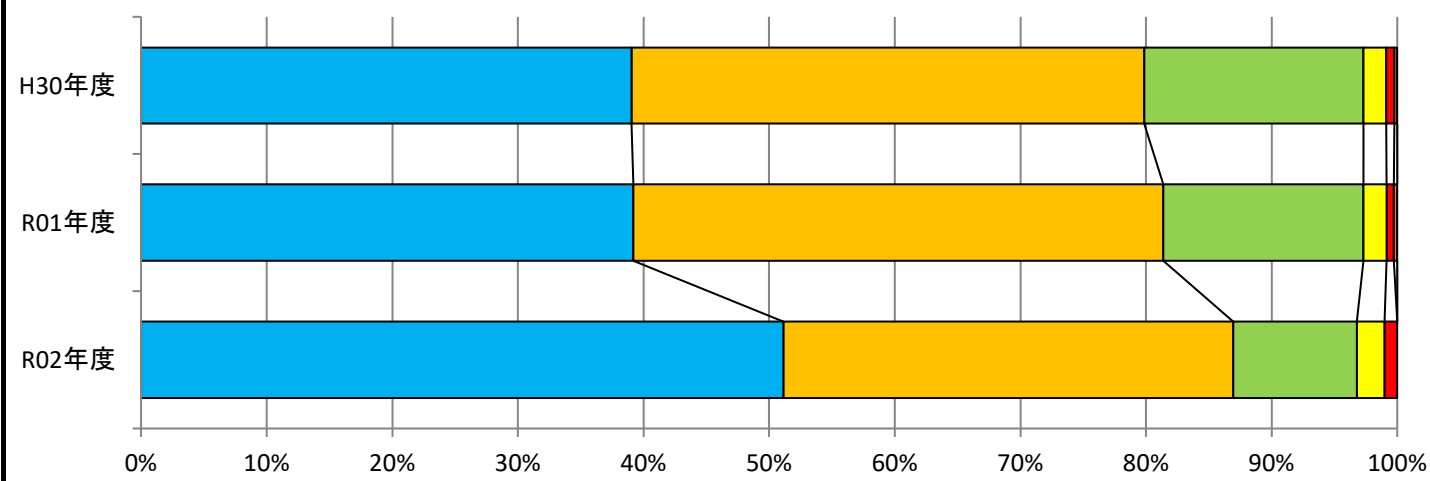
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.5	39.5	79.9	-
41.2	40.1	81.3	+ 1.4
52.7	33.8	86.4	+ 5.1

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.4	38.4	80.8	-
43.0	41.1	84.1	+ 3.3
56.7	31.6	88.4	+ 4.2

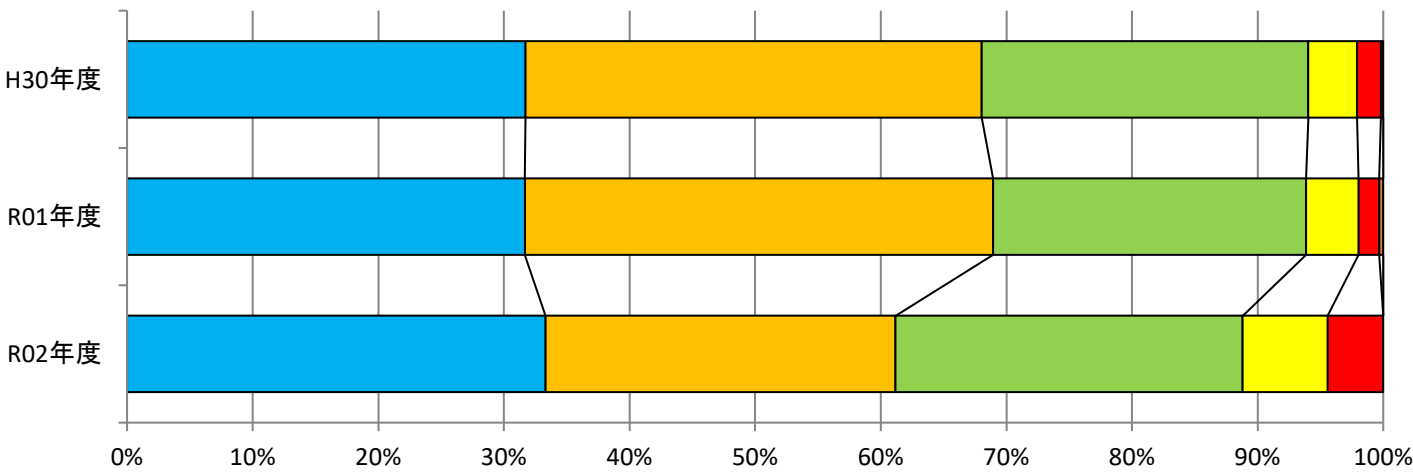
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.0	40.8	79.8	-
39.7	42.7	82.4	+ 2.5
51.2	35.8	87.0	+ 4.6

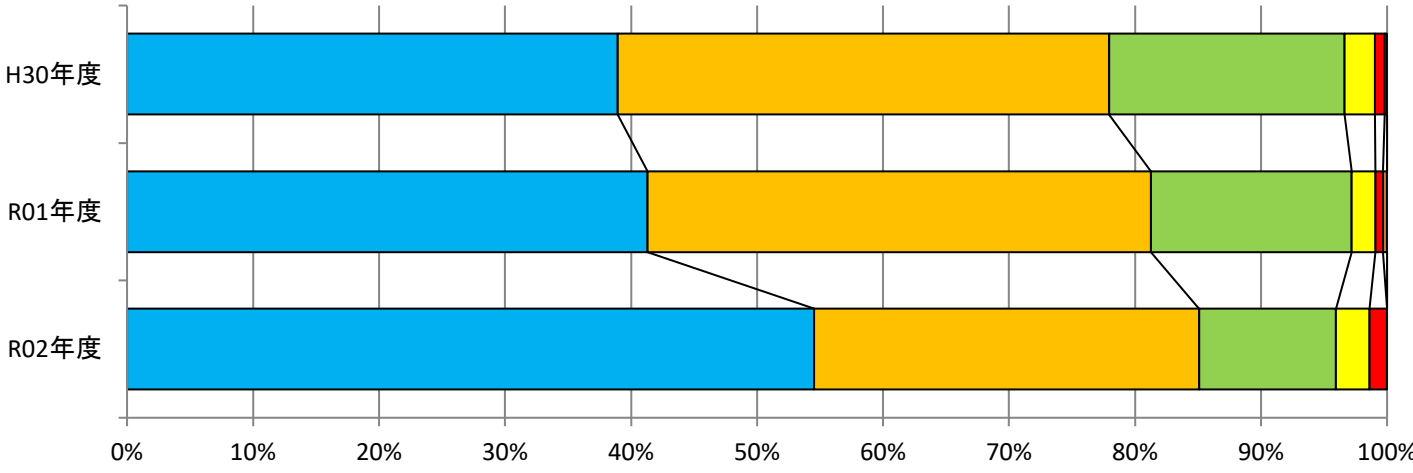
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



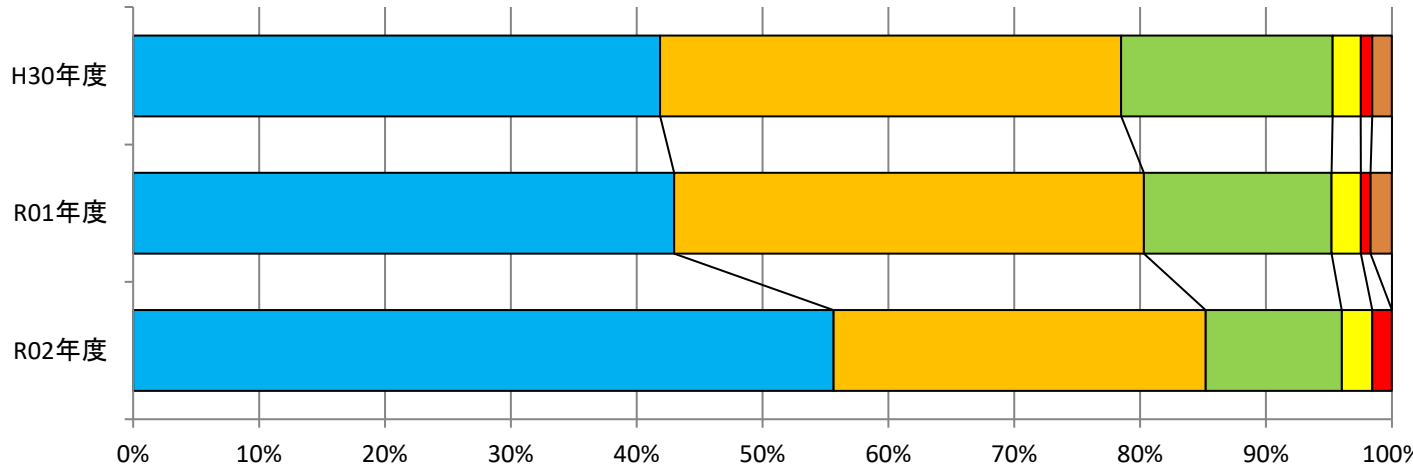
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.7	36.3	68.0	-
31.7	37.3	69.0	+ 0.9
33.3	27.9	61.2	△ 7.8

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



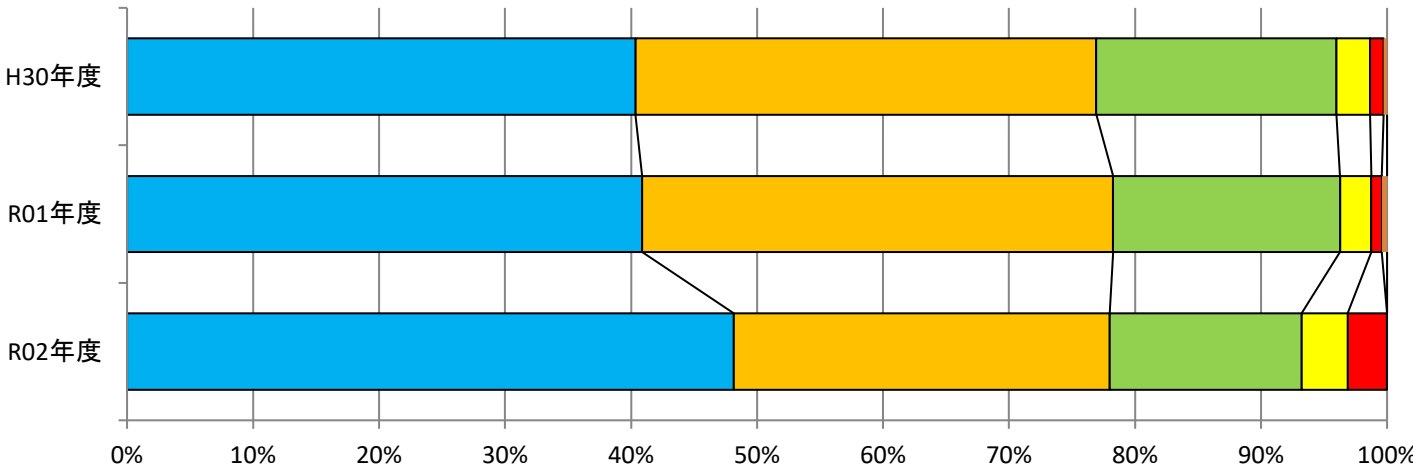
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.9	39.0	77.9	-
41.3	40.0	81.3	+ 3.4
54.5	30.5	85.1	+ 3.8

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



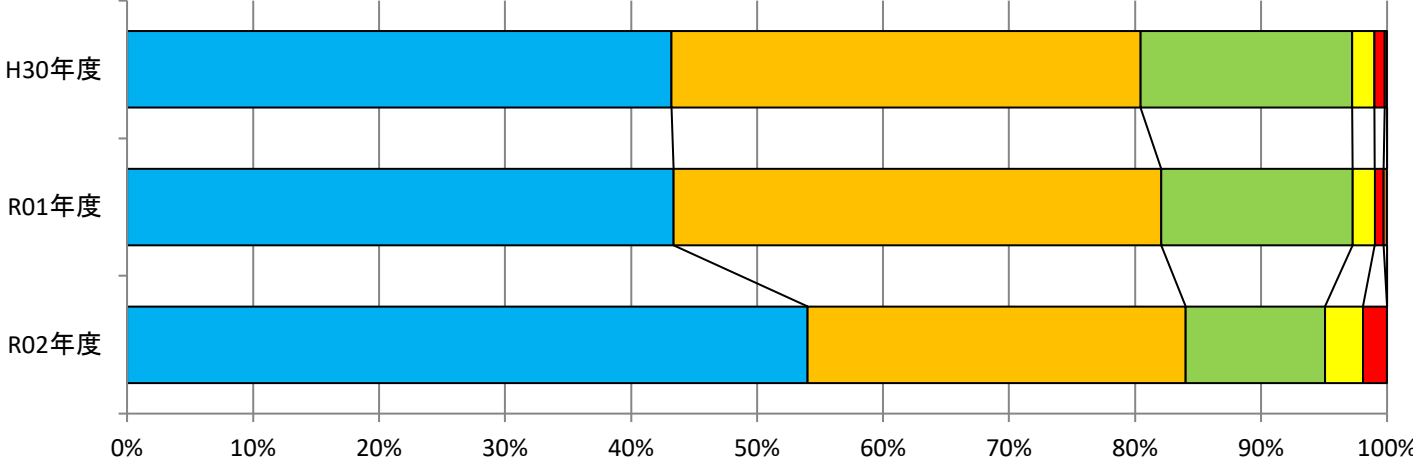
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.9	36.6	78.5	-
43.0	37.3	80.3	+ 1.7
55.6	29.6	85.2	+ 4.9

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



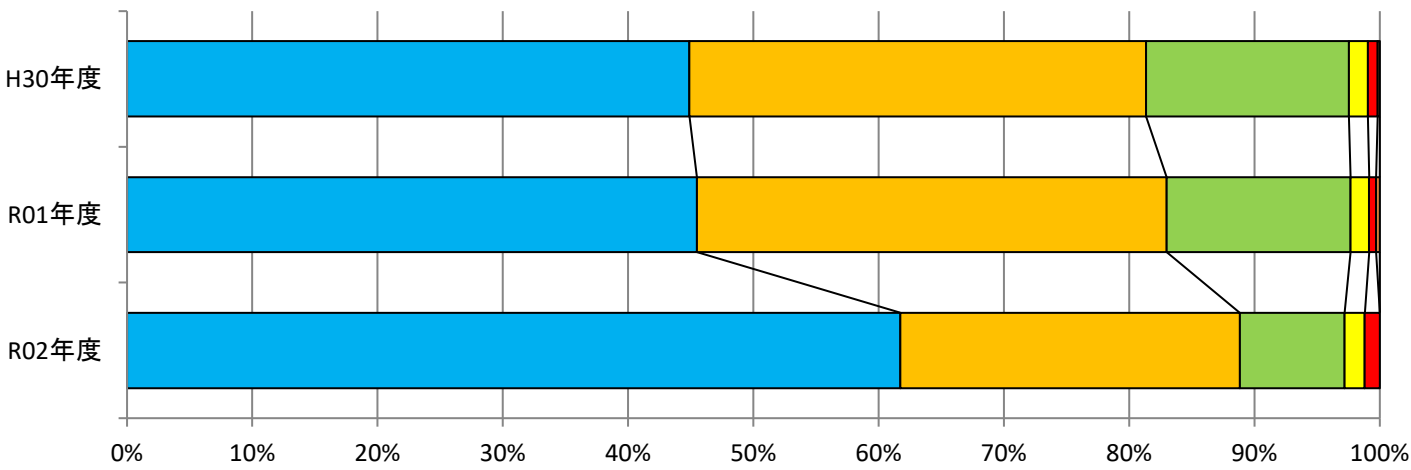
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.3	36.6	76.9	-
40.9	37.4	78.3	+ 1.4
48.2	29.8	78.0	△ 0.3

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



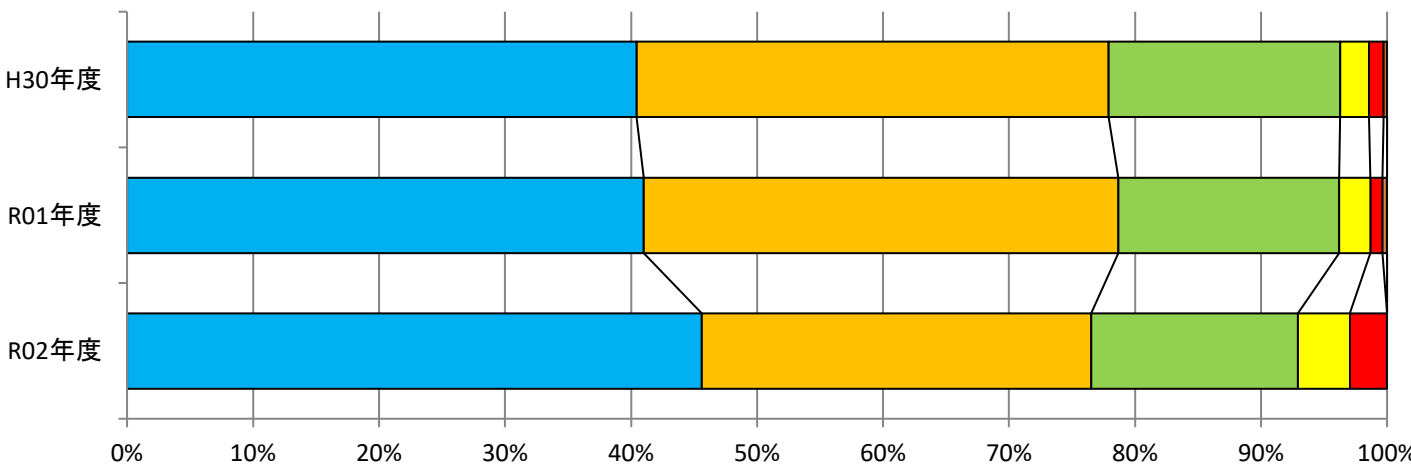
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.2	37.2	80.5	-
44.1	39.4	83.5	+ 3.0
54.0	30.0	84.0	+ 0.5

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



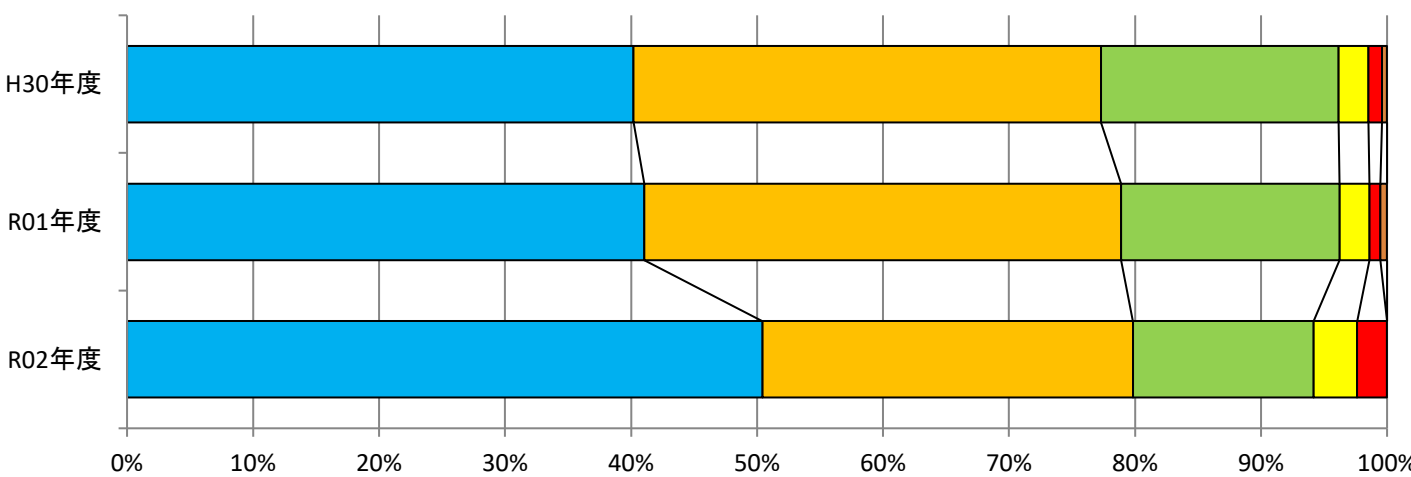
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.9	36.5	81.4	-
45.5	37.5	83.0	+ 1.6
61.7	27.1	88.8	+ 5.8

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.4	37.4	77.9	-
41.0	37.6	78.6	+ 0.7
45.6	30.9	76.5	△ 2.0

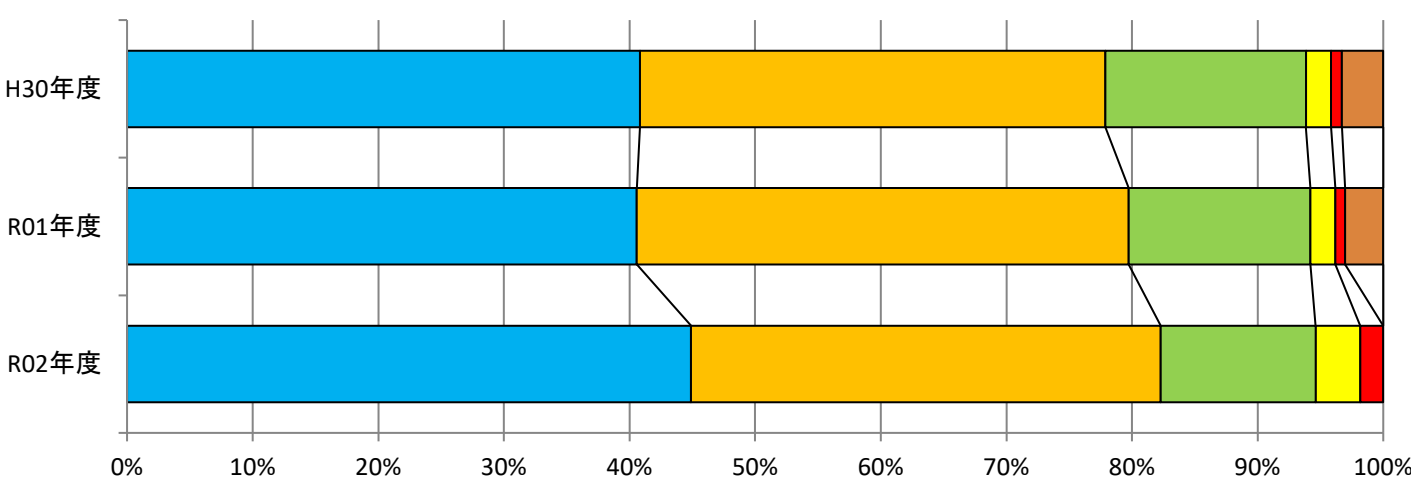
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.2	37.1	77.3	-
41.1	37.8	78.9	+ 1.6
50.4	29.4	79.8	+ 0.9

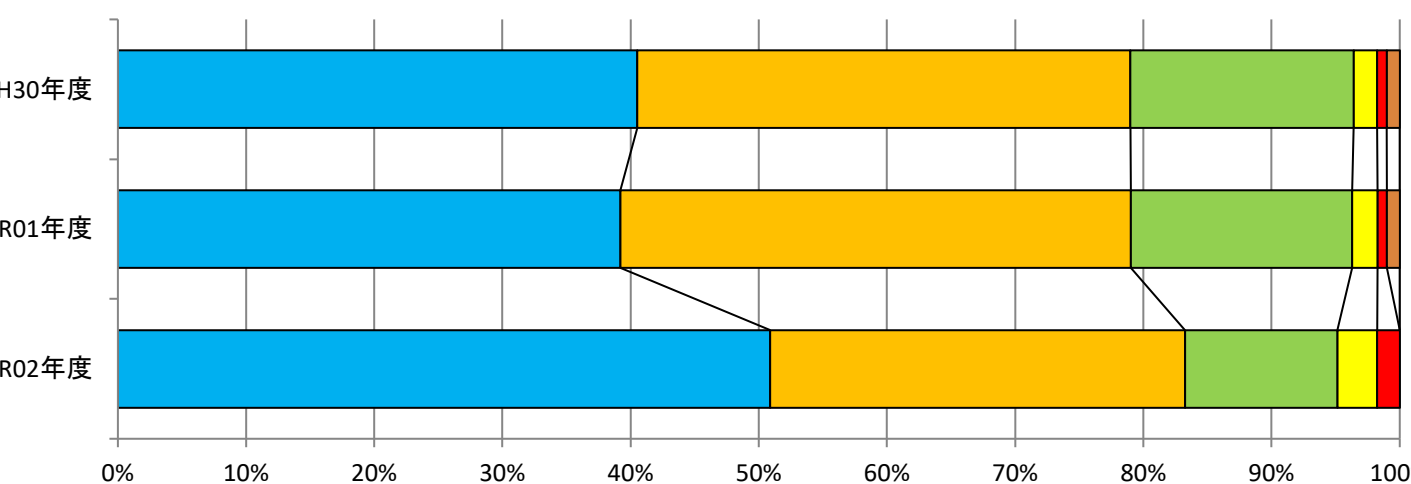
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.8	37.0	77.9	-
41.4	39.9	81.3	+ 3.4
46.1	38.4	84.5	+ 3.3

全質問項目の平均

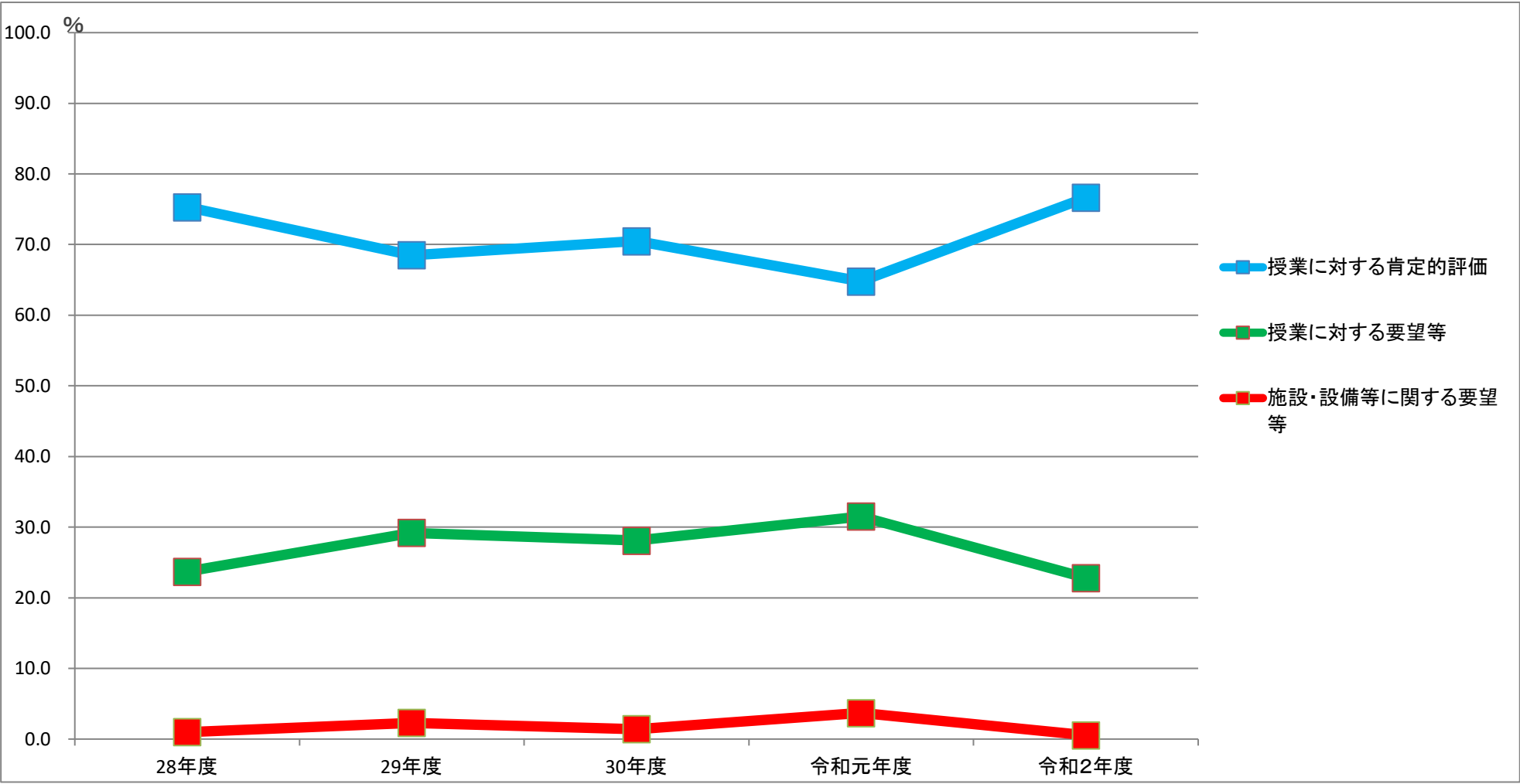


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.5	38.5	79.0	-
39.2	39.8	79.0	+ 0.0
50.9	32.4	83.2	+ 4.2

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(66.8%)	427	(60.2%)	307	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(76.6%)	423
授業に対する要望等	(32.1%)	205	(38.0%)	194	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(22.8%)	126
施設・設備等に関する要望等	(1.1%)	7	(1.8%)	9	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.5%)	3
総件数	(100.0%)	639	(100.0%)	510	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	552

※（ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	423	・ 講義動画を自分のペースで止めながら見ることが出来たので、理解しながら進めることが出来た。 ・ 授業前に、スマホで行った確認テスト問題は、復習にも使えたのでありがたかったです。 ・ オフィスアワーを設けてくださる先生がいて質問しやすく理解を深めることができた。 ・ 授業の動画はとてもわかりやすく細かくかみ砕いて説明してくださってとてもわかりやすかったです。 ・ 倫理的問題を考えたりするのが難しかったですが、自分が患者の気持ちを考えていくうえで足りない点などを知ることが出来たのでとても有意義だと感じました。 ・ 実習がzoomだったことで調べる時間等が多く確保でき良かった。 ・ 無理をするのではなく、今の自分のままでいいんだと改めて思えた。 ・ オンラインにも関わらず先生方と一対一で話す機会も設けて頂けたことで何か自分の中で消化しきれない疑問なども理解できたと思います。
授業に対する要望等	126	・ レジューメは背景を白にしたいです。 ・ 課題のみで全授業終わってしまったので、1度くらいは遠隔で授業して欲しかったです。 ・ 授業の日程通りに配信して欲しい。 ・ 実習期間中に動画・資料アップをしその後すぐにテストという形は避けていただきたいです。 ・ 眼科のレジューメは治療のことが中心になっていたが、看護のことも盛り込んで欲しい ・ 技術確認日の前に手順書の解答などをデスクネッツなどにアップしていただけますか ・ 先生方の役割分担は進行の上で必要だと思うが、しっかり連携をとってほしい。 ・ 声が聞き取りにくいことが多かったです。 ・ パワーポイントの資料で大切なポイントなどが分かりにくかったです。
施設・設備等に関する要望等	3	・ 学校のネットワーク環境の改善 ・ 別館のWifi環境により、発表の音声が停止、ZOOMから抜けてしまうことが発生した。通信環境が向上するといいなと思います。 ・ 電波の関係なのか、途切れることや止まること、しばらく切れてしまうことが他の授業に比べて多かった印象です。
計	552	

令和2年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○講義・演習科目数 70科目 ○調査対象者数 8,670人(延人数)
○総回答数 7,285件(回答率84.0%)

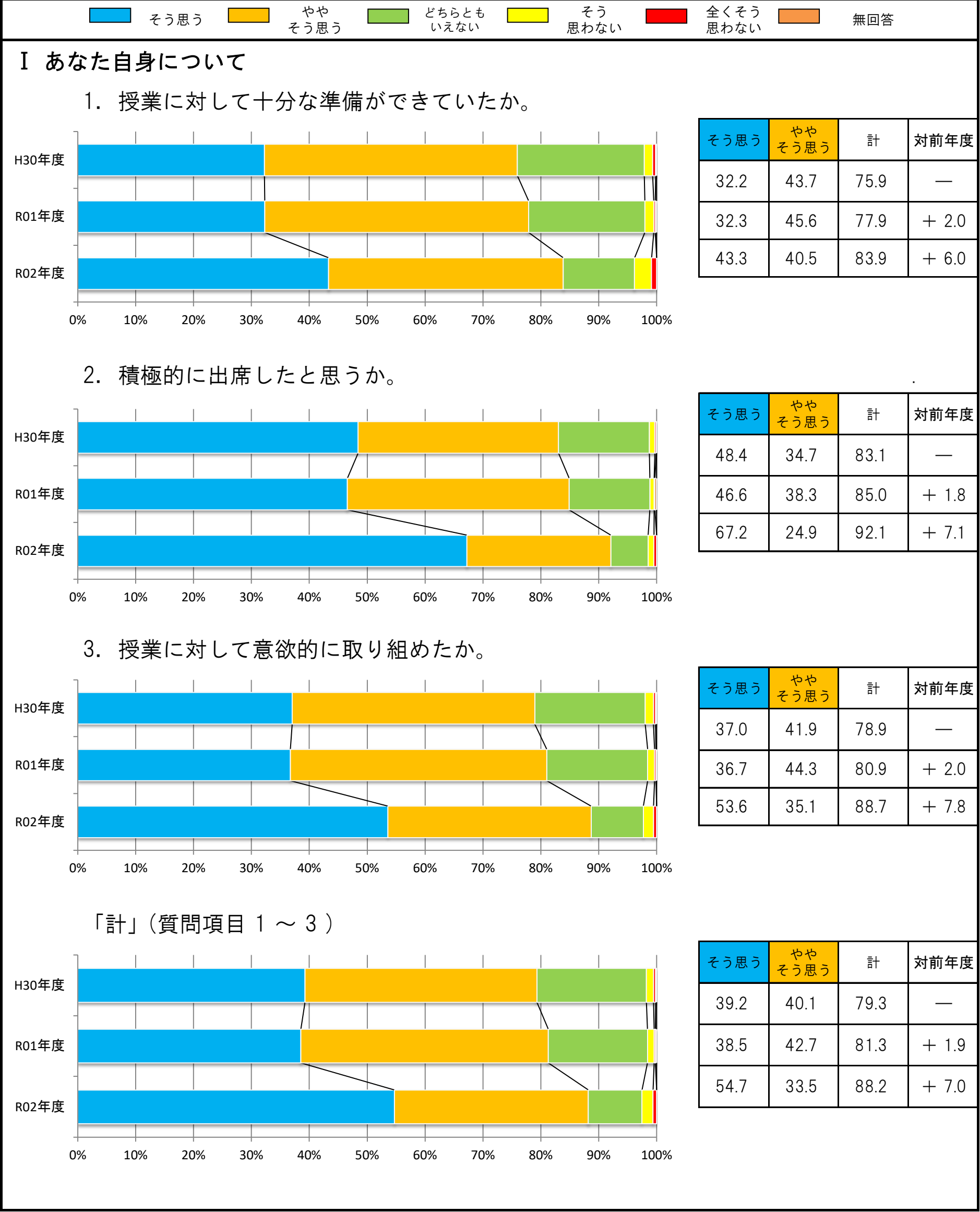
◆ 質問項目別集計結果 〈上段()は令和元年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(32.3) 43.3	(45.6) 40.5	(20.1) 12.3	(1.5) 2.9	(0.3) 0.9	(0.2) 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(46.6) 67.2	(38.3) 24.9	(14.0) 6.5	(0.7) 1.0	(0.1) 0.5	(0.3) 0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(36.7) 53.6	(44.3) 35.1	(17.4) 9.0	(1.2) 1.8	(0.3) 0.5	(0.1) 0.0	(100) 100
計	(38.5) 54.7	(42.7) 33.5	(17.2) 9.3	(1.2) 1.9	(0.2) 0.6	(0.2) 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(31.4) 38.7	(46.1) 44.2	(19.3) 12.3	(2.4) 3.4	(0.6) 1.4	(0.2) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(38.4) 52.0	(42.3) 35.4	(16.5) 9.4	(2.0) 2.1	(0.6) 1.1	(0.2) 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(38.6) 50.0	(41.1) 35.2	(17.2) 11.5	(2.1) 2.1	(0.7) 1.2	(0.3) 0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(40.6) 54.5	(40.0) 32.9	(16.4) 9.6	(1.9) 2.0	(0.7) 0.9	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(37.3) 48.8	(42.4) 36.9	(17.3) 10.7	(2.1) 2.4	(0.6) 1.1	(0.3) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(30.7) 32.9	(37.5) 28.4	(25.6) 27.8	(4.2) 6.7	(1.7) 4.2	(0.3) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(39.7) 53.2	(40.5) 31.2	(16.9) 11.4	(2.0) 2.7	(0.6) 1.5	(0.3) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(41.3) 53.9	(37.7) 30.2	(15.8) 11.6	(2.5) 2.6	(0.8) 1.7	(1.9) 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(32.8) 52.7	(35.8) 20.3	(20.7) 19.9	(3.3) 3.8	(1.2) 3.4	(6.2) 0.0	(100) 100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(41.4) 57.3	(37.5) 27.3	(16.2) 10.5	(2.7) 3.5	(1.0) 1.5	(1.2) 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(38.8) 44.5	(37.8) 31.2	(19.4) 16.8	(2.7) 4.0	(0.9) 3.5	(0.4) 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(42.7) 51.8	(38.1) 31.1	(16.4) 11.7	(1.8) 3.3	(0.7) 2.1	(0.3) 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(43.9) 59.9	(38.2) 28.1	(15.6) 8.9	(1.4) 1.7	(0.6) 1.3	(0.3) 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(38.8) 42.2	(38.4) 31.9	(18.8) 18.0	(2.6) 4.6	(1.0) 3.3	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(38.9) 49.8	(37.9) 28.8	(18.4) 15.2	(2.6) 3.6	(0.9) 2.5	(1.3) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(-) 44.3	(-) 28.5	(-) 17.1	(-) 6.1	(-) 3.9	(-) 0.0	(-) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(39.3) 44.1	(38.7) 36.7	(15.7) 13.3	(2.2) 3.8	(0.8) 2.0	(3.3) 0.0	(100) 100
計	(39.3) 44.2	(38.7) 32.6	(15.7) 15.2	(2.2) 5.0	(0.8) 3.0	(3.3) 0.0	(100.1) 100
全質問項目の平均	(38.5) 49.4	(40.4) 33.0	(17.2) 12.6	(2.0) 3.2	(0.7) 1.8	(1.3) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	168科目	165科目	91科目
調査対象者数	15,985人	15,492人	8,670人
総回答数（回答率）	14,788枚（92.5%）	15,092枚（97.4%）	7,285件（84.0%）

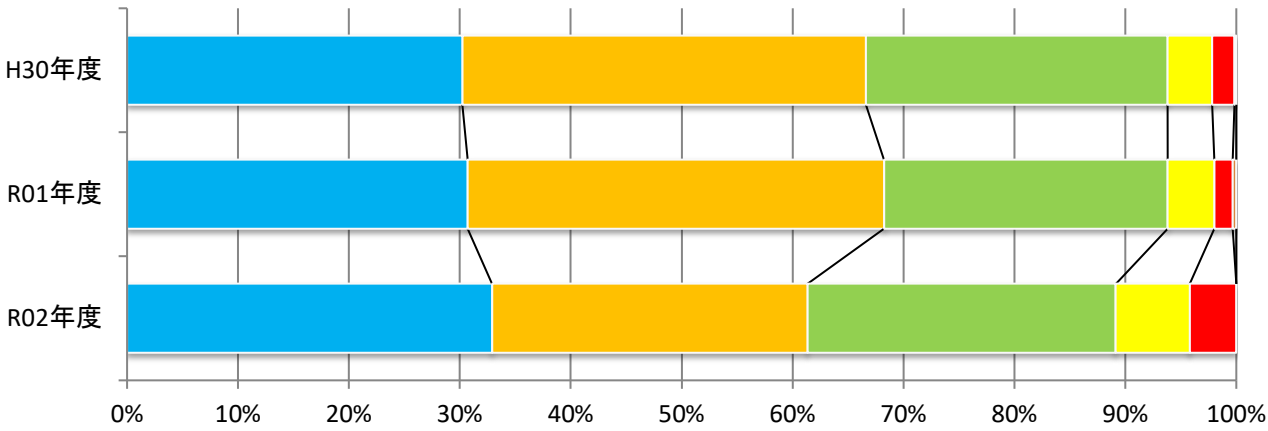
◆ 年度別・質問項目別 集計結果



Ⅱ 授業内容について																			
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。																			
		<table> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> <tr> <td>30.4</td><td>45.2</td><td>75.7</td><td>—</td></tr> <tr> <td>31.4</td><td>46.1</td><td>77.5</td><td>+ 1.8</td></tr> <tr> <td>38.7</td><td>44.2</td><td>82.9</td><td>+ 5.5</td></tr> </table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	30.4	45.2	75.7	—	31.4	46.1	77.5	+ 1.8	38.7	44.2	82.9	+ 5.5
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
30.4	45.2	75.7	—																
31.4	46.1	77.5	+ 1.8																
38.7	44.2	82.9	+ 5.5																
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。																			
		<table> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> <tr> <td>37.4</td><td>41.9</td><td>79.2</td><td>—</td></tr> <tr> <td>38.4</td><td>42.3</td><td>80.8</td><td>+ 1.5</td></tr> <tr> <td>52.0</td><td>35.4</td><td>87.4</td><td>+ 6.7</td></tr> </table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	37.4	41.9	79.2	—	38.4	42.3	80.8	+ 1.5	52.0	35.4	87.4	+ 6.7
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
37.4	41.9	79.2	—																
38.4	42.3	80.8	+ 1.5																
52.0	35.4	87.4	+ 6.7																
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。																			
		<table> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> <tr> <td>37.6</td><td>40.5</td><td>78.1</td><td>—</td></tr> <tr> <td>38.6</td><td>41.1</td><td>79.8</td><td>+ 1.7</td></tr> <tr> <td>50.0</td><td>35.2</td><td>85.2</td><td>+ 5.4</td></tr> </table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	37.6	40.5	78.1	—	38.6	41.1	79.8	+ 1.7	50.0	35.2	85.2	+ 5.4
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
37.6	40.5	78.1	—																
38.6	41.1	79.8	+ 1.7																
50.0	35.2	85.2	+ 5.4																
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。																			
		<table> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> <tr> <td>39.5</td><td>39.5</td><td>79.0</td><td>—</td></tr> <tr> <td>40.6</td><td>40.0</td><td>80.6</td><td>+ 1.6</td></tr> <tr> <td>54.5</td><td>32.9</td><td>87.5</td><td>+ 6.8</td></tr> </table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	39.5	39.5	79.0	—	40.6	40.0	80.6	+ 1.6	54.5	32.9	87.5	+ 6.8
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
39.5	39.5	79.0	—																
40.6	40.0	80.6	+ 1.6																
54.5	32.9	87.5	+ 6.8																
「計」(質問項目 4 ～ 7)																			
		<table> <tr> <th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr> <tr> <td>36.2</td><td>41.8</td><td>78.0</td><td>—</td></tr> <tr> <td>37.3</td><td>42.4</td><td>79.7</td><td>+ 1.7</td></tr> <tr> <td>48.8</td><td>36.9</td><td>85.8</td><td>+ 6.1</td></tr> </table>		そう思う	やや そう思う	計	対前年度	36.2	41.8	78.0	—	37.3	42.4	79.7	+ 1.7	48.8	36.9	85.8	+ 6.1
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
36.2	41.8	78.0	—																
37.3	42.4	79.7	+ 1.7																
48.8	36.9	85.8	+ 6.1																

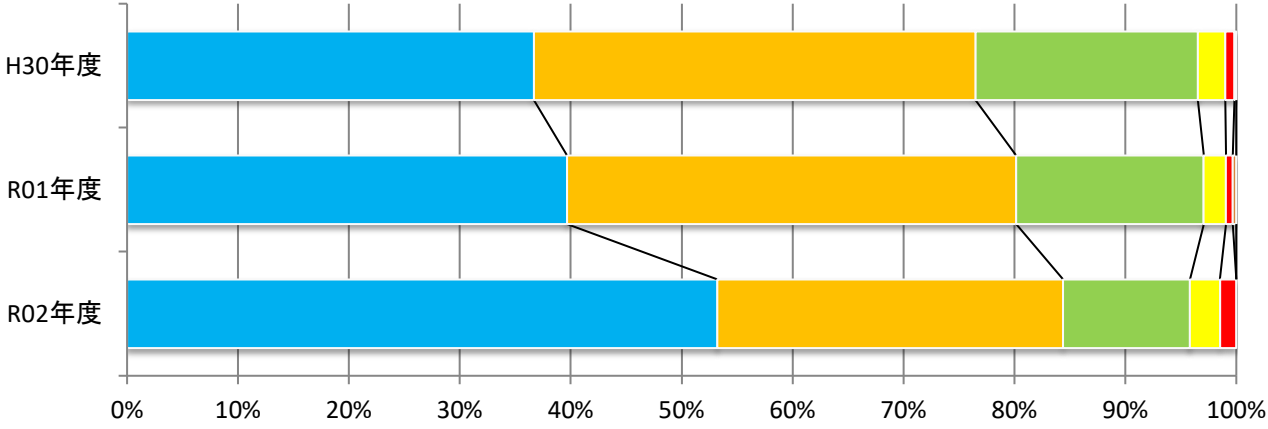
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



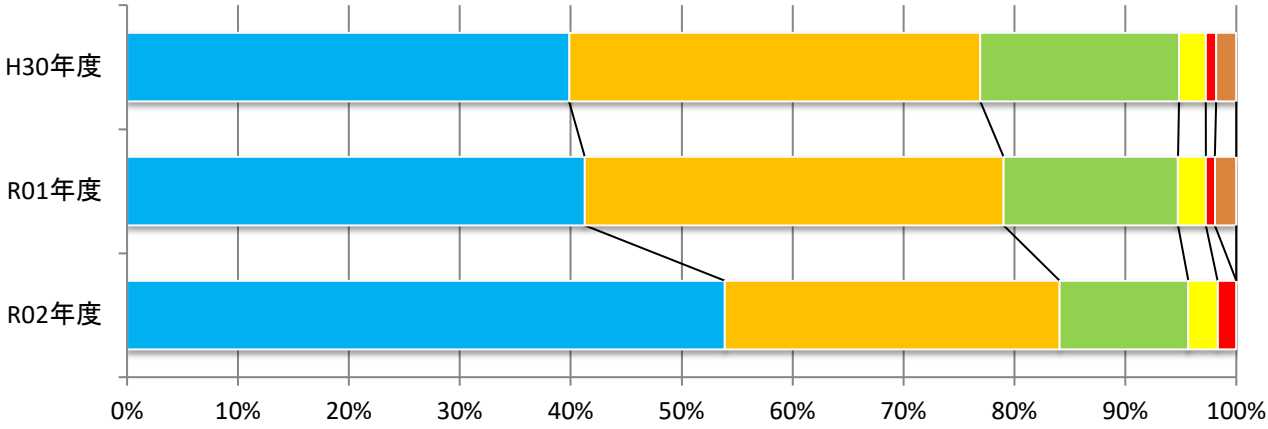
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
30.2	36.4	66.6	—
30.7	37.5	68.2	+ 1.6
32.9	28.4	61.3	△ 6.8

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



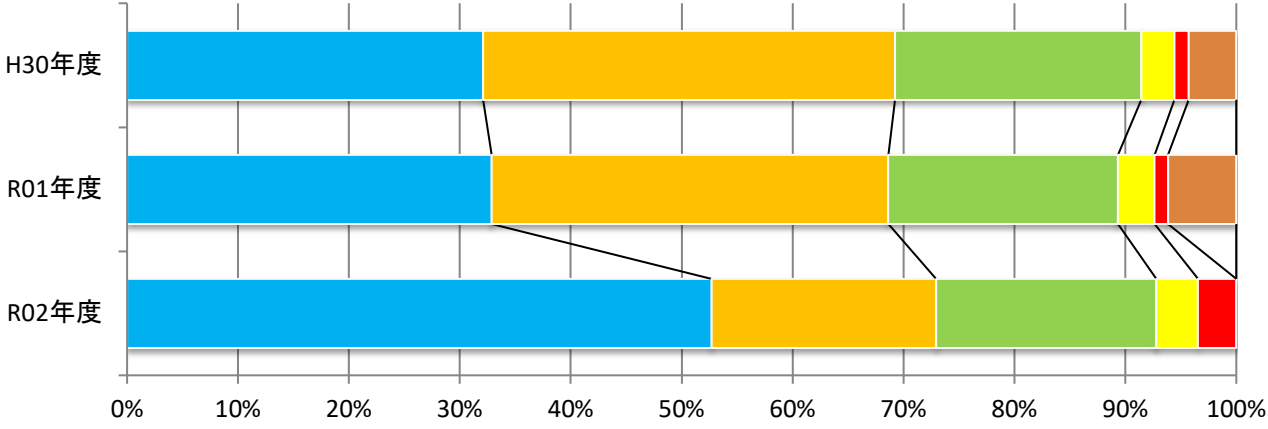
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.7	39.8	76.5	—
39.7	40.5	80.2	+ 3.7
53.2	31.2	84.4	+ 4.2

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



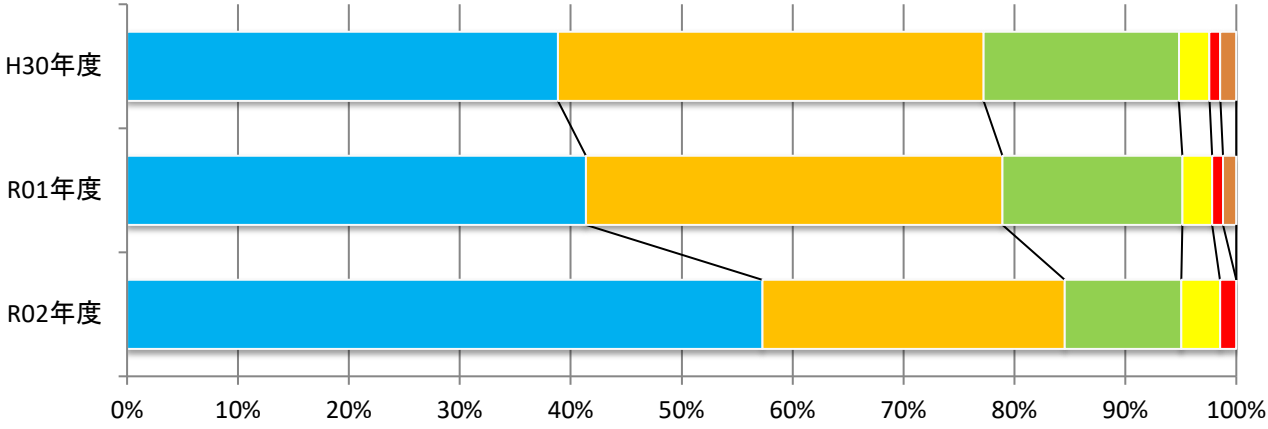
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.9	37.1	77.0	—
41.3	37.7	79.0	+ 2.0
53.9	30.2	84.1	+ 5.1

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



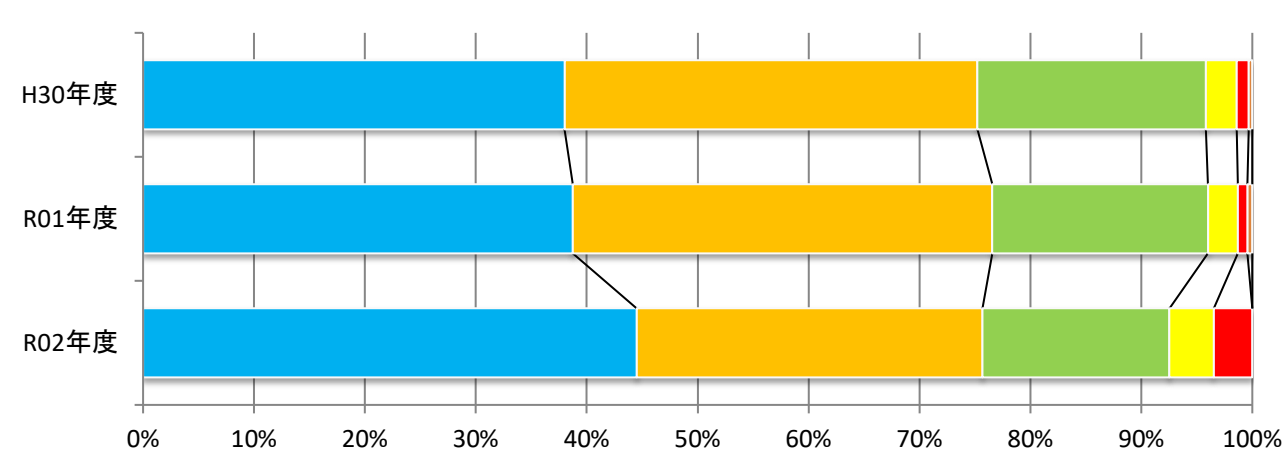
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.1	37.1	69.2	—
32.8	35.8	68.6	△ 0.6
52.7	20.3	72.9	+ 4.3

11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



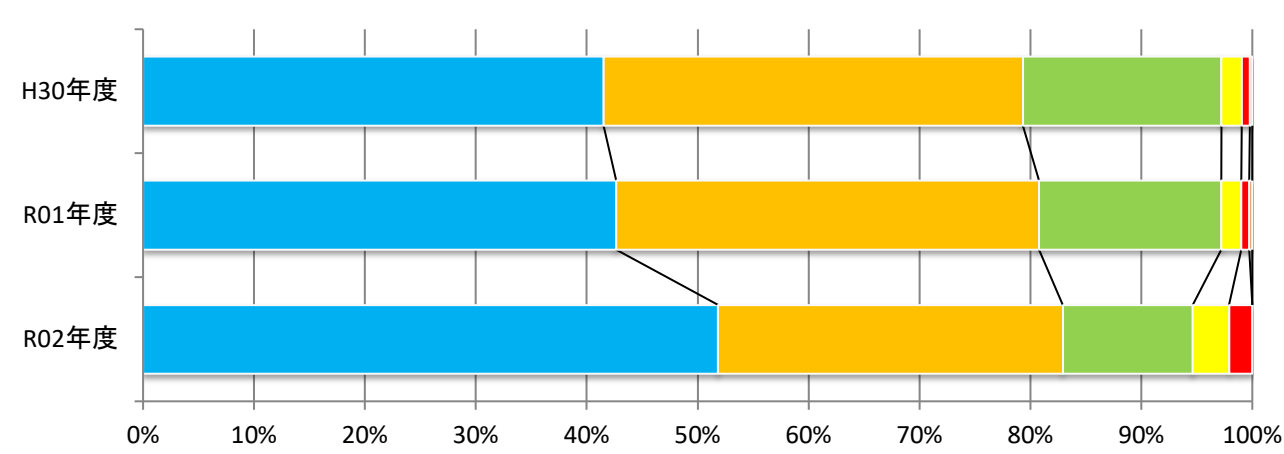
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.8	38.4	77.2	—
41.4	37.5	78.9	+ 1.7
57.3	27.3	84.5	+ 5.6

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



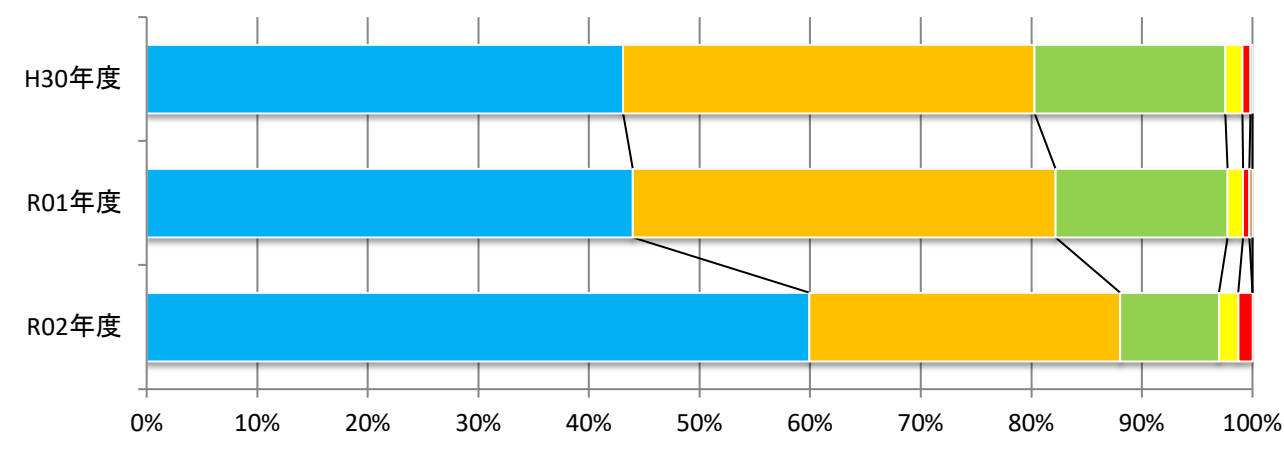
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.0	37.2	75.2	—
38.8	37.8	76.6	+ 1.4
44.5	31.2	75.7	△ 0.9

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



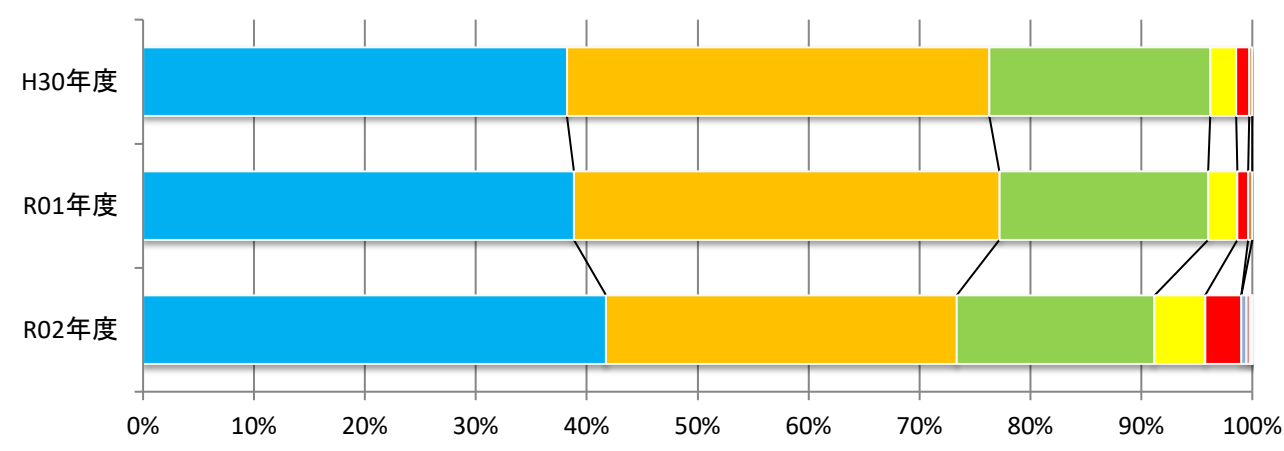
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.5	37.8	79.3	—
42.7	38.1	80.8	+ 1.5
51.8	31.1	82.9	+ 2.1

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



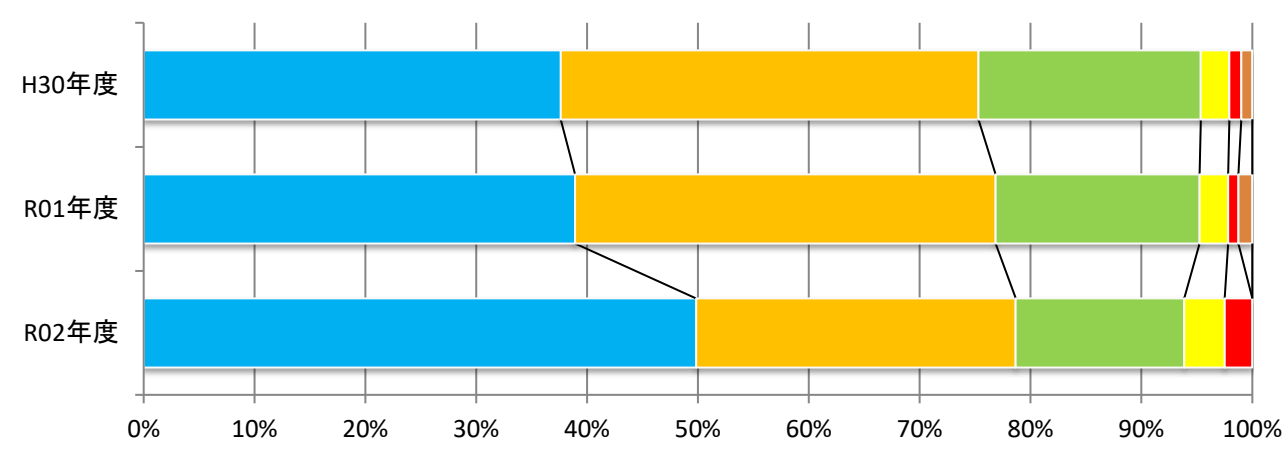
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.1	37.2	80.3	—
43.9	38.2	82.1	+ 1.8
59.9	28.1	88.0	+ 6.0

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.2	38.1	76.3	—
38.8	38.4	77.2	+ 0.9
42.2	31.9	74.1	△ 3.1

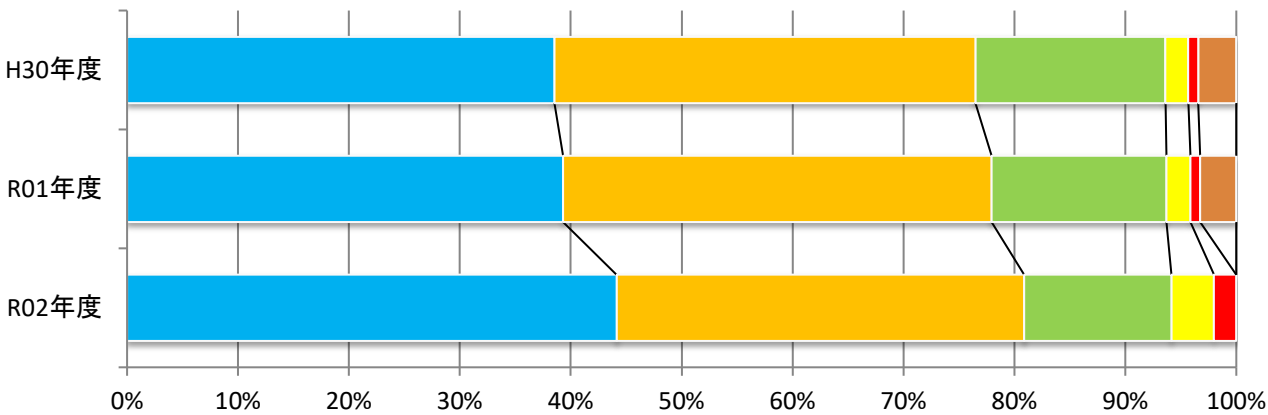
「計」（質問項目 8 ～ 15）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.6	37.7	75.3	—
38.9	37.9	76.8	+ 1.5
49.8	28.8	78.7	+ 1.8

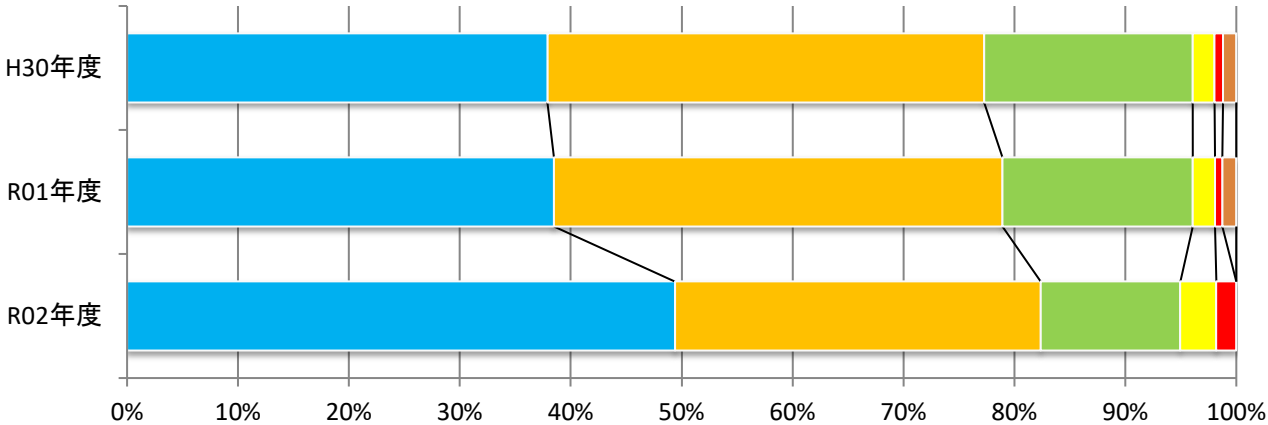
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



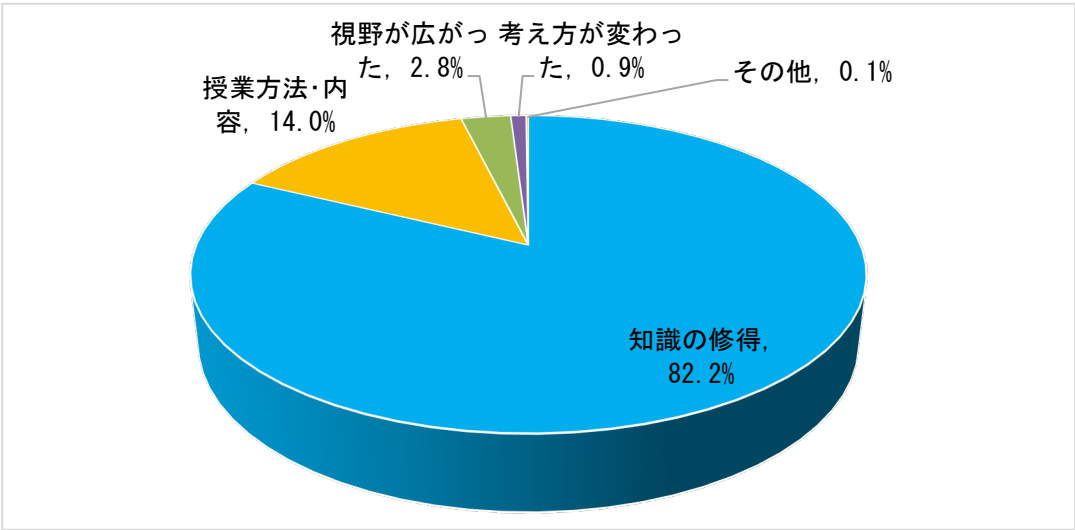
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.5	38.0	76.5	—
39.3	38.7	78.1	+ 1.6
44.1	36.7	80.9	+ 2.8

全質問項目の平均



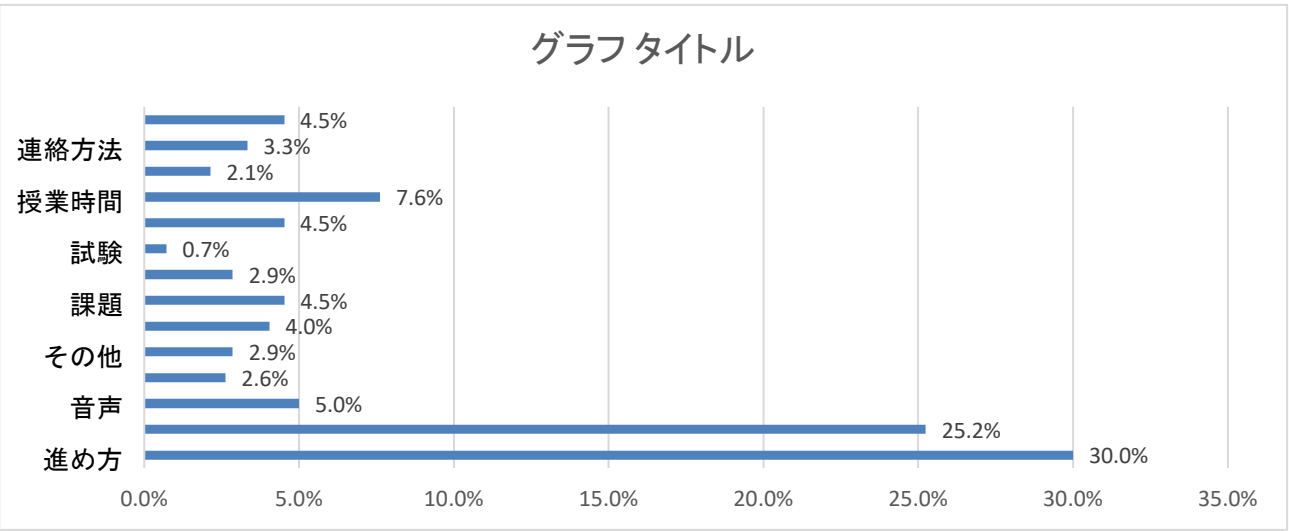
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.9	39.4	77.3	—
38.5	40.4	79.0	+ 1.7
49.4	33.0	82.4	+ 3.4

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 1589】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	解剖生理学Ⅱ	44	この講義では覚えることが多かったが、色々な図を使って説明してくれたので分かりやすかったし、覚えやすかったところが良かった。また、確認問題をナースィングスキルを使いセクションが終わる毎に出してくれていたことも良かった。 看護を勉強する上で基礎となる分野だったが、身体の仕組みと病気を関連付けたり、別の分野の知識を活かして教えてくださったので、とても理解しやすかった。
	看護倫理	29	事例などを通して、その事例の倫理的問題は何か、どうすればよいかということを判断する力が付いたと思うことです。 医療現場でどのような倫理的配慮が必要なのか、どのような行動は問題となるのか、医療現場の倫理的ジレンマについて学ぶことができました。
	看護過程と看護方法論	26	自分なりに考えて課題をしても、グループワークなどで新しい考え方や思いつかなかった考え方が毎回出てきて授業のたびに新しい考え方を学ぶことができ自分の学びを広げることができた。 アセスメントのやり方や看護計画、看護目標の立て方など今まで知らなかった新しい知識を獲得することが出来たことです。
	看護実践技術論Ⅱ	22	看護援助の原理原則について学ぶことができました。遠隔授業で学んだことを学内演習で実施することで、学びを深めることができたと思います。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 420】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	解剖生理学Ⅱ	8	内容が多いのは承知の上ですが、授業90分に対して動画の長さが長いのもう少し短くしてほしいと思います。
			何が大切で覚えるべきなのかが少しわかりずらかったです。
	看護過程と看護方法論	7	色々な事例を取り上げるのとは別に、ひとつの事例で全ての流れを例示してもらえるともっと分かりやすいと感じた
			個人の課題に対しての評価が遅かったり、なかったりしたので課題を出されても十分に理解したうえでこなせなかった。全体の流れがなかなかつかめず、どの課題も同じようなことしか書けなかったので、最初に全体的な流れや役割をしっかりと説明して欲しかったです。
	看護実践技術論Ⅰ	7	複数の教員が担当していたが、授業の要望については全員で共有してもらえたらよかった。
			教員によって同じ資料でもファイル名が大きく異なっていたため少しわかりにくかった。
	看護研究の基礎	6	先生の考え方的に授業資料は配布しない方針であるのは分かるが、いくら予習をしても予習だけでは追い付かない部分もあるし、資料が無ければ後で見返して復習やテスト勉強することができない。
			グループ内の意欲や協力の差が大きいことを把握した方がいいと思う

令和2年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○実習・実験科目数 13科目 ○調査対象者数 1,331人（延人数）
○総回答数 1,114件（回答83.7%）

◆ 質問項目別集計結果 〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(43.9) 52.0	(43.0) 41.2	(11.7) 5.6	(1.1) 1.0	(0.1) 0.3	(0.2) 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(65.7) 83.6	(26.7) 14.3	(6.9) 1.9	(0.4) 0.2	(0.1) 0.1	(0.2) 0.0	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(59.3) 74.2	(32.4) 22.2	(7.7) 3.1	(0.3) 0.5	(0.1) 0.0	(0.2) 0.0	(100) 100
計	(56.3) 69.9	(34.0) 25.9	(8.7) 3.5	(0.6) 0.6	(0.1) 0.1	(0.2) 0.0	(100) 100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(48.9) 59.0	(41.1) 36.4	(9.0) 3.9	(0.5) 0.4	(0.3) 0.4	(0.2) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(54.0) 65.7	(36.9) 29.3	(8.2) 4.0	(0.5) 0.6	(0.2) 0.4	(0.2) 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(57.5) 70.3	(33.3) 24.4	(8.2) 4.5	(0.6) 0.7	(0.2) 0.1	(0.2) 0.0	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(58.1) 71.1	(32.5) 23.2	(7.8) 4.2	(0.6) 1.4	(0.3) 0.1	(0.7) 0.0	(100) 100
計	(54.6) 66.5	(35.9) 28.3	(8.3) 4.2	(0.5) 0.8	(0.2) 0.2	(0.3) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(37.8) 36.0	(35.9) 24.2	(21.0) 26.5	(3.4) 7.4	(1.6) 5.9	(0.3) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(51.3) 63.3	(36.8) 26.3	(9.5) 7.2	(1.5) 2.4	(0.5) 0.8	(0.4) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(53.5) 67.1	(34.9) 25.5	(9.7) 5.7	(1.1) 1.1	(0.6) 0.7	(0.2) 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(54.3) 72.1	(34.2) 20.8	(9.1) 4.8	(1.5) 1.4	(0.6) 0.9	(0.3) 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(53.1) 68.4	(35.0) 22.9	(9.3) 6.6	(1.6) 1.3	(0.7) 0.7	(0.3) 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(55.7) 73.2	(33.3) 20.6	(8.8) 4.8	(1.3) 0.8	(0.5) 0.5	(0.4) 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(54.2) 68.1	(33.9) 24.3	(9.2) 5.8	(1.5) 1.0	(0.8) 0.7	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(51.4) 64.0	(34.8) 23.5	(10.9) 8.8	(1.7) 2.2	(0.8) 1.5	(0.3) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 43.7	(-) 23.4	(-) 17.6	(-) 8.2	(-) 7.1	(-) 0.0	(-) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(54.0) 59.2	(33.4) 28.6	(8.5) 8.6	(1.7) 2.4	(0.5) 1.1	(1.9) 0.0	(100) 100
計	(54.0) 51.5	(33.4) 26.0	(8.5) 13.1	(1.7) 5.3	(0.5) 4.1	(1.9) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(54.1) 63.0	(34.5) 25.9	(9.1) 7.4	(1.1) 2.2	(0.4) 1.5	(0.7) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	27科目	27科目	13科目
調査対象者数	2,809人	2,719人	1,331人
総回答数（回答率）	2,397枚（85.3%）	2,418枚（88.9%）	1,114件（83.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う やや そう思う どちらとも いえない そう 思わない 全くそう 思わない 無回答				
Ⅰ あなた自身について				
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。				
H30年度 R01年度 R02年度				
2. 積極的に出席したと思うか。				
H30年度 R01年度 R02年度				
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。				
H30年度 R01年度 R02年度				
「計」（質問項目 1 ～ 3）				
H30年度 R01年度 R02年度				

Ⅱ 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.5	38.9	90.3	—
48.9	41.1	90.0	△ 0.4
59.0	36.4	95.4	+ 5.5

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.4	35.2	90.6	—
54.0	36.9	90.9	+ 0.2
65.7	29.3	95.0	+ 4.1

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
58.2	33.2	91.3	—
57.5	33.3	90.8	△ 0.5
70.3	24.4	94.7	+ 3.9

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.9	31.5	91.5	—
58.1	32.5	90.6	△ 0.9
71.1	23.2	94.3	+ 3.6

「計」（質問項目 4 ～7）

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.3	34.7	90.9	—
54.6	35.9	90.6	△ 0.4
66.5	28.3	94.8	+ 4.3

Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。

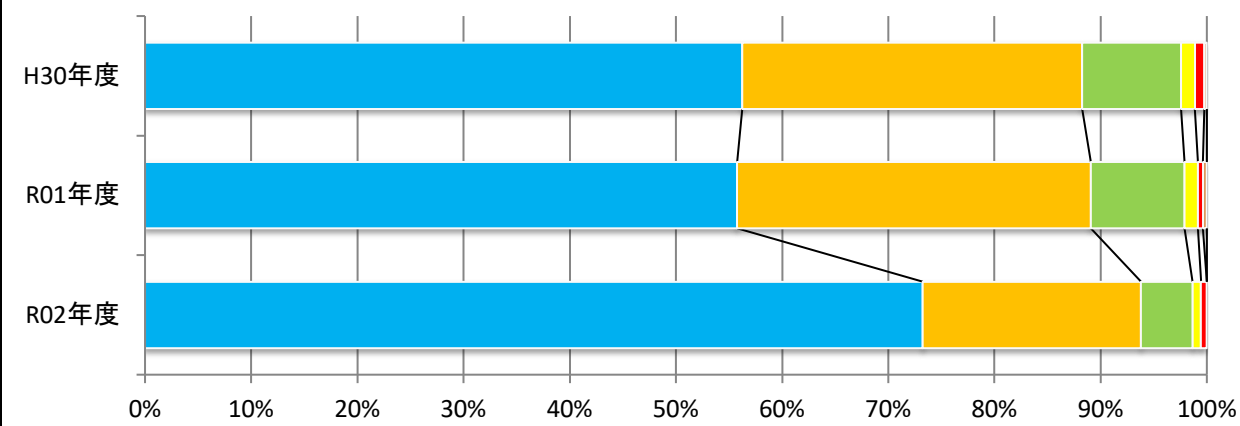
H30年度

R01年度

R02年度

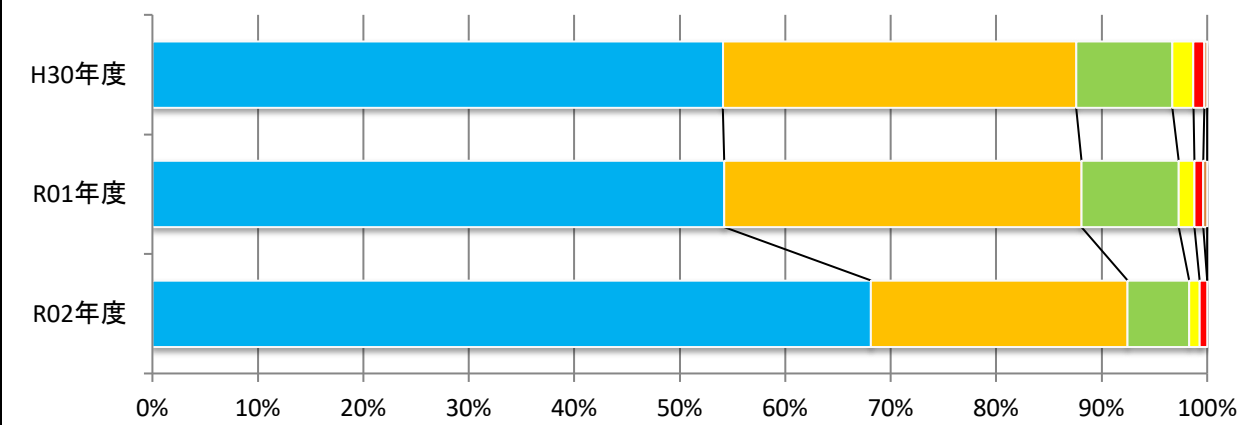
<

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



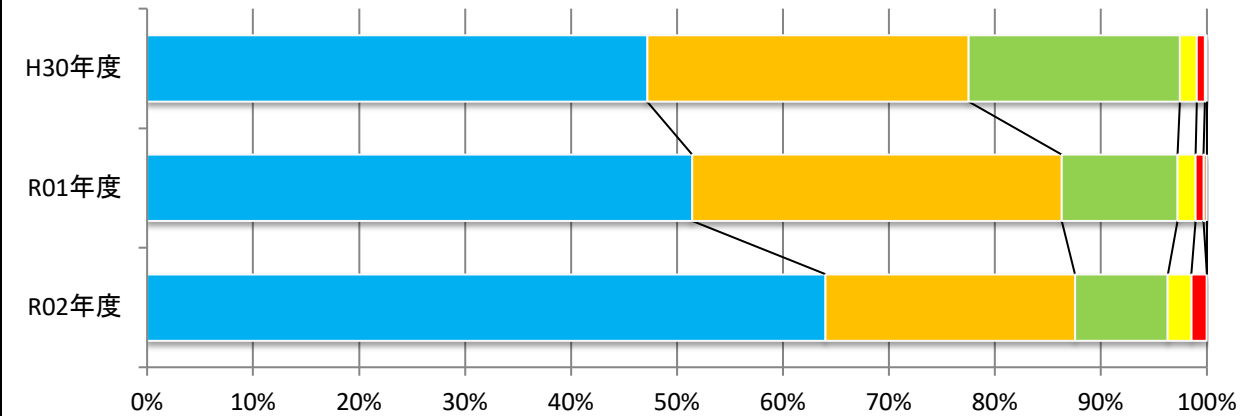
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.2	32.0	88.2	—
55.7	33.3	89.0	+ 0.9
73.2	20.6	93.8	+ 4.8

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.1	33.5	87.6	—
54.2	33.9	88.1	+ 0.6
68.1	24.3	92.5	+ 4.3

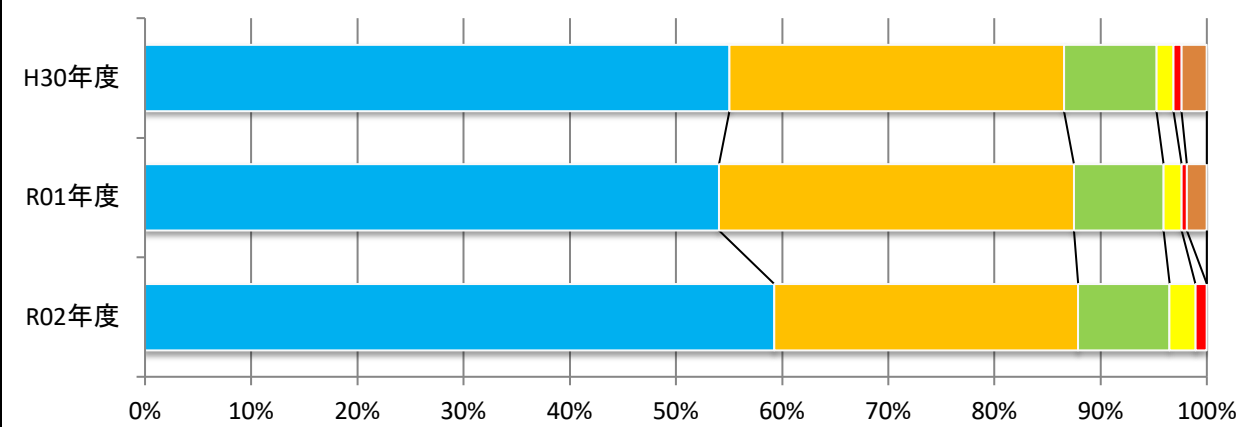
「計」(質問項目 8 ～ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.4	33.7	86.0	—
51.4	34.8	86.3	+ 0.2
64.0	23.5	87.5	+ 1.3

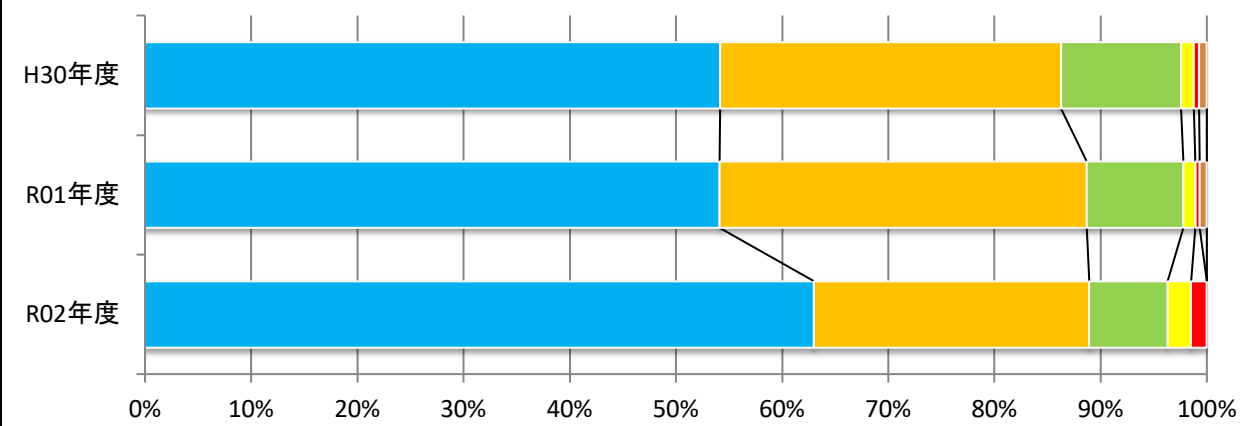
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



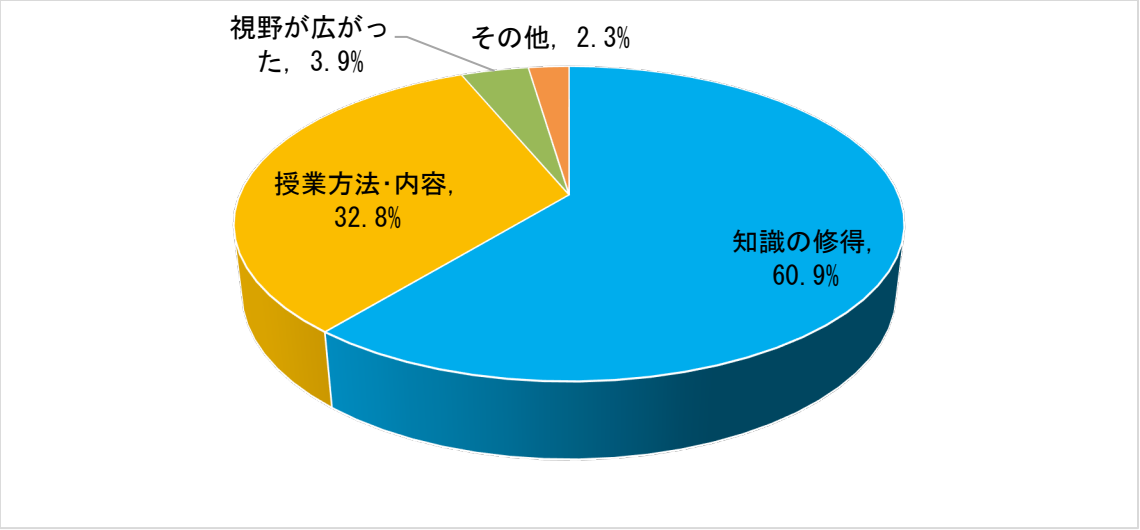
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.0	31.5	86.4	—
54.0	33.4	87.4	+ 0.9
59.2	28.6	87.9	+ 0.5

全質問項目の平均



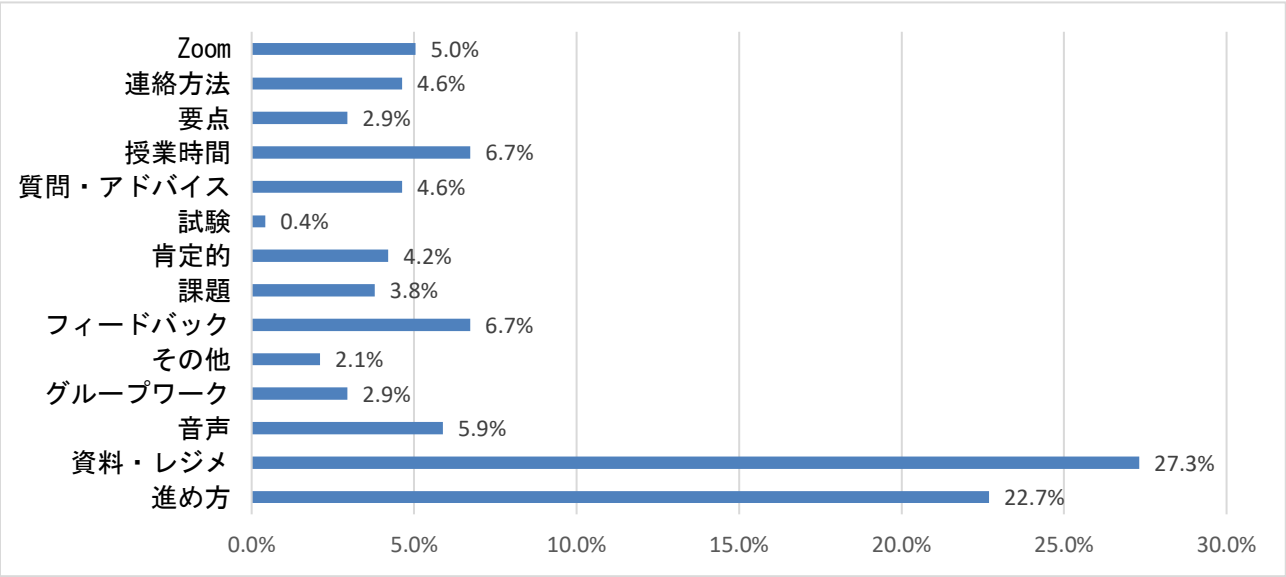
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.7	32.9	88.6	—
54.1	34.5	88.6	+ 0.0
63.0	25.9	88.9	+ 0.3

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 128】



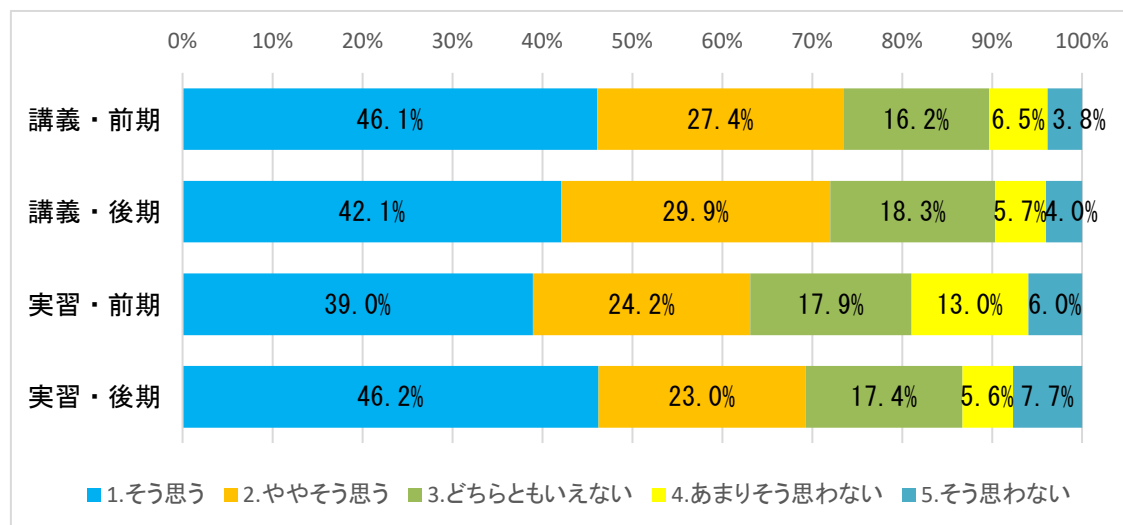
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学体験実習	38	新型コロナウイルスで病院へは行けずオンラインでやることになったが、全員で同じ映像を見ることになったため、普段の実習なら一方の病院のことしか知れないが、両方の病院のことを知ることができたのはよかったと感じた。
			病院の映像を見たことで施設や設備に様々な工夫がされていることを知りました。実際に行って見ることはできませんでしたが病院の様子を知ることができて良かったです。
	看護過程展開実習	15	看護過程を展開していく中で、情報収集・情報の整理・情報の解釈・情報の関連性等の各段階を経て、患者の個別性に合った援助の実施という、看護過程の流れを実習を経て実感できた事。
			記録に対して長時間かけることができたので、患者のことを考える大切さ。また、看護過程のつながりについて学ぶことができたので良かった。 今回は、実際に病院に行くのではなく自宅で担当教員となりきりのもとで看護過程を展開していましたが、今まではここまでしっかりと時間をとって看護過程と向き合う機会がなかったため、疑問に感じる部分も沢山ありましたが、わからなかったらすぐに先生に質問して教えて頂けるという環境があったので看護過程への理解を深めることができました。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 24】

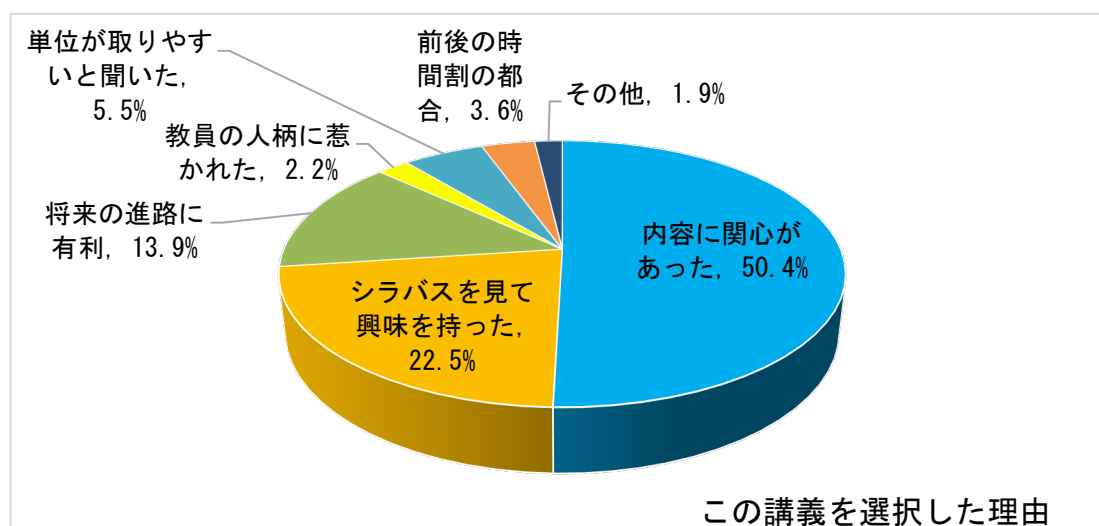


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護過程展開実習	6	事前課題をやって提出したにもかかわらず、フィードバックがなく実習前に知っておくべきだった自分の改善点や記録の書き方を事前に知ることができなかった。これでは事前に提出した意味がないと思う。
	看護学統合実習	5	ゼミごとにzoomを実施していたのに最終レポートは基盤の先生方が回収する理由がわからなかった。ゼミの先生方に評価していただくのと、レポートしか読んでいない先生方に評価されるのでは評価が異なるのではないかと考えた。
			遠隔授業になってしまったのは仕方がないことではあるが、実習の前日に実習内容についてメールが来たので、なるべく早くに連絡してほしいと思った。
	成人看護学実習Ⅰ	1	手術室の冊子があると、見学に行けなくとも具体的な概要の把握や学びに生かされるなと感じました。ICUについての冊子はとても参考になりました。

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和2年度 千葉看護学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・千葉看護学部学部長
宮本 千津子

1. 授業評価の結果について

- 授業評価結果の総合評価をみると前期が3.35～4.79であり、その内3点代は5科目、後期が3.29～4.71であり、その内3点代は3科目でした。このようにほとんどの科目がややそう思う(4)からそう思う(5)の間に位置しており、評価としては概ね良好といえると考えます。また4.5以上の科目は昨年度より多くなっており、全体として改善が認められていました。
- これらの総合評価は“遠隔授業が適しているか”への回答とほぼ類似した傾向にあり、また自由記載からもICTを効果的に活用できた授業の評価が高いことがわかりました。
- 質問内容別にみると“授業に積極的に出席したと思う”が前期で平均4.61、後期で4.60と最も高く、これは昨年度と同様の結果でした。
- 次いで高かったのは、前・後期ともに“この授業は発展的な学びにつながると思うか”“教員が授業に熱意をもって取り組んでいたか”“学修しやすい授業環境であったか”が、いずれも平均約4.50でした。特に選択科目では、“教員が授業に熱意をもって取り組んでいたか”と“パワーポイントなどがわかりやすかったか”がそれぞれ平均4.73と高くなっていました。
- これらの結果から、学生・教員ともに前向きで真剣に授業に取り組んだといえると思います。
- 逆に評価得点が低かった質問項目は、昨年と同様に“シラバスが学修の役に立ったか”で、前期が平均4.20、後期で4.26でした。しかし、昨年度が3点代でしたので、改善が認められたと考えます。キャンパスプランの導入によりシラバスを確認しやすくなったことや事前事後学修が明記されたこと、また登校制限により学生間で確認することが難しいなか、オンラインのシラバスが活用されたものと考えます。
- また、その他の質問項目でも平均が4.00を下回るものではありませんでした。covid-19感染拡大に伴いほぼ遠隔授業となりましたが、学生・教員ともに学修目標が達成できるようおおいに努力をした結果と思います。
- 科目別にみると、総合評価の高かった科目は必修・選択科目ともに演習や対面によるグループワークを取り入れたものであり、また昨年同様に選択科目の得点がより高くなっていました。
- 登校が制限されるなかであって、学生同士や教員と対面できる授業へのニーズは高く成果が感じられたのではないかと考えられます。また、特に選択科目では少人数での授業のため、教員と親しく交流しながら、関心に応じた学修ができていたことがうかがえました。これは視点を変え、遠隔授業においては学修の手応えを認識することが難しいともいえ、今後の課題であると考えます。
- 逆に総合評価が相対的に低かったのは、専門支持および専門展開区分の科目となっていました。またその評価内容をみると、学生自身の取り組み方、

授業内容、教員の教え方のいずれについても低くなっていました。

- 当該科目は、看護専門職となるにあたって避けては通れない保健医療に関する専門知識を教授するものであり、範囲は広く、専門用語も多いので、学生が難しいと感じ総合得点が平均より低いのはむしろ自然なことと考えます。
- しかし、当該科目は、知識を定着させ積み重ねていかないとますます理解が
- 困難となる内容であり、この悪循環を断ち切ることで、また 1 年生についてこの循環に陥らないようにする必要があります。重要なのは、難しい内容への取り組み方を身に付け、難しかったけれど学べたと自己評価できることです。学生・教職員ともそのイメージをもって取り組めるようにすることが効果的であると考えます。

2. 授業において工夫した点について

- COVID-19 感染拡大への対応として遠隔授業が行われ、ほぼすべての科目において ICT を活用し授業の質を保証しようと工夫が行われました。
- その結果として、多くの教員から“オンラインでも多くの質問が出て熱意が感じられた”“学生と二人三脚で授業を創っていった”“動画を何度も見て理解がされていた”という肯定的な評価が得られ、学生の参加を得ることができたことがわかりました。具体的な工夫は次のようです。
- 授業内容の見直し
 - 前年度評価を活かした通常の授業改善に加えて、対面を前提に予定していた授業の大幅な見直しを行った科目がありました。その他、感染拡大状況に応じて単元の順番を変更した科目がありました。
- 密接を回避したクラス展開および教材の開発とシミュレーション教材を活用した授業
 - 演習においては、登校が制限されるなか、密接を回避するためクラス数を増やしたり、教材を自宅へ郵送しオンラインでの演習を行う、新たに事例動画を作成する等の工夫が行われました。
 - 実習においては、臨場感のある教材を臨地と共同で作成したり、オンラインで臨地とつないで実習指導者等のアドバイスを得たり、シミュレーション教材をこれまで以上に活用する等、臨地での実習と登校が制限されるなかで、新たな方法を模索し、目標達成に向かい工夫がされていました。
- 授業の双方向性を担保する工夫
 - 教員からの一方的な講義とならないよう授業資料を事前配布したり、事例を多く取り入れ授業の中で学生自らが考えていけるよう設定した科目、チャット機能や Google フォーム等を併用し授業中のやり取りを行った科目、ICT を活かした課題を出しコメントを入れてフィードバックを行った科目、等がありました。
- オンライン授業に伴う学生の負担への配慮
 - オンデマンド授業においては、およそ 30 分以内で 1 動画とし、これを複数準備することで、動画視聴に伴う過負荷を避ける工夫をした科目が多数ありました。また、オンライン授業では学生の視線の先や手元を教員が確認できないため、資料や教科書の該当ページを示しながら話すようにした科目もありました。

○ 倫理的な配慮

- 心理的負荷を生じると考えられる教材の使用については、学生個々の反応が確認しきれないことや、タイムリーなフォローが行えない可能性に鑑み使用を控えたという科目がありました。

3. 今後の授業への生かし方について

- 今後、DX が促進されていくことを予想すると、オンラインならではの利点を活かすためにも、現在の方法をよりスムーズに展開していけるようマニュアルやサポートの仕組みを整える必要があります。また、学生の反応を確かめながら調整することが難しいなかで、授業の双方向性を強化するために次のような課題があると考えます。
 - 学生が能動的に取り組めるように予習を活用する方法を検討する。
 - 授業中の意見収集方法を複数検討する。
 - 復習と、質問やフィードバックの方法を整える。
- 演習・実習については、他大学等での取り組みも参考にしながら模擬患者やICT、オンライン教材、シミュレーション教材を活用すること、時間割の工夫と臨地との協働によって対面・臨地での授業機会を増やすことが課題です。
- 専門職の教育については、低学年で学んだ知識の定着をはかることで積み重ねが可能となるよう、学修支援方法を探索・実施していきたいと思います。加えて、特に遠隔授業において、自らの成長が確認できるような評価方法の導入も課題です。

4. その他

- 令和 2 年度の結果は、昨年に引き続き、学生、教員ともに熱意をもって授業に取り組んだことを表していると考えます。Covid-19 感染状況の波に沿って授業形態を調整することの繰り返しですが、全員が事態を理解しクールに取り組んでいることに心から感謝したいと思います。
- 加えて、特に非常勤の先生方からは、事務職員からのサポートに対する感謝の意見が多く聞かれていました。学生の皆さんにも、このような配慮があるからこそ、有意義な授業が展開されているということを知っていて欲しいと思います。
- これらとは別に、いのち・人間の教育分野の科目を選択する学生が少ないことは残念です。千葉看護学部が育成しようとしている広いフィールド観と、社会の変化に呼応して人々のニーズに応える力を身に着けるには、思考し創造する基盤としての教養科目は重要です。選択している学生からの評価が高いことを考えると、もっと多くの学生が意欲をもって取り組めるようなガイダンスを行う必要があると考えます。

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○全科目数 101科目 ○調査対象者数 7,626人（延人数）
○総回答数 7,424件（回答率 97.4％）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈質問項目番号の（ ）は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

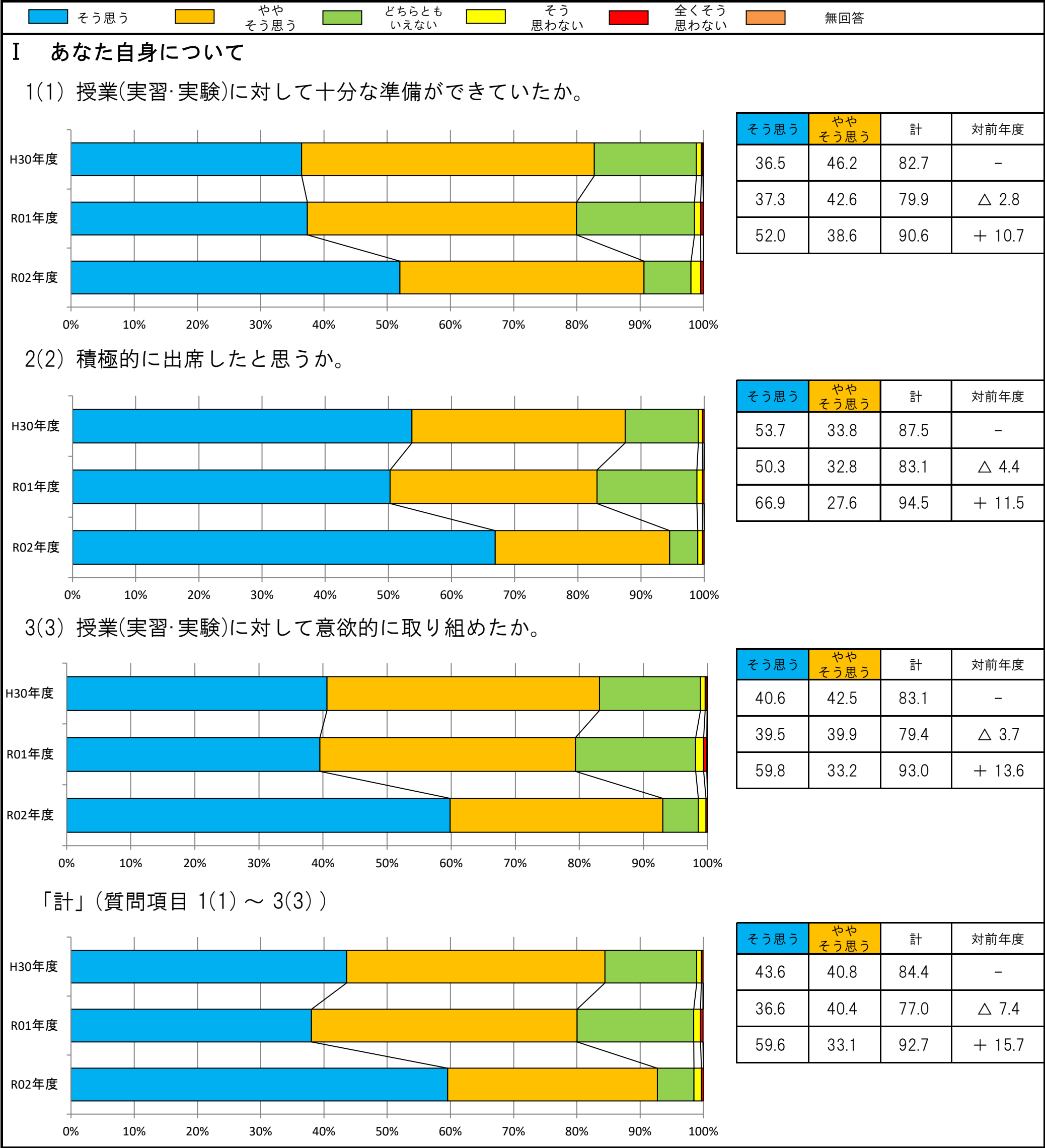
質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(37.3) 52.0	(42.6) 38.6	(18.7) 7.4	(1.0) 1.5	(0.4) 0.4	(0.0) 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(50.3) 66.9	(32.8) 27.6	(15.8) 4.5	(0.9) 0.7	(0.2) 0.3	(0.0) 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(39.5) 59.8	(39.9) 33.2	(18.8) 5.5	(1.2) 1.2	(0.5) 0.2	(0.1) 0.0	(100) 100
計	(42.4) 59.6	(38.4) 33.1	(17.7) 5.8	(1.0) 1.2	(0.4) 0.3	(0.1) 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(32.1) 45.9	(42.4) 42.7	(22.2) 8.3	(2.5) 2.5	(0.7) 0.6	(0.1) 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(40.2) 58.7	(38.5) 33.6	(18.8) 5.7	(2.0) 1.5	(0.5) 0.6	(0.0) 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(39.2) 57.3	(37.5) 33.5	(20.6) 7.1	(2.1) 1.5	(0.6) 0.5	(0.1) 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(41.8) 60.9	(36.4) 31.4	(19.1) 6.0	(1.9) 1.2	(0.6) 0.5	(0.2) 0.0	(100) 100
計	(38.3) 55.7	(38.7) 35.3	(20.2) 6.8	(2.1) 1.7	(0.6) 0.6	(0.1) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(29.7) 43.4	(36.8) 36.1	(29.2) 16.0	(3.3) 3.0	(1.0) 1.5	(0.0) 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(33.2) 59.8	(37.7) 29.1	(23.3) 9.2	(4.5) 1.2	(1.2) 0.6	(0.1) 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(40.7) 55.6	(32.7) 29.5	(20.3) 10.4	(3.3) 2.9	(1.1) 1.5	(1.9) 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(33.0) 49.7	(31.5) 32.7	(24.3) 13.1	(5.3) 3.0	(2.1) 1.5	(3.8) 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(38.7) 56.5	(36.5) 31.6	(15.5) 8.5	(2.6) 2.5	(1.1) 1.0	(0.1) 0.0	(95) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(38.4) 64.0	(35.8) 27.1	(22.3) 6.8	(2.6) 1.5	(0.7) 0.6	(0.2) 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(41.7) 48.6	(35.7) 32.8	(19.4) 14.0	(2.3) 3.2	(0.8) 1.3	(0.1) 0.0	(100) 100
計	(36.5) 54.0	(35.3) 31.3	(22.0) 11.2	(3.4) 2.5	(1.2) 1.1	(0.9) 0.0	(99) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 47.5	(-) 30.8	(-) 12.6	(-) 6.2	(-) 2.9	(-) 0.0	(-) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(47.2) 51.8	(34.0) 36.1	(17.0) 8.7	(1.2) 2.5	(0.5) 0.8	(0.1) 0.0	(100) 100
計	(35.1) 49.6	(38.4) 33.5	(19.7) 10.6	(2.6) 4.4	(1.3) 1.9	(2.9) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(38.1) 54.7	(37.7) 33.3	(19.9) 8.6	(2.3) 2.4	(0.8) 1.0	(1.0) 0.0	(99.8) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

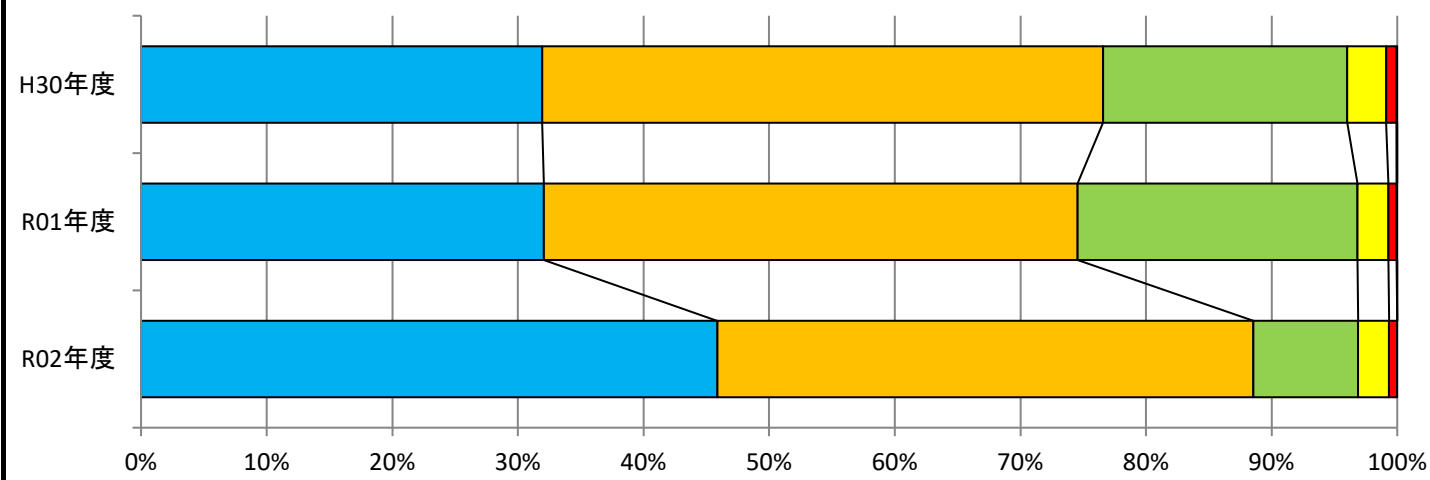
	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	44科目	80科目	101科目
調査対象者数	3134人	6093人	7,626人
総回答数(回答率)	3038枚(96.9%)	5,955枚(97.7%)	7,424件(97.4%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



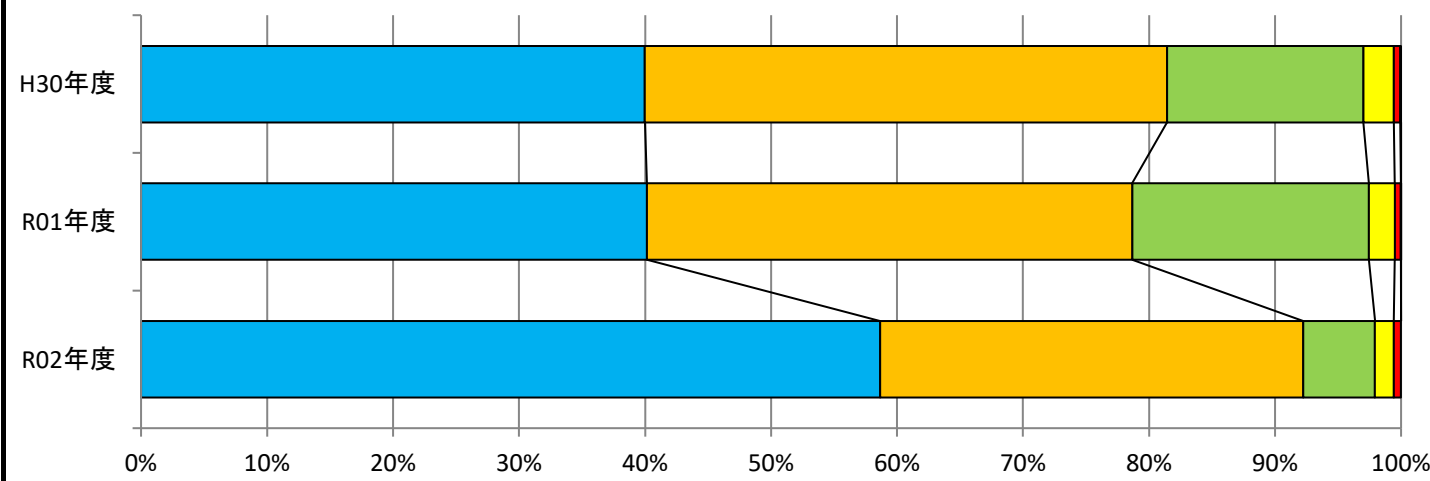
Ⅱ 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



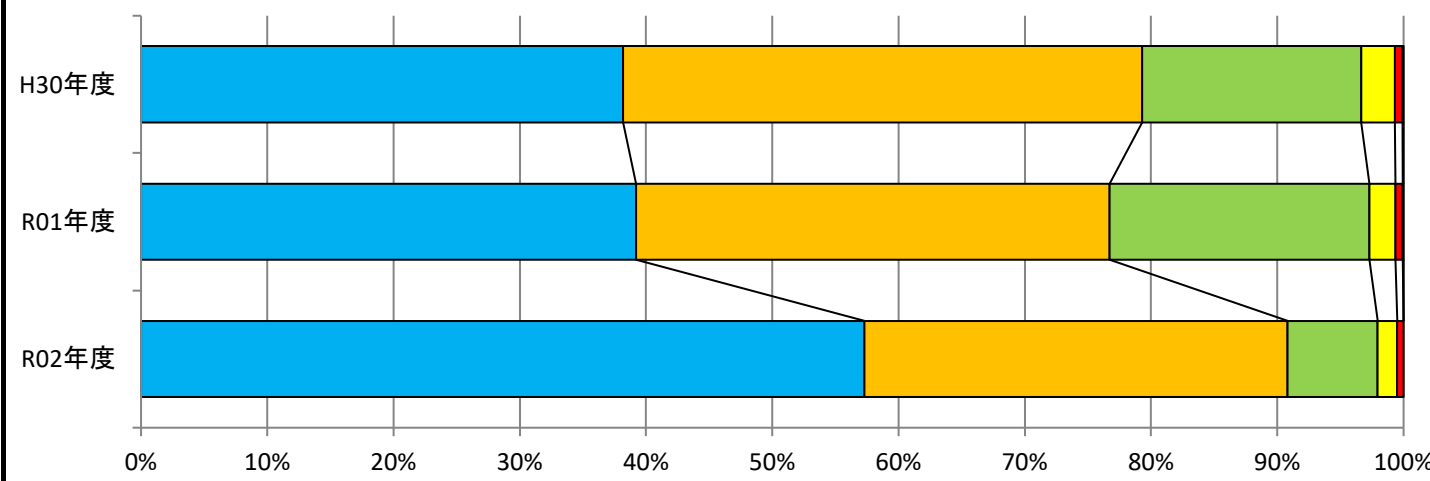
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.9	44.7	76.6	-
32.1	42.4	74.5	△ 2.1
45.9	42.7	88.6	+ 14.1

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



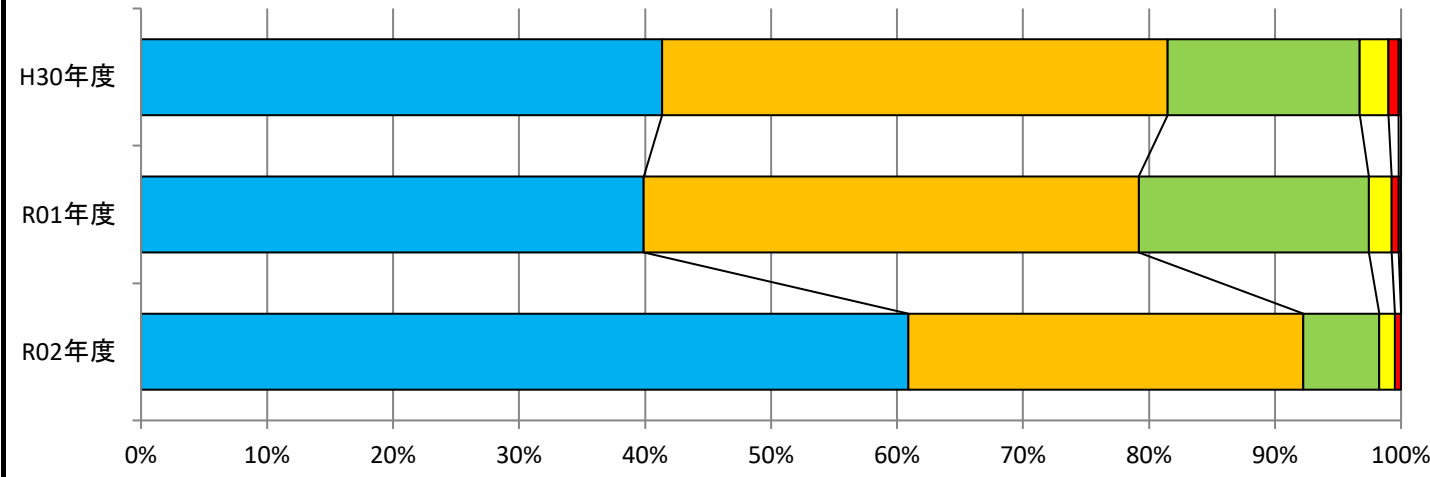
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.0	41.4	81.4	-
40.2	38.5	78.7	△ 2.8
58.7	33.6	92.3	+ 13.6

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



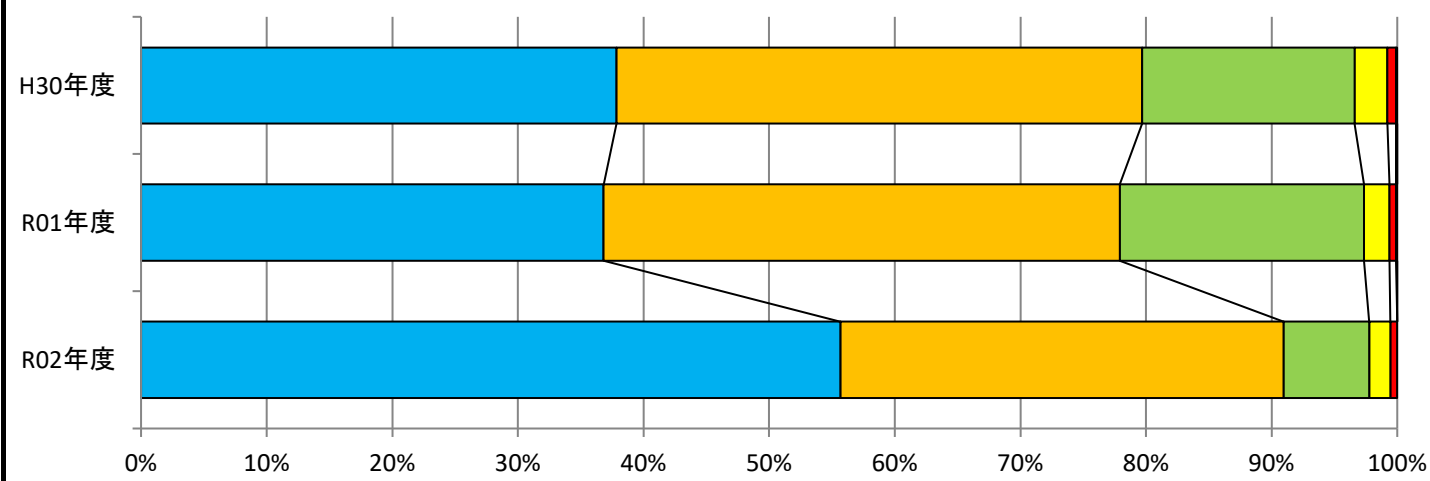
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.2	41.1	79.3	-
39.2	37.5	76.7	△ 2.6
57.3	33.5	90.8	+ 14.1

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.3	40.2	81.5	-
41.8	41.1	82.9	+ 1.4
60.9	31.4	92.2	+ 9.4

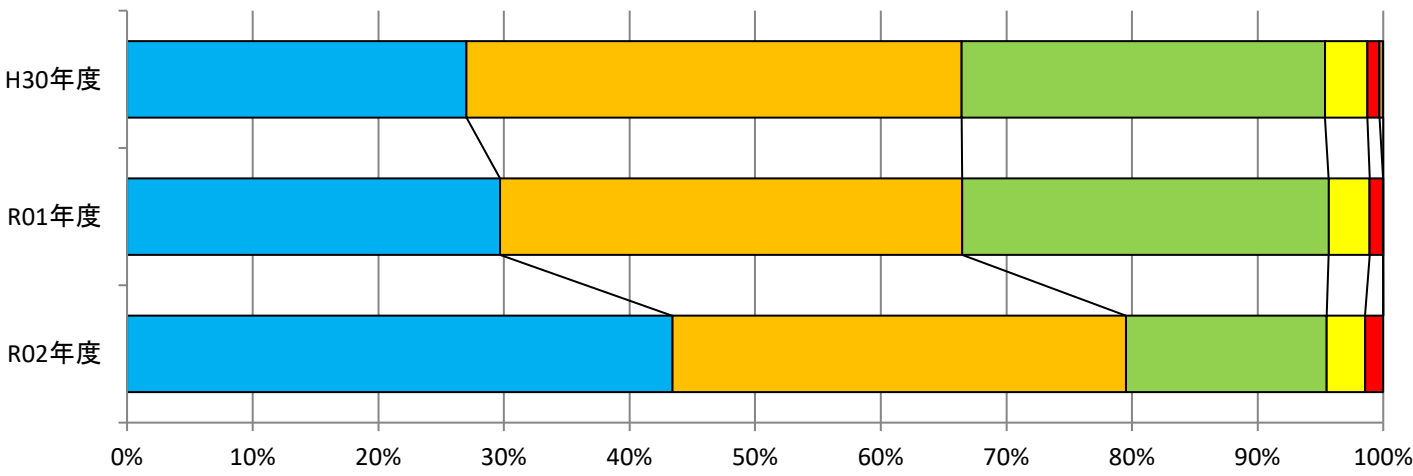
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.9	41.8	79.7	-
38.3	42.7	81.0	+ 1.3
55.7	35.3	91.0	+ 10.0

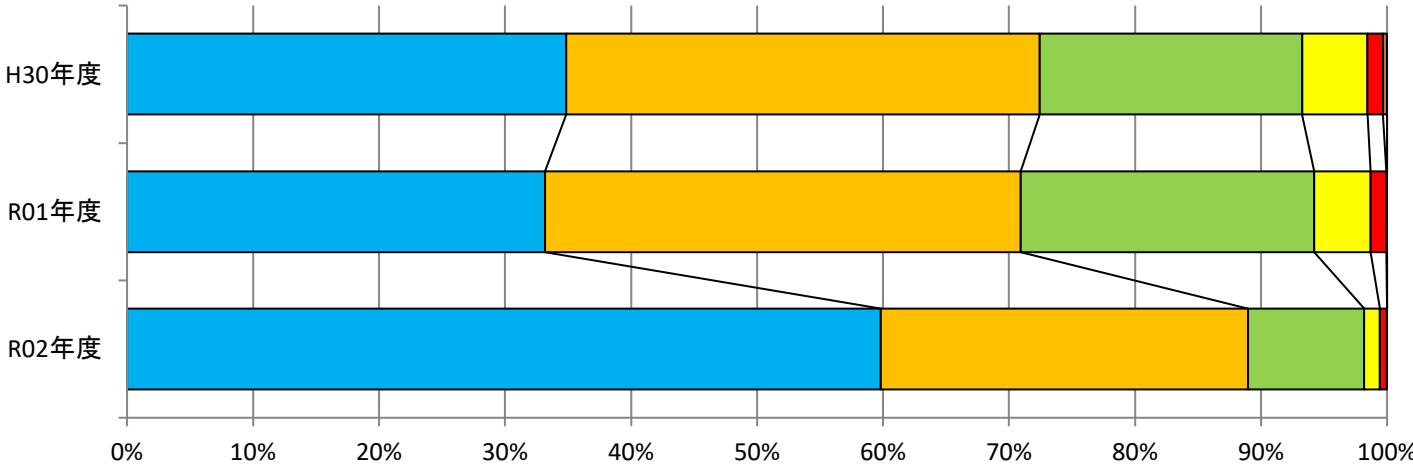
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



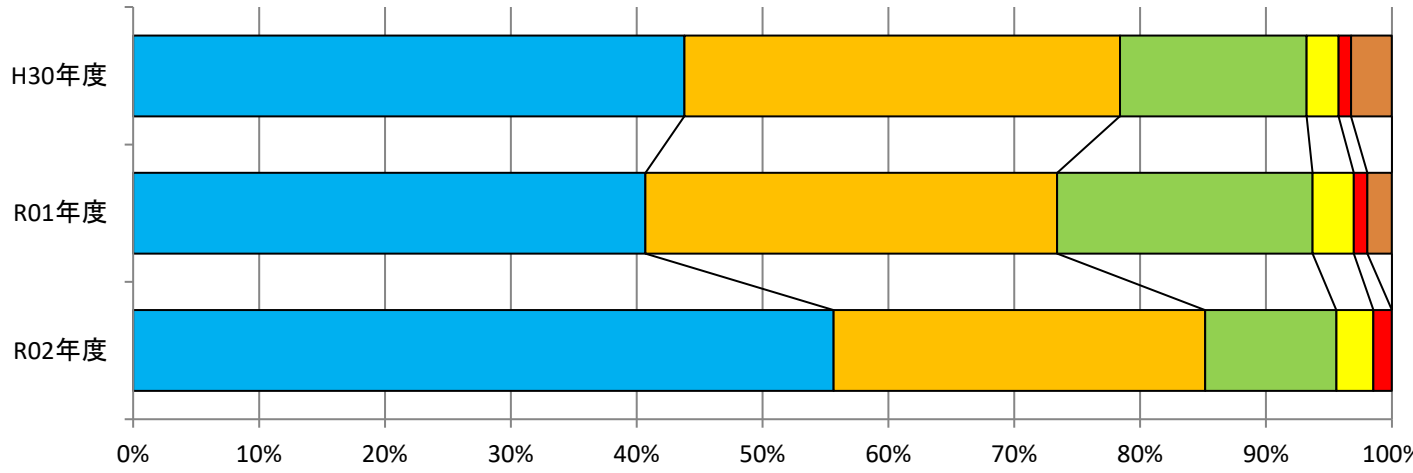
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
27.0	39.4	66.4	-
29.7	36.8	66.5	+ 0.1
43.4	36.1	79.5	+ 13.0

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



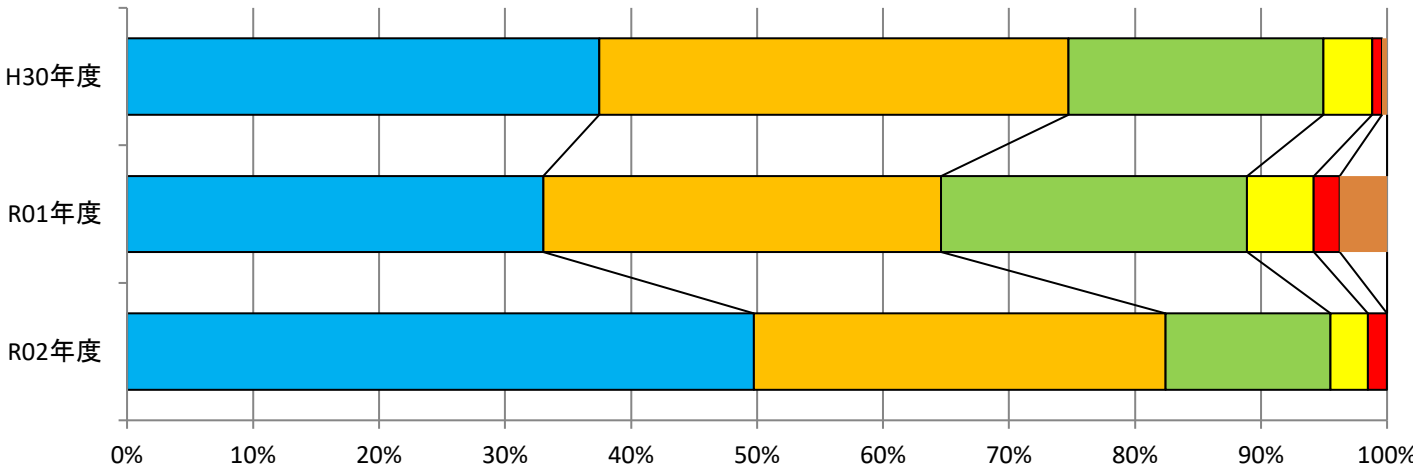
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.9	37.6	72.5	-
33.2	37.7	70.9	△ 1.5
59.8	29.1	89.0	+ 18.0

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



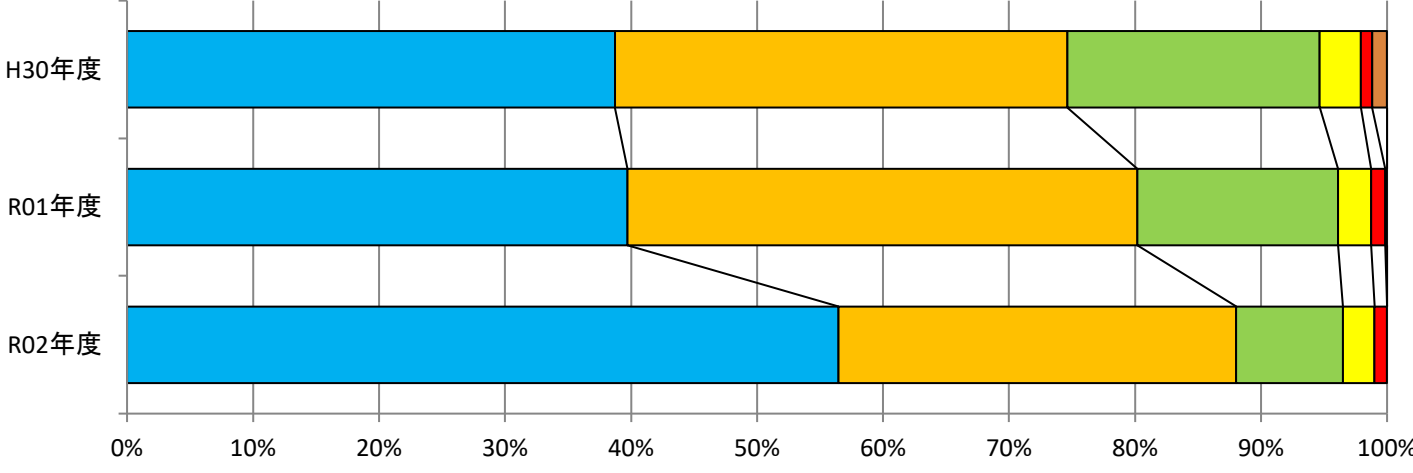
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.8	34.6	78.4	-
40.7	32.7	73.4	△ 5.0
55.6	29.5	85.2	+ 11.7

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



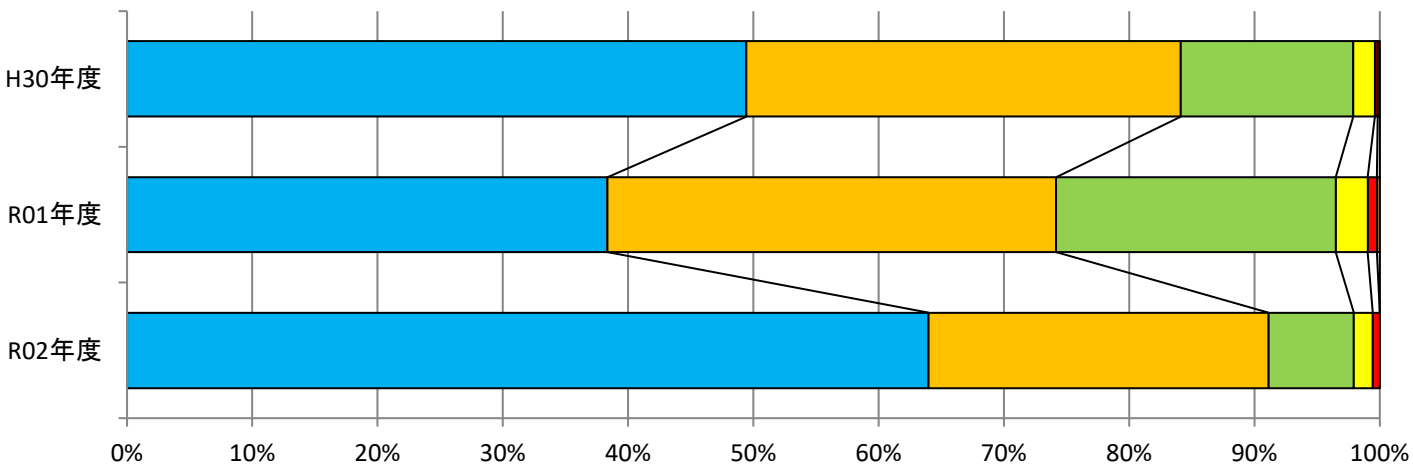
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.5	37.2	74.7	-
33.0	31.5	64.5	△ 10.2
49.7	32.7	82.4	+ 17.9

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



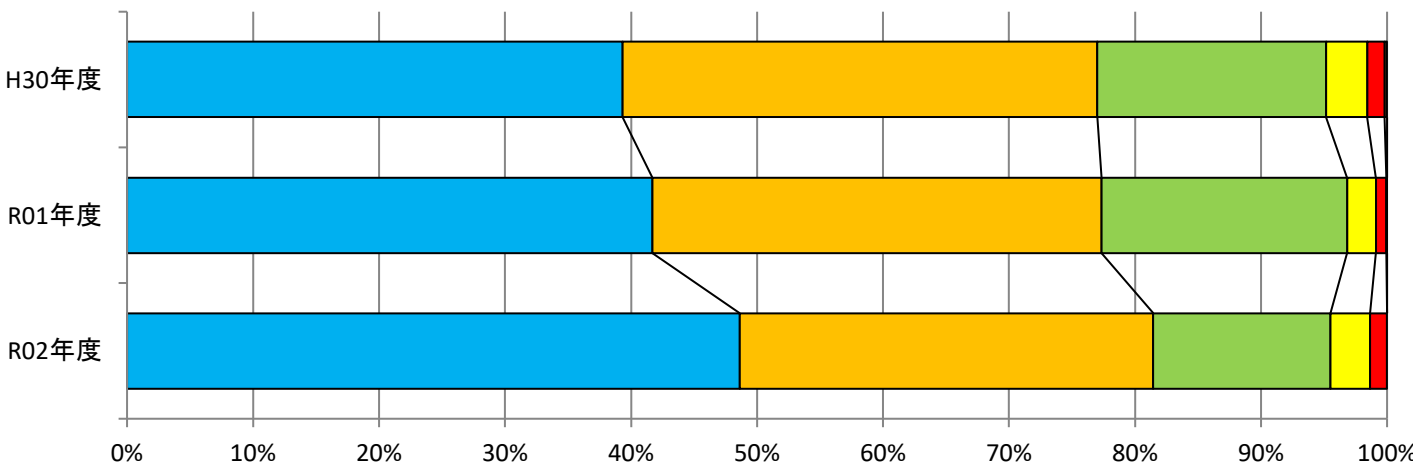
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.7	35.9	74.6	-
38.7	39.4	78.1	+ 3.5
56.5	31.6	88.0	+ 9.9

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



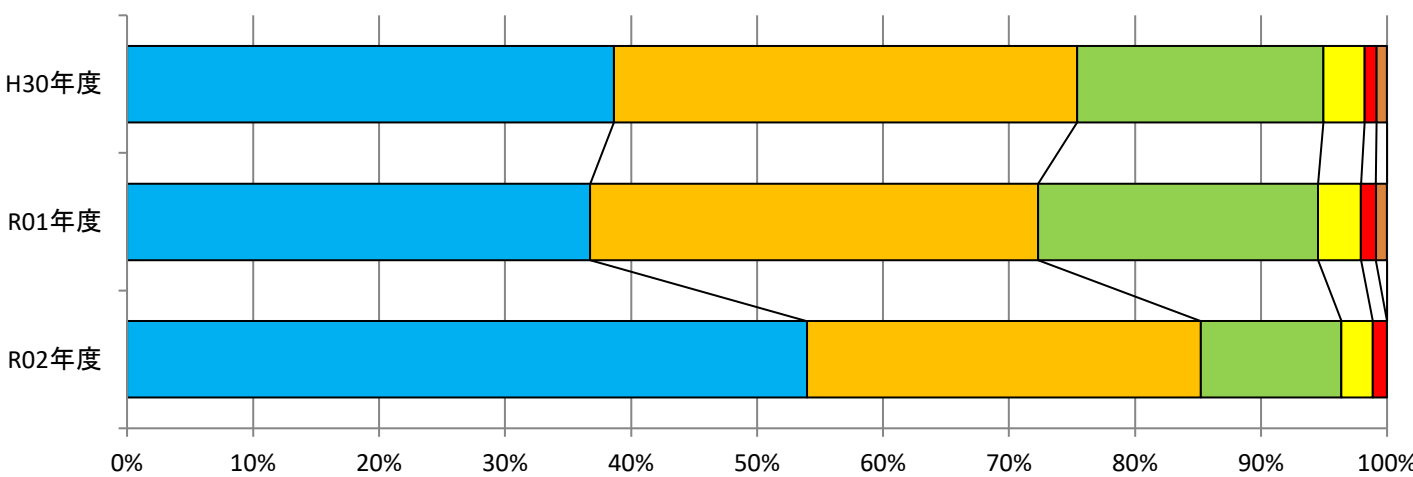
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.4	34.7	84.1	-
38.4	35.8	74.2	△ 9.9
64.0	27.1	91.1	+ 16.9

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.3	37.7	77.0	-
41.7	35.7	77.3	+ 0.3
48.6	32.8	81.5	+ 4.2

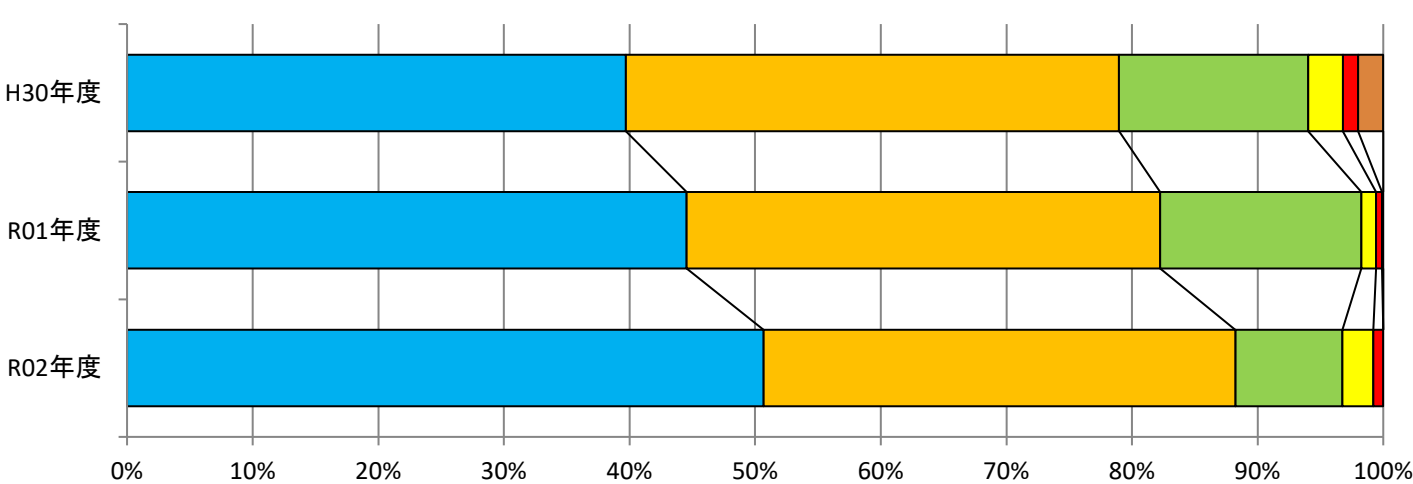
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.6	36.7	75.4	-
36.5	35.3	71.7	△ 3.7
54.0	31.3	85.2	+ 13.5

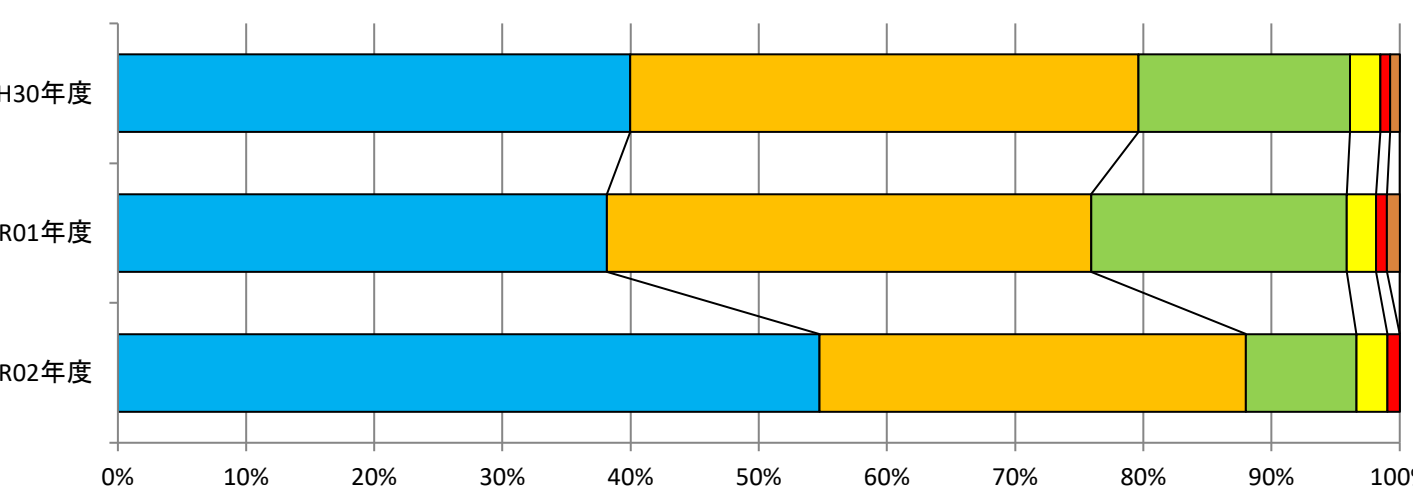
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.7	39.3	79.0	-
47.2	39.9	87.1	+ 8.1
51.8	38.4	90.2	+ 3.2

全質問項目の平均

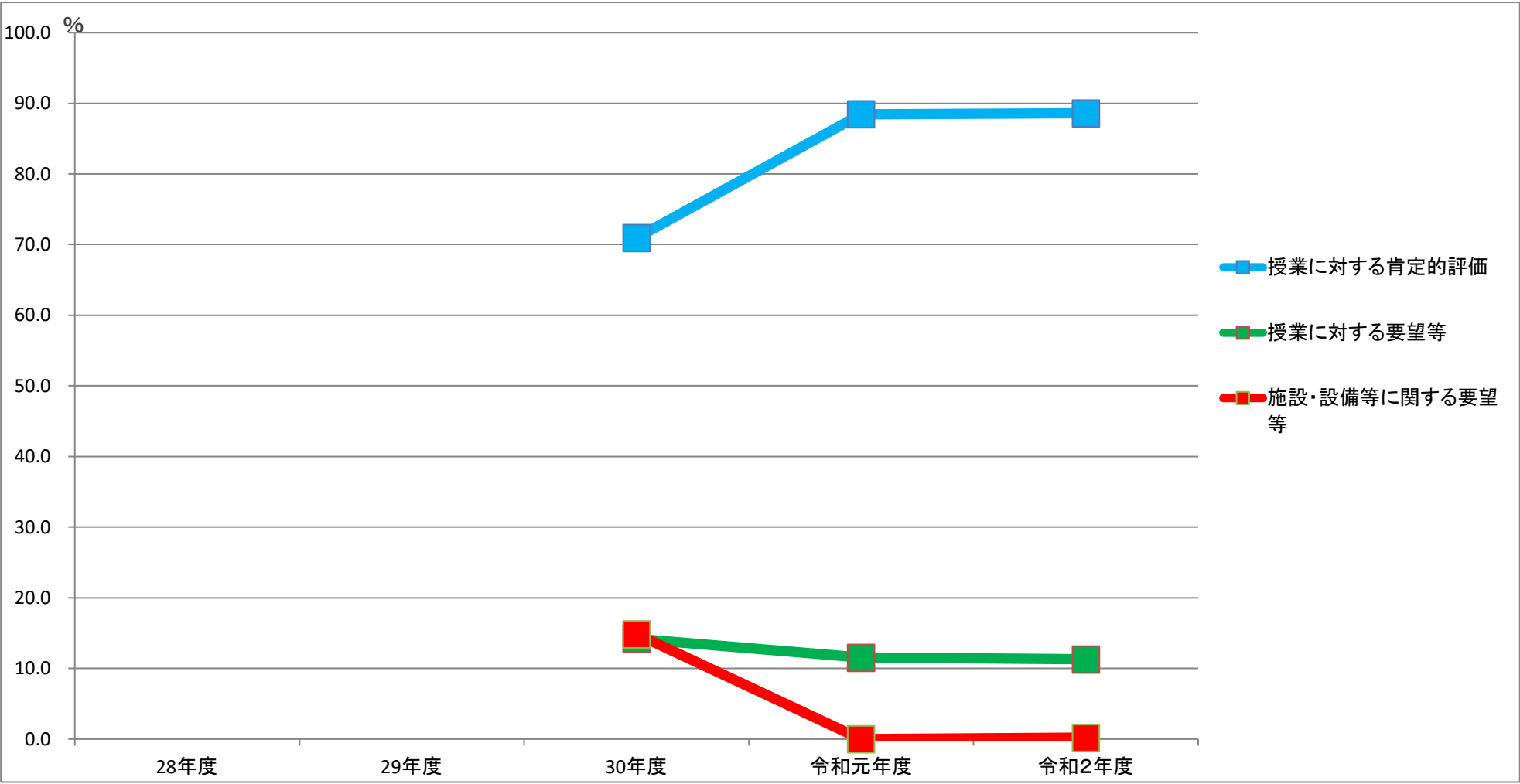


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.0	39.7	79.6	-
38.1	37.7	75.7	△ 3.9
54.7	33.3	88.0	+ 12.3

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(66.8%)	427	(60.2%)	307	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(88.6%)	480
授業に対する要望等	(32.1%)	205	(38.0%)	194	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(11.3%)	61
施設・設備等に関する要望等	(1.1%)	7	(1.8%)	9	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.2%)	1
総件数	(100.0%)	639	(100.0%)	510	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	542

※（ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	480	・パソコンは苦手なので自分のペースで受けられることが嬉しかった ・記録の書き方も目標の立て方も丁寧にチェックしていただけたおかげで実りある実習になりました。 ・グループで会話をすると自分が気が付かなかったことに気が付けるのでとてもたのしかった ・授業時間も長くなく、大切な部分だけを教えてくれるので端的で非常に分かりやすい授業でした ・パワーポイントに毎回内容をまとめてくれていて授業以外でも復習がしやすかった ・看護師の細かい行動それぞれに意味があるのがとても面白く感じた。 ・医療従事者と患者さん側両方の視点から考える機会が多くあり、新しい考えが浮かんだり、実際に実習をするときに役に立つと思いました。 ・課題に対してのフィードバックもありより理解を深めることができました。 ・穴埋め式のプリントで動画を見ながら手を動かして学ぶため、頭に定着しやすかった
授業に対する要望等	61	・時間通りに動画を出してほしかった。 ・声のボリュームがもう少しあるといいと思った。 ・教員同士の連携が取れていないと思う点が何度かありました。協力的になってほしいです。 ・テストの記述部分は原稿用紙など、文字数が数えなくても分かるものにしてください。 ・事後学習プリントの答えが欲しかった ・フィードバックはフィードバックのフォルダを作ってまとめてほしい ・他の科目にも影響が出てくるので授業時間は守ってもらいたかった ・もっと内容をコンパクトにしてほしい。動画が長いと飽きてしまう。 ・テスト前にももう少し具体的に抑えるべき箇所を教えて頂けると勉強しやすいです。
施設・設備等に関する要望等	1	・清潔ケアの自己学習のとき、グループの数と人形の数明らかに違い、2グループだが人形もないことがあって困った。
計	542	

令和2年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○講義・演習科目数 97科目 ○調査対象者数 7,197人(延人数)
○総回答数 7,026件(回答率 97.6%)

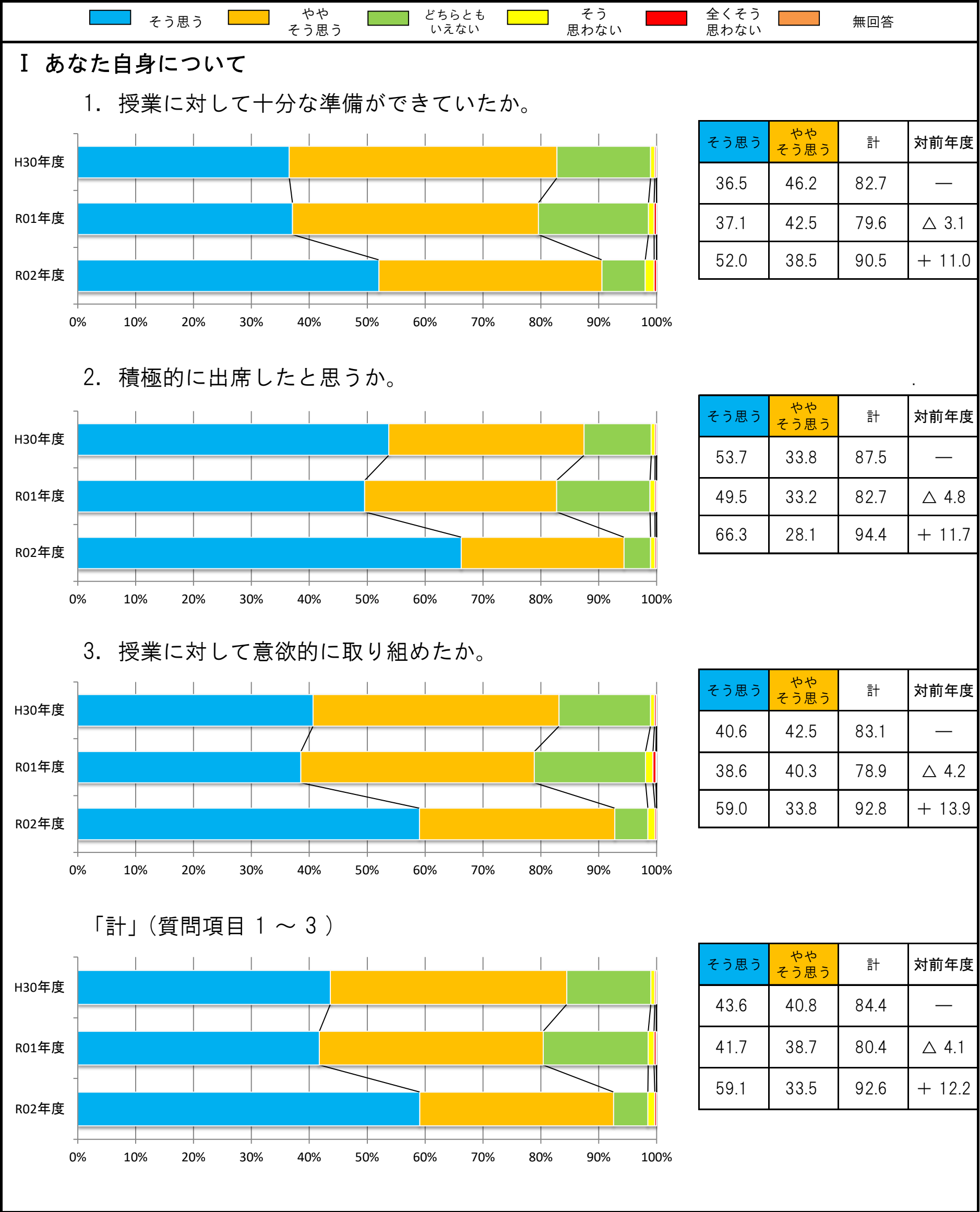
◆ 質問項目別集計結果 <上段()は令和元年度アンケート結果>

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(37.1) 52.0	(42.5) 38.5	(19.0) 7.5	(1.0) 1.6	(0.4) 0.4	(0.0) 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(49.5) 66.3	(33.2) 28.1	(16.1) 4.6	(0.9) 0.8	(0.3) 0.3	(0.0) 0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(38.6) 59.0	(40.3) 33.8	(19.2) 5.7	(1.3) 1.3	(0.5) 0.3	(0.1) 0.0	(100) 100
計	(41.7) 59.1	(38.7) 33.5	(18.1) 5.9	(1.0) 1.2	(0.4) 0.3	(0.1) 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(31.4) 45.3	(42.5) 42.9	(22.8) 8.5	(2.5) 2.6	(0.7) 0.7	(0.1) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(39.5) 58.0	(38.7) 34.0	(19.2) 5.8	(2.1) 1.6	(0.5) 0.6	(0.0) 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(38.3) 56.4	(37.9) 34.1	(21.0) 7.3	(2.1) 1.6	(0.6) 0.5	(0.1) 0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(40.9) 60.2	(36.8) 31.8	(19.6) 6.1	(2.0) 1.3	(0.6) 0.5	(0.2) 0.0	(100) 100
計	(37.5) 55.0	(38.9) 35.7	(20.7) 7.0	(2.2) 1.8	(0.6) 0.6	(0.1) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(29.4) 43.3	(36.6) 36.2	(29.6) 15.9	(3.4) 3.1	(1.0) 1.5	(0.0) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(32.3) 59.6	(37.9) 29.2	(23.8) 9.5	(4.6) 1.2	(1.3) 0.6	(0.1) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(40.1) 54.8	(32.6) 29.8	(20.8) 10.8	(3.4) 3.1	(1.1) 1.5	(2.0) 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(30.1) 56.1	(31.5) 25.2	(26.1) 12.7	(5.8) 4.5	(2.3) 1.6	(4.2) 0.0	(100) 100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(37.9) 62.0	(36.1) 27.1	(20.5) 7.2	(3.4) 2.7	(0.9) 0.9	(1.2) 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(37.5) 48.4	(36.0) 33.4	(22.9) 13.5	(2.6) 3.0	(0.8) 1.6	(0.2) 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(41.0) 55.8	(35.8) 32.1	(19.9) 8.6	(2.3) 2.5	(0.9) 1.0	(0.1) 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(46.7) 63.3	(34.0) 27.6	(17.4) 7.0	(1.3) 1.6	(0.5) 0.6	(0.1) 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(38.8) 47.4	(35.2) 33.3	(22.0) 14.6	(2.7) 3.2	(1.1) 1.4	(0.2) 0.0	(100) 100
計	(37.1) 54.5	(35.1) 30.4	(22.5) 11.1	(3.3) 2.8	(1.1) 1.2	(0.9) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(-) 47.8	(-) 31.2	(-) 12.3	(-) 6.0	(-) 2.8	(-) 0.0	(-) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(36.6) 51.3	(37.7) 36.4	(19.4) 8.8	(2.7) 2.6	(0.8) 0.9	(2.8) 0.0	(100) 100
計	(36.6) 49.5	(37.7) 33.8	(19.4) 10.5	(2.7) 4.3	(0.8) 1.8	(2.8) 0.0	(100.0) 100
全質問項目の平均	(38.2) 54.5	(37.6) 33.4	(20.2) 8.6	(2.3) 2.5	(0.7) 1.0	(1.0) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

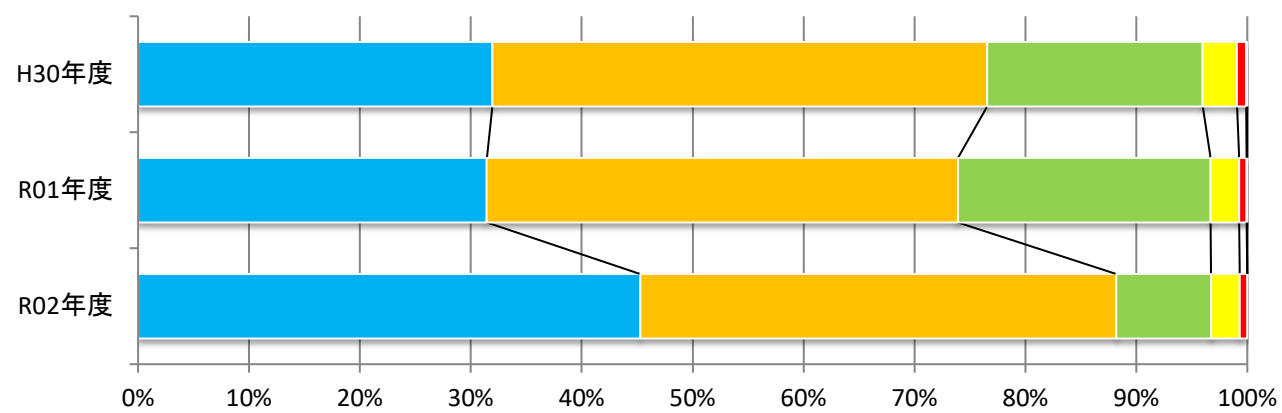
	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	44科目	78科目	97科目
調査対象者数	3,134人	5,880人	7,197人
総回答数（回答率）	3,038枚（96.9%）	5,746枚（97.7%）	7,026件（97.6%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



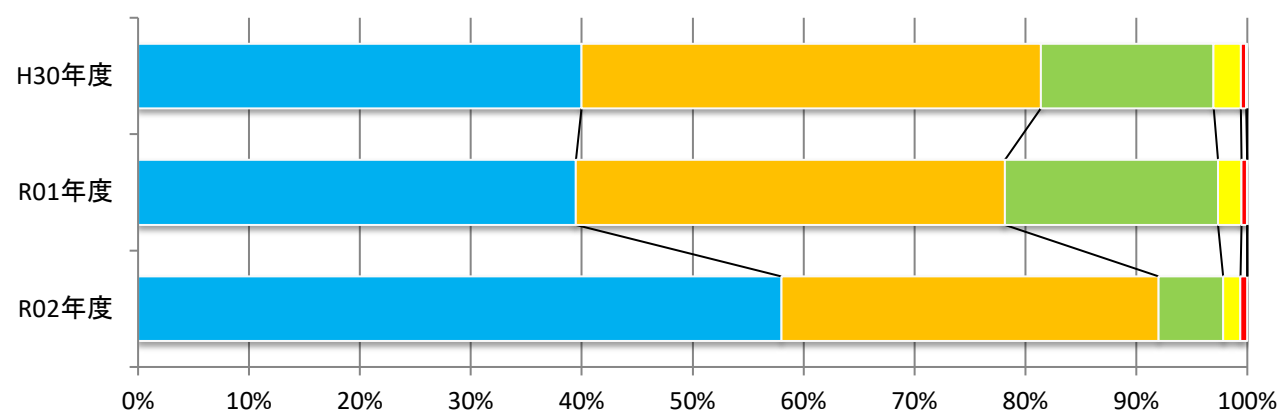
Ⅱ 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



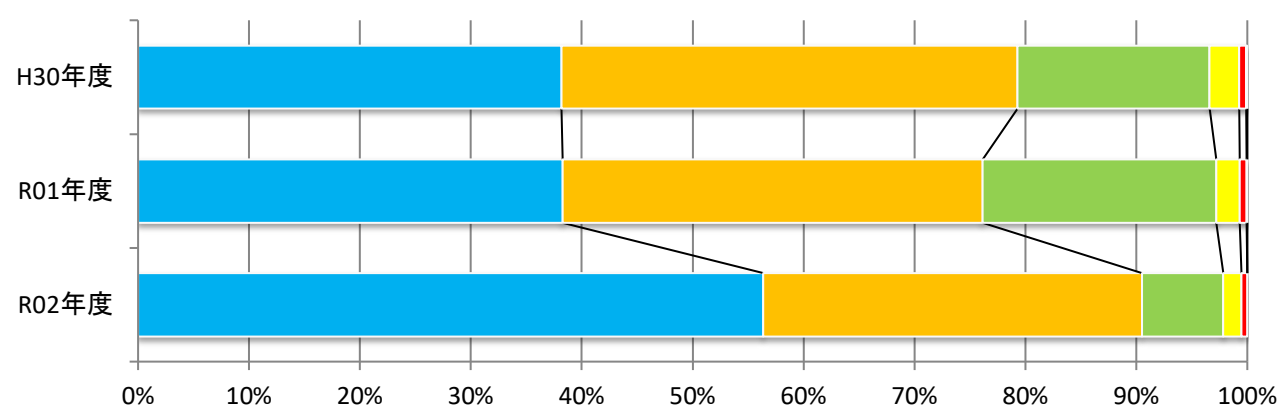
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.9	44.7	76.6	—
31.4	42.5	73.9	△ 2.7
45.3	42.9	88.2	+ 14.3

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



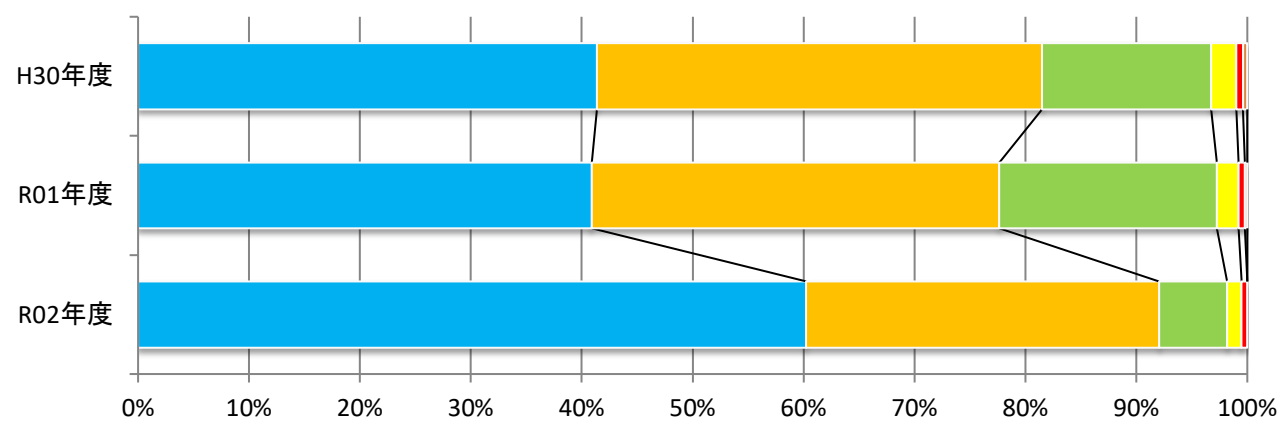
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.0	41.4	81.4	—
39.5	38.7	78.2	△ 3.2
58.0	34.0	92.0	+ 13.8

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



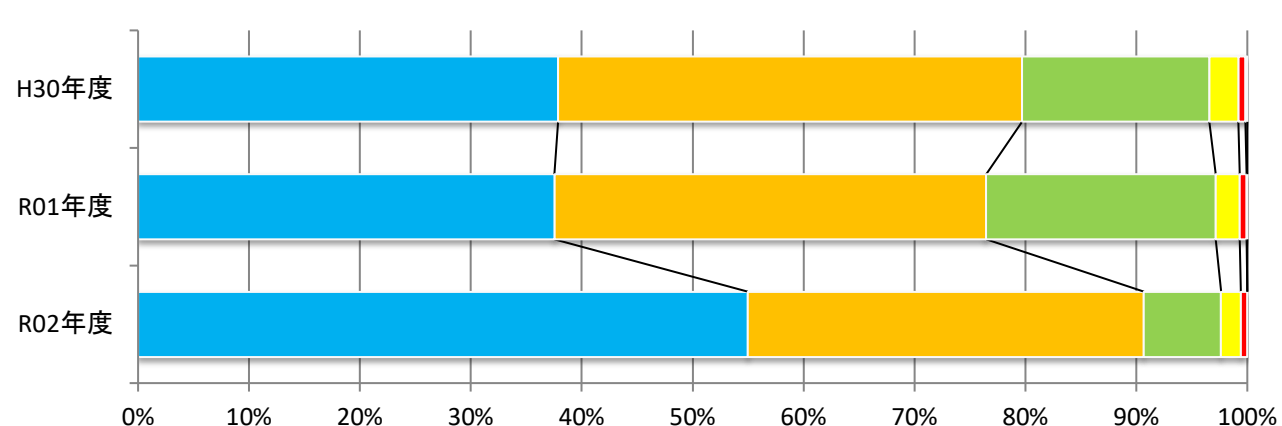
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.2	41.1	79.3	—
38.3	37.9	76.1	△ 3.2
56.4	34.1	90.5	+ 14.4

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.3	40.2	81.5	—
40.9	36.8	77.7	△ 3.8
60.2	31.8	92.0	+ 14.4

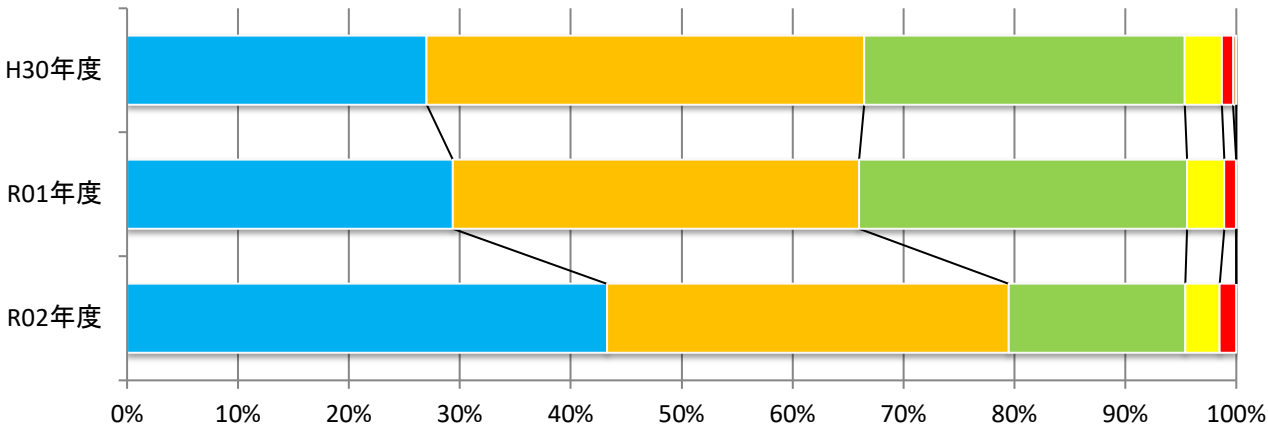
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.9	41.8	79.7	—
37.5	38.9	76.5	△ 3.2
55.0	35.7	90.7	+ 14.2

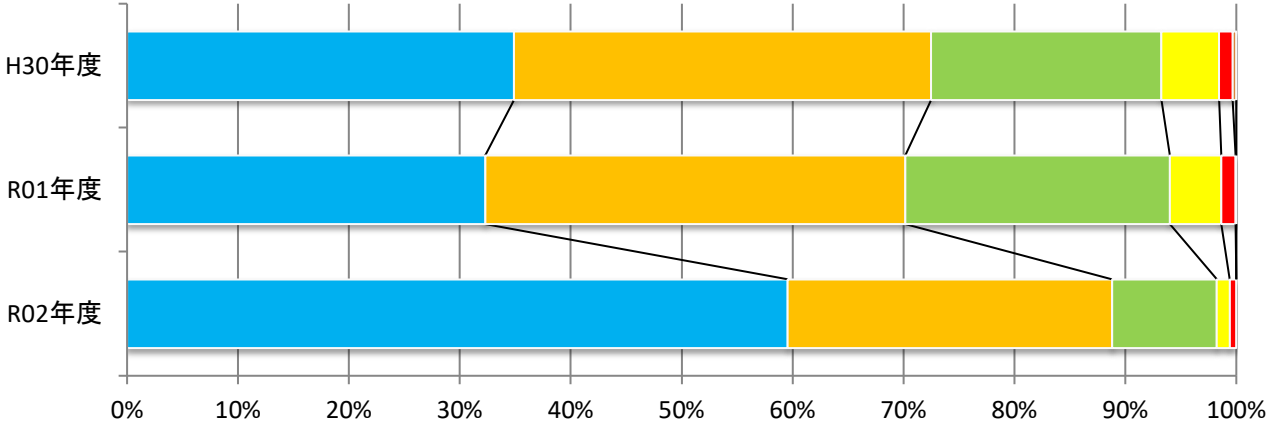
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



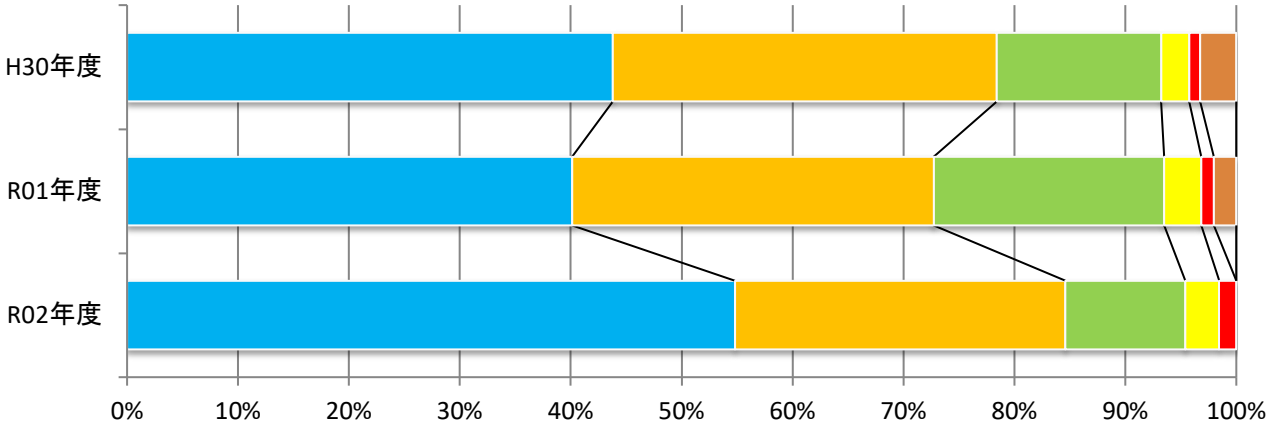
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
27.0	39.4	66.4	—
29.4	36.6	66.0	△ 0.4
43.3	36.2	79.5	+ 13.5

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



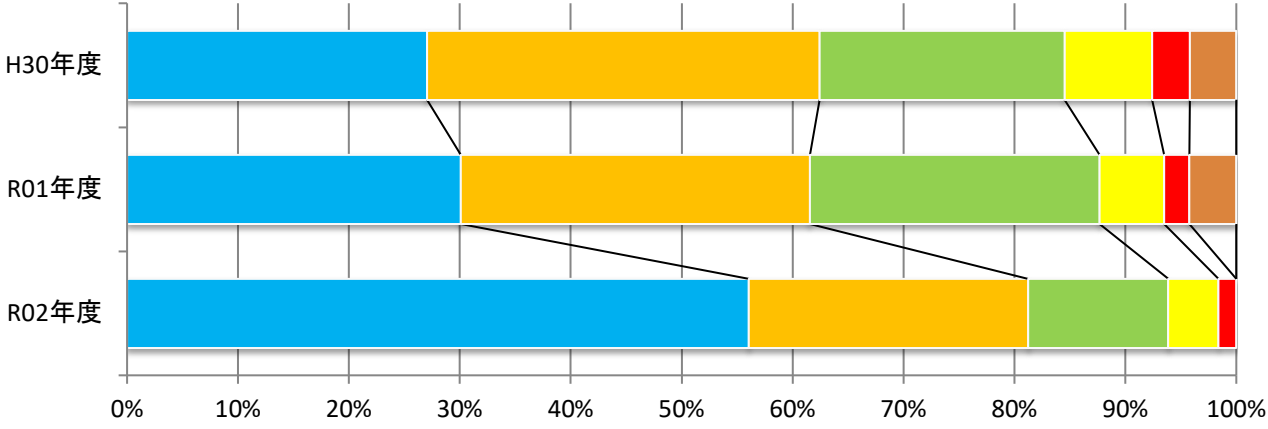
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.9	37.6	72.5	—
32.3	37.9	70.2	△ 2.3
59.6	29.2	88.8	+ 18.6

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



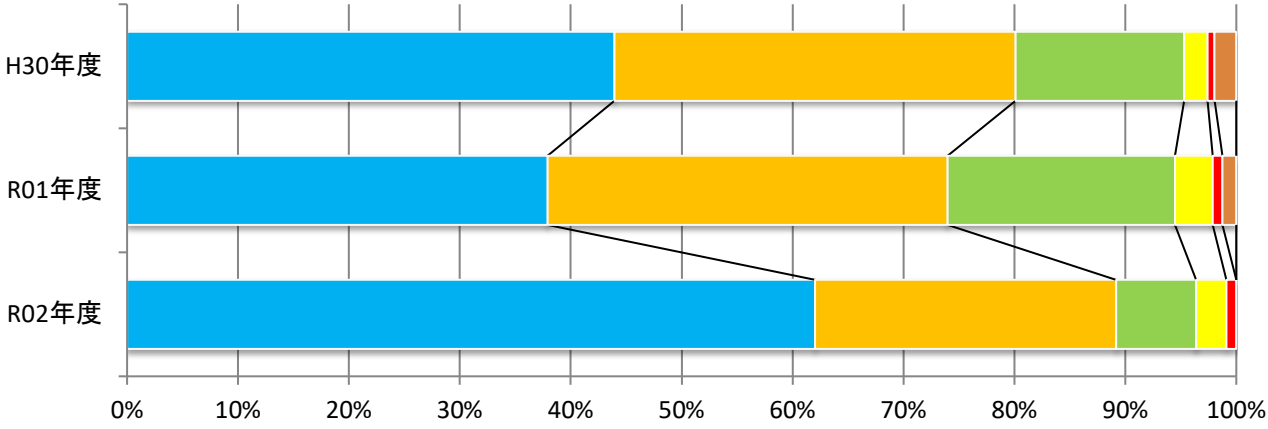
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.8	34.6	78.4	—
40.1	32.6	72.7	△ 5.7
54.8	29.8	84.6	+ 11.9

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



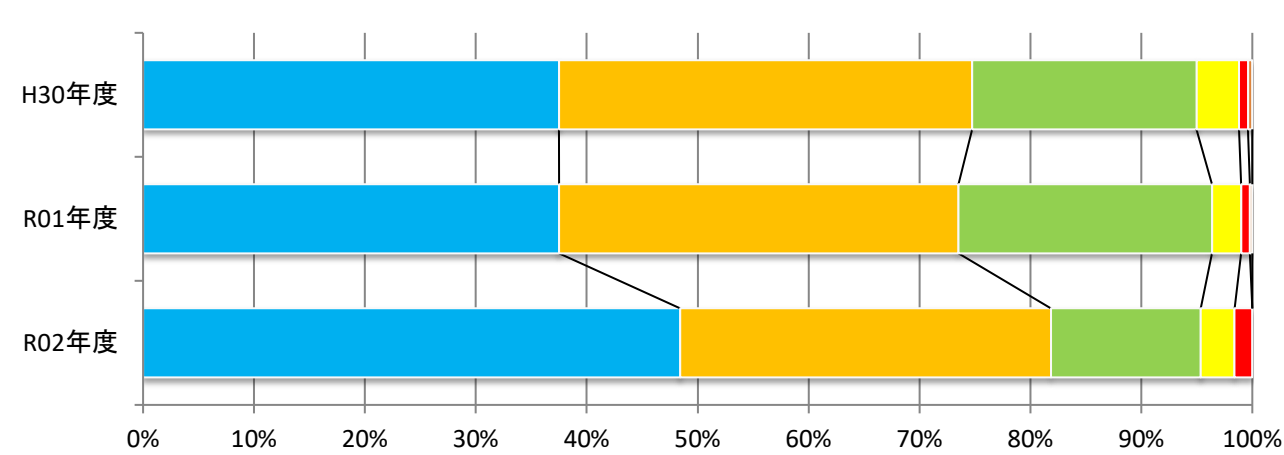
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
27.0	35.4	62.4	—
30.1	31.5	61.6	△ 0.8
56.1	25.2	81.2	+ 19.6

11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



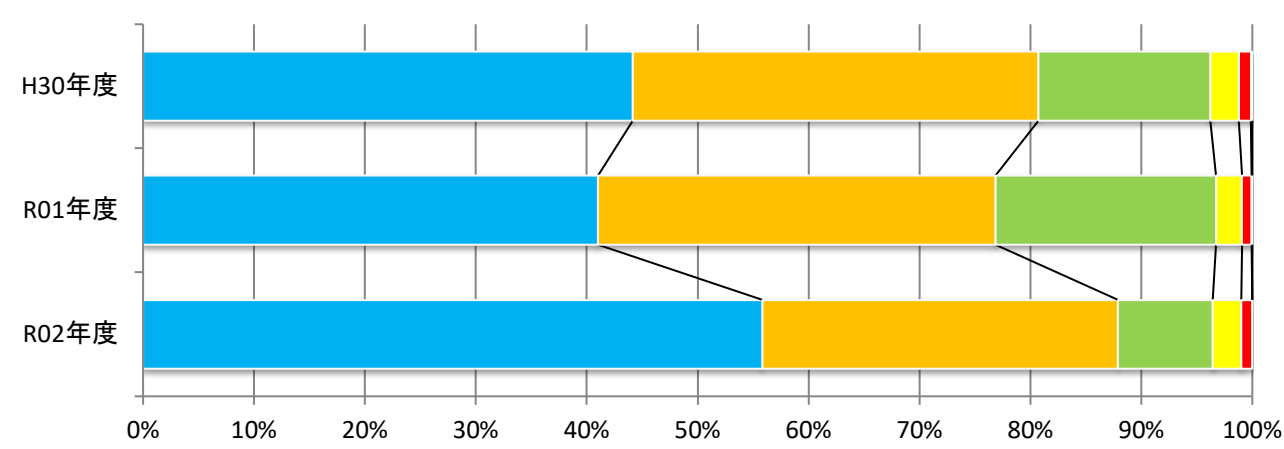
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.9	36.2	80.1	—
37.9	36.1	74.0	△ 6.1
62.0	27.1	89.2	+ 15.2

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



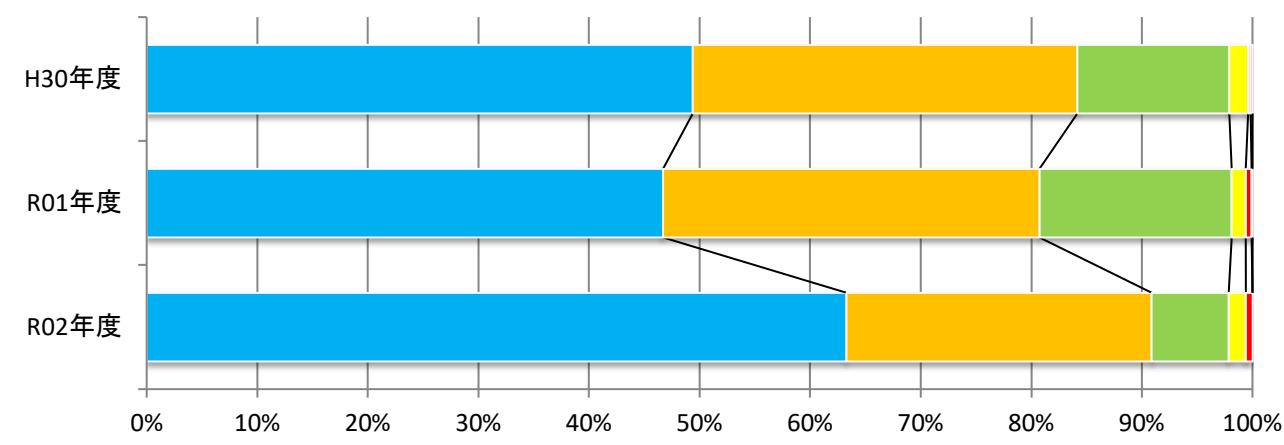
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.5	37.2	74.7	—
37.5	36.0	73.5	△ 1.2
48.4	33.4	81.9	+ 8.3

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



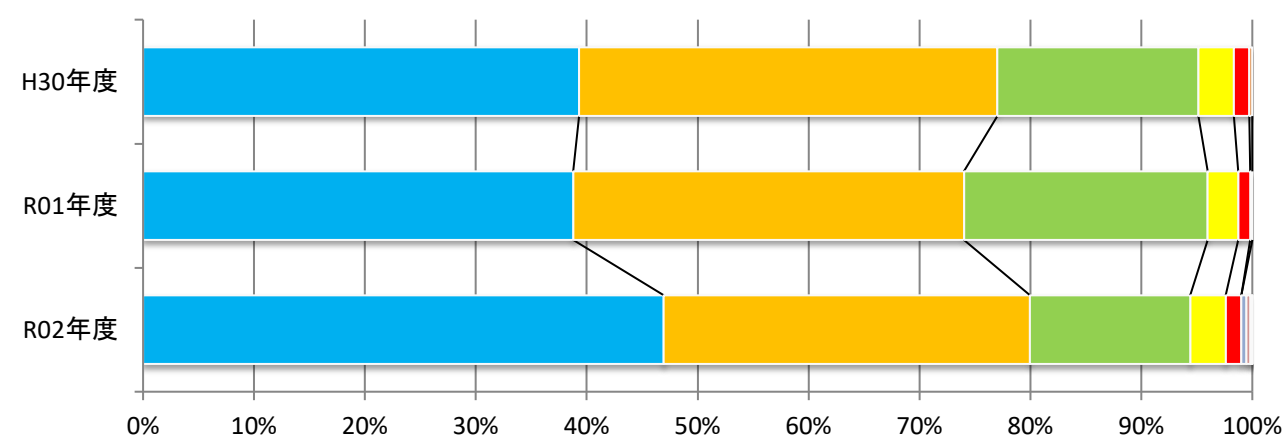
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.2	36.5	80.7	—
41.0	35.8	76.8	△ 3.9
55.8	32.1	87.9	+ 11.1

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



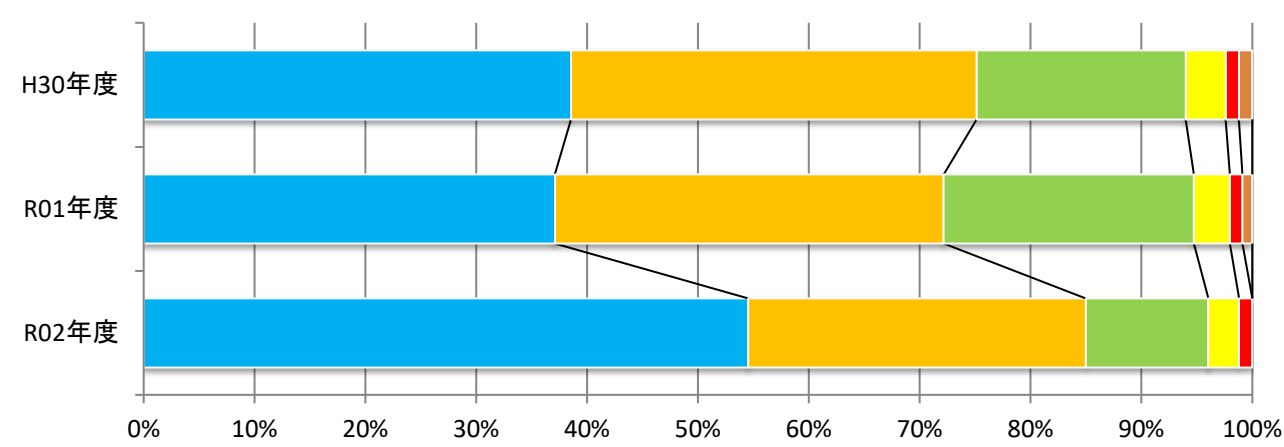
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.4	34.7	84.1	—
46.7	34.0	80.7	△ 3.4
63.3	27.6	90.9	+ 10.1

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.3	37.7	77.0	—
38.8	35.2	74.0	△ 3.0
47.4	33.3	80.8	+ 6.8

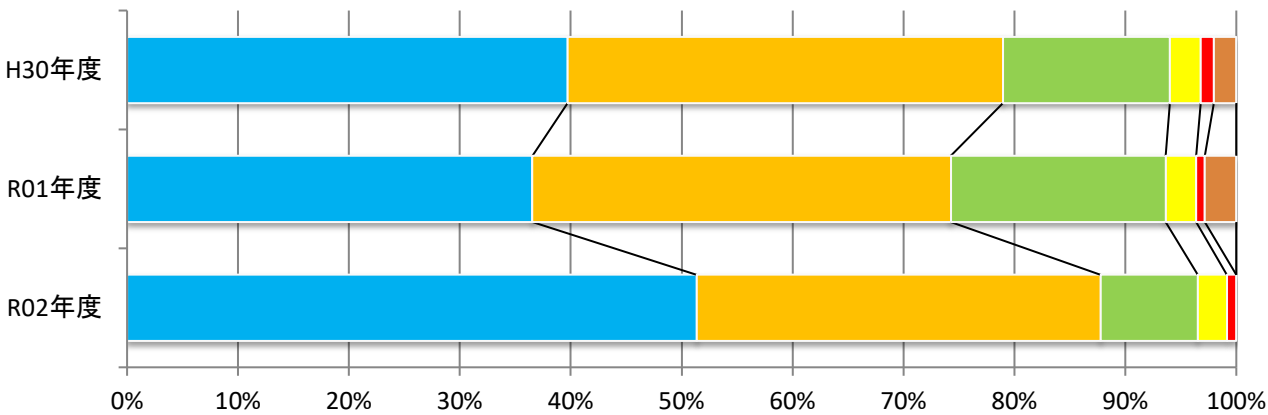
「計」（質問項目 8 ～ 15）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.6	36.6	75.2	—
37.1	35.1	72.2	△ 3.0
54.5	30.4	85.0	+ 12.8

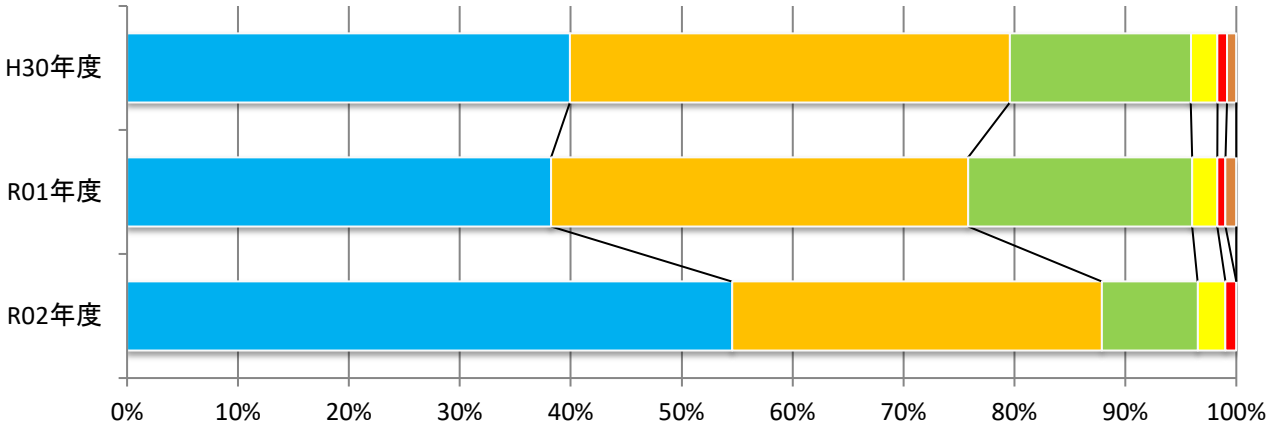
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



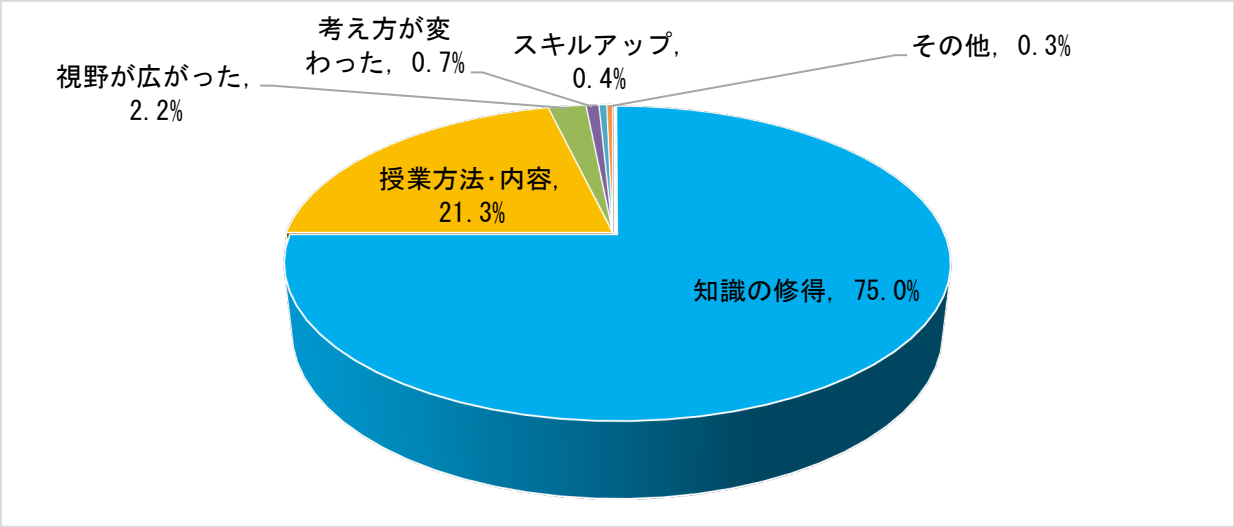
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.7	39.3	79.0	—
36.6	37.7	74.3	△ 4.7
51.3	36.4	87.8	+ 13.5

全質問項目の平均



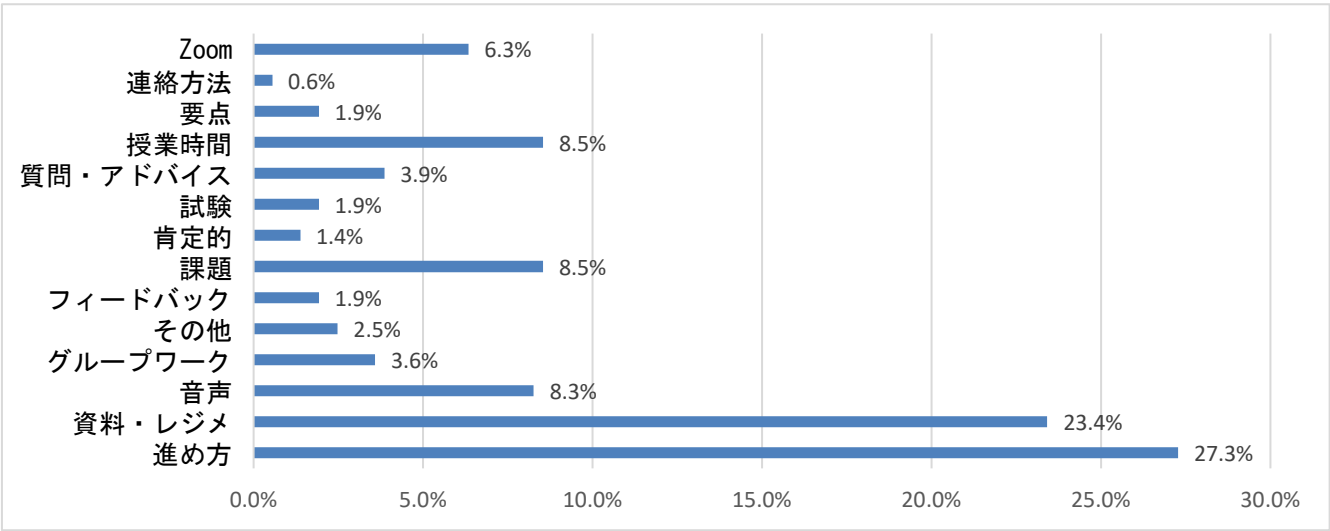
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.9	39.6	79.6	—
38.2	37.6	75.8	△ 3.7
54.5	33.4	87.9	+ 12.1

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 2,008】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	機能看護学Ⅰ	97	この授業でみんなで考えて結論をだすことの難しさや、協力して物事を深く考えることなどの力をつけることができたのがとても良かったです。 セルフマネジメントについて深く考えたうえで、自分なりに答えを出していく過程は大変で頭が沸騰するくらいだったが、最終レポートで自己管理の重要性について無事結論がだせてよかった。
	基礎看護援助方法Ⅰ	92	実践を自分たちで行うことで理解が深められたと思います。また、事前課題も実習をわかりやすく進められたので良かったです。 看護援助技術の基本的なことが理解できたのが良かった。どうしてそうなるのかを学ぶことで、そうならないようにどうしていったら良いのか、考えられた。
	体の仕組みと働きⅠ	90	講義動画の時間は膨大で、最初はその内容の濃さと量に絶望しそうだったが、先生が一つ一つ丁寧に分かりやすく手の込んだスライド資料とやわらかい語り口と板書で教えてくださったおかげで、とても飲み込みやすくスムーズに知識を蓄えることができた。 看護師を目指すにあたって欠かせない身体のことについて学べて良かったです。また、以前学んだこととの関連をその都度述べてくださって役に立ちました。
	医学・医療概論	83	看護に関する考え方、捉え方、昔から今までの変化など新しく知ることが多かったです。また、JCHOの方の授業を受けたことも、実際に地域に根付いた看護の内容などを知れて良かったです。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 363】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	病原微生物学	35	資料がわかりづらく課題が難しかったので、もう少しわかりやすくしていただきたいです。
			パワポとプリントの内容が一致していなかったので合わせてほしかったです。 資料だけ配布だったので授業の動画も配信されたらもっと容易に理解できたと思います。
	体の仕組みと働き演習	14	私は授業で大事だと感じた所はスクリーンショットをし、Wardに貼り付けコピーをするという作業をしていた。レジメを共有してもらっていたらその負担がなくなったため検討してもらいたいと思う。
			授業動画を全部見ると、90分を越えるので時間内に終わるようにして頂きたい。また見れなかった分は空いている時間にとのことだが、ほぼ5限にあるので、アルバイトなどで見る時間が限られているため時間内にお願いしたい。 配布資料を提供して頂けると勉強も捗るのでありがたい。
	基礎看護援助方法Ⅰ	8	一回の授業で、技術を体得したり覚えることは難しいので、先生が実際にやっている動画を配信するなどのことがあると家で復習したりすることが出来るのでいいのかなと思った。
			授業でどこが大切なのかをもっと明確にしてほしいと感じました。 知識が膨大過ぎた。
	機能看護学Ⅰ	7	ディスカッションに慣れていないまま、授業を進めて意味があるのかなと感じました。ディスカッションの前にアイスブレイクできるタイミングがあってもいいと思います。
			もうすこし、討論するグループの人数が欲しかった。

令和2年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○実習・実験科目数 4科目

○調査対象者数

429人(延人数)

○総回答数

398件(回答率92.8%)

◆ 質問項目別集計結果

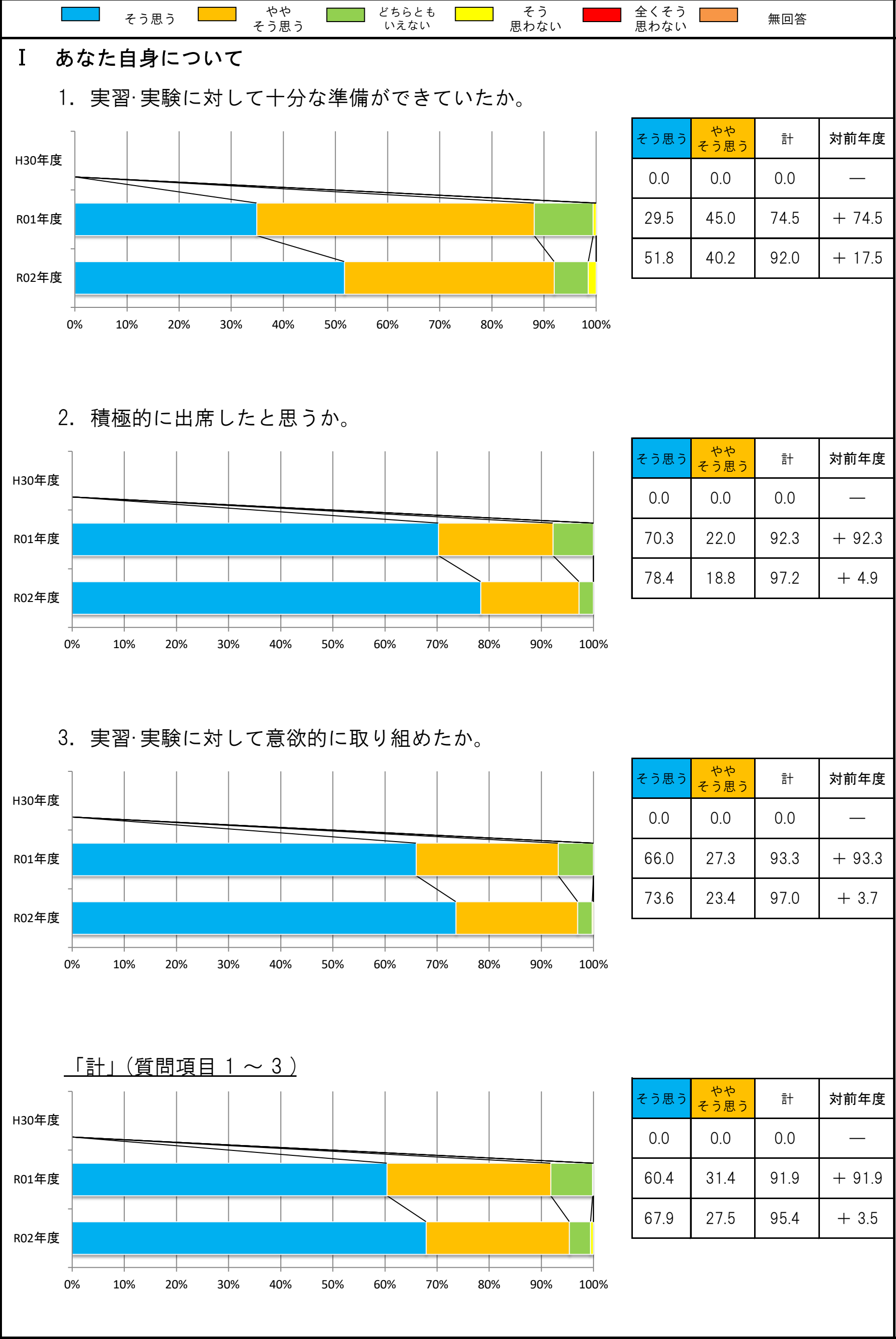
〈上段()は令和元年度アンケート結果〉

質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(45.0) 51.8	(45.0) 40.2	(9.5) 6.5	(0.5) 1.5	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(70.3) 78.4	(22.0) 18.8	(7.7) 2.8	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(66.0) 73.6	(27.3) 23.4	(6.7) 2.8	0.0 0.3	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(60.4) 67.9	(31.4) 27.5	(8.0) 4.0	(0.2) 0.6	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(51.2) 56.5	(41.1) 38.7	(7.7) 4.5	0.0 0.3	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(58.8) 70.6	(34.0) 25.9	(7.2) 3.5	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(64.1) 73.9	(28.7) 22.6	(7.2) 3.5	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(65.1) 72.4	(28.7) 23.6	(6.2) 4.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(59.8) 68.3	(33.1) 27.7	(7.1) 3.9	0.0 0.1	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(38.2) 46.0	(42.6) 34.2	(17.2) 17.3	(1.0) 1.8	(1.0) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(57.4) 64.6	(34.4) 27.4	(7.7) 5.3	(0.5) 2.8	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(56.9) 70.6	(35.9) 24.4	(7.2) 3.8	0.0 1.0	0.0 0.3	0.0 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(61.2) 72.9	(32.1) 19.3	(6.7) 6.0	0.0 1.8	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(58.8) 67.8	(32.1) 22.9	(8.6) 6.5	0.0 2.3	(0.5) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(61.2) 76.6	(31.1) 18.6	(7.7) 4.0	0.0 0.8	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(60.7) 70.1	(31.1) 23.6	(7.7) 4.5	(0.5) 1.8	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(56.4) 66.9	(34.2) 24.3	(9.0) 6.8	(0.3) 1.7	(0.2) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 42.7	(-) 23.9	(-) 18.3	(-) 10.3	(-) 4.8	(-) 0.0	(-) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(59.8) 60.3	(33.5) 31.2	(5.7) 7.5	(0.5) 0.8	0.0 0.3	(0.5) 0.0	(100) 100
計	(59.8) 51.5	(33.5) 27.5	(5.7) 12.9	(0.5) 5.5	0.0 2.5	(0.5) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(59.1) 63.7	(33.1) 26.8	(7.5) 6.9	(0.2) 2.0	(0.1) 0.7	(0.1) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	0科目	2科目	4科目
調査対象者数	0人	213人	429人
総回答数（回答率）	0枚（0.0%）	209枚（98.1%）	398件（92.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



H30年度

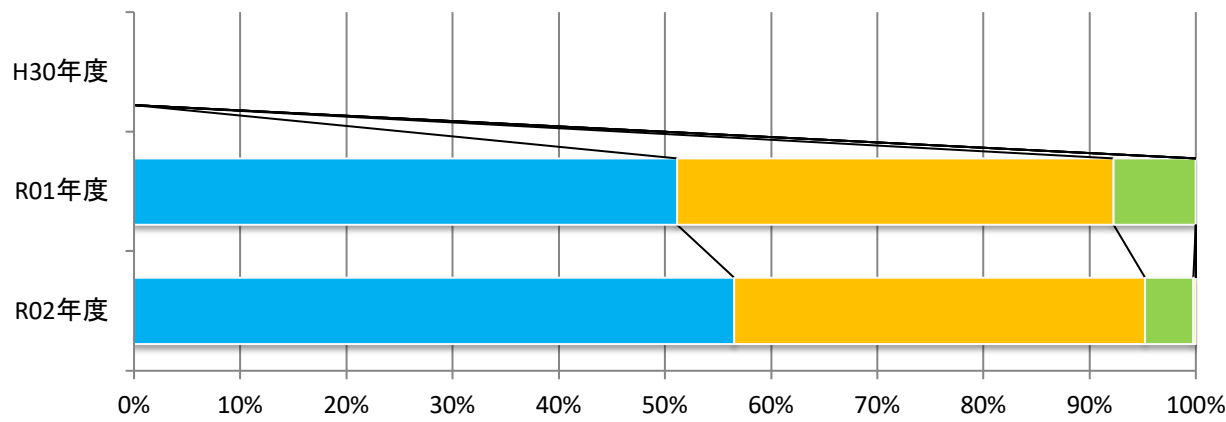
R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
60.4	31.4	91.9	+ 91.9
67.9	27.5	95.4	+ 3.5

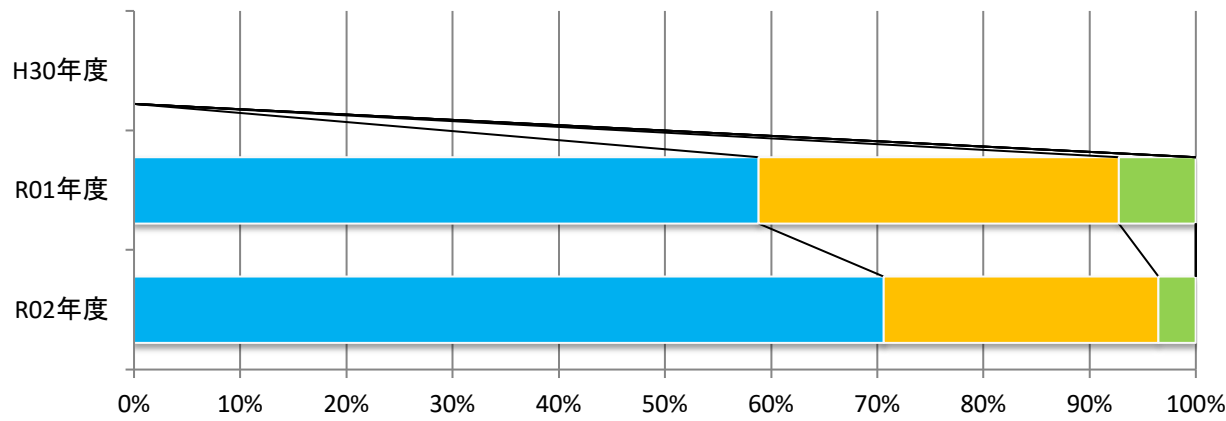
Ⅱ 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



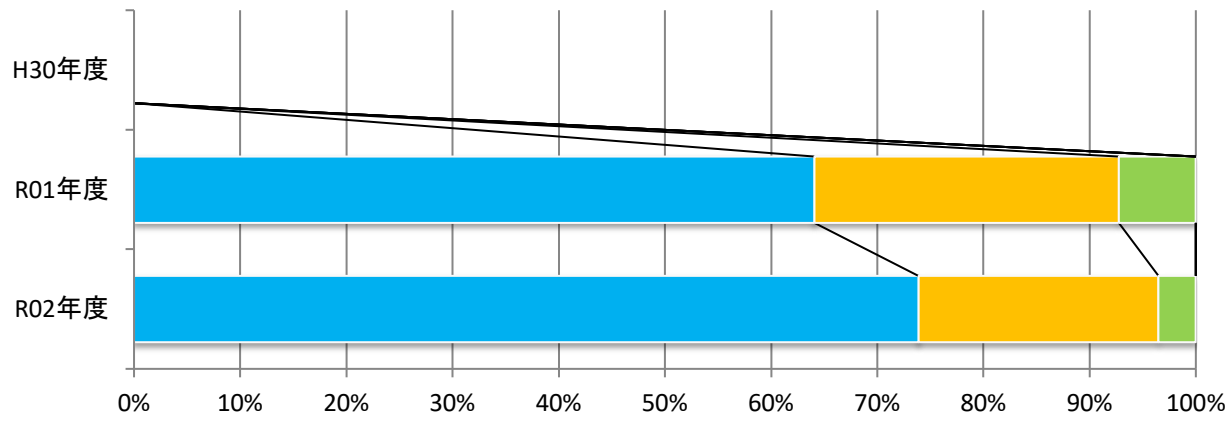
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
51.2	41.1	92.3	+ 92.3
56.5	38.7	95.2	+ 2.9

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



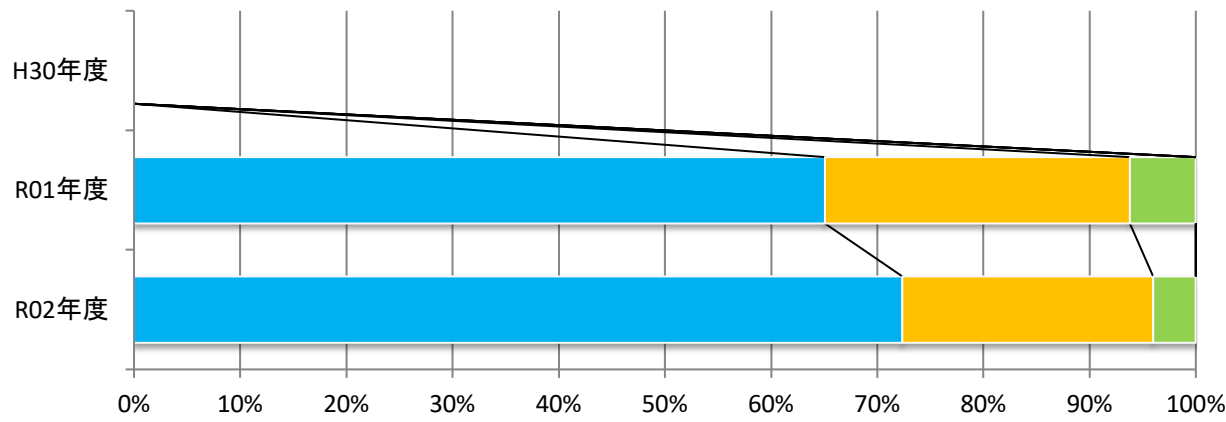
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
58.8	34.0	92.8	+ 92.8
70.6	25.9	96.5	+ 3.7

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



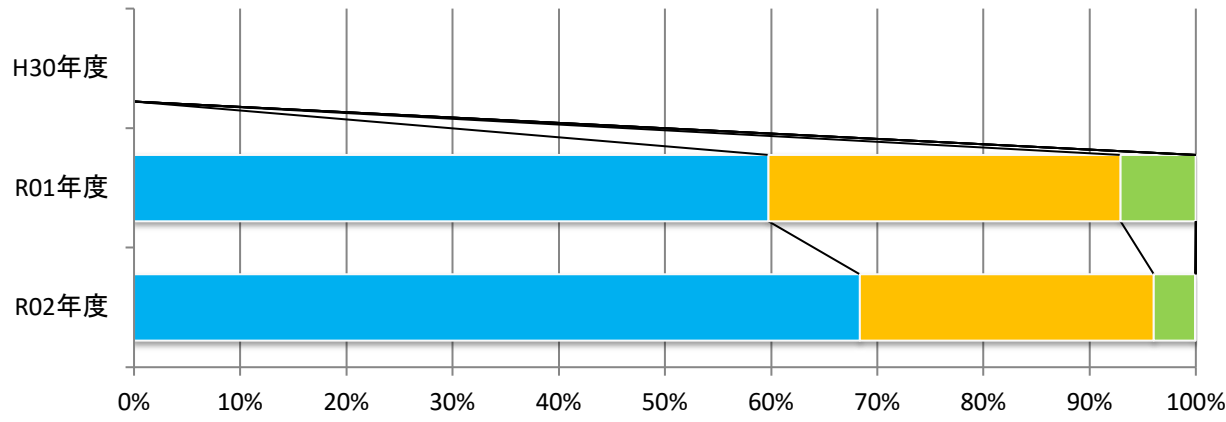
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
64.1	28.7	92.8	+ 92.8
73.9	22.6	96.5	+ 3.7

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
65.1	28.7	93.8	+ 93.8
72.4	23.6	96.0	+ 2.2

「計」（質問項目 4 ～7）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
59.8	33.1	92.9	+ 92.9
68.3	27.7	96.0	+ 3.1

Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
38.2	42.6	80.8	+ 80.8
46.0	34.2	80.2	△ 0.7

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
57.4	34.4	91.9	+ 91.9
64.6	27.4	92.0	+ 0.1

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
56.9	35.9	92.8	+ 92.8
70.6	24.4	95.0	+ 2.2

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
61.2	32.1	93.3	+ 93.3
72.9	19.3	92.2	△ 1.1

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。

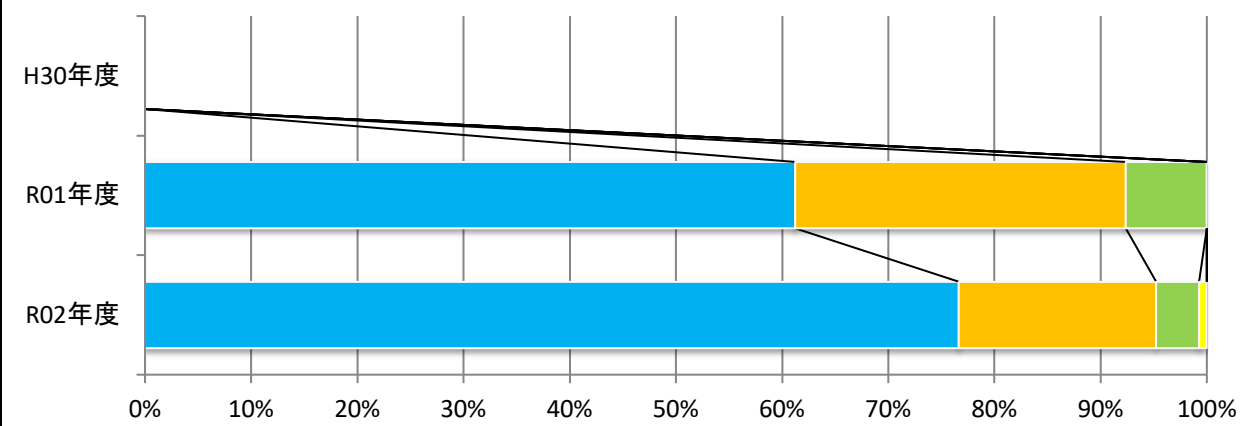
H30年度

R01年度

R02年度

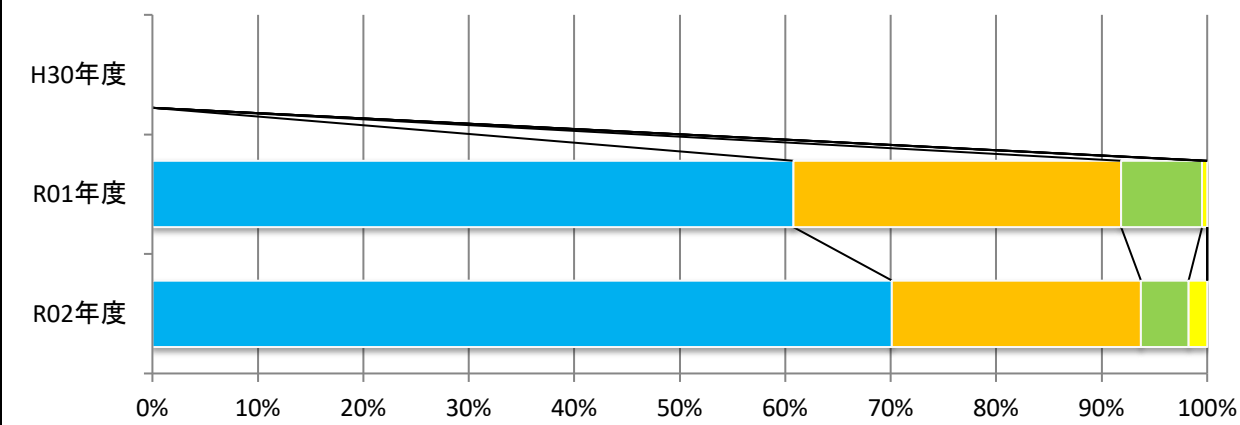
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
58.8	32.1	90.9	+ 90.9
67.8	22.9	90.7	△ 0.2

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



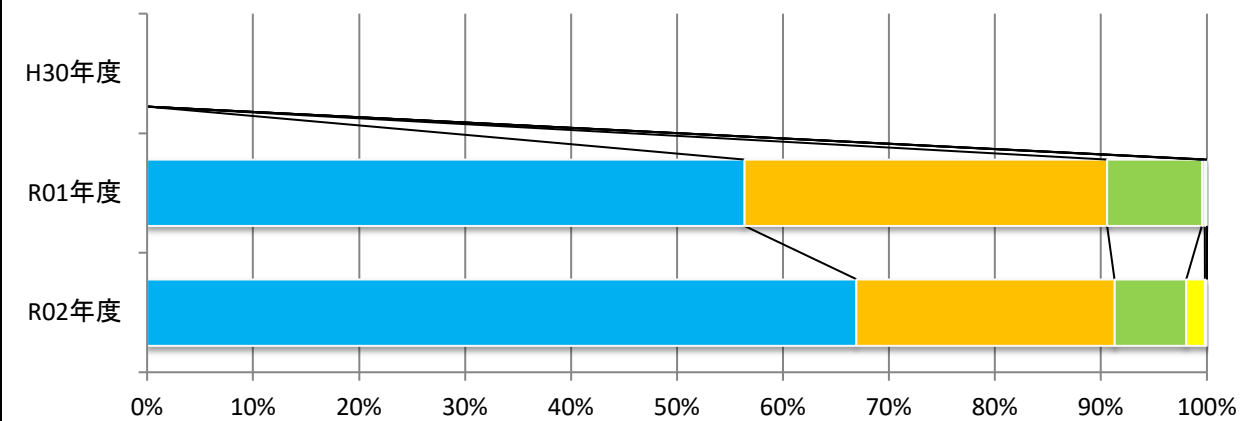
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
61.2	31.1	92.3	+ 92.3
76.6	18.6	95.2	+ 2.9

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
60.7	31.1	91.8	+ 91.8
70.1	23.6	93.7	+ 1.9

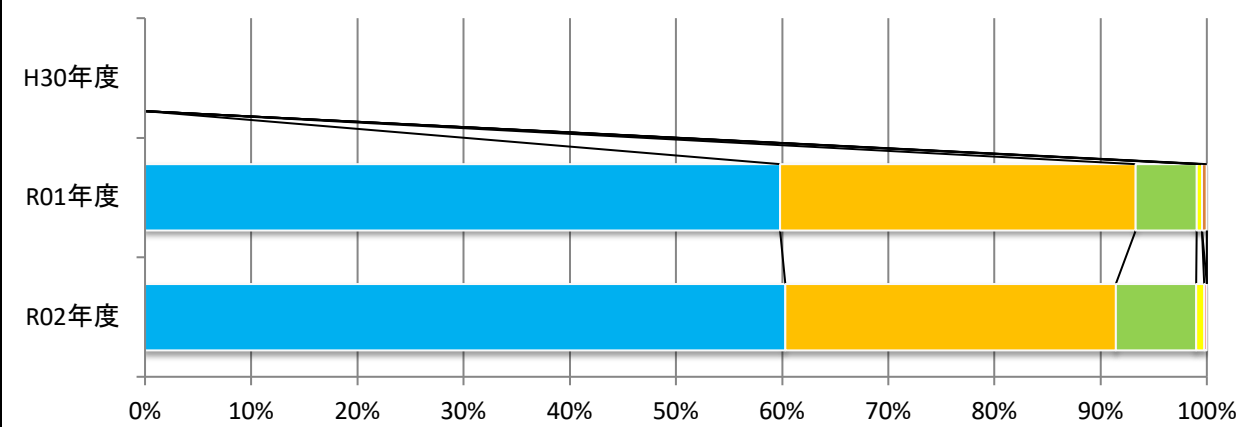
「計」(質問項目 8 ～ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
56.4	34.2	90.6	+ 90.6
66.9	24.3	91.3	+ 0.7

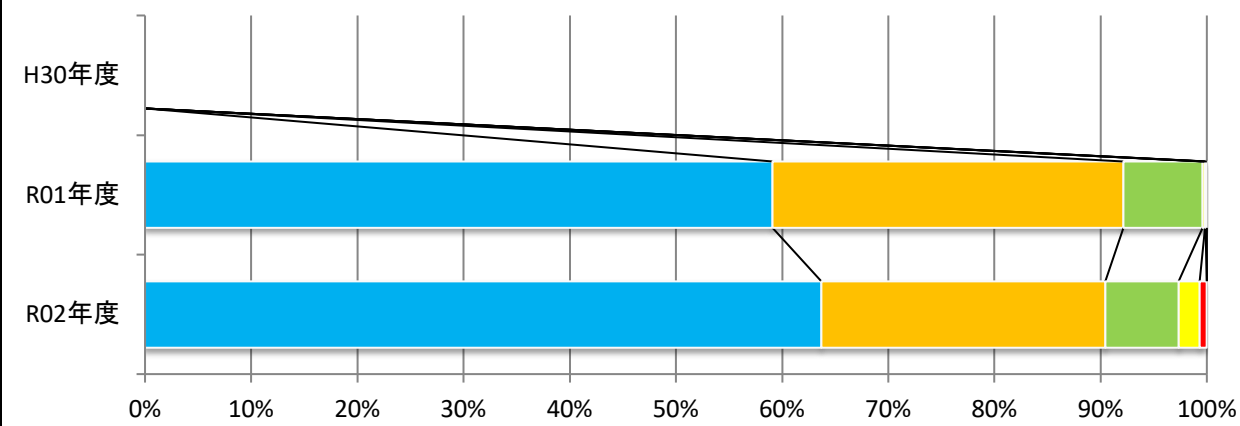
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



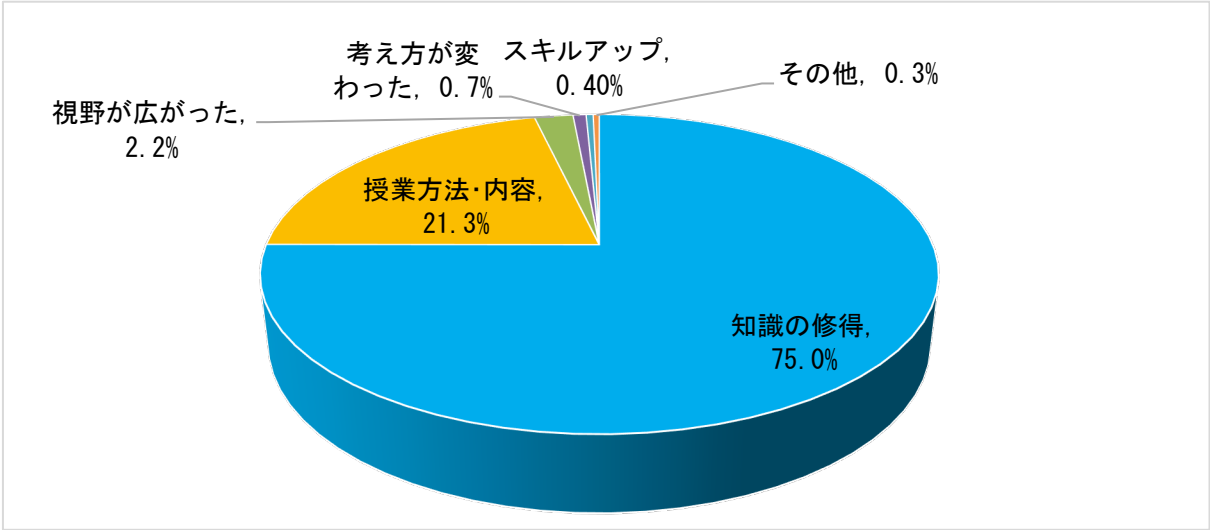
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
59.8	33.5	93.3	+ 93.3
60.3	31.2	91.5	△ 1.8

全質問項目の平均



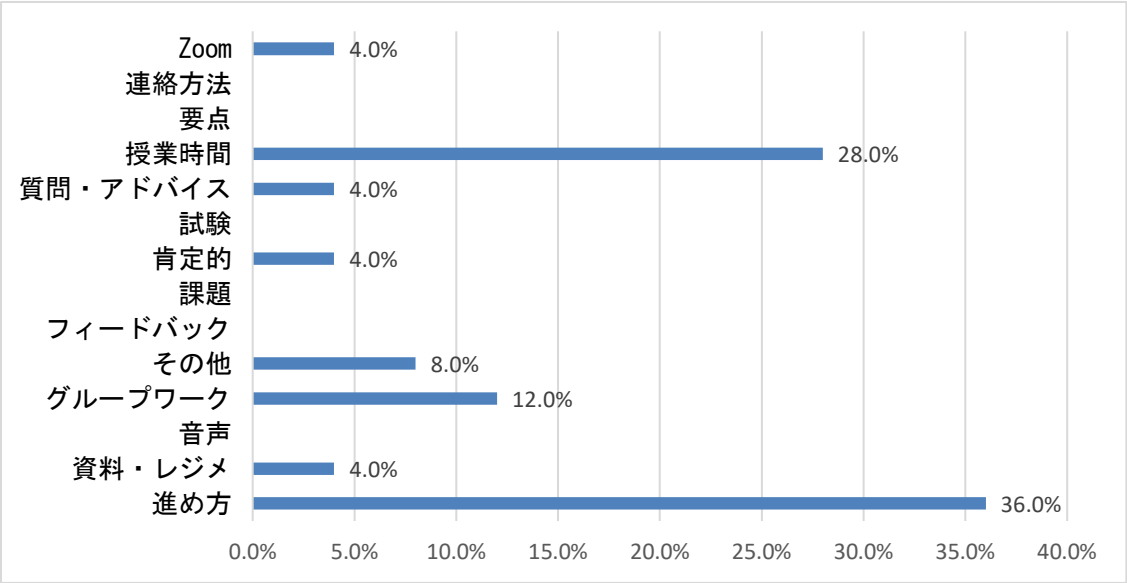
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
0.0	0.0	0.0	—
59.1	33.1	92.2	+ 92.2
63.7	26.8	90.4	△ 1.7

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 104】



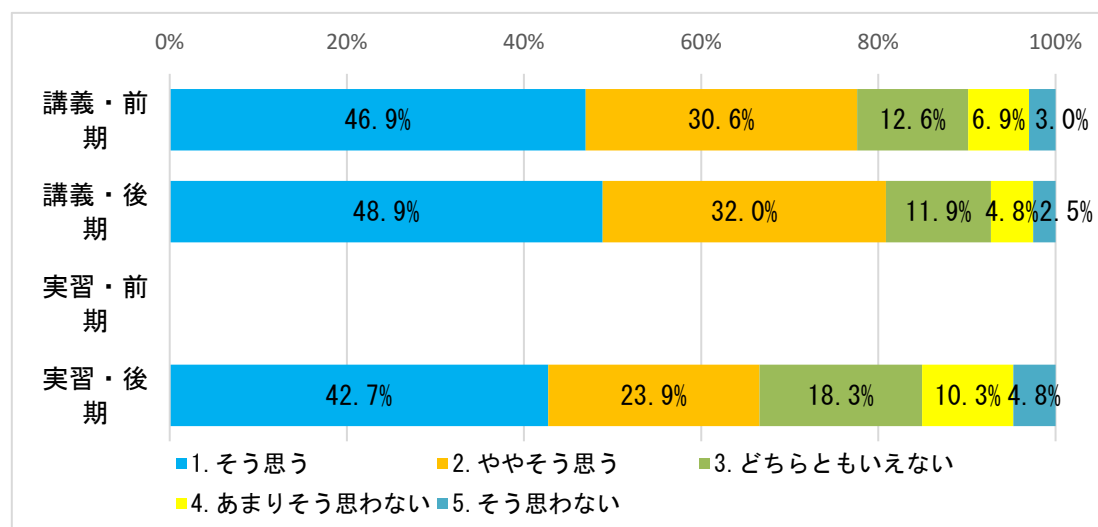
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	臨床看護学実習	8	実際に患者（先生が行う）へ服薬指導等を行ったことで、分かりやすい説明の仕方や理解しやすい工夫を考えることができた。vSIM演習が結構リアルで看護師としてどこに着目してどんなケアをしたら良いのかを体験することができたことがよかった。
			包括アセスメントを根拠を持って記載できていなくて、今回の授業を通して以前より記載できるようになったと感じている。先生の添削がすごくわかりやすく、自分の記載に何が足りていないのかを具体的に示してもらえたので、すごく自分の力になったように感じている。
	基礎看護援助実習Ⅰ	86	初めての实習で、初めて実際に看護師さんからの指導も受けながら学習する場で緊張したしうまくできなかった部分もあるが自分なりに考え目標に沿った実習が出来、看護師になるという実感も感じられ良かった。
			この実習・実験を受けて、自分の看護技術が成長していることを実感できて良かったと思います。実習が始める前に、オンデマンド形式で学習内容別評価基準のルーブリックをしっかりと確認して、実習の病院と大学を行き来しながら、振り返りから自分の課題を見つけ、解決できるように練習することで、自分の看護技術が上がっていくことを実感できました。
			看護師としての技術を演習を通して学び、実習でそれを実施し自分の課題を見つけたことができた。また、学内実習で自分の課題を改善できるよう練習も行うことができとても充実した授業でした。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 25】

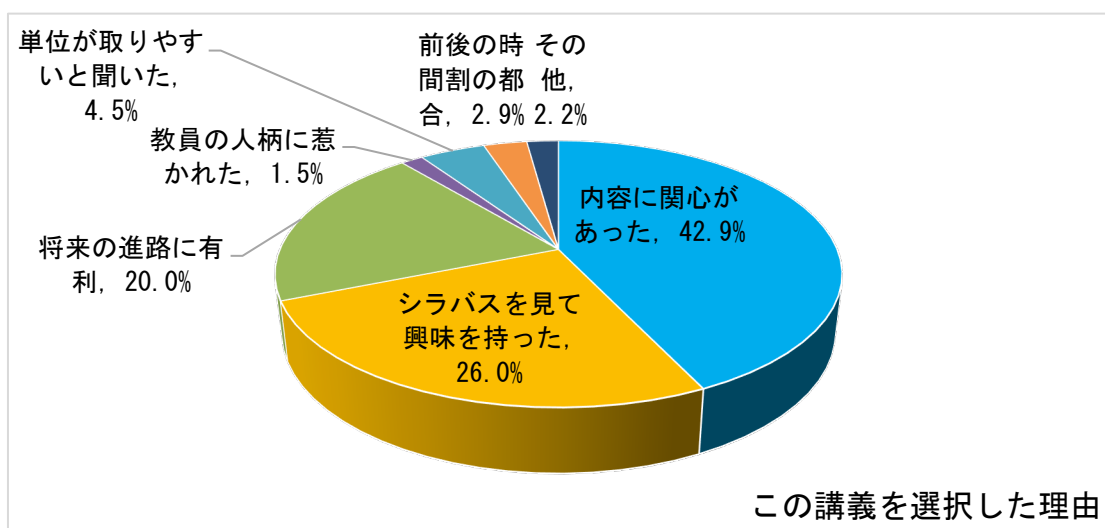


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ	17	病棟によって担当した患者の特性が違うため、病棟ごとに学んだことを共有する機会があればよいと思った。
	基礎看護援助実習Ⅱ【2年次後期】	3	担当の先生によって記入する様式などに違いがあり混乱してしまったので統一してほしいと思いました。
			日程をグループごとに分けるのは良いと思うが、記録の期日などの日程もずらすべきではと考える。
	臨床看護学実習	3	取り組み具合が人によって異なるため、グループワークを勧めるのが大変な時があった。全員で受け持っていて、取り組みが良くない学生がいると良く取り組む学生の考えだけで進めることになることがある。

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和2年度 和歌山看護学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・和歌山看護学部長

八島 妙子

1. 授業評価の結果について

- 1～3 年の前期・後期の 6 回分の学部全体評価は、「学びやすさ」については 3.98～4.39 で全学部の平均を上回っていました。「満足度」については、4.16～4.41 と平均は高かったのですが、全学部の平均以下であったのが、1～3 年の後期の評価でした。3 年後期は初めての領域別実習で、臨地実習と学内実習、リモート実習の組み合わせが必要になるなど、教員も不慣れなところがありました。学生個々の経験が異なりましたが、「学びやすさ」は平均 3.98、「満足度」平均 4.41 で、授業評価が看護実践力に直結しているとは限りませんが、学生との双方向型の支援ができていたと感じました。
- 回収率の低い授業科目もあり、回収率を上げることにより学生全体の意見を聞くように検討する必要があると感じました。
- 「意欲的な取り組み」の学部全体評価は 4.58～4.66 と高く、積極的に学修に取り組む学生が多いことがわかりました。zoom による双方向リモート授業と一部対面型で授業・演習を早期から進め、教員は学びを保証するための工夫をしたことが学びやすさや満足度につながったと思われました。特に演習では少人数制や zoom による個別対応で行ったために学びが深まったのではないかと思います。
- いくつかの科目はオムニバスの形態をとっていますが、今年度は講義とゼミを組み合わせた科目でゼミの進め方で不公平感を感じた学生がいました。しかし、学びは深かったという自由記述が多くあったので、ゼミの進め方について教員間での共通理解に加え、ゼミの性質を学生に伝えておく必要があると感じました。

2. 授業において工夫した点について

- 対面による授業ができなくなりましたが、zoom による双方向授業ができるように準備したことで、時間割を変更することなく授業を開始しました。zoom による授業では、疲れないために小休憩をとる、孤独感を感じないようにまたアクティブラーニングを意識してブレイクアウトセッションを活用する、メリハリをつけた顔出しの指示など、教員個々が工夫していました。授業に対する学生からの反応に対してフィードバック行い、授業内容や進め方の修正をするなど学生の理解度に応じた授業展開を工夫していました。
- 複数教員のかかわる 1 年次のグループワーク等参加型授業を 2 科目が共同して演習を行い、相互の授業に効果が得られました。これには 2 科目担当者の共通理解を行う努力を要しました。

- 演習では対面型の場合には少人数で行うようにし、技術動画をもとに自宅での演習、オンラインでの技術の個別指導、確認テストを行いました。
- 実習では、急に臨地での実習ができなくなるなどの変化に対応し、それぞれの実習の特徴に応じて、動画の作成、電子カルテの活用、ロールプレイ、実習指導者の参加などさまざまな工夫をしていました。

3. 今後の授業への生かし方について

- これまでの学ぶための環境に加え、学生が自宅で学べるツールが整っていますが、さらに充実し必要に応じて学生の学びを支援していきたいと思えます。

4. その他

- 授業評価結果を頂いた時にはすでに次の授業が終了しているので、評価を反映できずその次の年に持ち越すことになります。学生の自由記述部分だけでもタイムリーに教員に返せるように検討します。
- zoom による授業で学生の顔出しができないと反応が見えず講義がしにくいという外部講師の意見もありました。100 名の学生を一斉に見ながら講義するという対面式のような状況が作ればいいのですが、時々顔を出すという指示や一部の学生が交替に顔を出すなどの工夫を伝えていく必要があると思いました。

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科

○全科目数 108科目 ○調査対象者数 8,145人（延人数）
○総回答数 6,420件（回答率 78.8%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈質問項目番号の（ ）は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

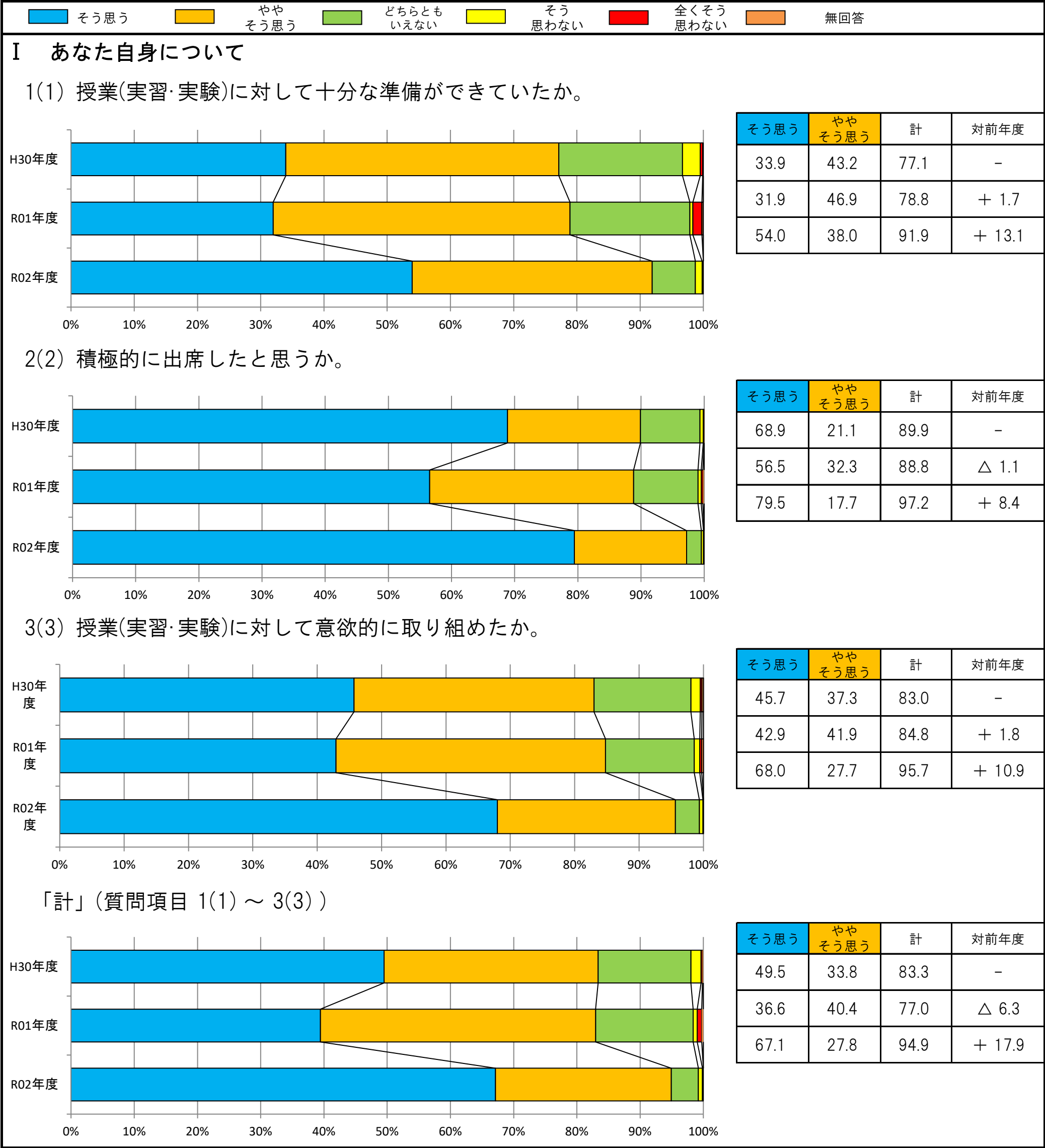
質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(31.9) 54.0	(46.9) 38.0	(18.9) 6.8	(0.5) 1.1	(1.4) 0.2	(0.2) 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(56.5) 79.5	(32.3) 17.7	(10.2) 2.4	(0.5) 0.3	(0.3) 0.1	(0.2) 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(42.9) 68.0	(41.9) 27.7	(13.8) 3.7	(0.8) 0.5	(0.3) 0.1	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(43.8) 67.1	(40.4) 27.8	(14.3) 4.3	(0.6) 0.6	(0.7) 0.1	(0.2) 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(30.0) 47.6	(46.9) 43.0	(19.1) 7.9	(3.0) 1.5	(0.7) 0.1	(0.3) 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(38.7) 62.4	(43.4) 32.5	(15.2) 4.3	(1.9) 0.7	(0.5) 0.1	(0.3) 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(37.8) 59.4	(42.2) 33.0	(16.9) 6.4	(2.2) 1.0	(0.6) 0.2	(0.3) 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(41.1) 65.2	(40.6) 29.4	(15.3) 4.4	(2.1) 0.8	(0.5) 0.2	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(36.9) 58.7	(43.3) 34.5	(16.6) 5.7	(2.3) 1.0	(0.6) 0.1	(0.3) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(24.8) 38.1	(35.6) 31.4	(31.6) 24.3	(4.7) 3.6	(3.0) 2.6	(0.3) 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(38.3) 67.3	(40.5) 25.3	(17.1) 6.1	(2.7) 1.1	(1.1) 0.2	(0.4) 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(41.4) 63.6	(37.4) 26.8	(15.6) 7.4	(2.8) 2.0	(0.9) 0.2	(1.9) 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(38.1) 56.1	(38.1) 30.0	(19.2) 10.5	(3.0) 2.7	(1.2) 0.7	(0.4) 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(42.2) 65.2	(37.5) 25.3	(17.1) 6.9	(3.7) 2.0	(1.1) 0.6	(0.1) 0.0	(102) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(45.9) 73.4	(37.5) 21.0	(13.9) 4.6	(1.8) 0.7	(0.6) 0.2	(0.3) 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(37.8) 53.4	(38.4) 32.1	(18.3) 11.0	(3.8) 2.7	(1.3) 0.8	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(38.4) 59.6	(37.9) 27.4	(19.0) 10.1	(3.2) 2.1	(1.3) 0.7	(0.5) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 51.2	(-) 28.7	(-) 14.0	(-) 4.4	(-) 1.7	(-) 0.0	(-) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(36.5) 55.1	(40.5) 35.6	(16.5) 7.4	(3.0) 1.5	(1.0) 0.4	(2.5) 0.0	(100) 100
計	(35.1) 53.2	(38.4) 32.1	(19.7) 10.7	(2.6) 3.0	(1.3) 1.0	(2.9) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(38.5) 59.6	(40.0) 30.5	(17.4) 7.7	(2.2) 1.7	(1.0) 0.5	(1.0) 0.0	(100.0) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

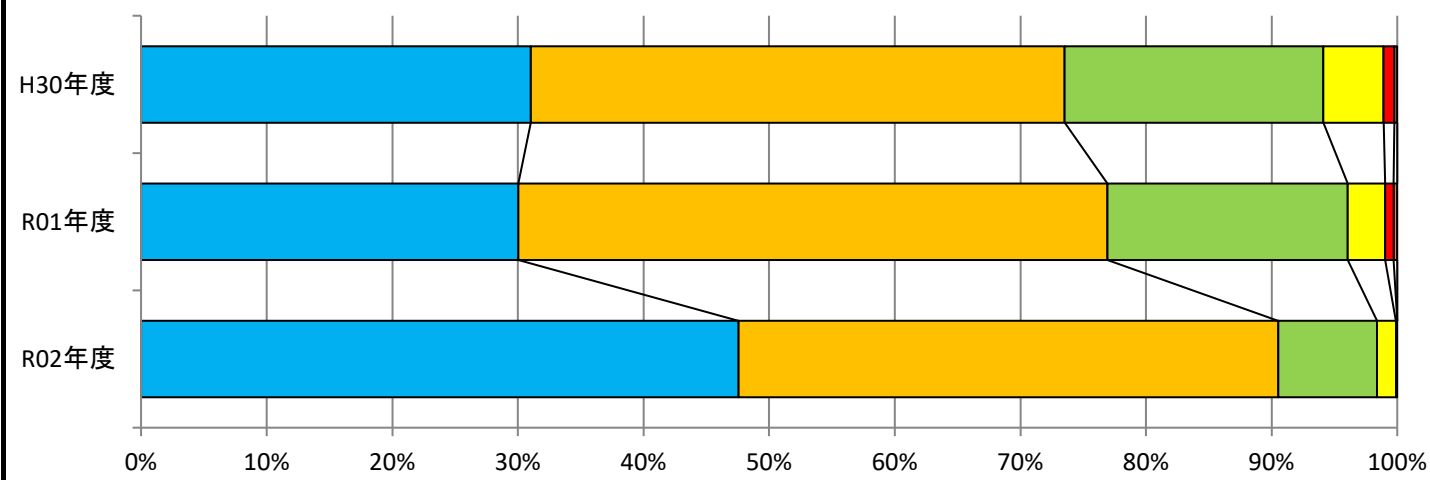
	28年度	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	340科目	51科目	85科目	108科目
調査対象者数	23,623人	3,511人	6,323人	8,145人
総回答数（回答率）	20,274枚（85.8%）	3,256枚（92.7%）	5,807枚（91.8%）	6,420件（78.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



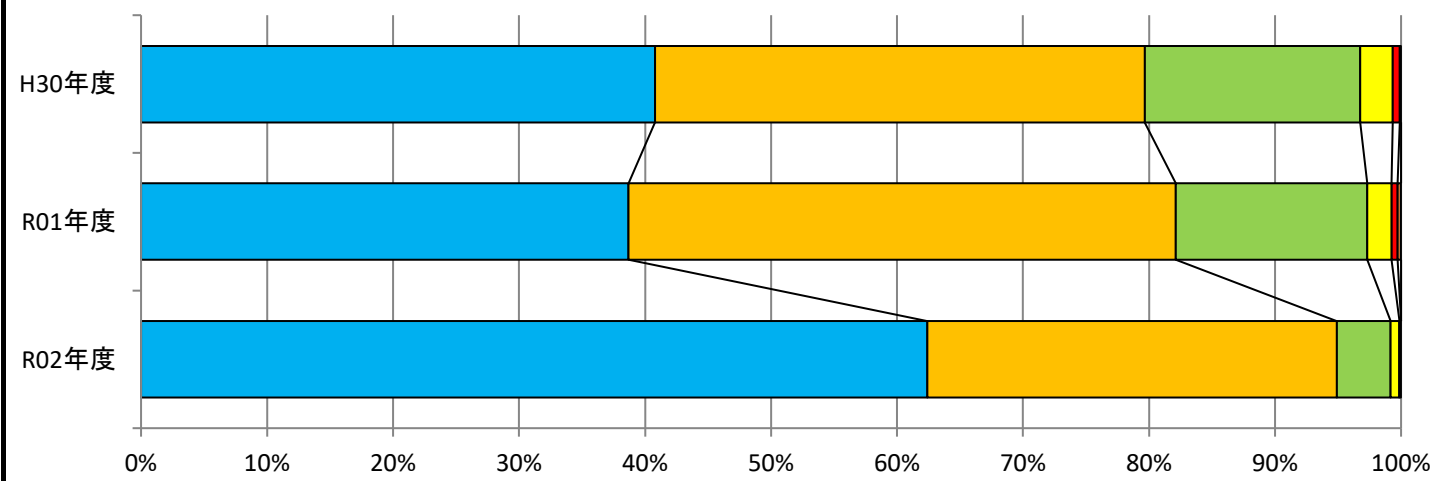
Ⅱ 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



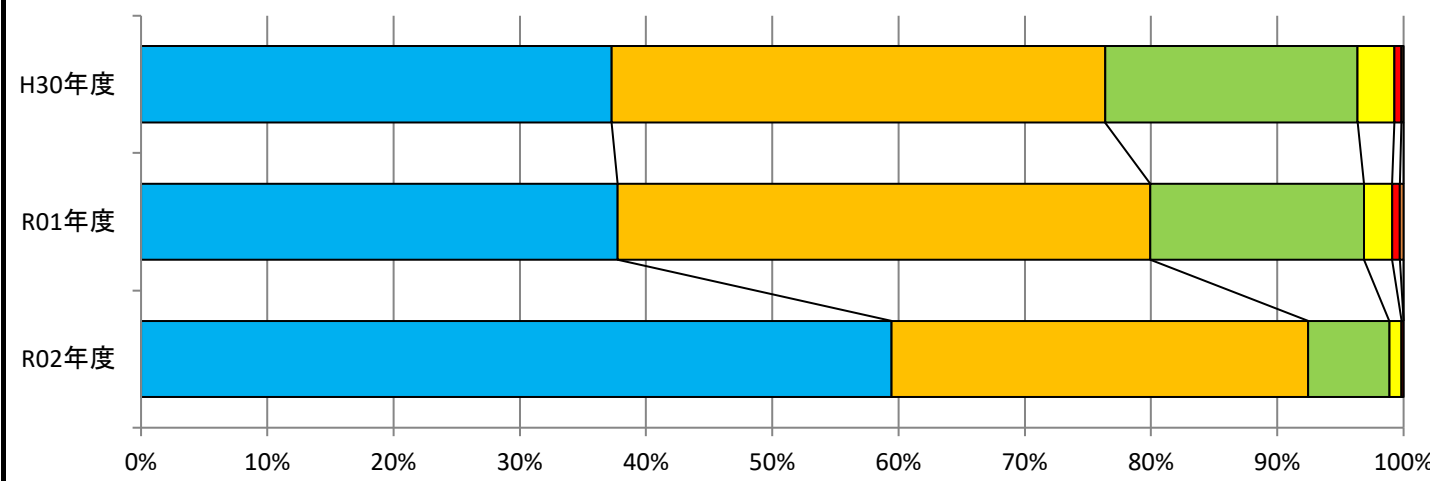
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.0	42.5	73.5	-
30.0	46.9	76.9	+ 3.4
47.6	43.0	90.5	+ 13.6

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



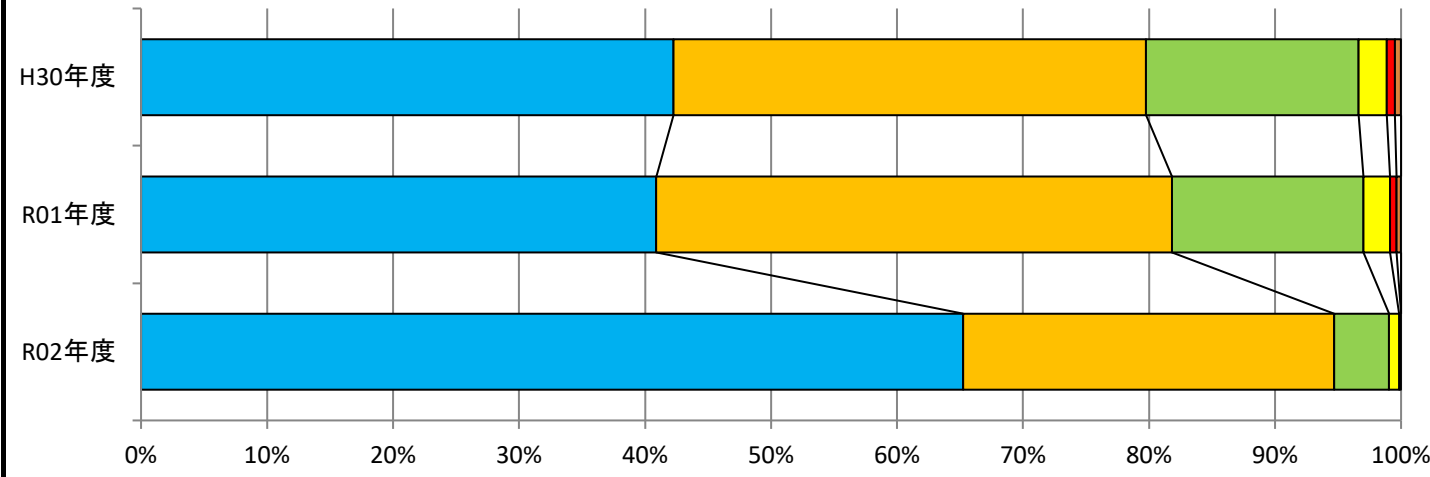
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.8	38.8	79.6	-
38.7	43.4	82.1	+ 2.5
62.4	32.5	94.9	+ 12.8

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



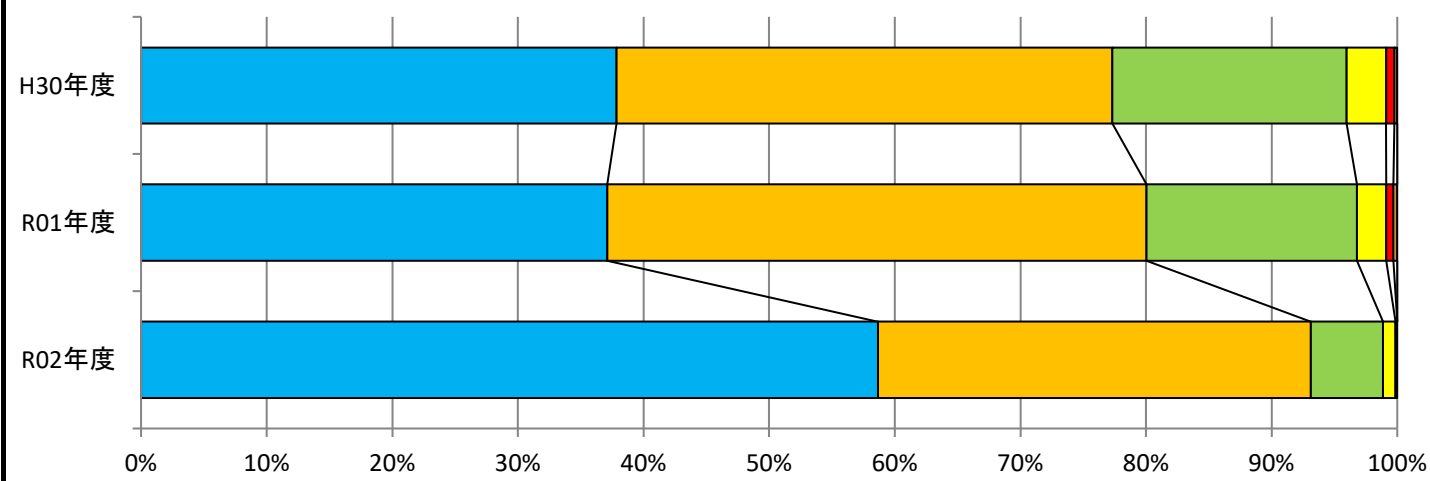
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.3	39.1	76.4	-
37.8	42.2	80.0	+ 3.6
59.4	33.0	92.4	+ 12.5

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.3	37.5	79.8	-
41.1	41.1	82.2	+ 2.4
65.2	29.4	94.7	+ 12.5

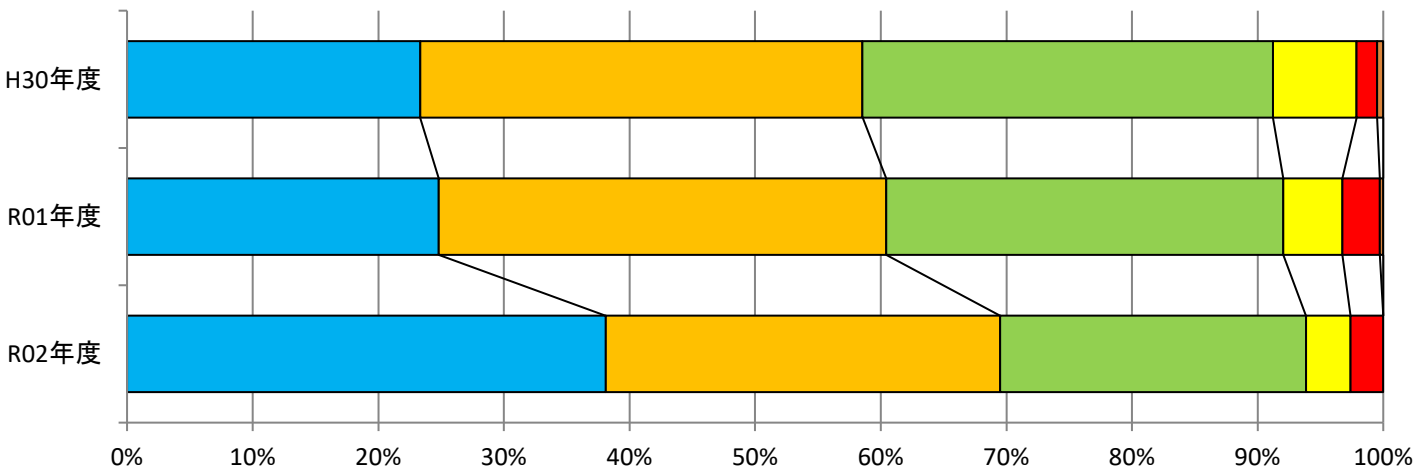
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.8	39.5	77.3	-
36.9	42.7	79.6	+ 2.3
58.7	34.5	93.1	+ 13.5

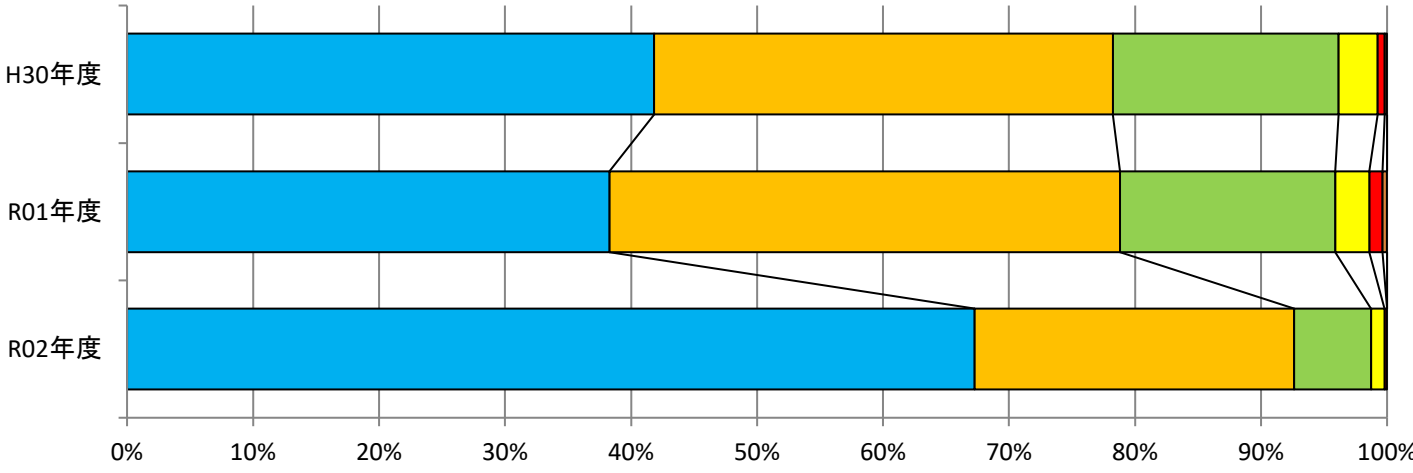
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



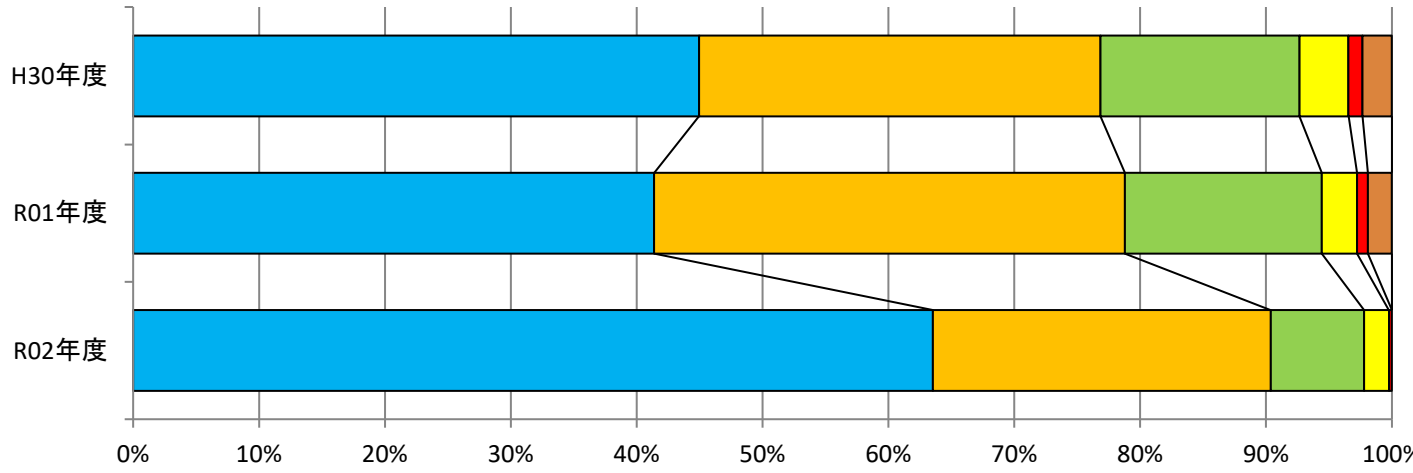
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
23.3	35.2	58.6	-
24.8	35.6	60.4	+ 1.9
38.1	31.4	69.5	+ 9.1

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



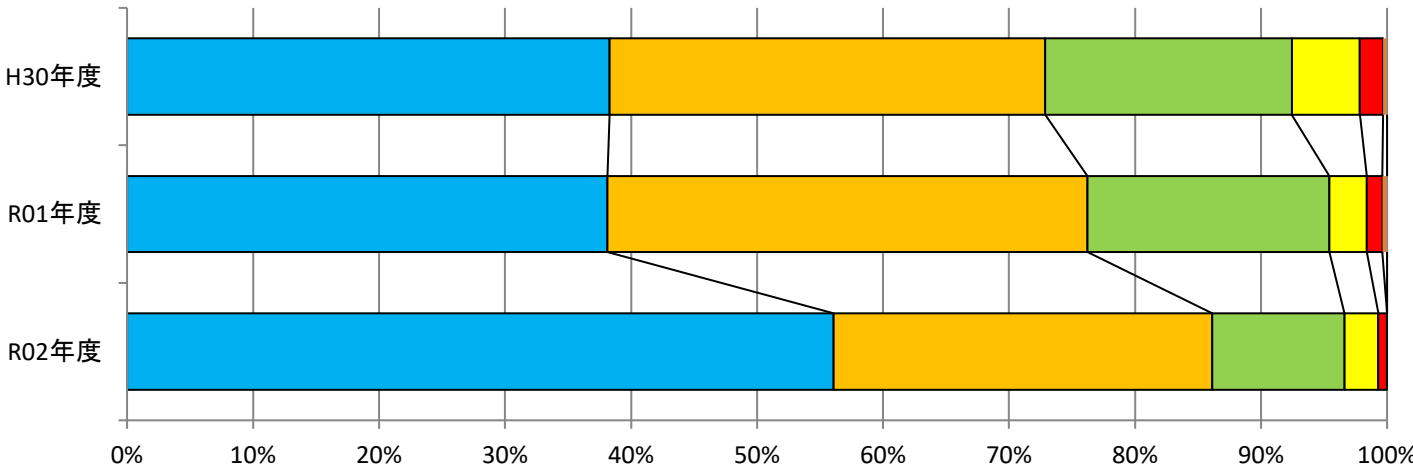
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.8	36.4	78.2	-
38.3	40.5	78.8	+ 0.6
67.3	25.3	92.6	+ 13.8

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



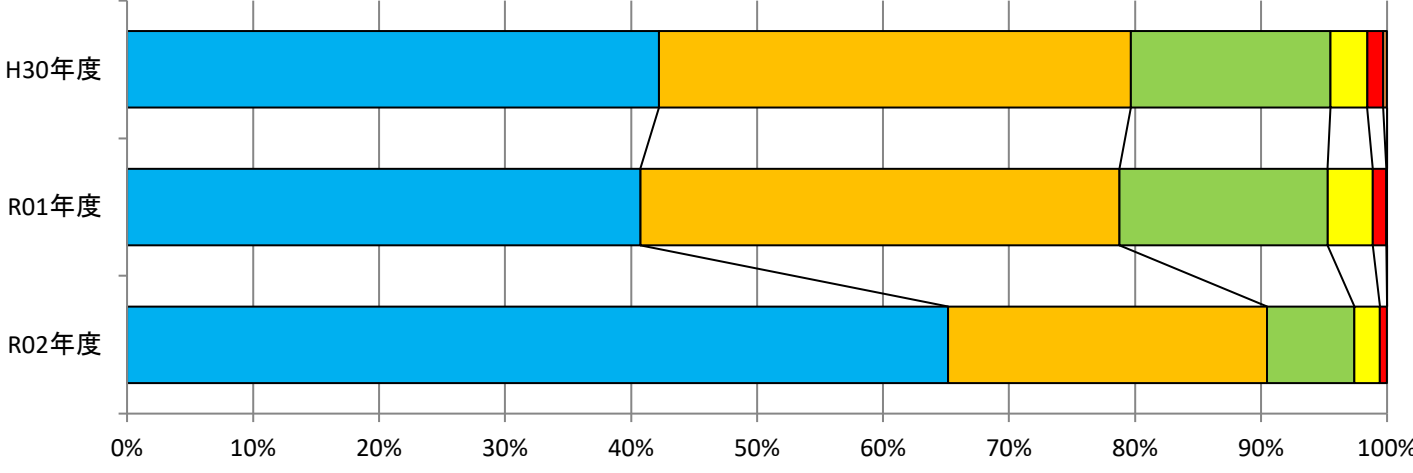
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.0	31.9	76.9	-
41.4	37.4	78.8	+ 1.9
63.6	26.8	90.4	+ 11.6

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



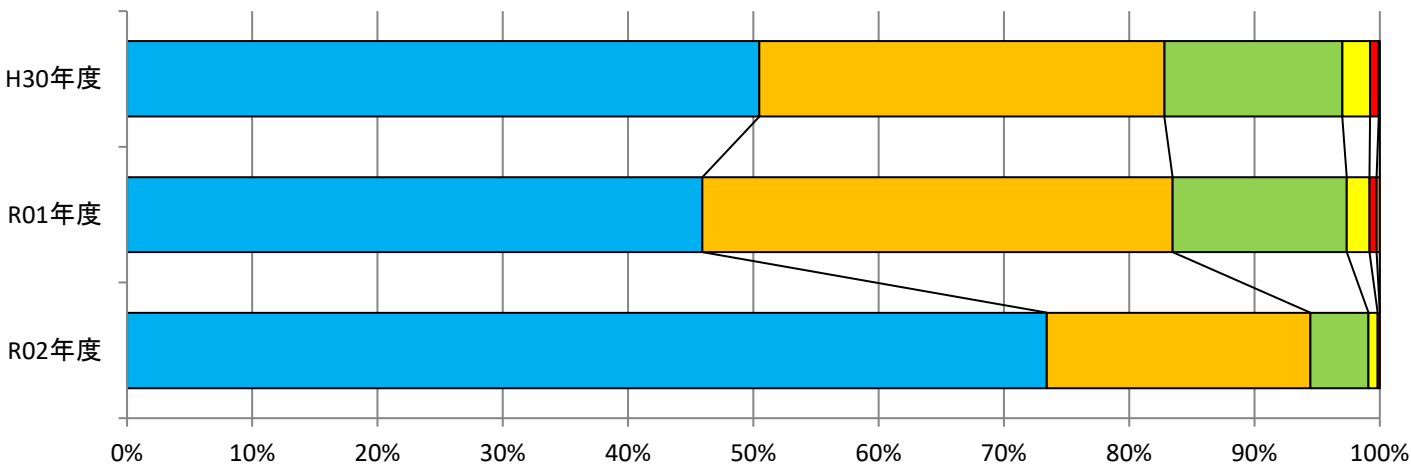
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.3	34.6	72.9	-
38.1	38.1	76.2	+ 3.3
56.1	30.0	86.1	+ 9.9

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



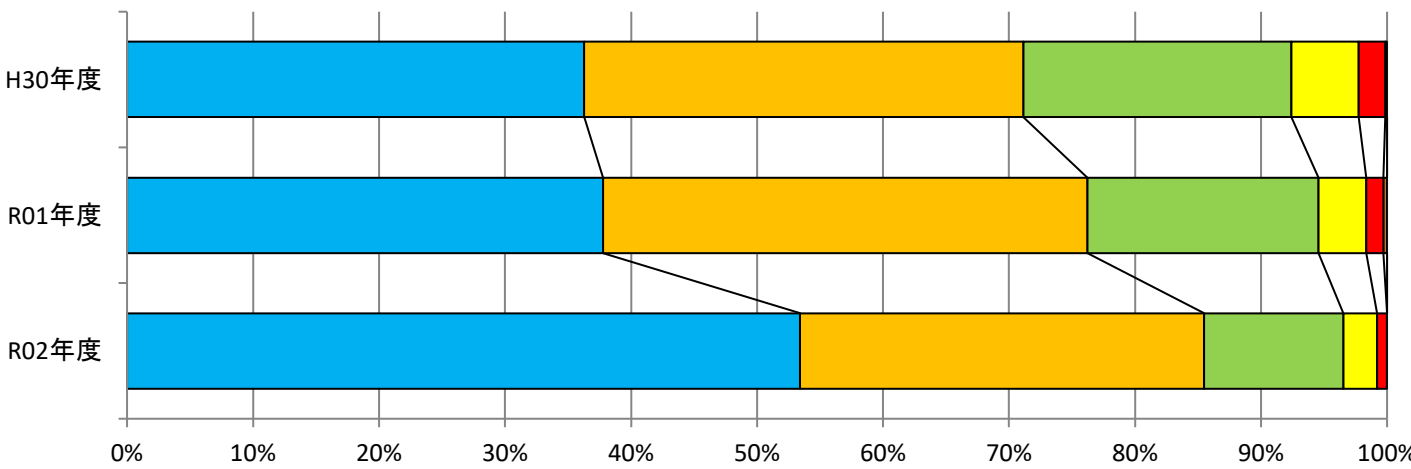
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.2	37.5	79.7	-
42.2	39.4	81.6	+ 1.9
65.2	25.3	90.5	+ 8.9

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



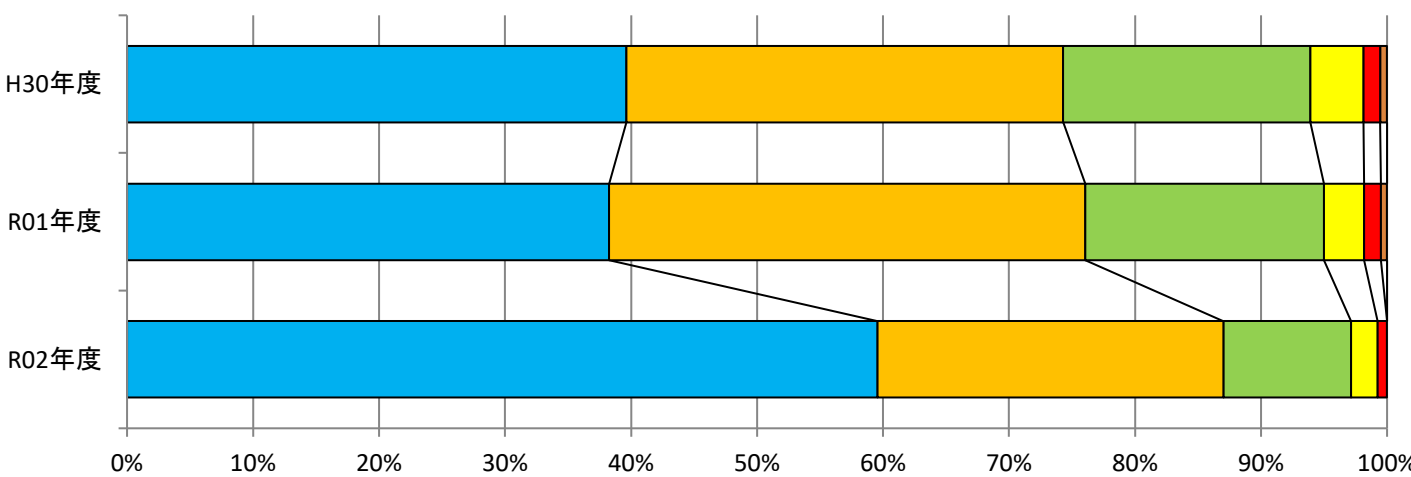
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.5	32.3	82.8	-
45.9	37.5	83.4	+ 0.6
73.4	21.0	94.5	+ 11.0

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.3	34.9	71.2	-
37.8	38.4	76.2	+ 5.0
53.4	32.1	85.5	+ 9.3

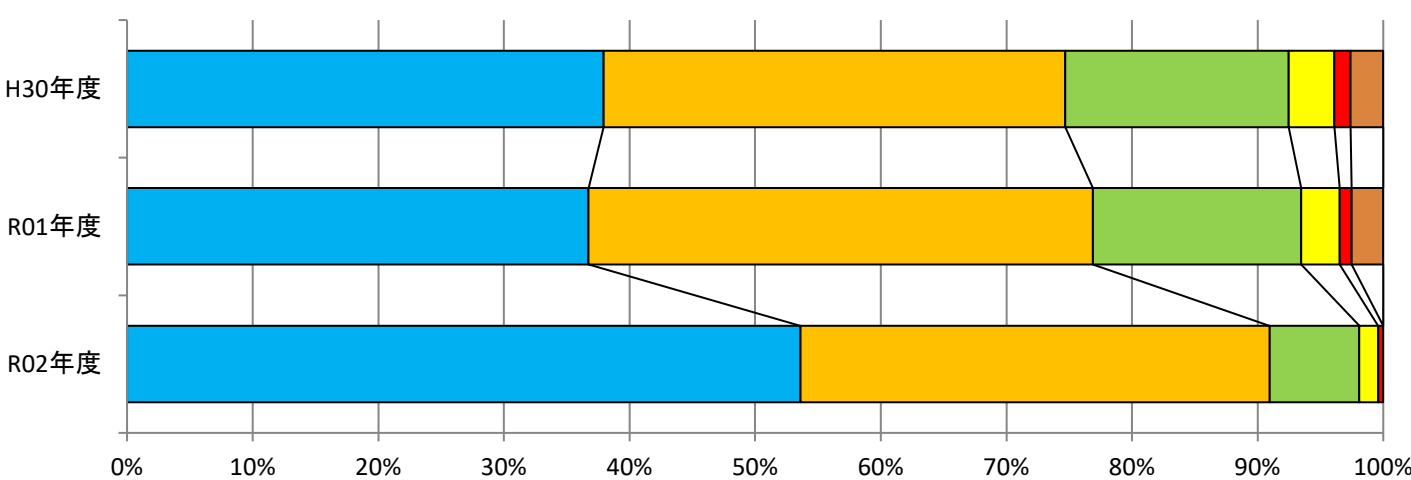
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.6	34.7	74.3	-
38.4	37.9	76.2	+ 1.9
59.6	27.4	87.0	+ 10.8

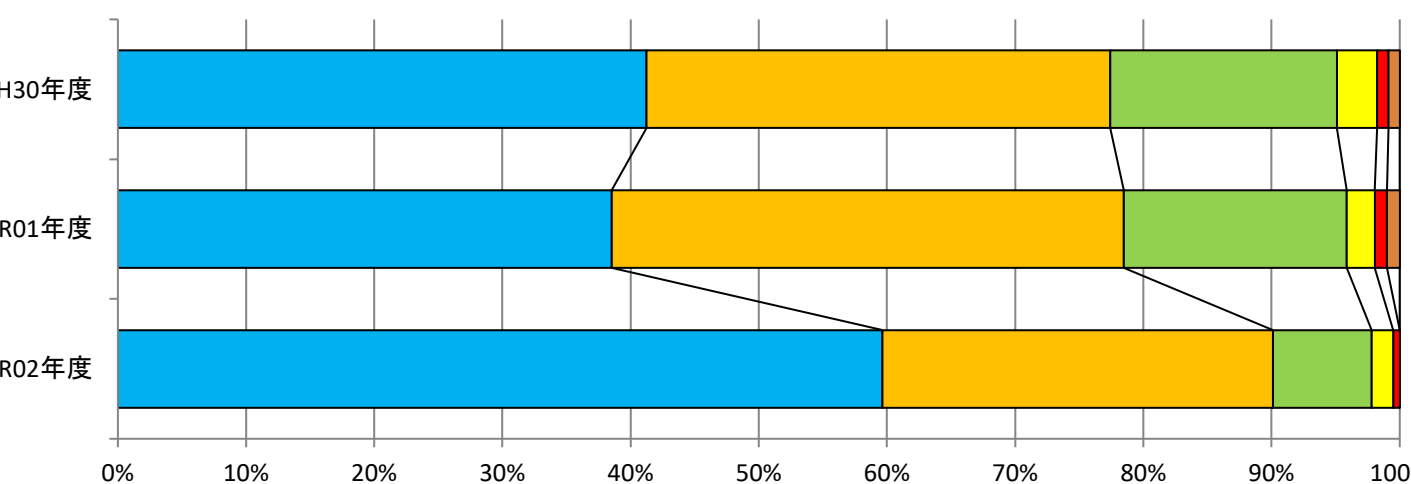
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.0	36.7	74.7	-
36.5	39.9	76.4	+ 1.8
55.1	38.4	93.5	+ 17.1

全質問項目の平均

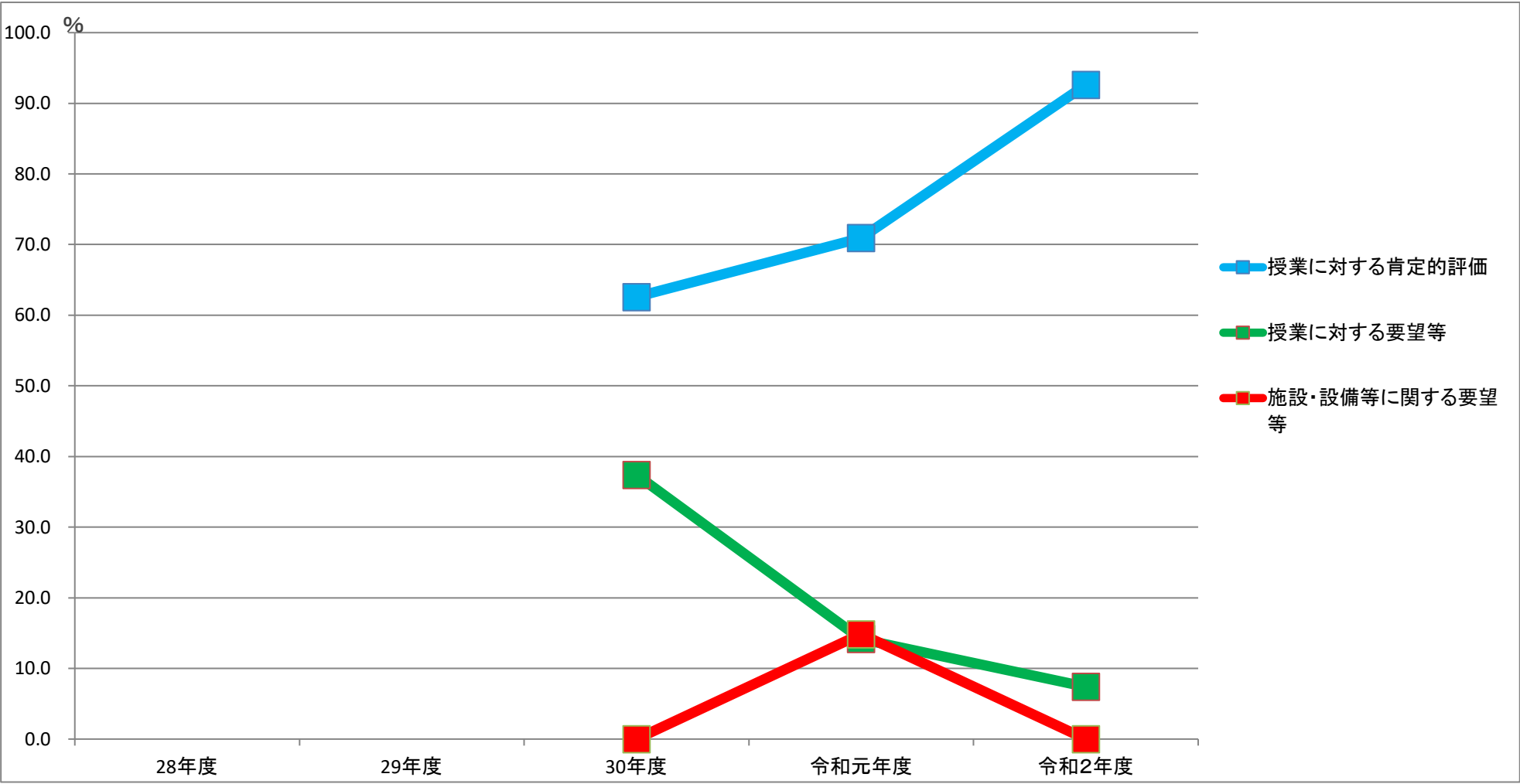


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.2	36.2	77.4	-
38.5	40.0	78.5	+ 1.1
59.6	30.5	90.1	+ 11.6

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(66.8%)	427	(60.2%)	307	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(92.6%)	525
授業に対する要望等	(32.1%)	205	(38.0%)	194	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(7.4%)	42
施設・設備等に関する要望等	(1.1%)	7	(1.8%)	9	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.0%)	0
総件数	(100.0%)	639	(100.0%)	510	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	567

※（ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	525	・ 普段、将来について深く考える機会がないので、自分を見つめ直す良い機会になりました。 ・ 医療現場で働くうえで、資料作成など大切だと思うので、この講義で習ったことを生かしていきたい ・ 自分以外の学生が書いた文章を読むことで、どのように文章を書いたら、相手を納得させることが出来るのか詳しく理解できました。 ・ 復習の勉強法などを教えてもらえたのは非常に良かったので活用しました。 ・ 事例を用いた説明がリアリティがあり、理解しやすかった。 ・ 看護をするにあたって、コミュニケーション能力が非常に重要なことを改めて知るいい機会になりました。 ・ わかやま学を通して自分の知らない和歌山の魅力や改善すべき点が学べました。 ・ リモート講義用に演習用の物品を送ってくださったので、たくさん練習ができてよかった
授業に対する要望等	42	・ インク使用削減のためスライド背景のカラー部分を少なくしてほしい ・ 他の課題との兼ね合いも考えて提出日の工夫をして欲しかった。 ・ 授業で扱った問題に関しては答えを改めて配布してほしい ・ 大まかなアセスメントの例を先生方で共有しておき、どの先生が担当になっても学生全員が一定ラインまで完成させることができるようにしてほしい ・ レジュメがない回もあったので授業の後に配るのではなく、授業の前に配ってもらえると嬉しい。 ・ レジュメがない回もあったので、できるだけ教科書に沿って授業をしてほしい ・ 保育所実習では当日に受け持つクラスを発表されるので目標を立てるときにどのように立てればいいのか困りました。
施設・設備等に関する要望等	0	
計	567	

令和2年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科

○講義・演習科目数 97科目 ○調査対象者数 7,056人（延人数）
○総回答数 5,816件（回答率 82.4％）

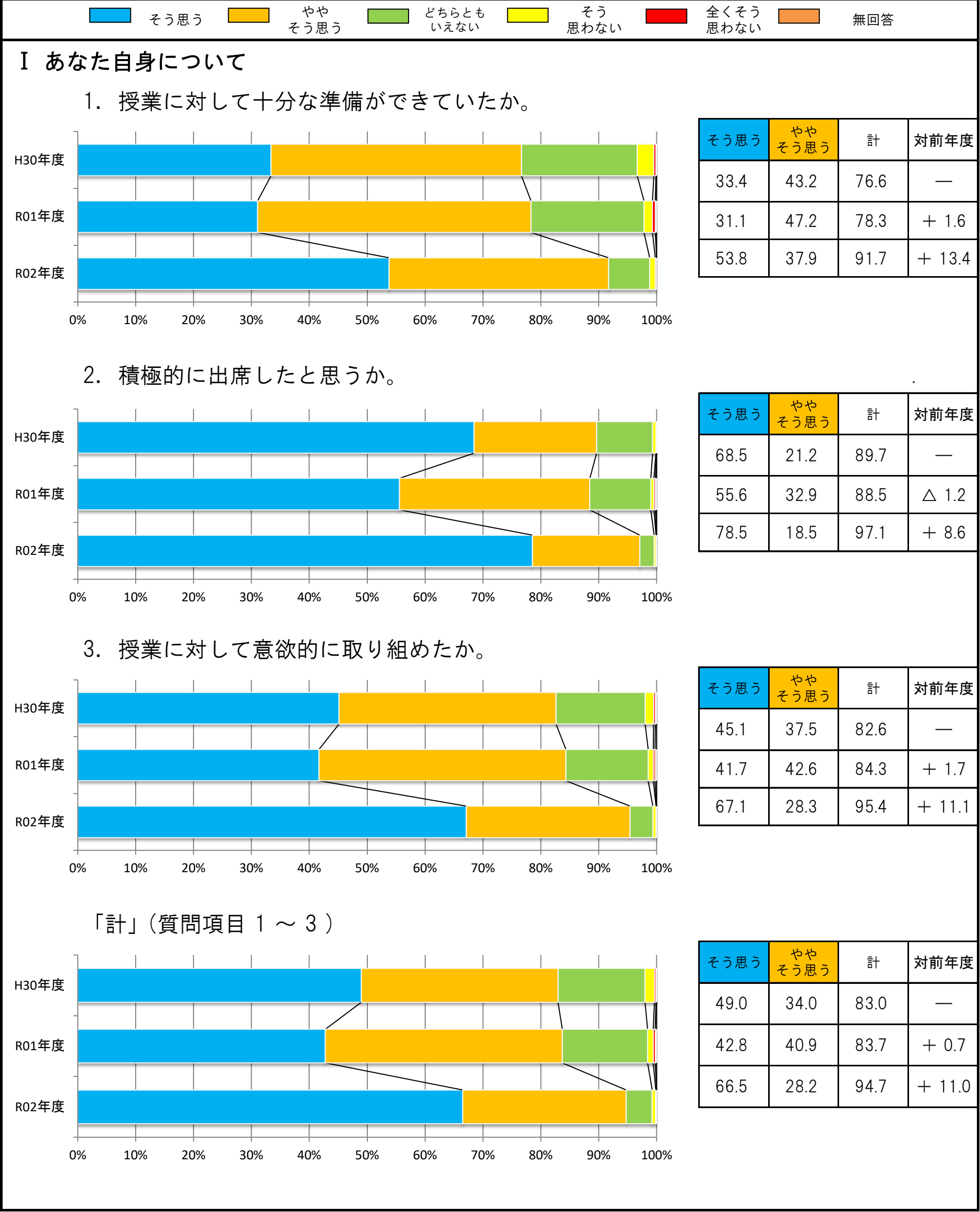
◆ 質問項目別集計結果 〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(31.1) 53.8	(47.2) 37.9	(19.5) 7.1	(1.5) 1.0	(0.5) 0.2	(0.2) 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(55.6) 78.5	(32.9) 18.5	(10.5) 2.5	(0.5) 0.3	(0.3) 0.1	(0.2) 0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(41.7) 67.1	(42.6) 28.3	(14.2) 3.9	(0.9) 0.6	(0.3) 0.1	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(42.8) 66.5	(40.9) 28.2	(14.8) 4.5	(1.0) 0.6	(0.3) 0.1	(0.2) 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(28.8) 46.2	(47.4) 43.6	(19.7) 8.4	(3.1) 1.6	(0.7) 0.1	(0.3) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(37.7) 61.8	(43.9) 32.8	(15.6) 4.5	(2.0) 0.7	(0.5) 0.1	(0.3) 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(36.5) 58.3	(42.8) 33.7	(17.5) 6.8	(2.3) 1.0	(0.6) 0.2	(0.3) 0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(39.8) 64.8	(41.4) 29.8	(15.7) 4.4	(2.2) 0.8	(0.5) 0.2	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(35.7) 57.8	(43.9) 35.0	(17.1) 6.0	(2.4) 1.1	(0.6) 0.2	(0.3) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(24.5) 38.6	(35.8) 31.2	(31.6) 24.5	(4.8) 3.2	(3.0) 2.5	(0.3) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(37.6) 68.3	(40.9) 24.6	(17.3) 6.0	(2.8) 0.9	(1.1) 0.2	(0.4) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(40.7) 63.2	(37.7) 26.9	(15.9) 7.7	(2.9) 2.0	(0.8) 0.3	(2.0) 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(35.1) 48.4	(38.6) 27.9	(18.7) 19.3	(3.4) 3.6	(1.5) 0.8	(2.7) 0.0	(100) 100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(36.8) 61.4	(39.9) 28.0	(17.1) 8.0	(3.6) 2.1	(1.1) 0.4	(1.5) 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(37.2) 54.4	(38.4) 30.9	(19.7) 11.1	(3.1) 2.8	(1.2) 0.8	(0.4) 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(41.4) 66.0	(37.8) 24.7	(16.2) 6.8	(3.0) 1.9	(1.3) 0.5	(0.3) 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(45.1) 73.3	(38.0) 21.0	(14.3) 4.8	(1.8) 0.7	(0.5) 0.2	(0.3) 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(36.7) 52.1	(38.9) 32.7	(18.8) 11.7	(4.0) 2.7	(1.3) 0.8	(0.3) 0.0	(100) 100
計	(37.2) 58.4	(38.5) 27.5	(18.8) 11.1	(3.3) 2.2	(1.3) 0.7	(0.9) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(-) 52.0	(-) 28.6	(-) 13.6	(-) 4.2	(-) 1.7	(-) 0.0	(-) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(35.5) 55.4	(40.9) 35.2	(16.9) 7.5	(3.1) 1.5	(1.0) 0.5	(2.6) 0.0	(100) 100
計	(35.5) 53.7	(40.9) 31.9	(16.9) 10.6	(3.1) 2.8	(1.0) 1.1	(2.6) 0.0	(100.0) 100
全質問項目の平均	(37.8) 59.1	(41.0) 30.7	(16.9) 8.1	(2.4) 1.7	(0.8) 0.5	(1.0) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	50科目	82科目	97科目
調査対象者数	3,409人	5,969人	7,056人
総回答数（回答率）	3,154枚（92.5%）	5,549枚（93.0%）	5,816件（82.4%）

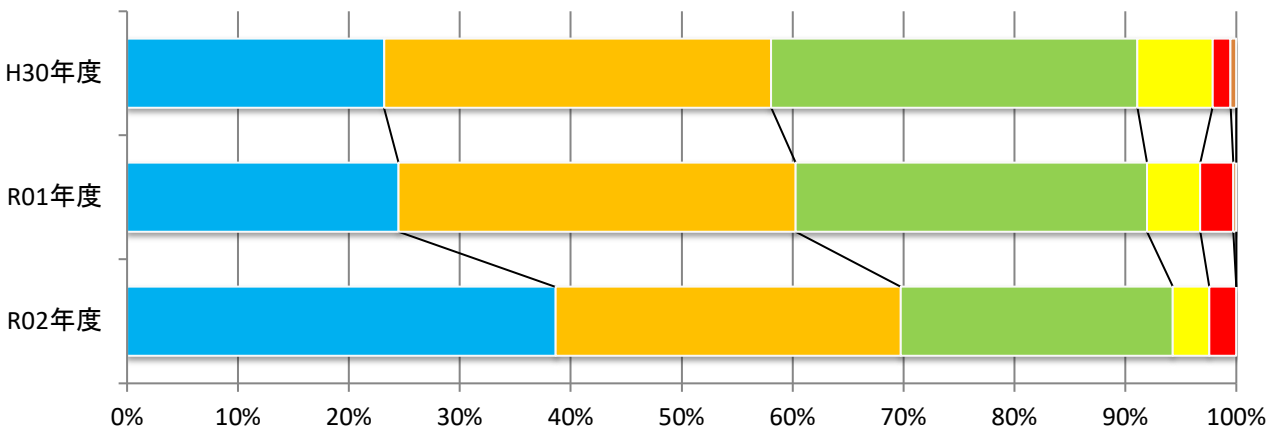
◆ 年度別・質問項目別 集計結果



「計」（質問項目 1 ～ 3）

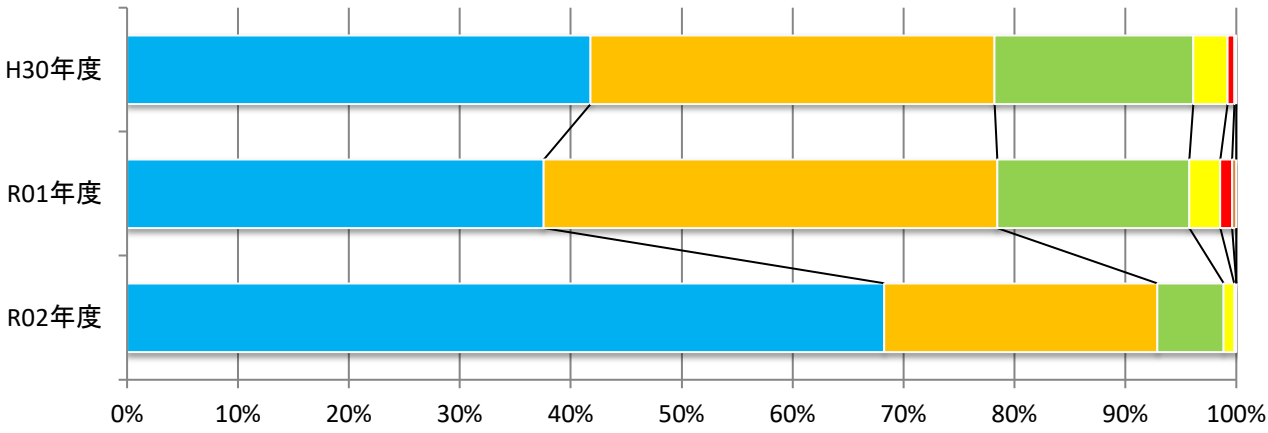
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



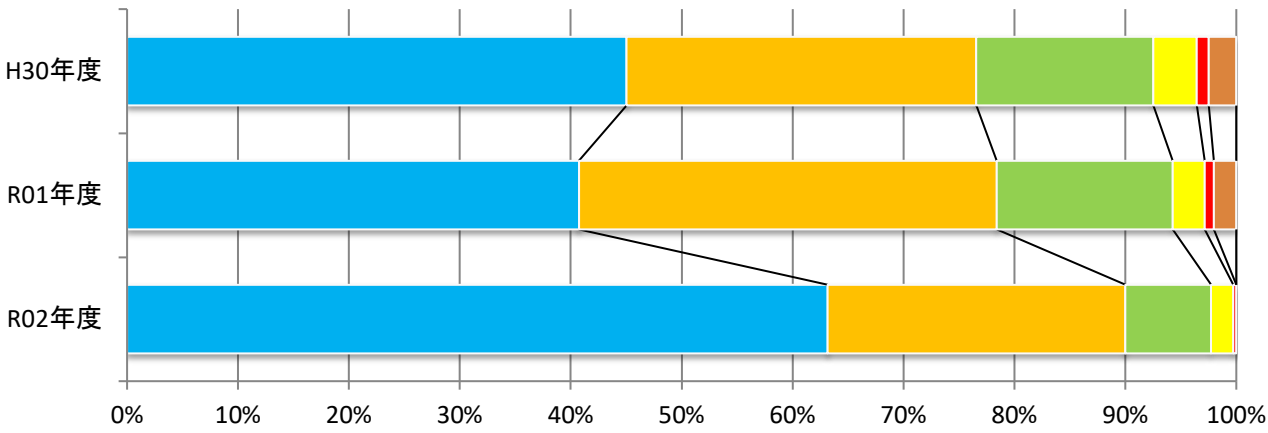
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
23.2	34.9	58.1	—
24.5	35.8	60.3	+ 2.2
38.6	31.2	69.8	+ 9.5

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



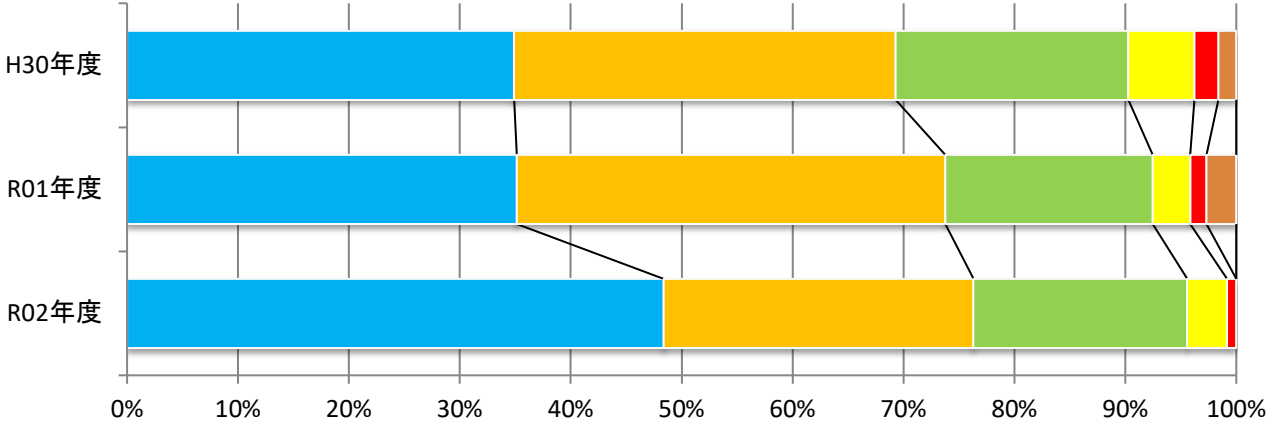
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.8	36.4	78.2	—
37.6	40.9	78.5	+ 0.3
68.3	24.6	92.9	+ 14.4

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



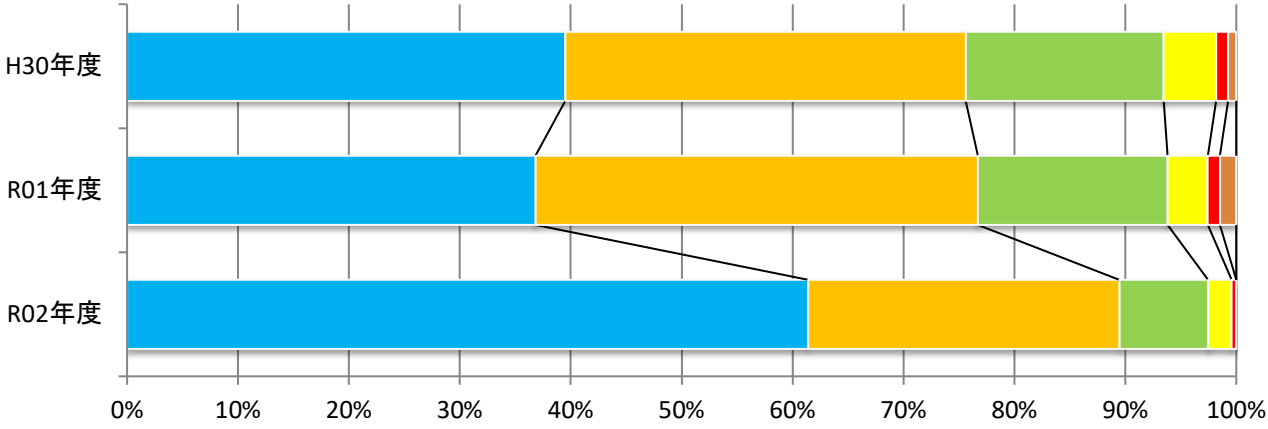
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.0	31.5	76.6	—
40.7	37.7	78.4	+ 1.9
63.2	26.9	90.0	+ 11.6

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



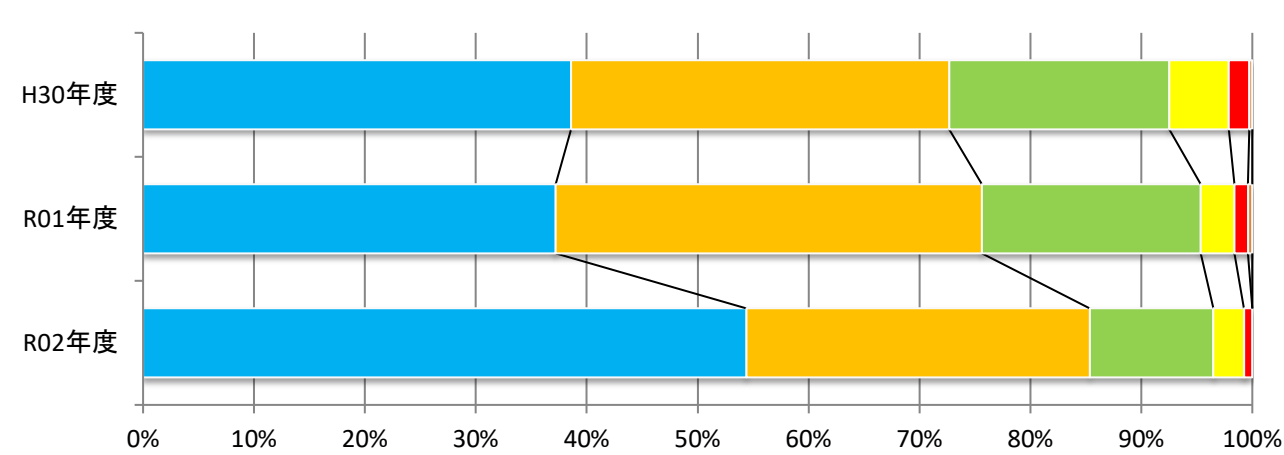
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.9	34.4	69.3	—
35.1	38.6	73.8	+ 4.5
48.4	27.9	76.3	+ 2.5

11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



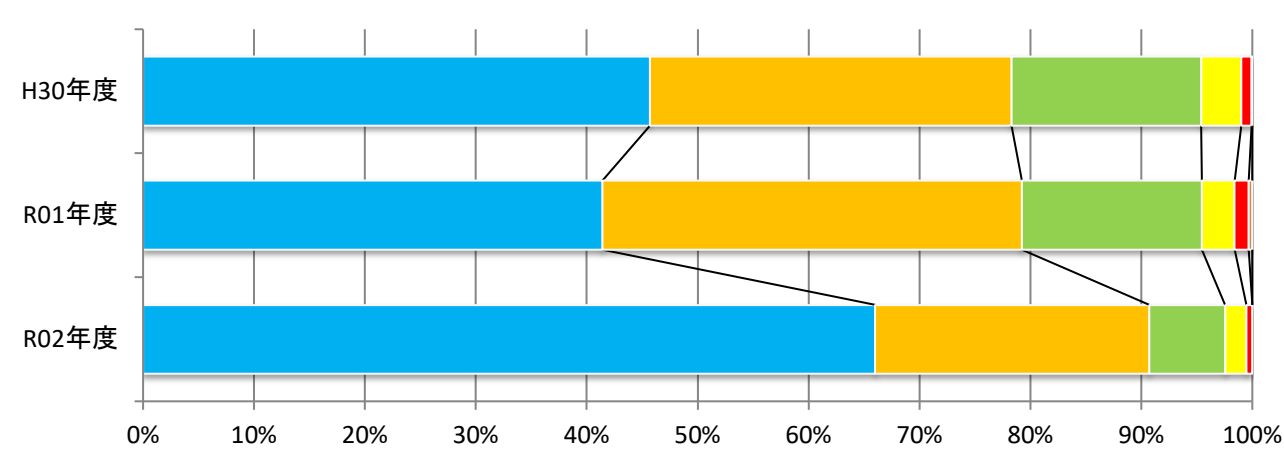
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.5	36.1	75.6	—
36.8	39.9	76.7	+ 1.1
61.4	28.0	89.5	+ 12.7

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



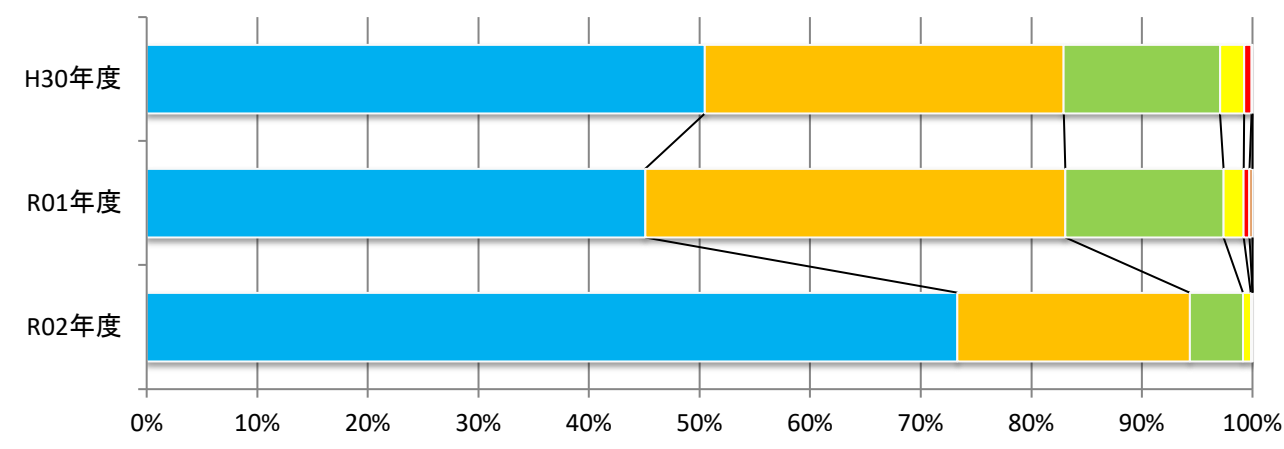
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.6	34.1	72.7	—
37.2	38.4	75.6	+ 2.9
54.4	30.9	85.4	+ 9.7

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



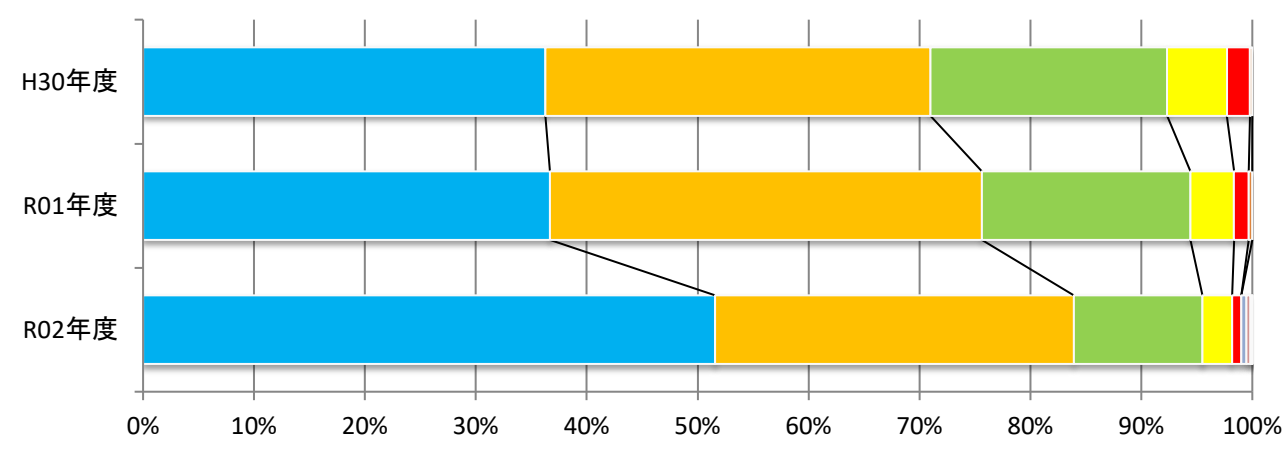
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.7	32.6	78.3	—
41.4	37.8	79.2	+ 0.9
66.0	24.7	90.7	+ 11.5

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



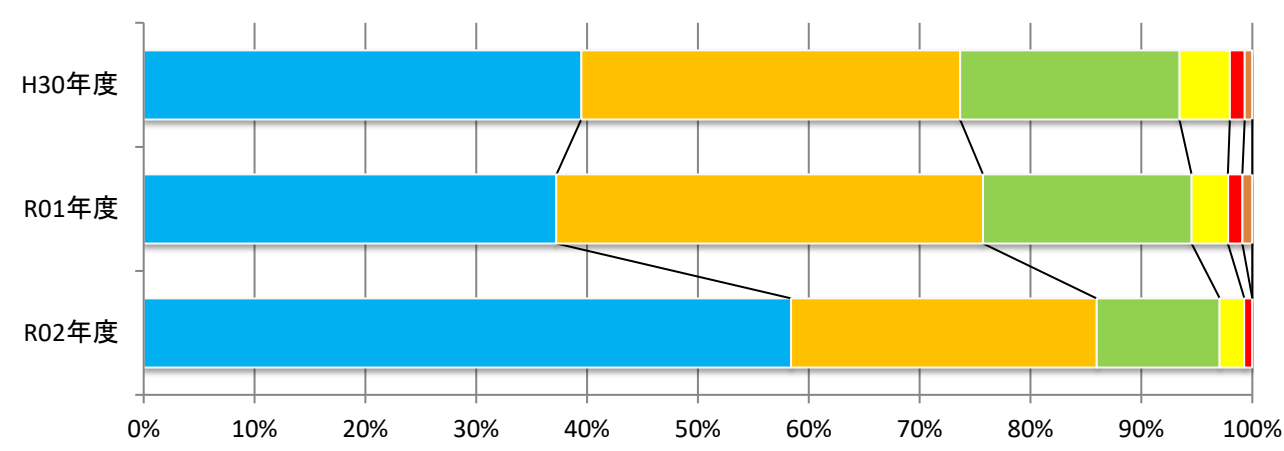
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.5	32.4	82.9	—
45.1	38.0	83.1	+ 0.1
73.3	21.0	94.3	+ 11.2

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.3	34.7	71.0	—
36.7	38.9	75.7	+ 4.7
52.1	32.7	84.7	+ 9.1

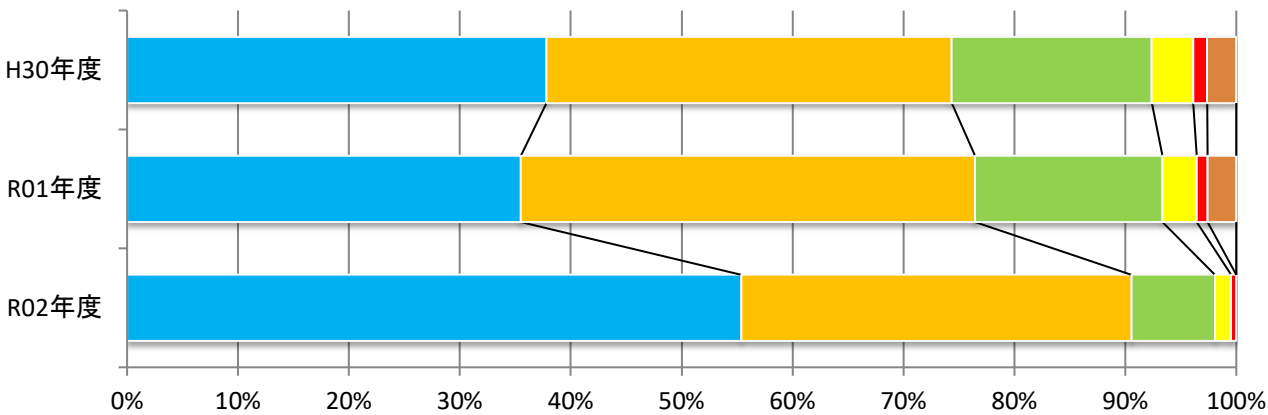
「計」（質問項目 8 ～ 15）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.5	34.1	73.6	—
37.2	38.5	75.7	+ 2.1
58.4	27.5	85.9	+ 10.3

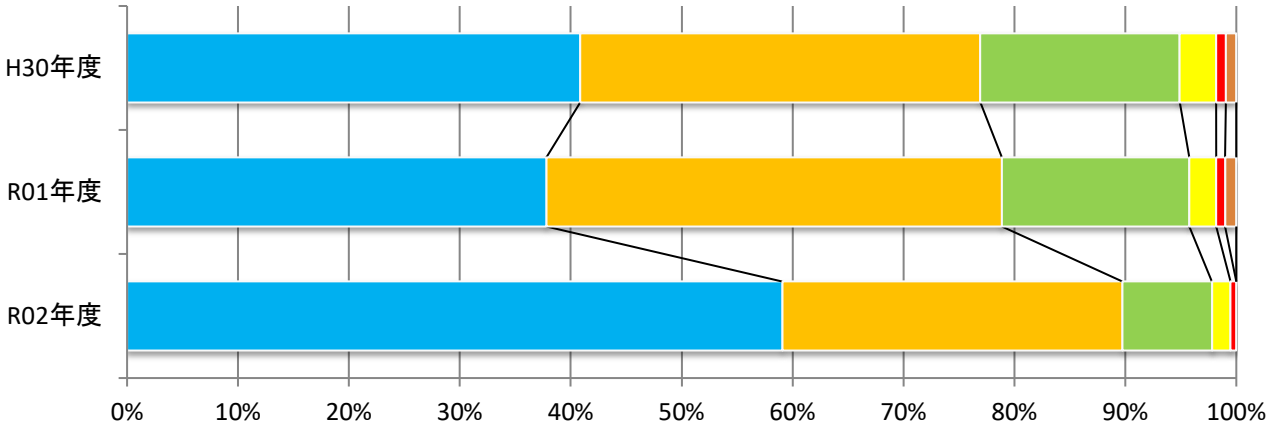
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



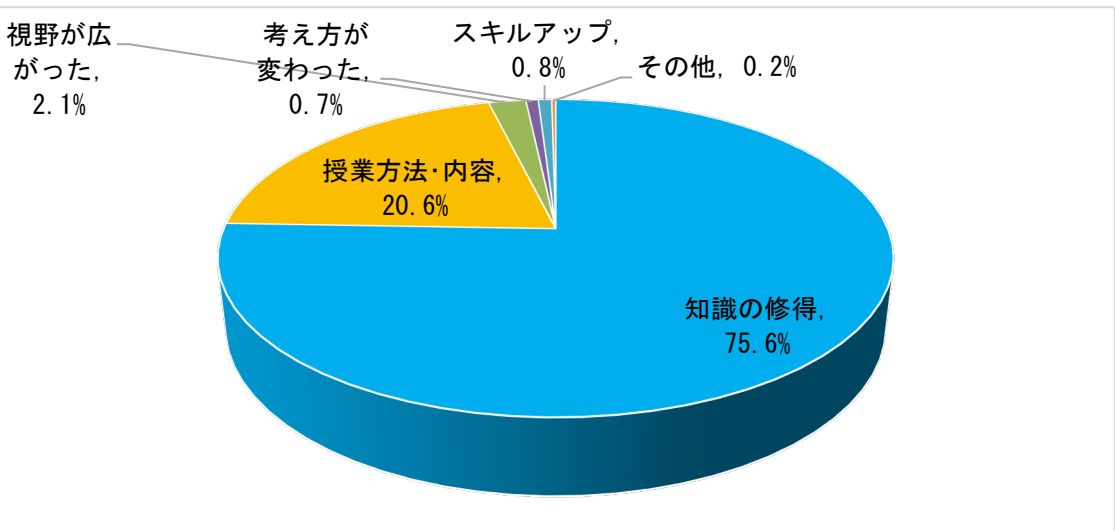
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.8	36.6	74.4	—
35.5	40.9	76.4	+ 2.1
55.4	35.2	90.5	+ 14.1

全質問項目の平均



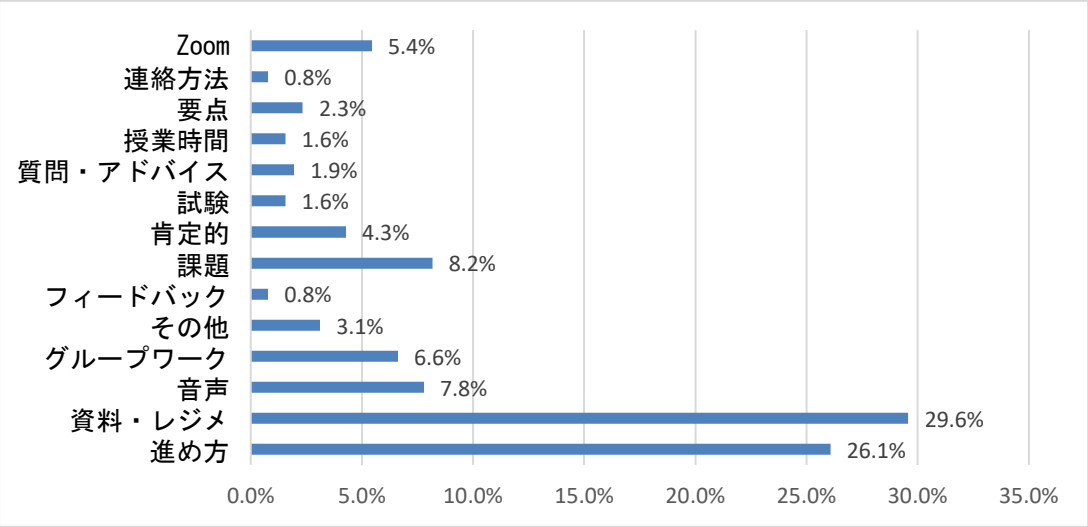
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.8	36.1	76.9	—
37.8	41.0	78.8	+ 1.9
59.1	30.7	89.7	+ 10.9

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 1,694】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	わかやま学	84	わかやまについて今まで知らなかった様々な知識を学べた点が良かったです。また、グループワークで意見を交換することで、コミュニケーション能力を高めることや、スタディ・スキルで学習したブ레인・ストーミングや情報収集の技術を活用することができた点が良かったです。 私は将来、和歌山県で看護師として働き、地域の方々の役に立ちたい、貢献したいと考えているため、今の和歌山県の現状を知り、これからどのような改善をするべきなのかを考え、学ぶことができました。
	体の仕組みと働きⅠ	66	動画を用いての講義は非常に分かりやすく、勉強になりました。また、学習範囲が広いため特に大事なポイントというのがあまり分からなかったのですが、この授業を受けて大事なポイントをつかめることが出来たので良かったです。 体の中で起こっていることが学ぶたびに繋がっていくのが楽しく感じだし、呼吸などの分野では他の科目と関連することがあるのでとてもよかった。
	基礎看護援助論Ⅰ	64	ZOOM上でしたが、先生方の分かりやすい資料で基礎となる看護技術を学ぶことができた。患者さんに援助を行う理由、そして何を目的としてそれを行うかなど看護実践において実際に想像しながら考えることができて良かった。 看護における初めの知識を丁寧に教えていただけたので良かったです。またリモートにもかかわらず、工夫してエプロンの着方や手袋の外し方なども実践することができたので良かったです。
	医学・医療概論	60	看護の歴史について学べたり、これまでの感染症や偉人について学ぶことができてよかった。またこれからの医療の課題についても知ることができて、自分自身でも考えることがあったのでこれからの社会で看護していく身として重要な学びだったと思う。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 257】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学概論	9	発表時のグループとは別のグループ活動をもう少し取り入れた方が色々な人の意見も聞けていいと思いました。
			話が飛びすぎて何の話をしているかわからなかったことがあったため、そこを改善するともっと理解できる講義になると思う。
	体の仕組みと働きⅠ	9	シラバスに書いている通りに講義の内容が進んでいませんでした。呼吸器系、循環器系の講義が混ざっていたために、どの範囲で予習をしていいのかが分からずらかったです。シラバス通りに講義を行うか、シラバス通りに講義を行えない場合は、何らかの方法で、報告するように改善するべきだと思います。
			レジュメの背景が青だと画面上では目が疲れにづらくて良いのですが印刷すると見えづらいのでなんとかしてほしいです。
	母性看護援助論Ⅱ	7	課題の量がどの授業よりも圧倒的に多く、学生への負担が大きかったのではないかと思います。また、書き方や進め方の説明が不足しているのではないかと思います。
			授業だけでは間に合ないグループワークが多すぎた。ZOOMでのグループワークは進めにくく、授業外で集まることも他の授業のグループワークや課題と重なり、時間がなかった。もう少し全体の履修科目との兼ね合いも考えてほしい。
	地域看護学概論	6	授業時間の関係上、省略されてしまったり、急ぎ気味になってしまったところの理解があまり深まらなかった。
			説明する際の話すスピードが早くて追いつけないときが少しありました。レジュメの背景に色がついていると、印刷する時にカラーをたくさん使ってしまうので、背景は白にしていただけると嬉しいです。

令和2年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科

○実習・実験科目数 11科目

○調査対象者数 1,089人(延人数)

○総回答数 604件(回答率 55.5%)

◆ 質問項目別集計結果

〈上段()は令和元年度アンケート結果〉

質 問 項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(50.8) 55.6	(41.1) 38.2	(7.3) 4.3	(0.4) 1.8	(0.4) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(76.7) 88.2	(19.8) 10.1	(3.1) 1.0	0.0 0.5	(0.4) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(69.4) 76.0	(25.2) 22.0	(5.0) 1.5	0.0 0.5	(0.4) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(65.6) 73.3	(28.7) 23.5	(5.2) 2.3	(0.1) 0.9	(0.4) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(57.4) 60.6	(34.9) 36.4	(7.3) 2.6	0.0 0.3	0.0 0.0	(0.4) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(60.5) 67.7	(33.3) 29.8	(5.8) 2.2	0.0 0.3	(0.4) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(64.3) 70.5	(30.2) 26.3	(4.7) 2.6	0.0 0.5	(0.8) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(68.6) 69.9	(24.0) 26.0	(6.2) 3.8	(0.4) 0.3	(0.8) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(62.7) 67.2	(30.6) 29.6	(6.0) 2.8	(0.1) 0.4	(0.5) 0.0	(0.1) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(31.8) 33.3	(32.2) 33.8	(30.2) 22.5	(2.3) 6.6	(3.1) 3.8	(0.4) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(53.5) 57.8	(32.9) 32.6	(12.0) 7.0	(0.8) 2.3	(0.8) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(55.8) 67.4	(30.6) 26.3	(11.2) 4.6	(1.2) 1.7	(1.2) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(58.1) 72.4	(30.6) 21.4	(8.5) 4.1	(0.8) 2.2	(1.9) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(59.3) 57.1	(30.2) 31.1	(7.0) 7.9	(1.9) 3.0	(1.6) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(64.7) 74.3	(27.1) 21.4	(5.0) 3.0	(1.6) 1.0	(1.6) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(60.1) 66.6	(29.5) 26.2	(7.8) 4.5	(1.2) 2.3	(1.6) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
計	(54.8) 61.3	(30.5) 27.5	(11.7) 7.7	(1.4) 2.7	(1.7) 0.8	(0.1) 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(-) 44.4	(-) 29.6	(-) 17.9	(-) 6.5	(-) 1.7	(-) 0.0	(-) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(58.9) 52.6	(30.2) 39.4	(8.1) 5.8	(1.6) 2.2	(0.8) 0.0	(0.4) 0.0	(100) 100
計	(58.9) 48.5	(30.2) 34.5	(8.1) 11.8	(1.6) 4.3	(0.8) 0.8	(0.4) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(60.5) 62.6	(30.0) 28.8	(7.7) 6.1	(0.8) 2.1	(0.8) 0.4	(0.1) 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	1科目	3科目	11科目
調査対象者数	102人	278人	1,089人
総回答数（回答率）	102枚（100.0%）	258枚（92.8%）	604件（55.5%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う やや そう思う どちらとも いえない そう 思わない 全くそう 思わない 無回答											
I あなた自身について											
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。											
H30年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>51.0</td><td>42.1</td><td>93.1</td><td>—</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	51.0	42.1	93.1	—	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
51.0	42.1	93.1	—								
R01年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>29.5</td><td>41.1</td><td>70.6</td><td>△ 22.5</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	29.5	41.1	70.6	△ 22.5	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
29.5	41.1	70.6	△ 22.5								
R02年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>55.6</td><td>38.2</td><td>93.9</td><td>+ 23.3</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	55.6	38.2	93.9	+ 23.3	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
55.6	38.2	93.9	+ 23.3								
2. 積極的に出席したと思うか。											
H30年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>80.4</td><td>18.6</td><td>99.0</td><td>—</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	80.4	18.6	99.0	—	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
80.4	18.6	99.0	—								
R01年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>76.7</td><td>19.8</td><td>96.5</td><td>△ 2.5</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	76.7	19.8	96.5	△ 2.5	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
76.7	19.8	96.5	△ 2.5								
R02年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>88.2</td><td>10.1</td><td>98.3</td><td>+ 1.8</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	88.2	10.1	98.3	+ 1.8	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
88.2	10.1	98.3	+ 1.8								
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。											
H30年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>63.7</td><td>31.4</td><td>95.1</td><td>—</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	63.7	31.4	95.1	—	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
63.7	31.4	95.1	—								
R01年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>69.4</td><td>25.2</td><td>94.6</td><td>△ 0.5</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	69.4	25.2	94.6	△ 0.5	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
69.4	25.2	94.6	△ 0.5								
R02年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>76.0</td><td>22.0</td><td>98.0</td><td>+ 3.4</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	76.0	22.0	98.0	+ 3.4	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
76.0	22.0	98.0	+ 3.4								
「計」（質問項目 1 ～ 3）											
H30年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>65.0</td><td>30.7</td><td>95.7</td><td>—</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	65.0	30.7	95.7	—	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
65.0	30.7	95.7	—								
R01年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>65.6</td><td>28.7</td><td>94.3</td><td>△ 1.4</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	65.6	28.7	94.3	△ 1.4	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
65.6	28.7	94.3	△ 1.4								
R02年度		<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>73.3</td><td>23.5</td><td>96.7</td><td>+ 2.4</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	73.3	23.5	96.7	+ 2.4	
そう思う	やや そう思う	計	対前年度								
73.3	23.5	96.7	+ 2.4								

Ⅱ 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.0	40.2	90.2	—
57.4	34.9	92.2	+ 2.1
60.6	36.4	97.0	+ 4.8

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
67.6	27.5	95.1	—
60.5	33.3	93.8	△ 1.3
67.7	29.8	97.5	+ 3.7

6. 自分にとって新しい考え方や発達が得られたと思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
61.8	33.3	95.1	—
64.3	30.2	94.6	△ 0.5
70.5	26.3	96.9	+ 2.3

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
70.6	25.5	96.1	—
68.6	24.0	92.6	△ 3.4
69.9	26.0	95.9	+ 3.2

「計」（質問項目 4 ～7）

H30年度

R01年度

R02年度

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

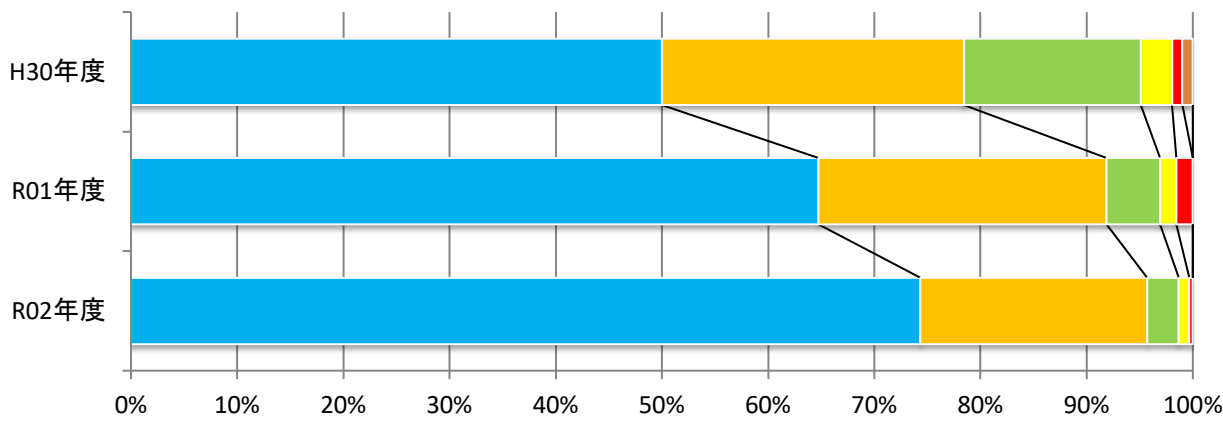
90%

100%

そう思う	やや そう思う	計	対前年度
62.5	31.6	94.1	—
62.7	30.6	93.3	△ 0.8
67.2	29.6	96.8	+ 3.5

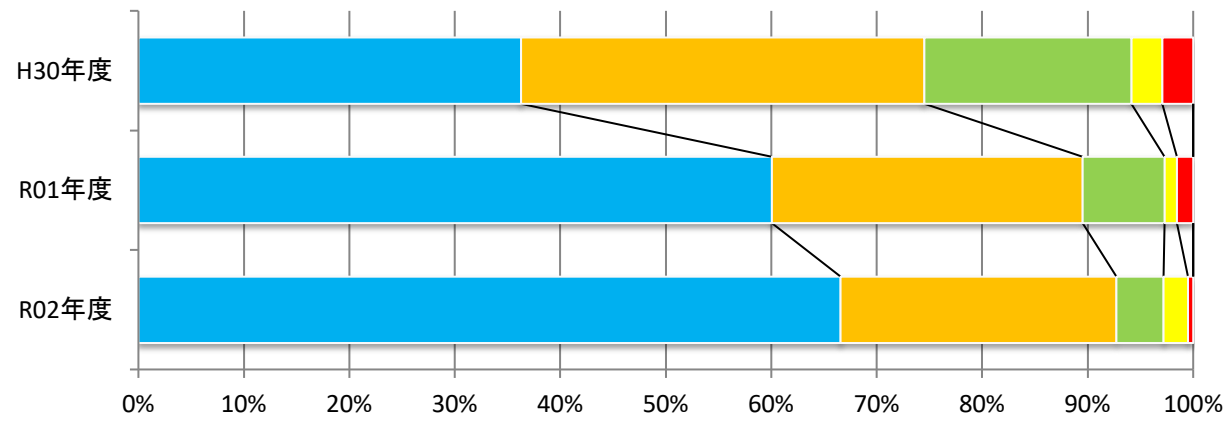
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について																			
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。																			
	<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>28.4</td><td>45.1</td><td>73.5</td><td>—</td></tr><tr><td>31.8</td><td>32.2</td><td>64.0</td><td>△ 9.6</td></tr><tr><td>33.3</td><td>33.8</td><td>67.1</td><td>+ 3.1</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	28.4	45.1	73.5	—	31.8	32.2	64.0	△ 9.6	33.3	33.8	67.1	+ 3.1		
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
28.4	45.1	73.5	—																
31.8	32.2	64.0	△ 9.6																
33.3	33.8	67.1	+ 3.1																
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。																			
	<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>43.1</td><td>35.3</td><td>78.4</td><td>—</td></tr><tr><td>53.5</td><td>32.9</td><td>86.4</td><td>+ 8.0</td></tr><tr><td>57.8</td><td>32.6</td><td>90.4</td><td>+ 4.0</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	43.1	35.3	78.4	—	53.5	32.9	86.4	+ 8.0	57.8	32.6	90.4	+ 4.0		
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
43.1	35.3	78.4	—																
53.5	32.9	86.4	+ 8.0																
57.8	32.6	90.4	+ 4.0																
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。																			
	<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>43.1</td><td>41.2</td><td>84.3</td><td>—</td></tr><tr><td>55.8</td><td>30.6</td><td>86.4</td><td>+ 2.1</td></tr><tr><td>67.4</td><td>26.3</td><td>93.7</td><td>+ 7.3</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	43.1	41.2	84.3	—	55.8	30.6	86.4	+ 2.1	67.4	26.3	93.7	+ 7.3		
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
43.1	41.2	84.3	—																
55.8	30.6	86.4	+ 2.1																
67.4	26.3	93.7	+ 7.3																
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。																			
	<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>29.4</td><td>50.0</td><td>79.4</td><td>—</td></tr><tr><td>58.1</td><td>30.6</td><td>88.8</td><td>+ 9.3</td></tr><tr><td>72.4</td><td>21.4</td><td>93.7</td><td>+ 4.9</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	29.4	50.0	79.4	—	58.1	30.6	88.8	+ 9.3	72.4	21.4	93.7	+ 4.9		
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
29.4	50.0	79.4	—																
58.1	30.6	88.8	+ 9.3																
72.4	21.4	93.7	+ 4.9																
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。																			
	<table><tr><th>そう思う</th><th>やや そう思う</th><th>計</th><th>対前年度</th></tr><tr><td>37.3</td><td>31.4</td><td>68.6</td><td>—</td></tr><tr><td>59.3</td><td>30.2</td><td>89.5</td><td>+ 20.9</td></tr><tr><td>57.1</td><td>31.1</td><td>88.2</td><td>△ 1.3</td></tr></table>	そう思う	やや そう思う	計	対前年度	37.3	31.4	68.6	—	59.3	30.2	89.5	+ 20.9	57.1	31.1	88.2	△ 1.3		
そう思う	やや そう思う	計	対前年度																
37.3	31.4	68.6	—																
59.3	30.2	89.5	+ 20.9																
57.1	31.1	88.2	△ 1.3																

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



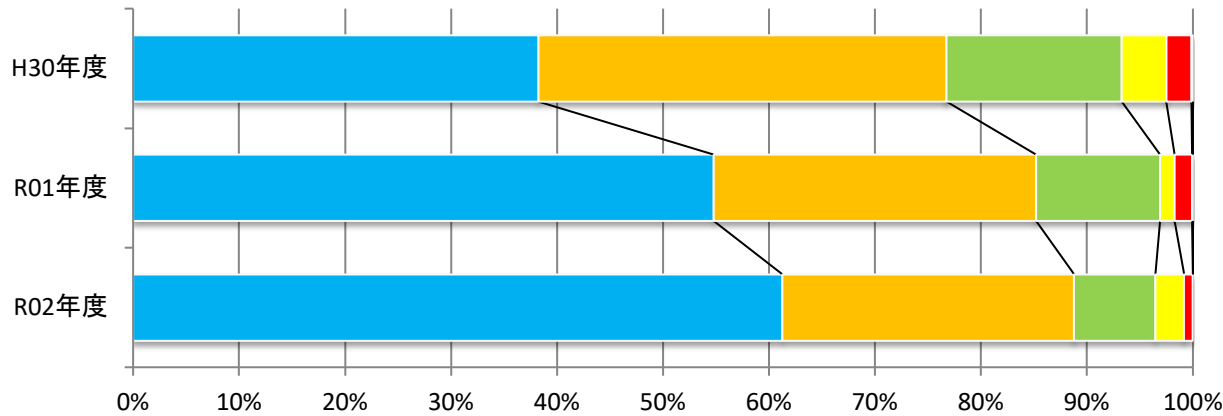
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.0	28.4	78.4	—
64.7	27.1	91.9	+ 13.4
74.3	21.4	95.7	+ 3.8

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.3	38.3	74.5	—
60.1	29.5	89.5	+ 15.0
66.6	26.2	92.7	+ 3.2

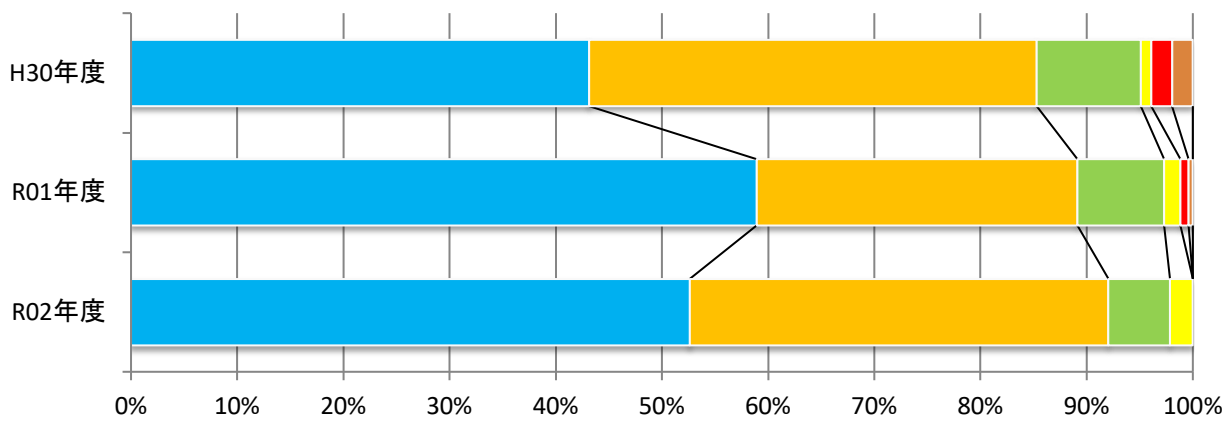
「計」(質問項目 8 ～ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.2	38.5	76.8	—
54.8	30.5	85.2	+ 8.5
61.3	27.5	88.8	+ 3.6

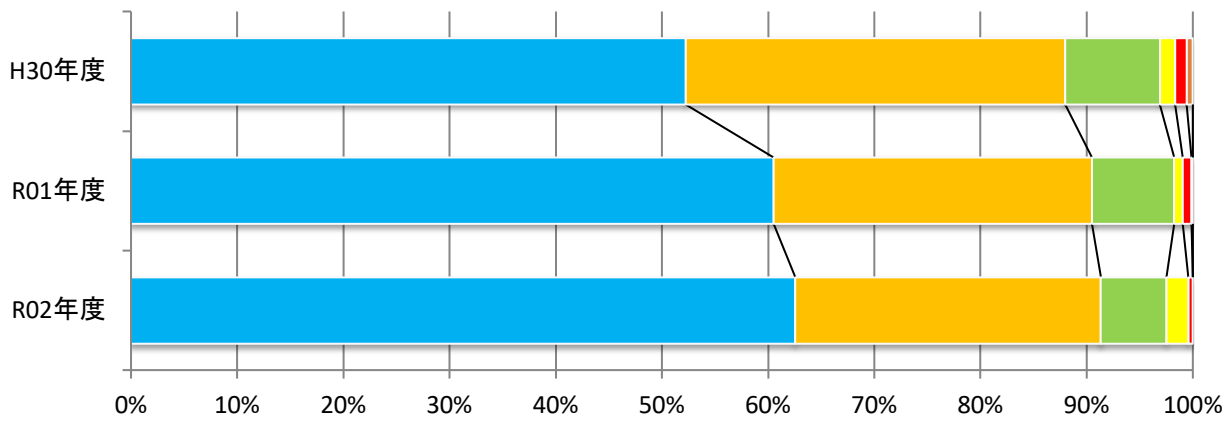
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



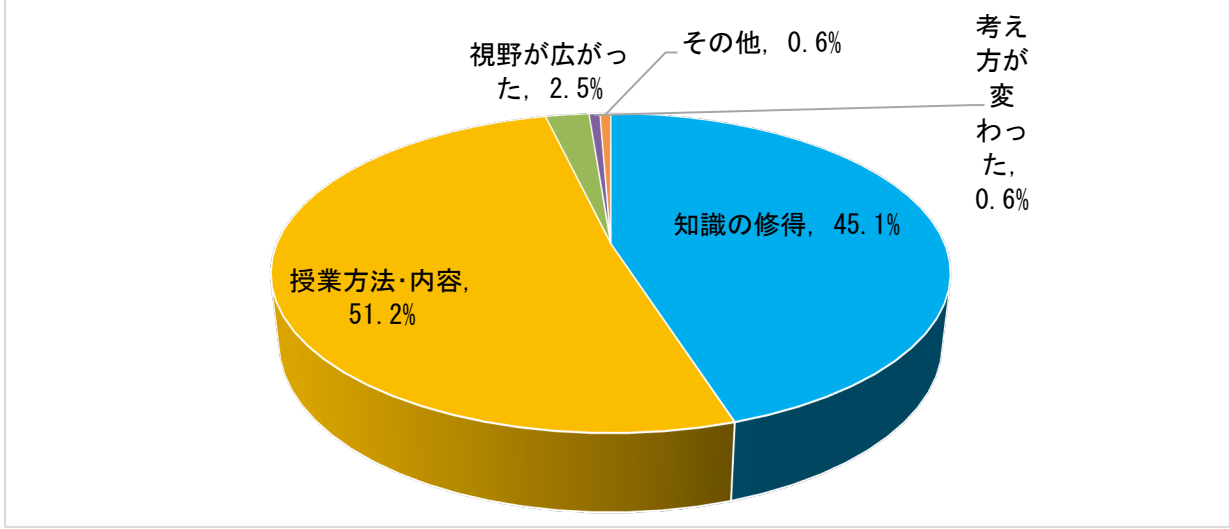
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.1	42.2	85.3	—
58.9	30.2	89.1	+ 3.9
52.6	39.4	92.1	+ 2.9

全質問項目の平均



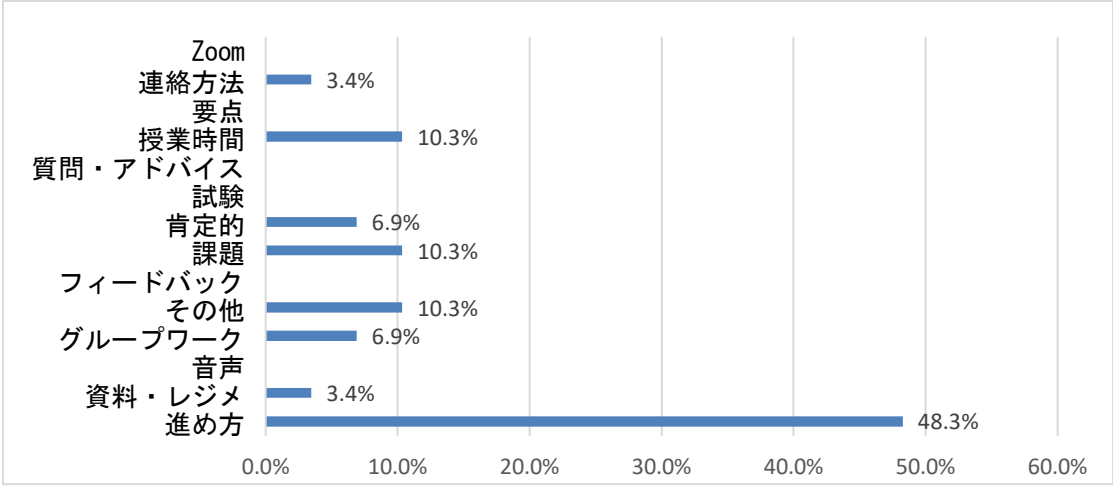
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.2	35.8	88.0	—
60.5	30.0	90.5	+ 2.5
62.6	28.8	91.3	+ 0.8

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 162】



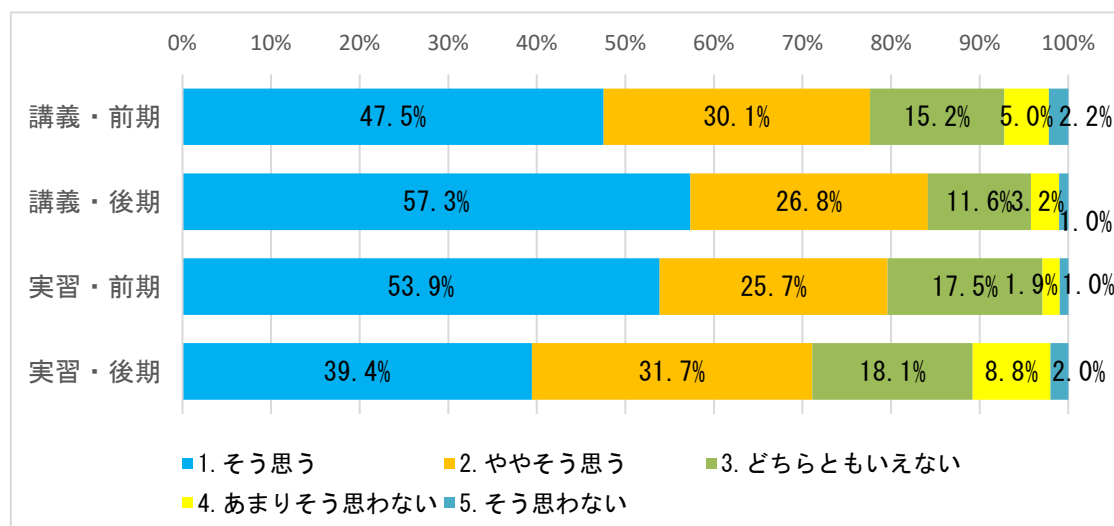
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	慢性期・回復期看護学実習	10	新型コロナウイルスの影響により、実際の看護を見る事はできませんでしたが、病棟看護師の方がカンファレンスに参加してくださる機会が多かったため、臨床の意見を聞くことができ学びが深まりました。また、患者さんに関わる事はできませんでしたが、地域の方に教育指導を実施する機会を設けてくださったため、実際に指導する難しさや指導時の工夫点など新たな学びを得る事が出来、良かったです。
			病態を理解した上で、看護過程を展開し、援助計画を実施できてよかった。 パンフレット指導や病棟実習を通して、コミュニケーションをとりながら関係を構築することができて良かった。
	基礎看護援助実習Ⅰ	65	オンラインではありましたが、看護師さんとコミュニケーションを取る時間が多くあり、実際に看護師の仕事内容や病院についてじっくりと学ぶことができました。教科書などで学んだこととは少し異なり、実際に働く看護師さんから直接声を聴くことができたため、自分が持つイメージが膨らみやすくったりより看護師という職業について理解を深めることができました。
			実際に看護師の声を聞くことで、仕事内容や気を付けていること、心掛けていることなどを詳しく学ぶことができて良かったと思った。 知識だけでは学びきれない、看護師の大変なところややりがい、大切にしていることなどを聞くことができたので、それだけでも意味があったのかなと思う。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 29】

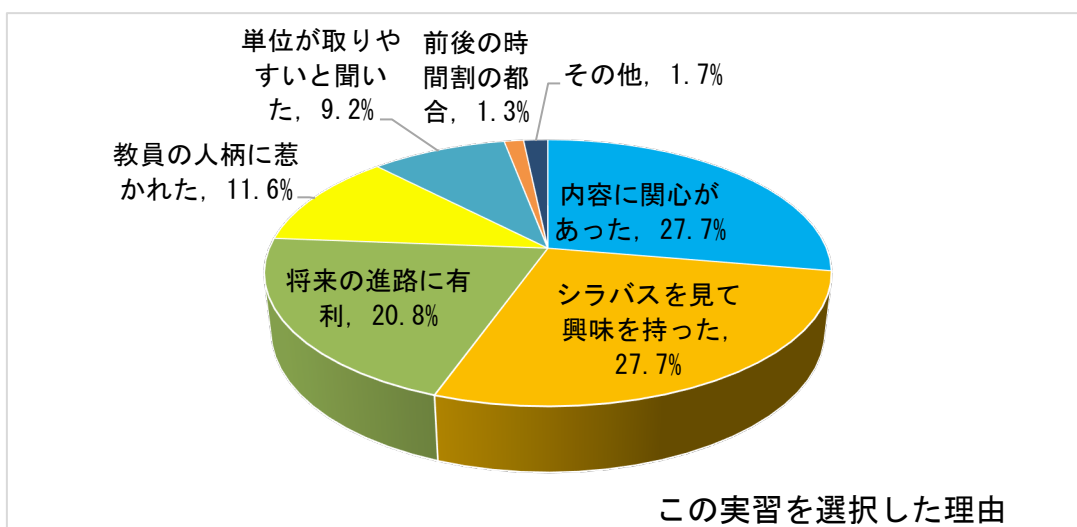
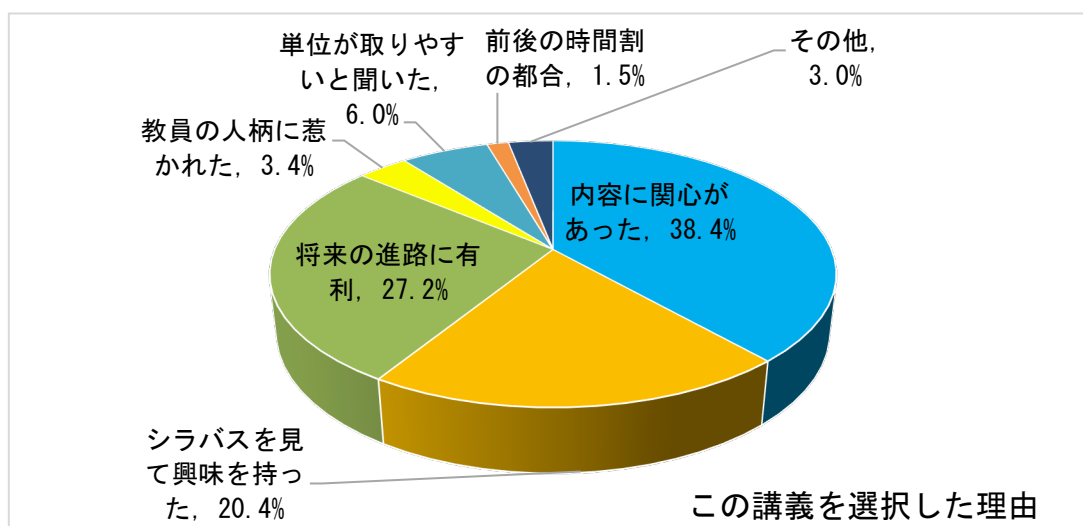


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	急性期看護学実習	7	記録の書き方が先生によって、違うことを言っていることを改善してほしい。また、評価表の数字の付け方も先生によって言っていることが違う。先生同士で統一してもらわないと混乱する。
	小児看護学実習	7	教員同士での意見が違うため、実習担当教員の意見を優先してほしい。
			記録用紙の書き方について講義などで事前に説明してほしい。
	慢性期・回復期看護学実習	6	看護サマリーの書き方についてもう少し詳しく教えてほしい。 急性と同じ方法だと思っていたが、先生の中で言っていることが違うので統一させてほしいです。

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和2年度 大学院医療保健学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学研究科長
坂本 すが

多様性と協働が求められる時代、社会人としてリーダーシップをとっている大学院生たちが、さらに、キャリアアップして、地域のリーダーとしてのびのびと活躍していく、それが本研究科のめざすところです。

1. 授業評価の結果について

評価は、概ね肯定的評価を頂き、授業評価の評点も高い評価を頂いたと思います。

授業に対する肯定的評価の具体的内容としては、LMS (Learning Management System) を活用した授業形態に対するご意見がありました。「授業の新しい形式により、期間内で繰り返し受講やテストを受けることができる。動画配信だけでなく、課題とそのフィードバックがある。」など理解が深まり、全体的に論理的に思考を積み重ねることができる授業であったという意見がありました。

LMS の課題として、「事前課題や自己学習が多く、あまり学ぶことができなかった。動画教材が常に見られるように欲しい。資料の配布の時期、課題提出に対する意見や意見交換できる場、内容が難しいので質問しやすい環境、対面で授業を受けることができたなら、理解と納得が深まったのではないか。ZOOM による質問はしづらい。」等の意見を頂きました。

LMS の課題も見えましたが、正解を自分で見いだす姿勢を身に着けた院生が多くみられました。主体的問題解決への探求力をさらに育成していくために、アクティブラーニングの導入を進め、院生自身が自己評価を適切に実施できるような体制を作っていきたいと思います。

2. 授業において工夫した点について

LMS を活用することにより、授業計画の明確化や履修途中の自己の学習状況を可視化できるようにしていると思います。また、院生同士の相互のピア評価の導入により、チームワークの醸成もできてきていると思います。

3. 今後の授業への生かし方について

LMS を全科目で取り入れたことにより、院生が自己の学びを把握できるとともに、教員も学科教育全体を把握し、自分の学習設計に活かしていくことができると考えています。協働する力を高めるため、院生が自分の考えを伝えあい、ディスカッションを楽しめるような授業形態を検討していきたいと思います。

4. その他

教員は、LMS の導入など、ハイブリッドな新しい授業形態の活用できたために FD (Faculty Development) 活動などを通じて、教員同士が互いに教育力を高め合っていけるよう、努めていきます。

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 大学院 医療保健学研究科 修士課程

○全科目数 46科目

○調査対象者数

380人（延人数）

○総回答数

303件（回答率 79.7％）

◆ 質問項目別集計結果

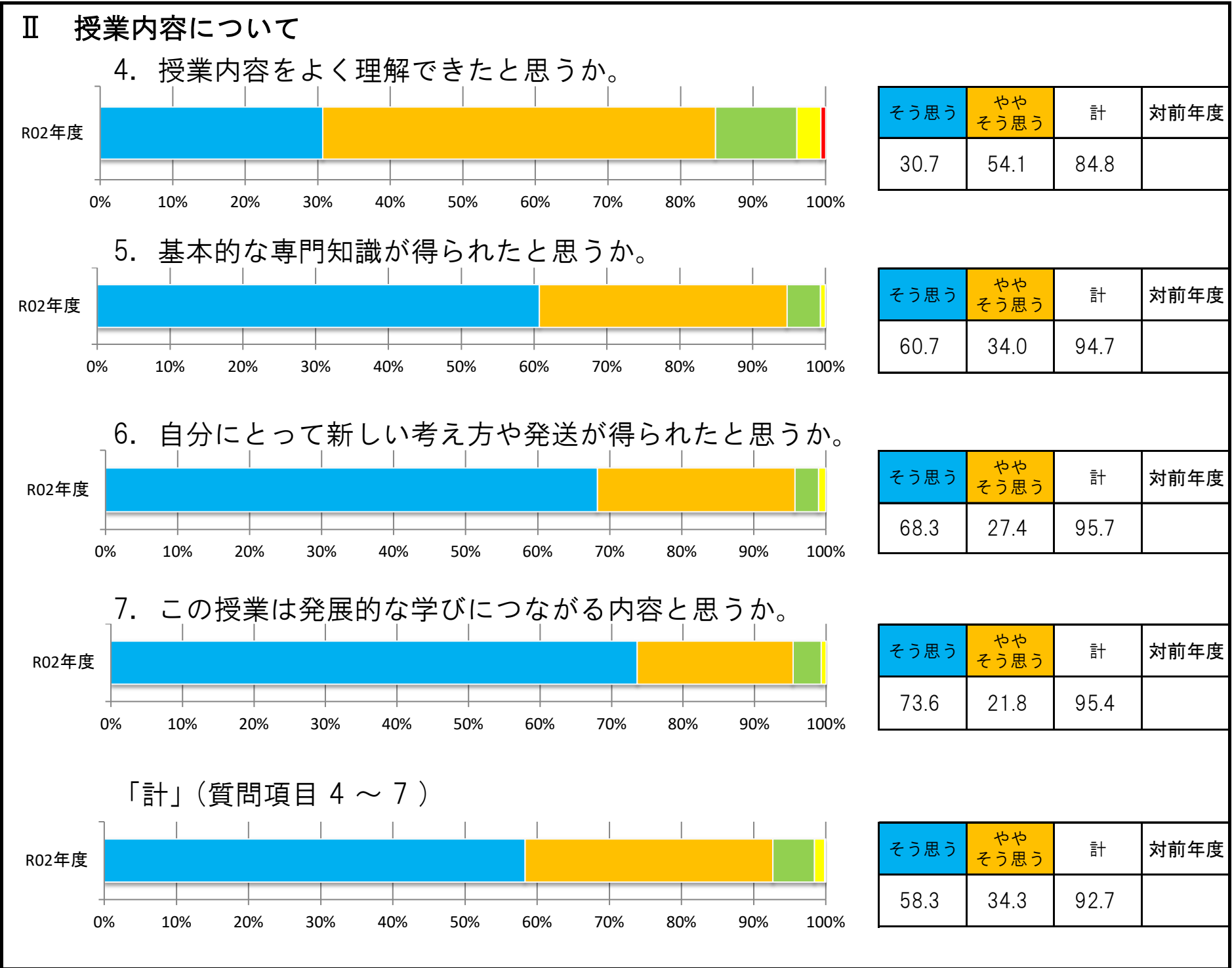
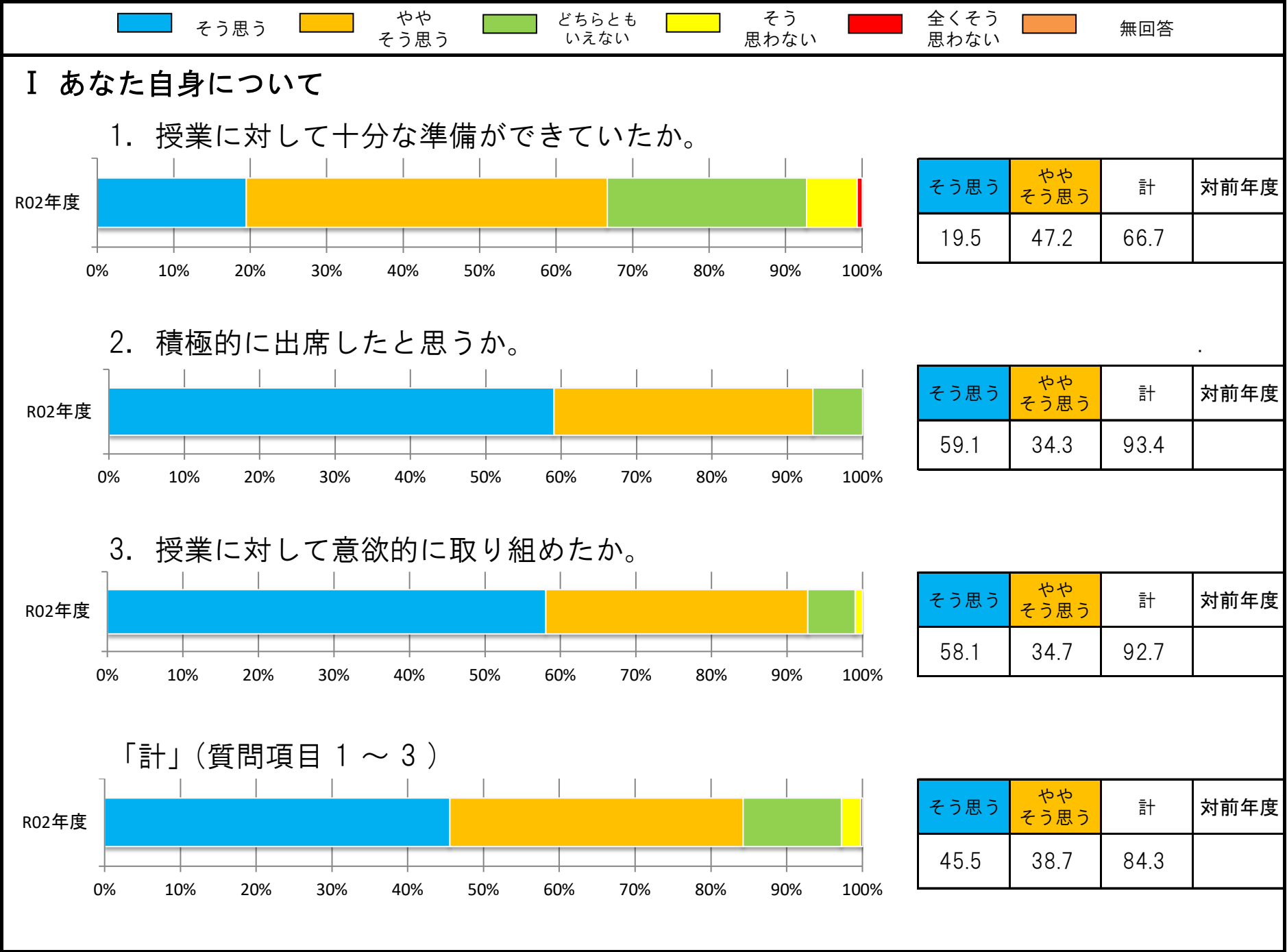
〈上段（ ）は令和元年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(－) 19.5	(－) 47.2	(－) 26.1	(－) 6.6	(－) 0.7	(－) 0.0	(－) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(－) 59.1	(－) 34.3	(－) 6.6	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(－) 58.1	(－) 34.7	(－) 6.3	(－) 1.0	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 100
計	(－) 45.5	(－) 38.7	(－) 13.0	(－) 2.5	(－) 0.2	(－) 0.0	(－) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(－) 30.7	(－) 54.1	(－) 11.2	(－) 3.3	(－) 0.7	(－) 0.0	(－) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(－) 60.7	(－) 34.0	(－) 4.6	(－) 0.7	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(－) 68.3	(－) 27.4	(－) 3.3	(－) 1.0	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(－) 73.6	(－) 21.8	(－) 4.0	(－) 0.7	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 100
計	(－) 58.3	(－) 34.3	(－) 5.8	(－) 1.4	(－) 0.2	(－) 0.0	(－) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(－) 52.8	(－) 24.1	(－) 18.8	(－) 4.0	(－) 0.3	(－) 0.0	(－) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(－) 63.0	(－) 26.1	(－) 9.6	(－) 1.0	(－) 0.3	(－) 0.0	(－) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(－) 71.9	(－) 18.5	(－) 9.2	(－) 0.3	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(－) 49.2	(－) 13.6	(－) 33.9	(－) 3.4	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(－) 79.6	(－) 16.2	(－) 4.2	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 0.0	(－) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(－) 65.0	(－) 20.5	(－) 10.9	(－) 2.3	(－) 1.3	(－) 0.0	(－) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(－) 65.0	(－) 25.4	(－) 9.2	(－) 0.0	(－) 0.3	(－) 0.0	(－) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(－) 71.6	(－) 21.8	(－) 5.9	(－) 0.3	(－) 0.3	(－) 0.0	(－) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(－) 58.4	(－) 24.4	(－) 13.5	(－) 2.6	(－) 1.0	(－) 0.0	(－) 100
計	(－) 64.1	(－) 21.2	(－) 12.8	(－) 1.6	(－) 0.4	(－) 0.0	(－) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(－) 54.8	(－) 26.1	(－) 13.5	(－) 4.0	(－) 1.7	(－) 0.0	(－) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(68.1) 62.0	(24.8) 29.4	(5.7) 6.3	(0.9) 2.0	(0.6) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(68.1) 58.4	(24.8) 27.7	(5.7) 9.9	(0.9) 3.0	(0.6) 1.0	0.0 0.0	(100.1) 100
全質問項目の平均	(68.1) 56.6	(24.8) 30.5	(5.7) 10.4	(0.9) 2.1	(0.6) 0.4	0.0 0.0	(100) 100

授業評価集計結果 年度別比較

	30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	54科目	48科目	46科目
調査対象者数（延人数）	471人	418人	380人
総回答数（回答率）	300枚（64%）	335枚（80%）	303件（79.7%）

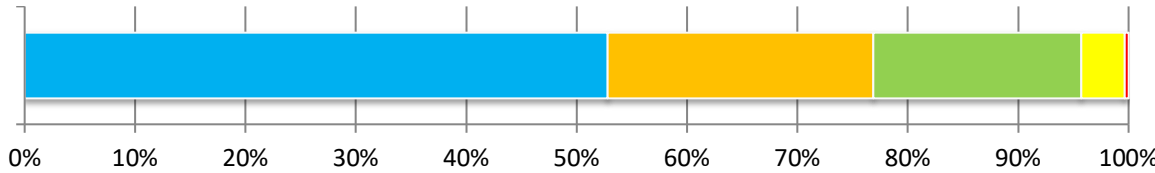
◆ 年度別・質問項目別 集計結果



Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。

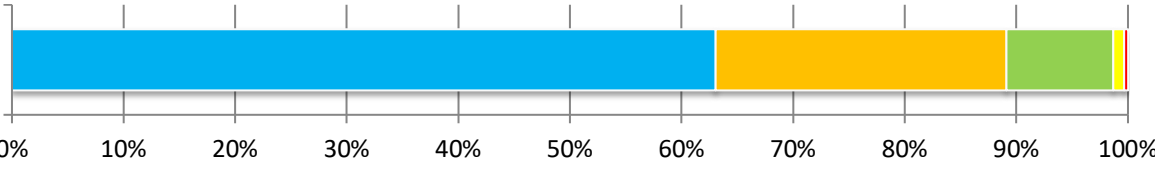
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.8	24.1	76.9	

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。

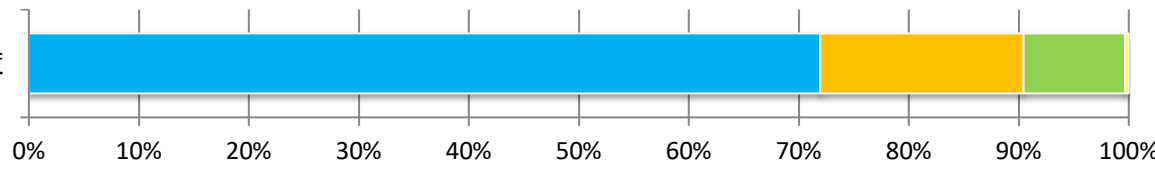
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.0	26.1	89.1	

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。

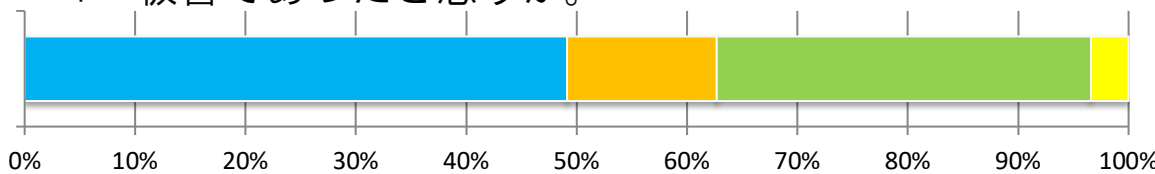
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
71.9	18.5	90.4	

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。

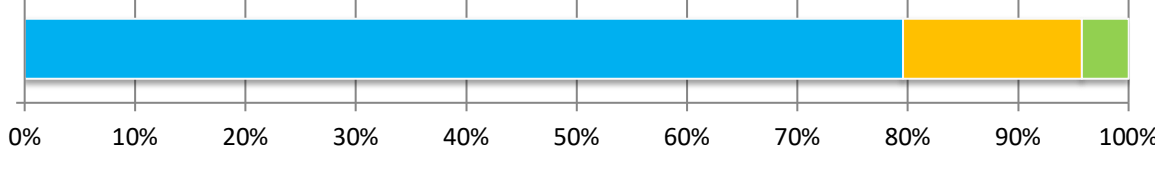
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.2	13.6	62.7	

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。

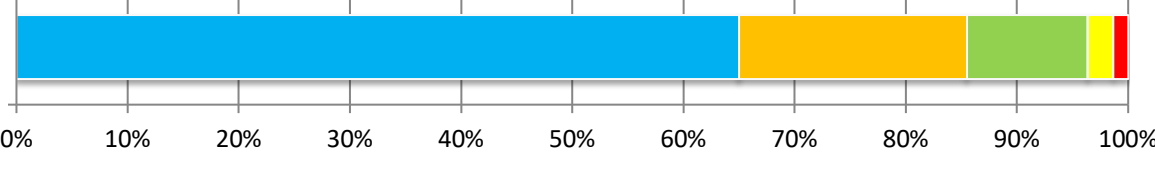
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
79.6	16.2	95.8	

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。

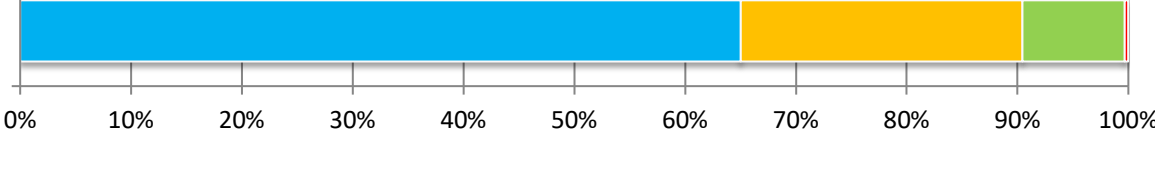
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.0	20.5	85.5	

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。

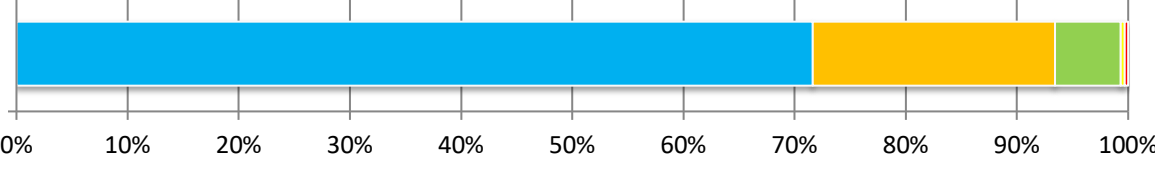
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.0	25.4	90.4	

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか

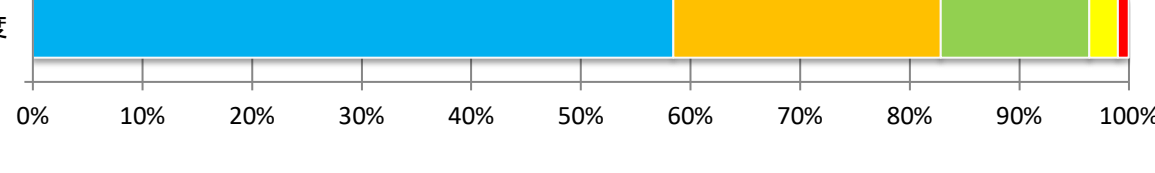
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
71.6	21.8	93.4	

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。

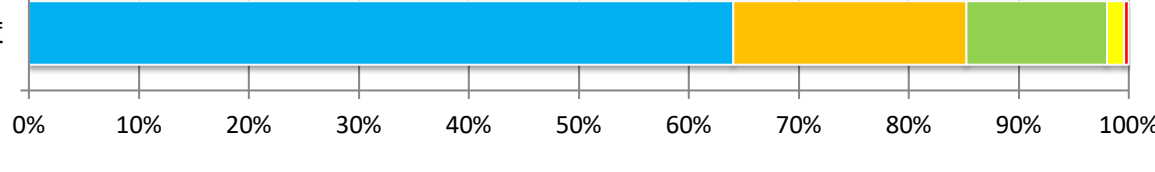
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
58.4	24.4	82.8	

「計」（質問項目 8 ～ 15）

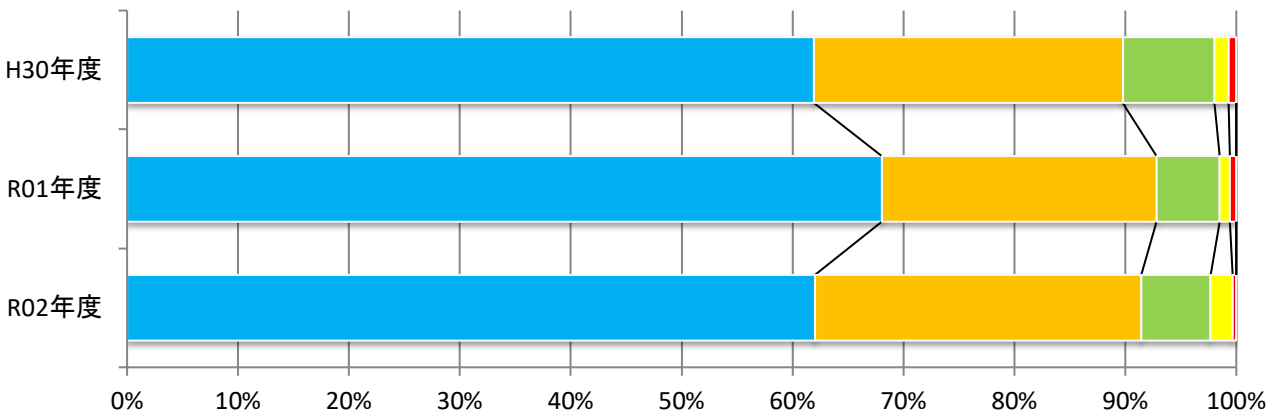
R02年度



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
64.1	21.2	85.2	

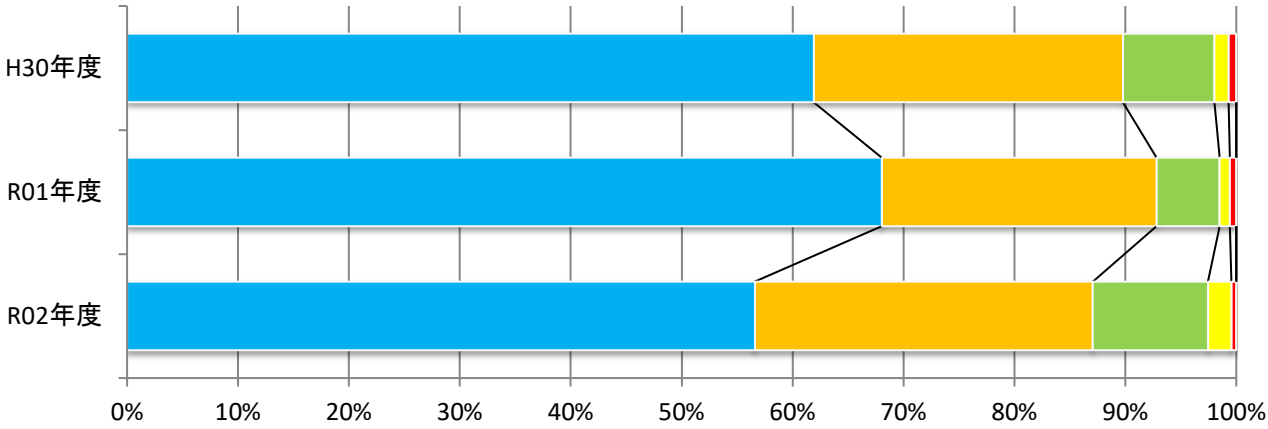
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
62.3	28.0	90.3	—
68.1	24.8	92.9	+ 2.6
62.0	29.4	91.4	△ 1.5

全質問項目の平均

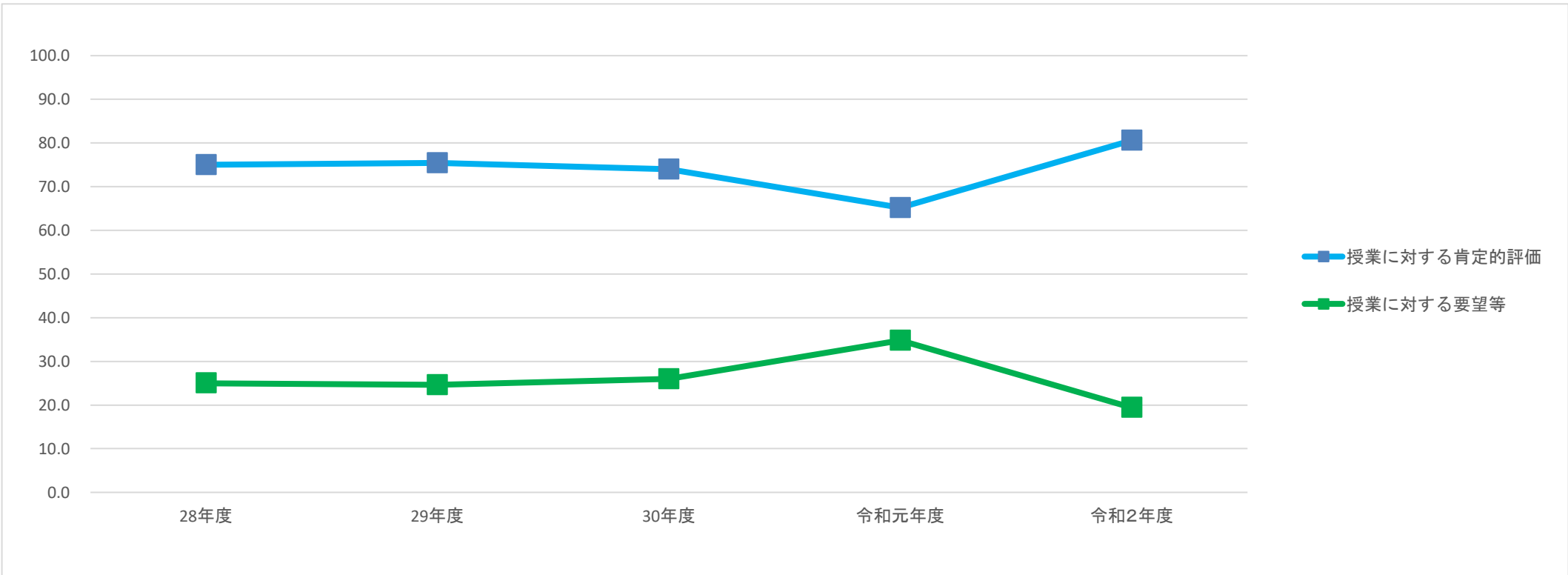


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
15.6	7.0	22.6	—
68.1	24.8	92.9	+ 70.3
56.6	30.5	87.1	△ 5.8

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(75.0%)	48	(75.4%)	49	(74.0%)	108	(65.2%)	88	(80.6%)	54
授業に対する要望等	(25.0%)	16	(24.6%)	16	(26.0%)	38	(34.8%)	47	(19.4%)	13
総件数	(100.0%)	64	(100.0%)	65	(100.0%)	146	(100.0%)	135	(100.0%)	67

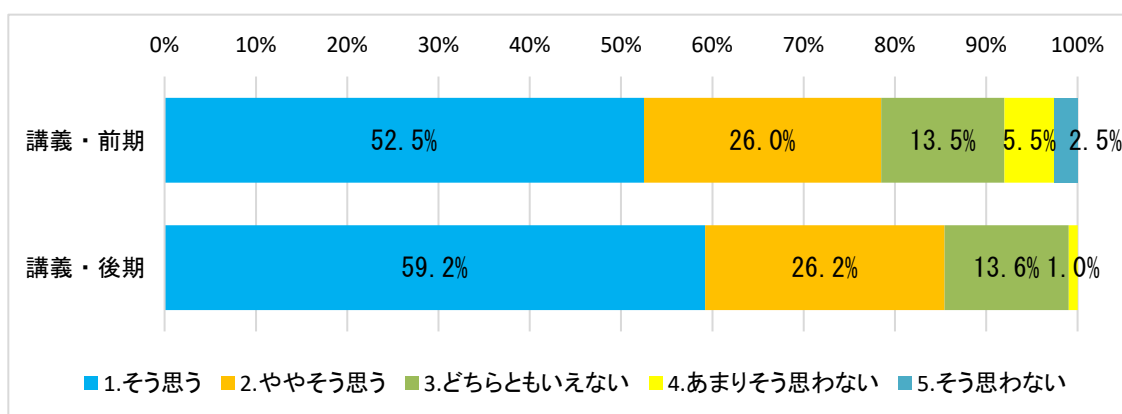
※（ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



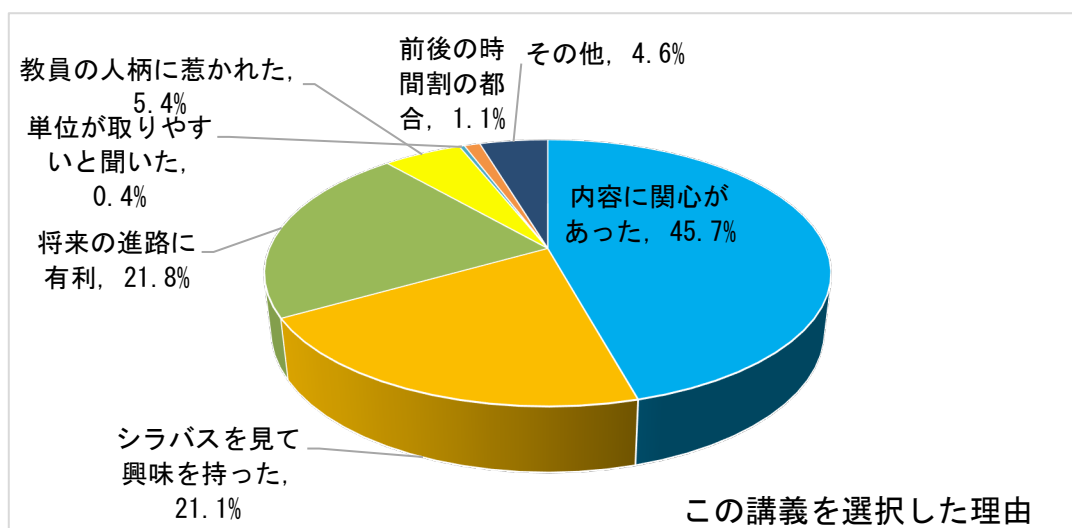
◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	54	・ 時間外での学生指導が多くあり時間調整が大変でしたが、他の教員の学生指導方法等はとても勉強になりました ・ リモート授業の新しい形式だと思う。期間内で繰り返し受講でき、繰り返しテストを受けることができるため理解が深まると思う。 ・ 医療現場を離れているが、教育現場でも役立つ授業であり、受けてよかった ・ 全体的に論理的に思考を積み重ねることができる授業でした。暗記と違い、理解しながら進めることができたため、すぐに臨床に活かせるものとして身に付けることができたと思います。 ・ 動画配信の授業だけでなく、院生に課題を毎週出してくださり、そのフィードバックもあったので大変理解が深まった。 ・ 苦手意識のある研究方法をわかりやすい講義をしていただきありがとうございました。
授業に対する要望等	13	・ 動画教材が常に見れるように、残していただけると嬉しいです。 ・ 意見交換できる場や、課題提出をして考え方がどうかの意見が欲しかったです。 ・ 研究方法で一番学びたかったのですが、自己学習ばかりであり学ぶことができなかった。 ・ 講義資料を配布していただけず、後日配布するとの案内のままの授業があり復習や確認ができないままです。 ・ 質的研究の深さを講師の言葉で触れる機会がもう少し欲しかった。 ・ 内容が難しかったので、もう少し質問しやすい環境だとありがたかったです。 ・ 事前課題が多かった。 ・ クリティークなど、対面で授業を受けることができたなら、理解と納得が深まったのではと感じている。 ・ ZOOMIによる質問はしづらかった。
計	67	

この授業は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和2年度 大学院看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・看護学研究科長

大島 久二

1. 授業評価の結果について：授業評価の対象科目数は、それぞれ高度実践看護コース 22 科目、高度実践助産コース 32 科目、高度実践公衆衛生看護コース 36 科目、看護科学コース 10 科目であり、授業評価に回答した大学院生は、各コース延べ 389 名（回答率：87.8%）、200 名（98.0%）、40 名（100%）、10 名（100%）であった。今回から高度実践公衆衛生看護コースが本評価に加わった。高度実践看護コースの回答率が若干低かったが、授業評価の結果はカリキュラム編成、シラバス、教育方法等の改善に活用しており、今後も安定した高い回答率が得られるように学生に働きかけをしていく必要がある。

高度実践看護、高度実践助産、高度実践公衆衛生、看護科学コースの全授業評価対象科目についての総合的な満足度は、「非常にそう思う」「そう思う」の回答は、それぞれ 75.1%、73.8%、100%、100%であり高度実践助産コースで前回より低下していたが、高度実践公衆衛生と看護科学コースでは満足度が高かった。全般的には、「期待していた通りの内容か」「授業の進め方は適切か」「教材・教具は適切か」で満足度が前年より低下しており、コロナ禍により事前予想と異なった授業形態に対する評価が含まれ、遠隔授業の質向上のための努力が必要と考えられた。また、自由記載からみると、例年は授業に対する否定的な意見が約 40%を占めていたが、昨年より肯定的意見が増え、今回は 52.2%が肯定的な意見であり、担当教員への感謝の気持ちと今後の学びへの方向性を確認できたことを読み取ることができた。一方、高度実践助産コースでは一部の授業時間延長、指導教員の指導の在り方に関する意見もあり、今後の改善点と考えられた。他施設での実習に関してはコロナ禍の影響で直前まで実施調整を行っていた年であったが、概ね調整を評価する意見も多くみられたが、急な変更などに戸惑う様子も見られ、今後のコロナ禍での調整の難しさも感じられた。

学生自身の授業態度に対する自己評価では、「授業に意欲的に取り組めたか」の質問に対して、高度実践看護、高度実践助産、高度実践公衆衛生看護、看護科学コースの学生はそれぞれ 82.7%、95.0%、100%、100%が「非常にそう思う」または「そう思う」と肯定的な回答であった。「よく自己学習をしたか」の質問に関しても、それぞれ 73.5%、83.4%、100%、80.0%が肯定的な回答をしている。これらは、学生が満足する授業の展開をすることが学生の学修意欲を高めることにつながることを示していると考えられた。

2. 授業に於いて工夫した点について：令和2年度は、COVID-19の影響を全面的に受けた年度であり、年度当初より講義に関しては遠隔授業が取り入れられた。全学及び国立病院機構キャンパスの教務委員会等での検討を基にした遠隔授業の開拓と実践を早期から行ってきており、その中でも、学生の理解度を測り学習意欲を増進させる内容となることを目指してきた。また、可能な限り対面授業と演習の時間を確保し、学外実習施設との調整に力を注ぐとともに、COVID-19に対する感染予防策の徹底と

ワクチン接種の推進を行ってきた。

3. 今後の授業への活かし方について：遠隔授業が当初から導入されており、対面授業の機会も制限されていた。この状況で、自由意見のなかに教員及び学生同士のコミュニケーションの不足を指摘する声が複数あった。今後は、限られた対面授業の機会を生かしつつ、遠隔授業においても個人的なフィードバックを充実させるとともに教員及び学生間のコミュニケーションを促進する手法を拡充する必要性があると考えられた。
4. その他：大学院課程の教育全体のアウトカム評価をどのような方法で行うかを計画しその結果を社会に公表していくことは重要である。アウトカム評価の一つとして、「高度実践看護コース」の学生に対しては日本 NP 教育大学院協議会の実施する「NP 資格試験」、「高度実践助産コース」に対しては「助産師国家試験」の合格率、「高度実践公衆衛生看護コース」では「保健師国家試験」の合格率が挙げられるが、いずれも100%であり、本大学院の到達目標を達成している。また、助産師教育が大学院教育、学部教育、専攻科教育等多様化している現状の中で、本学が大学院教育で助産師を育成しているメリットを社会にアピールしていく必要があると考えている。

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程

○全科目数 100 科目 ○調査対象者数 697人（延人数）
○総回答数 639枚（回答率91.7%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は令和元年度集計結果】 (%)

質 問 項 目		非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(51.7)	(37.1)	(9.0)	(1.4)	(0.9)	(100.0)
		40.0	47.9	9.3	1.9	0.9	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(37.2)	(45.4)	(13.4)	(2.9)	(1.2)	(100.0)
		26.4	52.4	16.3	3.6	1.3	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(43.1)	(37.2)	(16.4)	(2.7)	(0.6)	(100.0)
		35.0	43.4	18.0	3.0	0.6	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(57.4)	(32.2)	(7.4)	(2.0)	(1.1)	(100.0)
		46.1	39.0	10.3	3.4	1.1	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(42.6)	(35.2)	(16.5)	(3.0)	(2.6)	(100.0)
		27.7	42.2	22.6	4.7	2.8	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(40.7)	(39.2)	(15.0)	(3.0)	(2.1)	(100.0)
		26.0	46.2	19.7	5.2	2.8	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(40.9)	(38.6)	(14.6)	(3.8)	(2.1)	(100.0)
		26.7	46.3	19.4	5.4	2.2	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(43.1)	(40.8)	(10.6)	(3.5)	(2.0)	(100.0)
		27.6	49.3	16.2	4.9	2.0	100.0
全質問項目の平均	令和元年度	(44.6)	(38.2)	(12.9)	(2.8)	(1.6)	(100.0)
	令和2年度	32.0	45.8	16.5	4.0	1.7	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程

◆ 年度別 授業評価集計結果

【平成27～30年度は令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	66科目	59科目	64科目	91科目	100科目
調査対象者数（延人数）	621人	632人	462人	667人	697人
総回答数（回答率）	572枚（92.1%）	557枚（88.1%）	382枚（82.7%）	612枚（91.8%）	639枚(91.7%)

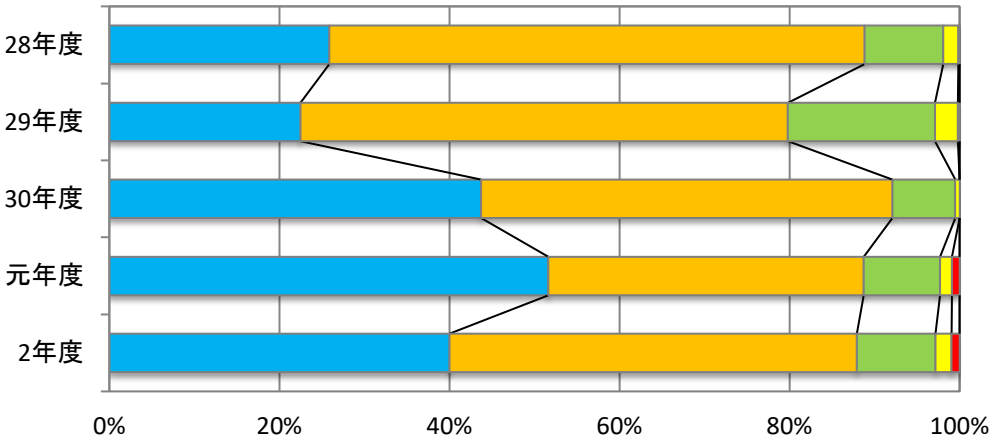
◆ 年度別・質問項目別 集計結果

【平成27～30年度は令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】

非常に そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	全くそう 思わない
-------------------------	------------------	---------------------------	--------------------	--------------------------

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

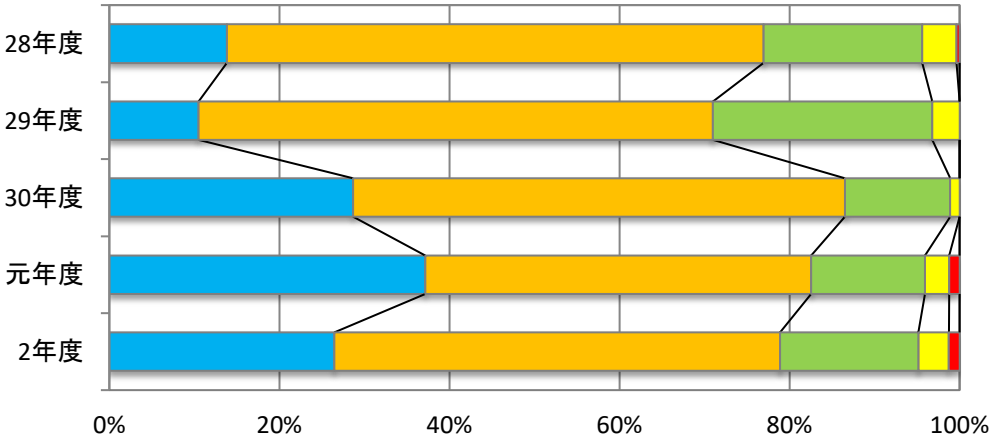
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	25.9	62.9	88.8	—
平成29年度	22.5	57.4	79.9	△ 8.9
平成30年度	43.7	48.4	92.1	+12.2
令和元年度	51.7	37.1	88.8	△ 3.3
令和2年度	40.0	47.9	87.9	△ 0.9

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

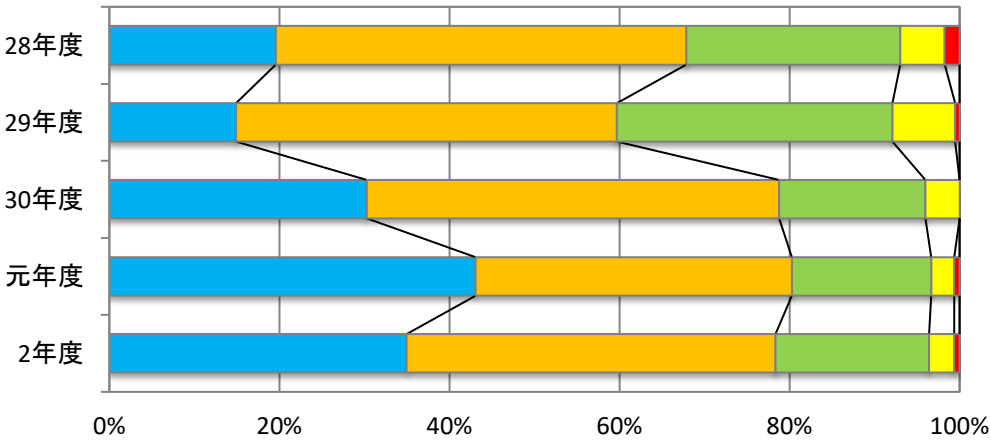
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	13.8	63.1	76.9	—
平成29年度	10.5	60.5	71.0	△ 5.9
平成30年度	28.7	57.9	86.6	+15.6
令和元年度	37.2	45.4	82.6	△ 4.0
令和2年度	26.4	52.4	78.9	△ 3.7

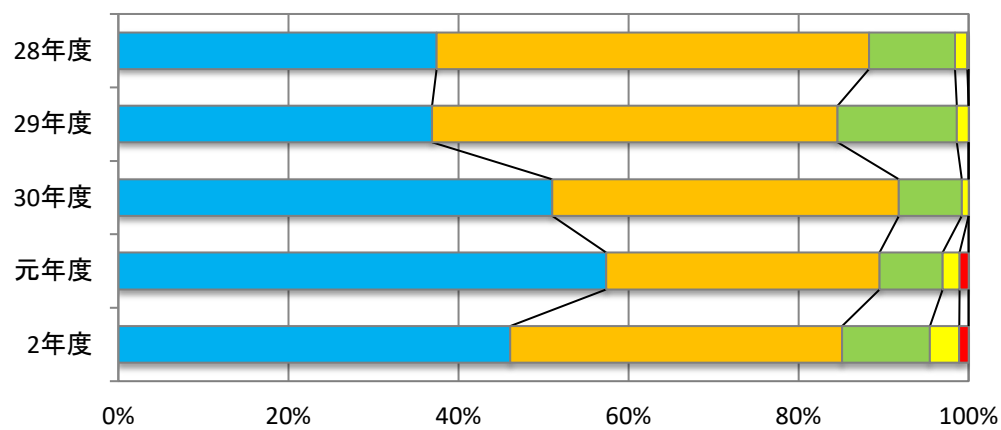
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	19.6	48.3	67.9	—
平成29年度	14.9	44.8	59.7	△ 8.2
平成30年度	30.3	48.5	78.8	+19.1
令和元年度	43.1	37.2	80.3	+1.5
令和2年度	35.0	43.4	78.4	△ 1.9

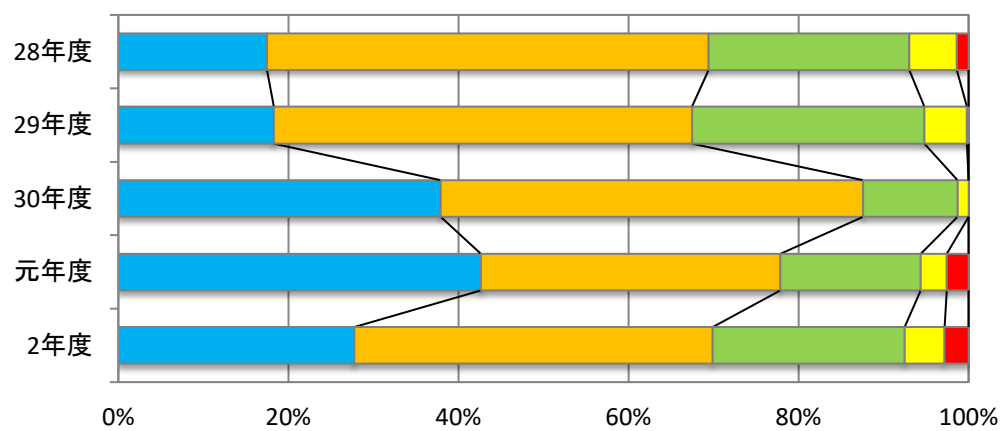
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



(%)

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	37.4	50.9	88.3	—
平成29年度	36.9	47.7	84.6	△ 3.7
平成30年度	51.1	40.8	91.9	+7.3
令和元年度	57.4	32.2	89.5	△ 2.4
令和2年度	46.1	39.0	85.1	△ 4.4

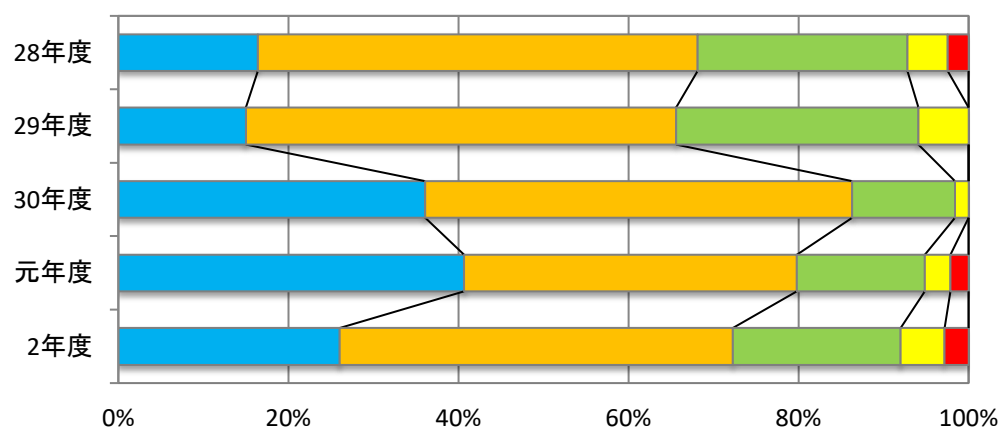
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



(%)

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	17.5	51.9	69.4	—
平成29年度	18.3	49.1	67.4	△ 2.0
平成30年度	37.9	49.7	87.6	+20.2
令和元年度	42.6	35.2	77.8	△ 9.8
令和2年度	27.7	42.2	69.9	△ 7.9

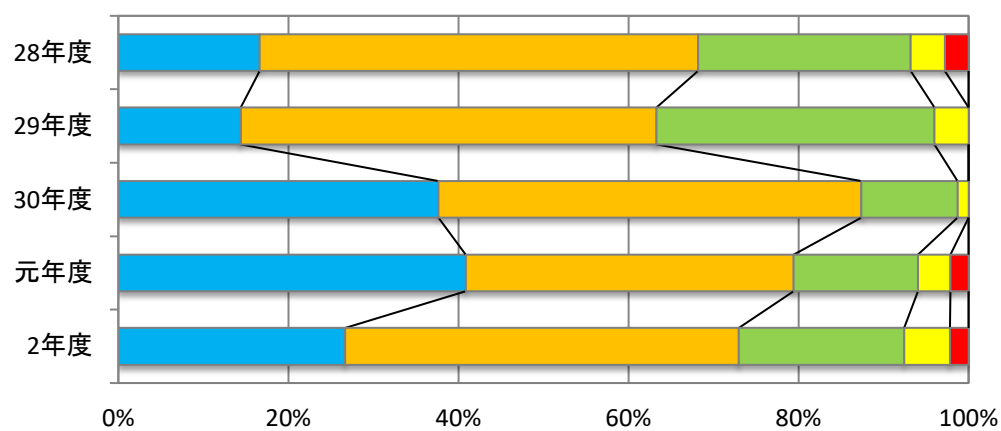
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



(%)

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	16.4	51.7	68.1	—
平成29年度	15.0	50.6	65.6	△ 2.5
平成30年度	36.1	50.3	86.4	+20.8
令和元年度	40.7	39.2	79.8	△ 6.6
令和2年度	26.0	46.2	72.3	△ 7.6

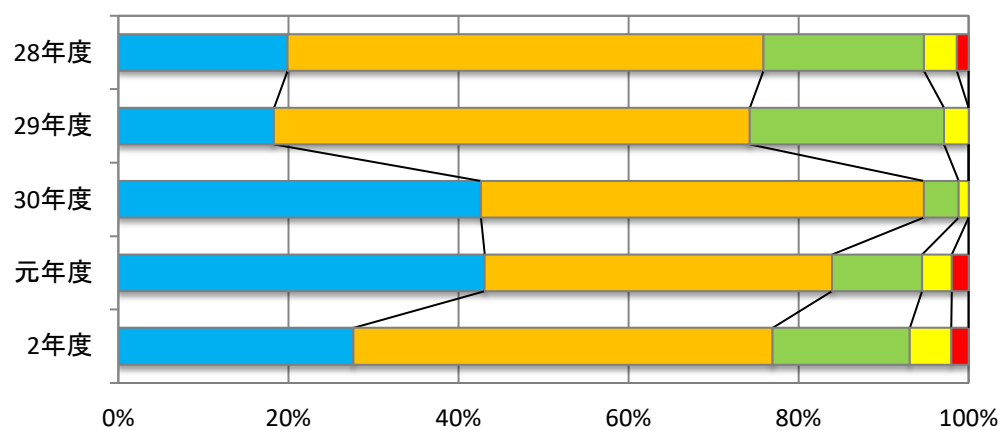
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



(%)

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	16.6	51.6	68.2	—
平成29年度	14.4	48.9	63.3	△ 4.9
平成30年度	37.6	49.7	87.3	+24.0
令和元年度	40.9	38.6	79.4	△ 7.9
令和2年度	26.7	46.3	73.0	△ 6.4

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。



(%)

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	19.9	55.9	75.8	—
平成29年度	18.3	55.9	74.2	△ 1.6
平成30年度	40.5	49.5	90.0	+15.8
令和元年度	43.1	40.8	83.9	△ 6.1
令和2年度	27.6	49.3	76.9	△ 7.0

◆ 年度別 自由記述集計結果

【平成28～30年度は令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】

高度実践看護コース

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(59.3%)	169	(59.2%)	184	(75.5%)	123	(61.0%)	105	(49.3%)	132
授業に対する要望等	(40.7%)	116	(40.8%)	127	(24.5%)	40	(39.0%)	67	(50.7%)	136
計	(100.0%)	285	(100.0%)	311	(100.0%)	163	(100.0%)	172	(100.0%)	268

高度実践助産コース

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(42.1%)	16	(42.0%)	21	(48.6%)	18	(64.9%)	24	(61.8%)	55
授業に対する要望等	(57.9%)	22	(58.0%)	29	(51.4%)	19	(35.1%)	13	(38.2%)	34
計	(100.0%)	38	(100.0%)	50	(100.0%)	37	(100.0%)	37	(100.0%)	89

高度実践公衆衛生看護コース

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	-	-	-	-	-	-	(83.3%)	10	(0.0%)	0
授業に対する要望等	-	-	-	-	-	-	(16.7%)	2	(0.0%)	0
計	-	-	-	-	-	-	(100.0%)	12	(0.0%)	0

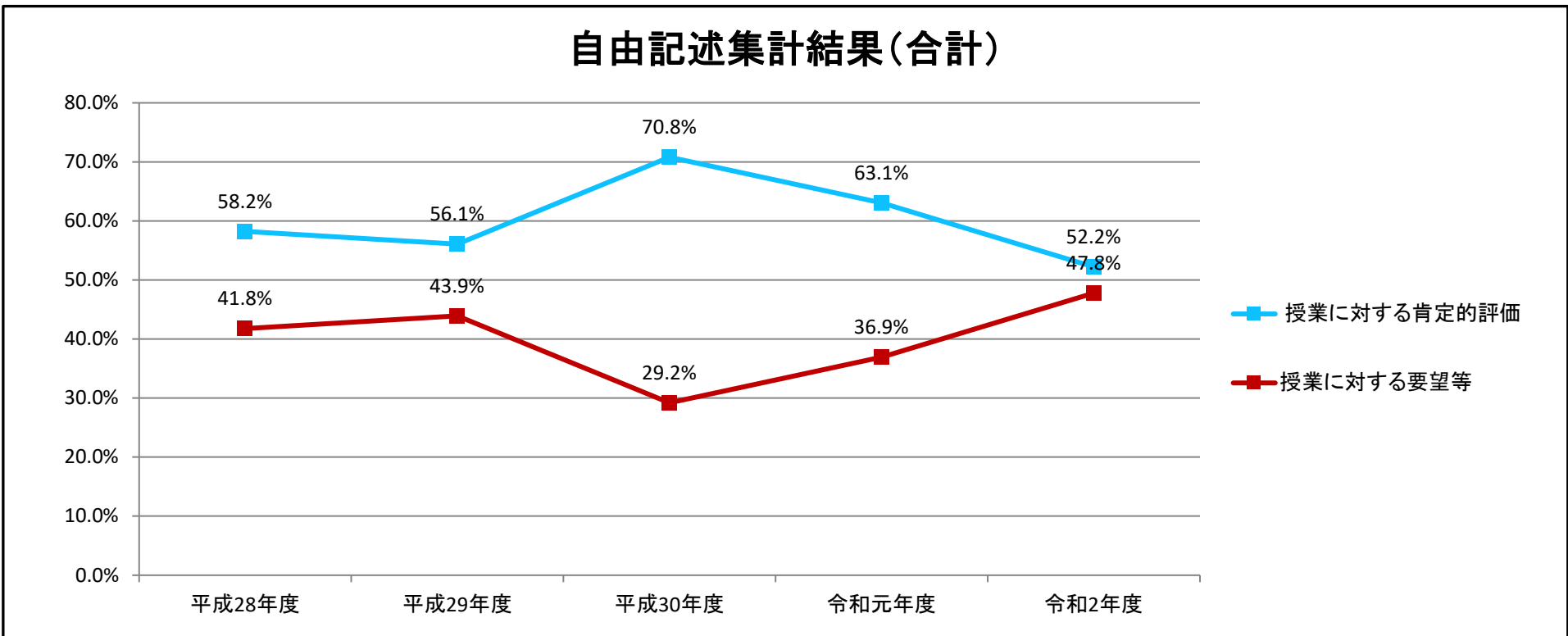
看護科学コース

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(69.2%)	18	(38.5%)	5	(77.8%)	7	(100.0%)	1	(40.0%)	2
授業に対する要望等	(30.8%)	8	(61.5%)	8	(22.2%)	2	(0.0%)	0	(60.0%)	3
計	(100.0%)	26	(100.0%)	13	(100.0%)	9	(100.0%)	1	(100.0%)	5

4コースの合計

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
授業に対する肯定的評価	(58.2%)	203	(56.1%)	210	(70.8%)	148	(63.1%)	140	(52.2%)	189
授業に対する要望等	(41.8%)	146	(43.9%)	164	(29.2%)	61	(36.9%)	82	(47.8%)	173
合計	(100.0%)	349	(100.0%)	374	(100.0%)	209	(100.0%)	222	(100.0%)	362

※（ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容（令和２年度）

高度実践看護コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	132	非常に今後役に立つ内容だったと思います。
		内容が難しかったのですが、優しく丁寧にわかりやすく解説してくださったので、諦めず理解しようと思えました。
		zoomの機能を駆使し双方向の講義を行えるよう先生方が取り組んでくださった。
授業に対する 要望等	136	もっと学生同士でディスカッション出来たらよかった。
		NPとして働いている方の話をもっと聞きたかった。
		録画ではなくオンタイムのオンライン授業や対面授業を受けたかった。
計	268	

高度実践助産コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	55	重要であるところを重点的に教えていただき実習でも役に立った。
		助産所実習の前に助産所へ見学に行けたことがよかった。
		高度実践看護コースとの合同授業では、臨床経験のある学生の発表がためになることが多かった。
授業に対する 要望等	34	オンデマンドのみの授業はわかりにくかった。
		講義や演習など、時間内に終わらないことがある。
計	89	

高度実践公衆衛生看護コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	0	—
授業に対する 要望等	0	—
計	0	

看護科学コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	2	知見や考え方をさらに深めることができた。
授業に対する 要望等	3	質的研究手法と文献検索についてのコマ数がもう少しあるとよかった。
計	5	

令和2年度 授業評価集計結果

**東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践看護コース**

○全科目数 22科目
○調査対象者数 443人（延人数）
○総回答数 389枚（回答率87.8%）

◆ **質問項目別集計結果** 【上段（ ）は令和元年度集計結果】 (％)

質 問 項 目		非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(30.4)	(61.4)	(7.0)	(1.2)	(0.0)	(100.0)
		38.1	44.6	13.4	2.3	1.5	100.0
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。		(16.1)	(62.0)	(19.3)	(2.6)	(0.0)	(100.0)
		22.4	51.7	19.5	4.4	2.1	100.0
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(23.2)	(52.8)	(21.7)	(2.3)	(0.0)	(100.0)
		32.6	40.9	21.1	4.4	1.0	100.0
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(50.0)	(42.4)	(5.3)	(1.8)	(1.6)	(100.0)
		47.6	36.2	11.1	3.3	1.8	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(21.7)	(54.3)	(18.8)	(3.8)	(1.5)	(100.0)
		24.7	40.9	25.7	4.9	3.9	100.0
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(20.5)	(53.5)	(20.8)	(4.1)	(1.2)	(100.0)
		21.1	47.6	23.1	5.1	3.1	100.0
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(19.6)	(49.3)	(25.8)	(4.4)	(0.9)	(100.0)
		21.8	45.9	22.8	6.5	3.1	100.0
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(25.2)	(55.4)	(15.5)	(3.2)	(0.6)	(100.0)
		23.4	51.7	16.5	5.7	2.8	100.0
全質問項目の平均	令和元年度	(25.8)	(53.9)	(16.8)	(2.9)	(0.6)	(100.0)
	令和2年度	29.0	44.9	19.1	4.6	2.4	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践看護コース

◆ 年度別 授業評価集計結果

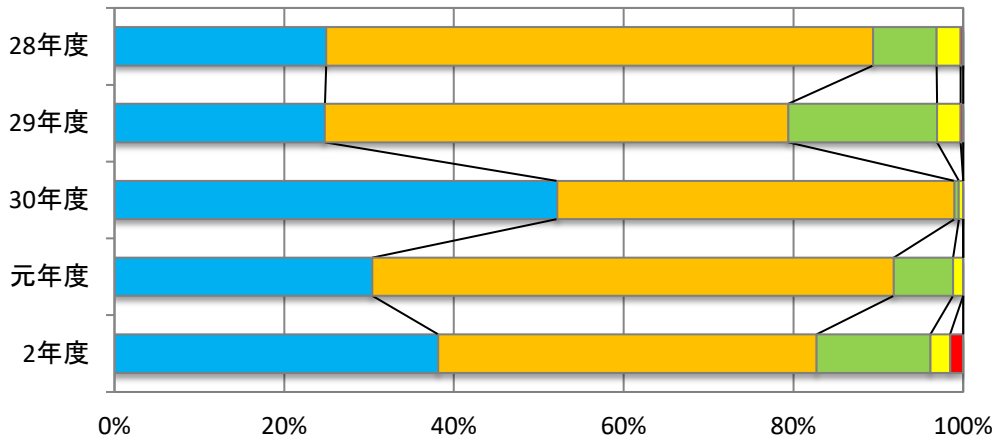
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	21科目	22科目	20科目	21科目	22科目
調査対象者数（延人数）	362人	371人	233人	372人	443人
総回答数（回答率）	349枚（96.4%）	326枚（87.9%）	210枚（90.1%）	342枚（91.9%）	389枚（87.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

非常に そう思う そう思う どちらとも いえない そう思わない 全くそう 思わない

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

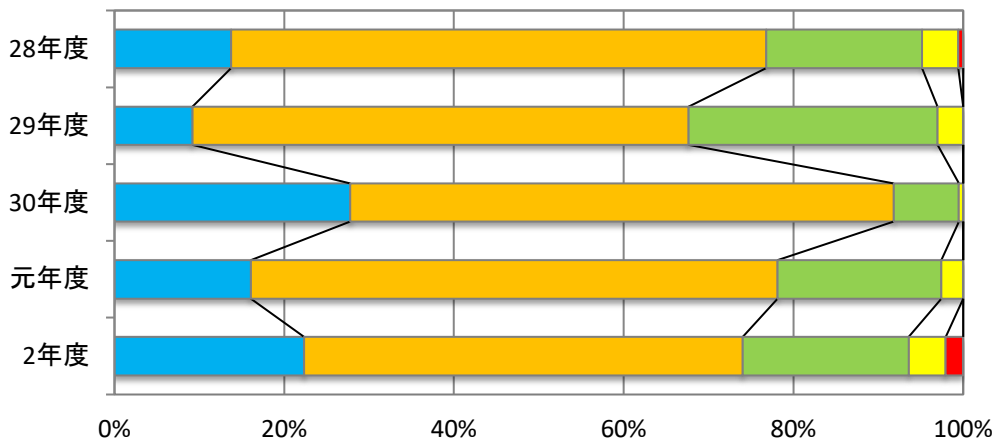
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	24.9	64.5	89.4	—
平成29年度	24.8	54.6	79.4	△ 10.0
平成30年度	52.2	46.9	99.1	+19.7
令和元年度	30.4	61.4	91.8	△ 7.3
令和2年度	38.1	44.6	82.7	△ 9.1

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

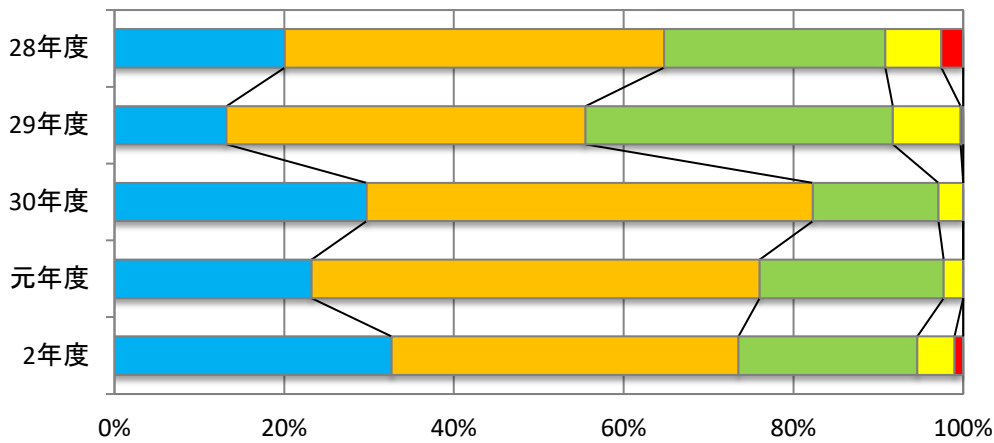
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	13.8	63.0	76.8	—
平成29年度	9.5	60.5	70.0	△ 6.8
平成30年度	27.8	64.1	91.9	+21.9
令和元年度	16.1	62.0	78.1	△ 13.8
令和2年度	22.4	51.7	74.0	△ 4.1

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

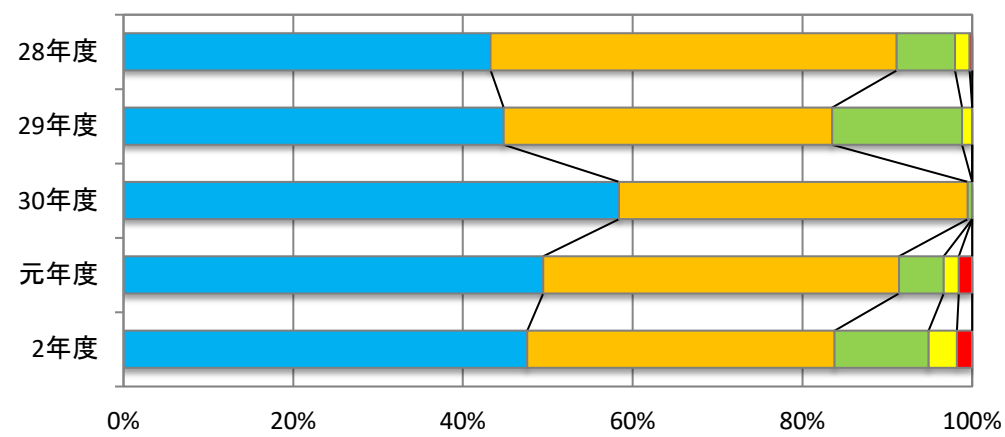
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	20.1	44.7	64.8	—
平成29年度	13.2	42.3	55.5	△ 9.3
平成30年度	29.7	52.6	82.3	+26.8
令和元年度	23.2	52.8	76.0	△ 6.3
令和2年度	32.6	40.9	73.5	△ 2.5

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

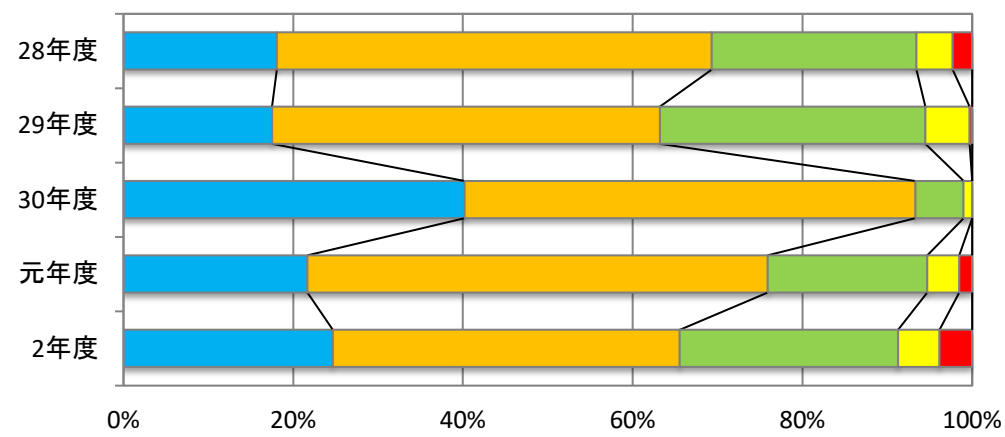
(%)



	非常に 思う	そう 思う	計	対前年度
平成28年度	43.3	47.9	91.2	—
平成29年度	44.8	38.7	83.5	△ 7.7
平成30年度	58.4	41.1	99.5	+16.0
令和元年度	50.0	42.4	92.4	△ 7.1
令和2年度	47.6	36.2	83.8	△ 8.6

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

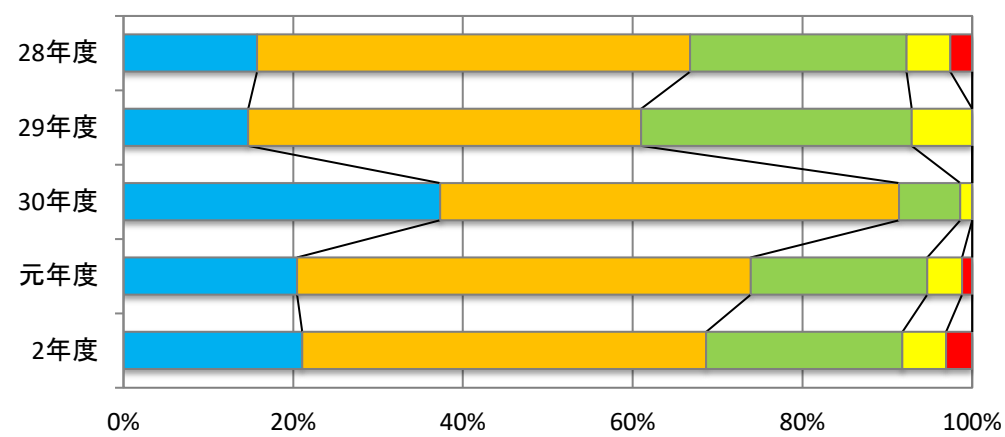
(%)



	非常に 思う	そう 思う	計	対前年度
平成28年度	18.1	51.3	69.4	—
平成29年度	17.5	45.7	63.2	△ 6.2
平成30年度	40.2	53.1	93.3	+30.1
令和元年度	21.7	54.3	76.0	△ 17.3
令和2年度	24.7	40.9	65.6	△ 10.4

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

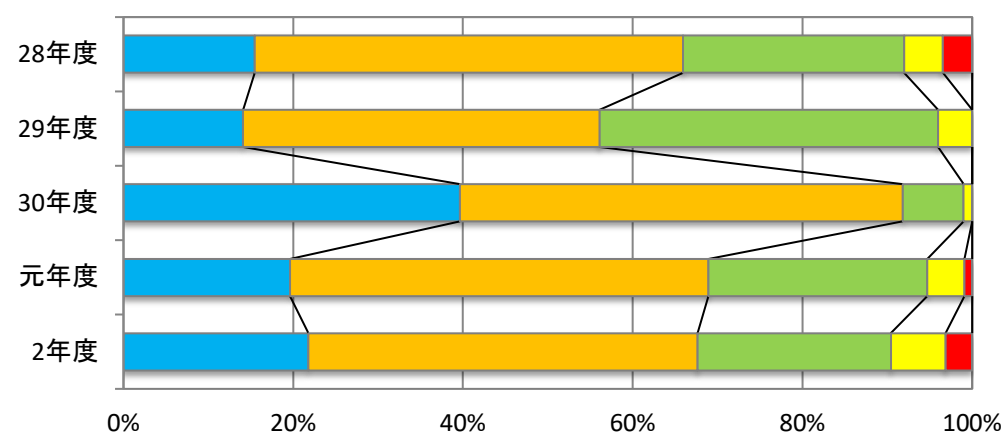
(%)



	非常に 思う	そう 思う	計	対前年度
平成28年度	15.8	51.0	66.8	—
平成29年度	14.7	46.3	61.0	△ 5.8
平成30年度	37.3	54.1	91.4	+30.4
令和元年度	20.5	53.5	74.0	△ 17.4
令和2年度	21.1	47.6	68.6	△ 5.4

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

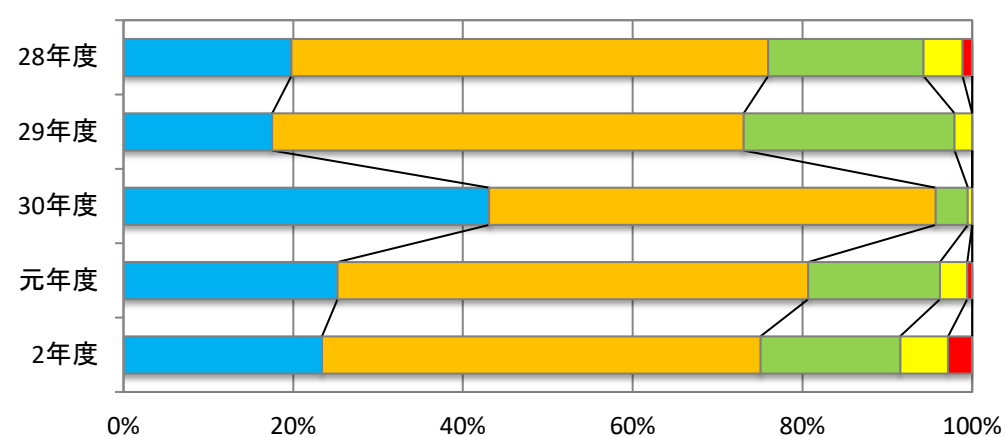
(%)



	非常に 思う	そう 思う	計	対前年度
平成28年度	15.5	50.4	65.9	—
平成29年度	14.1	42.0	56.1	△ 9.8
平成30年度	39.7	52.2	91.9	+35.8
令和元年度	19.6	49.3	68.9	△ 23.0
令和2年度	21.8	45.9	67.6	△ 1.3

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。

(%)



	非常に 思う	そう 思う	計	対前年度
平成28年度	19.8	56.2	76.0	—
平成29年度	19.8	56.2	76.0	+0.0
平成30年度	17.5	55.5	73.0	△ 3.0
令和元年度	25.2	55.4	80.6	+7.6
令和2年度	23.4	51.7	75.1	△ 5.5

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践助産コース

○全科目数 32科目 ○調査対象者数 204人（延人数）
○総回答数 200枚（回答率98.0%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は令和元年度集計結果】 （%）

質 問 項 目		非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(62.5)	(34.0)	(3.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		47.0	48.0	3.5	1.5	0.0	100.0
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。		(52.0)	(42.0)	(5.0)	(1.0)	(0.0)	(100.0)
		38.0	46.0	13.0	3.0	0.0	100.0
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(49.5)	(38.0)	(12.0)	(0.5)	(0.0)	(100.0)
		44.2	39.2	15.6	1.0	0.0	100.0
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(64.0)	(33.0)	(3.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		48.2	35.7	11.6	4.5	0.0	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(61.0)	(34.0)	(3.5)	(0.5)	(1.0)	(100.0)
		35.2	36.2	21.6	5.5	1.5	100.0
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(62.0)	(33.0)	(4.0)	(0.0)	(1.0)	(100.0)
		36.2	36.2	18.1	6.5	3.0	100.0
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(60.5)	(34.5)	(4.0)	(0.0)	(1.0)	(100.0)
		37.1	39.6	17.8	4.6	1.0	100.0
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(64.5)	(31.0)	(3.0)	(0.5)	(1.0)	(100.0)
		36.9	37.9	19.7	4.5	1.0	100.0
全質問項目の平均	令和元年度	(59.5)	(34.9)	(4.8)	(0.3)	(0.5)	(100.0)
	令和2年度	40.3	39.8	15.1	3.9	0.8	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践助産コース

◆ 年度別 授業評価集計結果

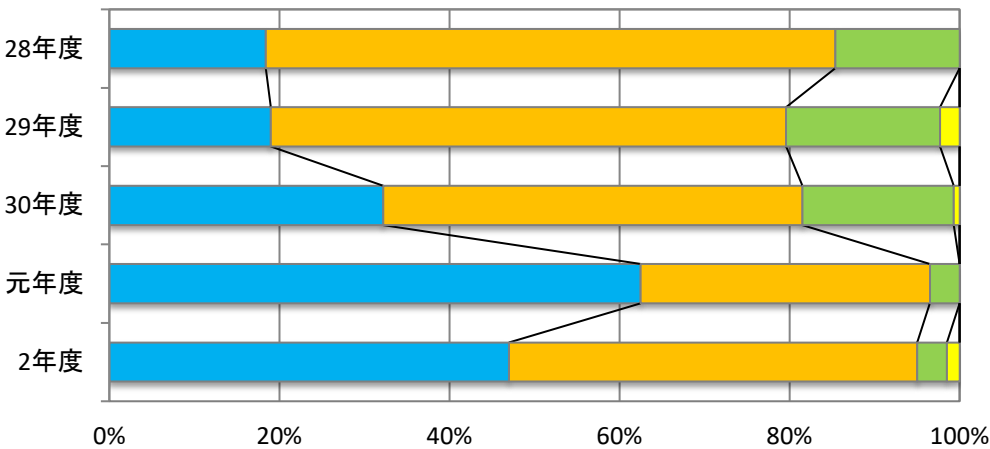
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	31科目	30科目	28科目	31科目	32科目
調査対象者数（延人数）	221人	242人	210人	225人	204人
総回答数（回答率）	185枚（83.7%）	217枚（89.7%）	152枚（72.4%）	200枚（88.9%）	200枚（98.0%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

 非常に そう思う	 そう思う	 どちらとも いえない	 そう思わない	 全くそう 思わない
--	---	---	---	---

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

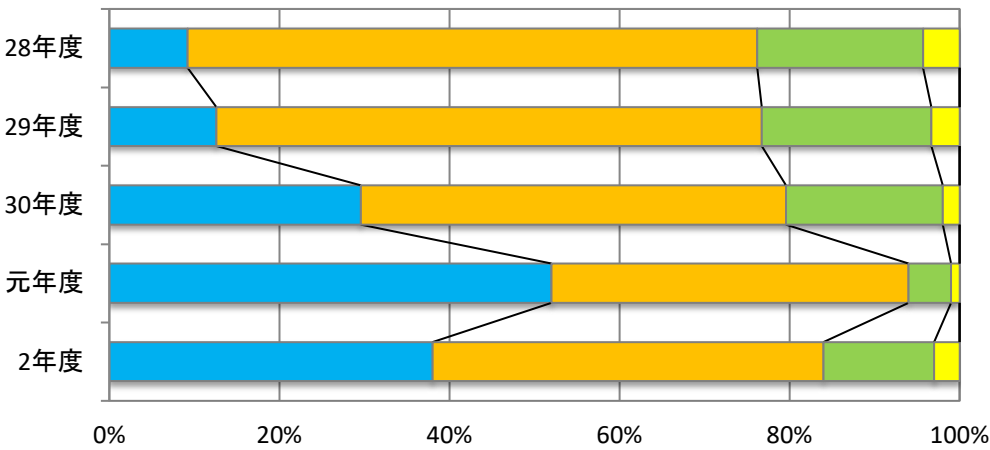
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	18.4	67.0	85.4	—
平成29年度	19.0	60.6	79.6	△ 5.8
平成30年度	32.2	49.3	81.5	+1.9
令和元年度	62.5	34.0	96.5	+15.0
令和2年度	47.0	48.0	95.0	△ 1.5

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

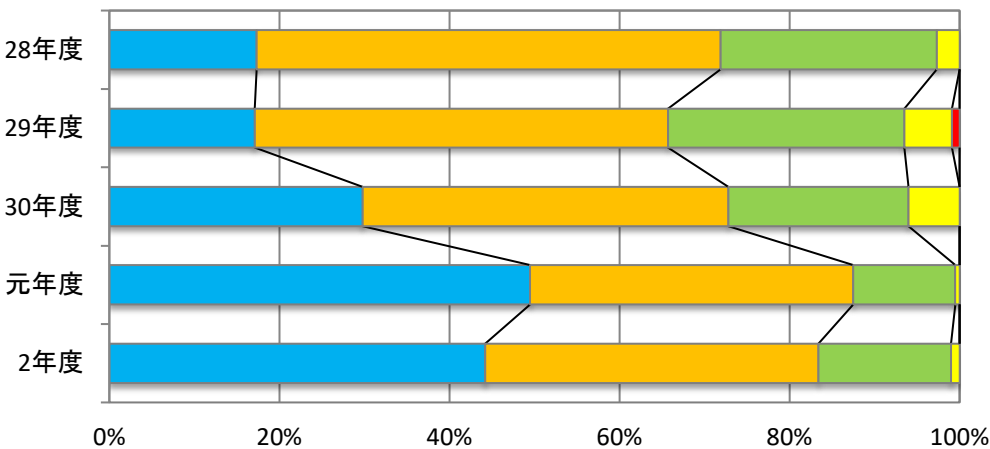
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	9.2	67.0	76.2	—
平成29年度	12.6	64.2	76.8	+0.6
平成30年度	29.6	50.0	79.6	+2.8
令和元年度	52.0	42.0	94.0	+14.4
令和2年度	38.0	46.0	84.0	△ 10.0

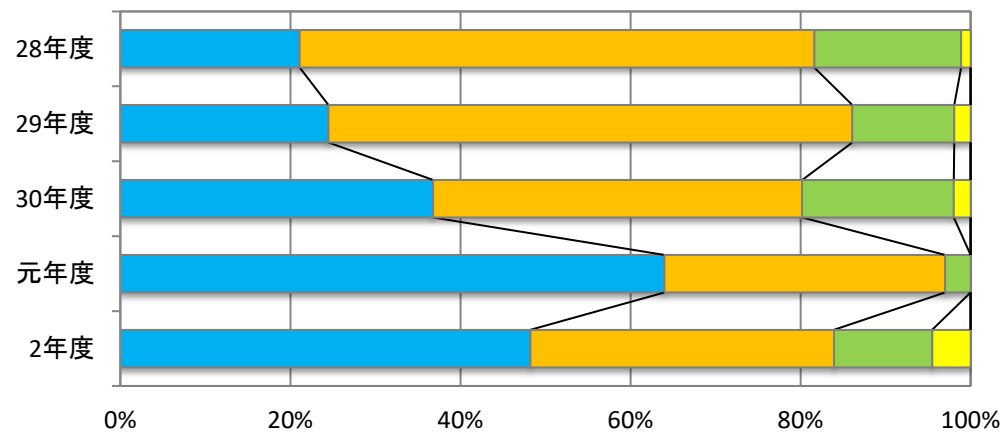
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

(%)



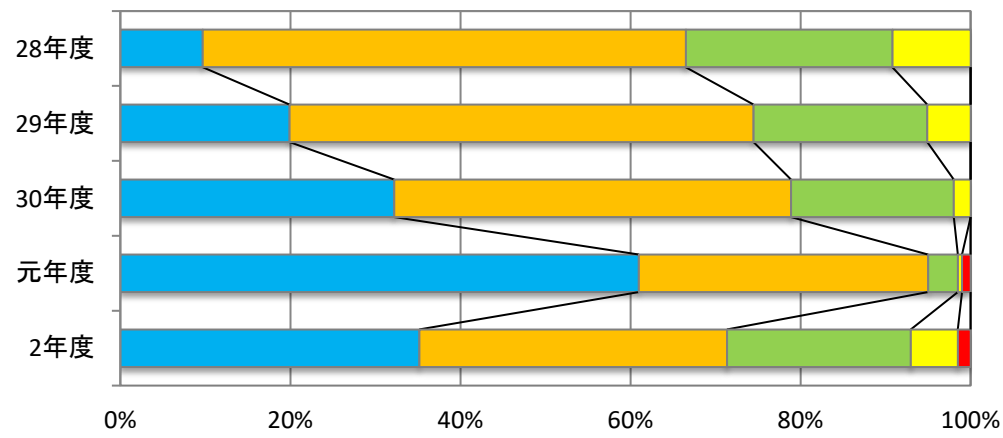
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	17.3	54.6	71.9	—
平成29年度	17.1	48.6	65.7	△ 6.2
平成30年度	29.8	43.0	72.8	+7.1
令和元年度	49.5	38.0	87.5	+14.7
令和2年度	44.2	39.2	83.4	△ 4.1

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



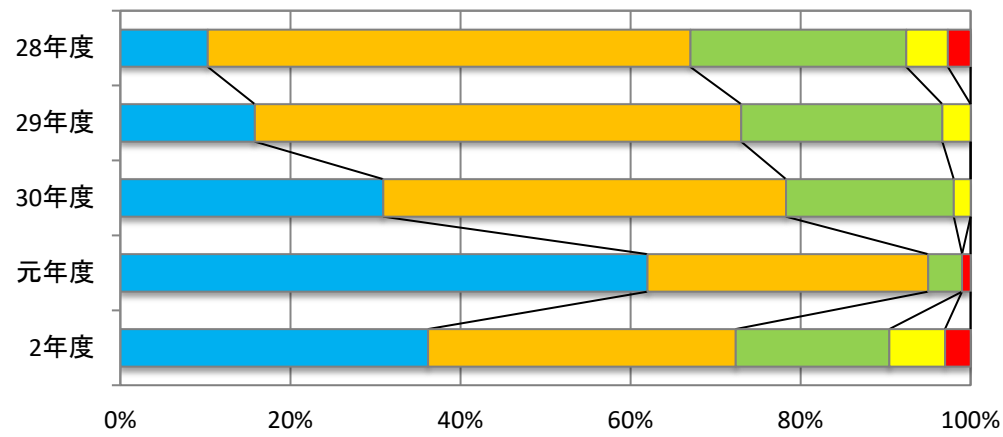
	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	21.1	60.5	81.6	—
平成29年度	24.5	61.6	86.1	+4.5
平成30年度	36.8	43.4	80.2	△ 5.9
令和元年度	64.0	33.0	97.0	+16.8
令和2年度	48.2	35.7	83.9	△ 13.1

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



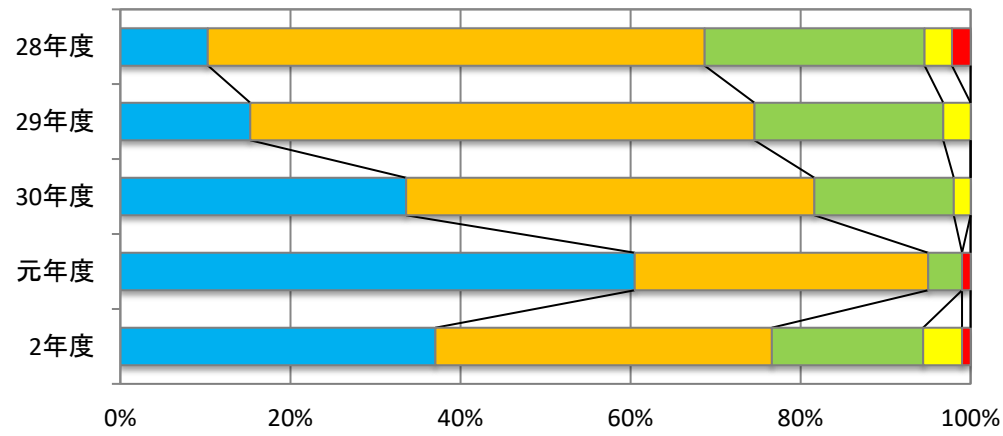
	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	9.7	56.8	66.5	—
平成29年度	19.9	54.6	74.5	+8.0
平成30年度	32.2	46.7	78.9	+4.4
令和元年度	61.0	34.0	95.0	+16.1
令和2年度	35.2	36.2	71.4	△ 23.6

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



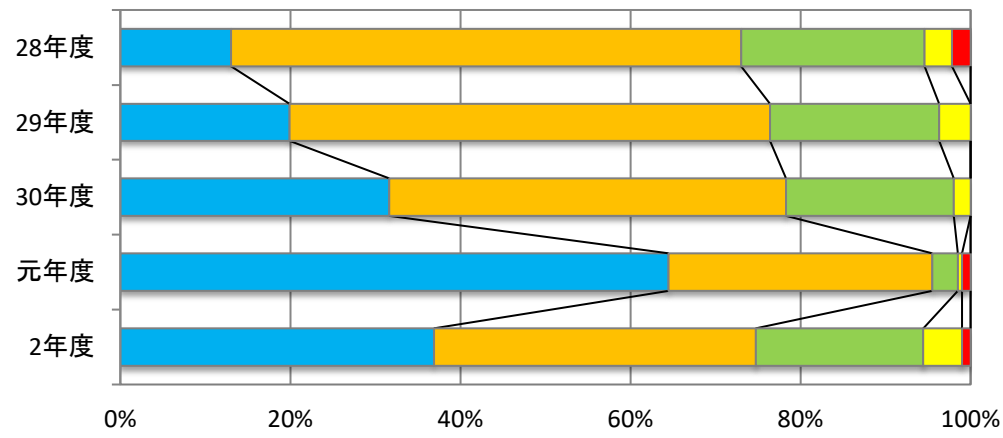
	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	10.3	56.8	67.1	—
平成29年度	15.8	57.2	73.0	+5.9
平成30年度	30.9	47.4	78.3	+5.3
令和元年度	62.0	33.0	95.0	+16.7
令和2年度	36.2	36.2	72.4	△ 22.6

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	10.3	58.4	68.7	—
平成29年度	15.3	59.3	74.6	+5.9
平成30年度	33.6	48.0	81.6	+7.0
令和元年度	60.5	34.5	95.0	+13.4
令和2年度	37.1	39.6	76.6	△ 18.4

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。



	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	13.0	60.0	73.0	—
平成29年度	19.9	56.5	76.4	+3.4
平成30年度	31.6	46.7	78.3	+1.9
令和元年度	64.5	31.0	95.5	+17.2
令和2年度	36.9	37.9	74.7	△ 20.8

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践公衆衛生看護コース

※令和元年度設置

○全科目数 36科目

○調査対象者数 40人（延人数）

○総回答数 40枚（回答率100.0%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は令和元年度集計結果】 (％)

質 問 項 目		非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		15.4	84.6	0.0	0.0	0.0	100.0
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。		(86.7)	(13.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		10.0	90.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(90.0)	(10.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		10.0	90.0	0.0	0.0	0.0	100.0
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(96.7)	(3.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		15.0	85.0	0.0	0.0	0.0	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(96.7)	(1.7)	(1.7)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		15.0	85.0	0.0	0.0	0.0	100.0
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(93.3)	(5.0)	(1.7)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		15.0	85.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(95.0)	(5.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		15.0	85.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(96.7)	(3.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		15.0	85.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全質問項目の平均	令和元年度	(94.4)	(5.2)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	令和2年度	13.8	86.2	0.0	0.0	0.0	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践公衆衛生看護コース
※令和元年度設置

◆ 年度別 授業評価集計結果

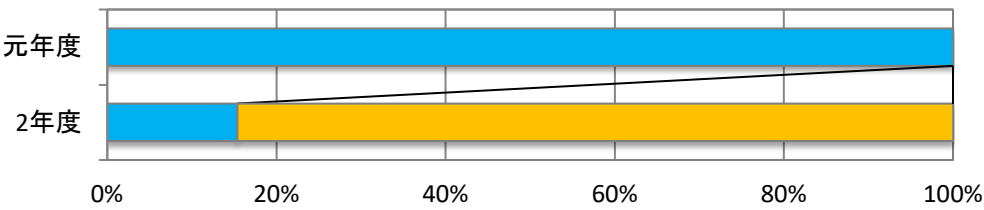
	令和元年度	令和2年度
全科目数	30科目	36科目
調査対象者数（延人数）	60人	40人
総回答数（回答率）	60枚（100.0%）	40枚（100%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

非常に そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	全くそう 思わない
-------------------------	------------------	---------------------------	--------------------	--------------------------

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

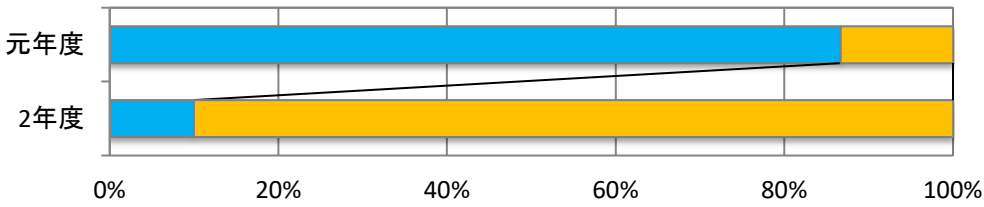
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	100.0	0.0	100.0	—
令和2年度	15.4	84.6	100.0	+0.0

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

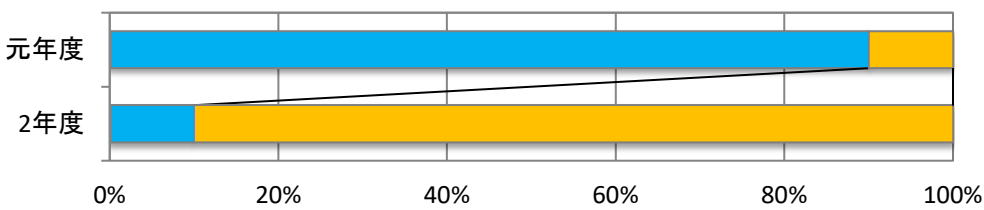
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	86.7	13.3	100.0	—
令和2年度	10.0	90.0	100.0	+0.0

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

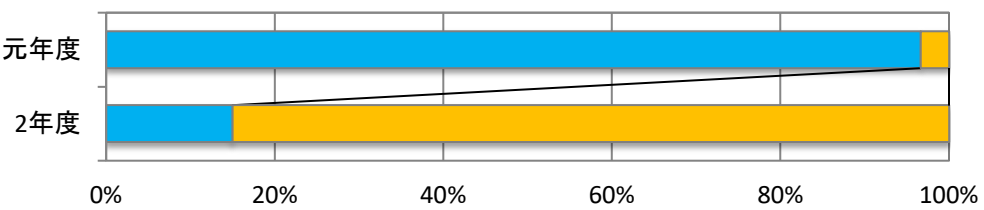
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	90.0	10.0	100.0	—
令和2年度	10.0	90.0	100.0	+0.0

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

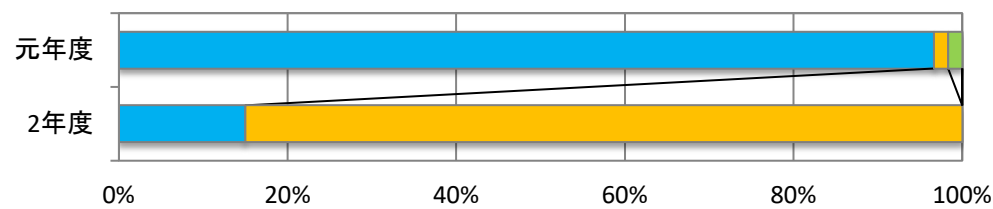
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	3.3	100.0	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+0.0

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

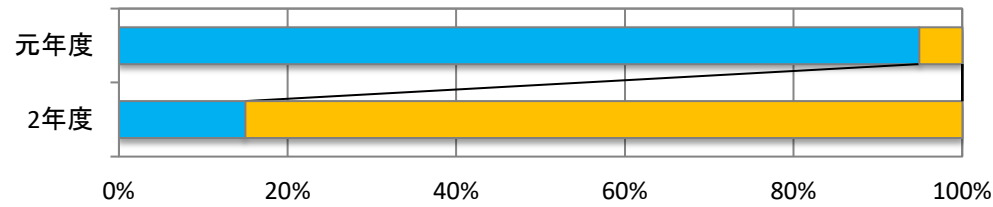
(%)



	非常に 思う	思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	1.7	98.3	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+1.7

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

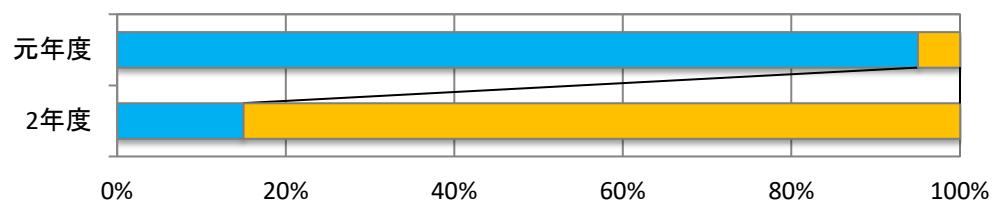
(%)



	非常に 思う	思う	計	対前年度
令和元年度	93.3	5.0	98.3	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+1.7

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

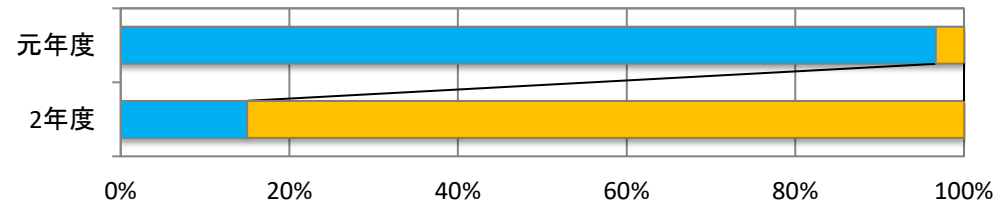
(%)



	非常に 思う	思う	計	対前年度
令和元年度	95.0	5.0	100.0	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+0.0

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。

(%)



	非常に 思う	思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	3.3	100.0	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+0.0

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
看護科学コース

○全科目数 10科目

○調査対象者数 10人（延人数）

○総回答数 10枚（回答率100.0%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は令和元年度集計結果】 (％)

質 問 項 目		非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(40.0)	(60.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		70.0	30.0	0.0	0.0	0.0	100.0
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。		(0.0)	(80.0)	(20.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	100.0
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(10.0)	(40.0)	(40.0)	(10.0)	(0.0)	(100.0)
		40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	100.0
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(20.0)	(80.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		70.0	30.0	0.0	0.0	0.0	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(0.0)	(90.0)	(10.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		50.0	40.0	10.0	0.0	0.0	100.0
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(20.0)	(70.0)	(10.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(10.0)	(80.0)	(10.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(30.0)	(60.0)	(10.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全質問項目の平均	令和元年度	(16.3)	(70.0)	(12.5)	(1.3)	(0.0)	(100.0)
	令和２年度	53.8	40.0	6.3	0.0	0.0	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
看護科学コース

◆ 年度別 授業評価集計結果

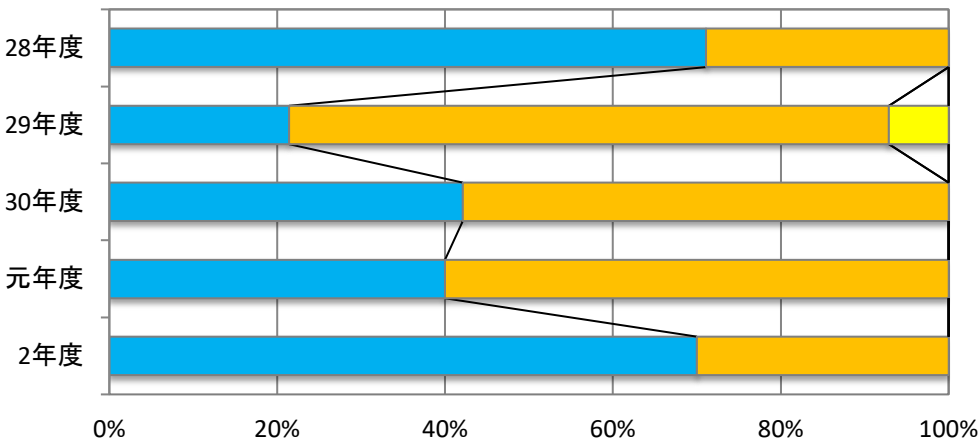
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全科目数	14科目	7科目	16科目	9科目	10科目
調査対象者数（延人数）	38人	19人	19人	10人	10人
総回答数（回答率）	38枚（100.0%）	14枚（73.7%）	14枚（73.7%）	10枚（100.0%）	10枚（100.0%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

非常に そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	全くそう 思わない
-------------------------	-----------------	---------------------------	-------------------	--------------------------

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

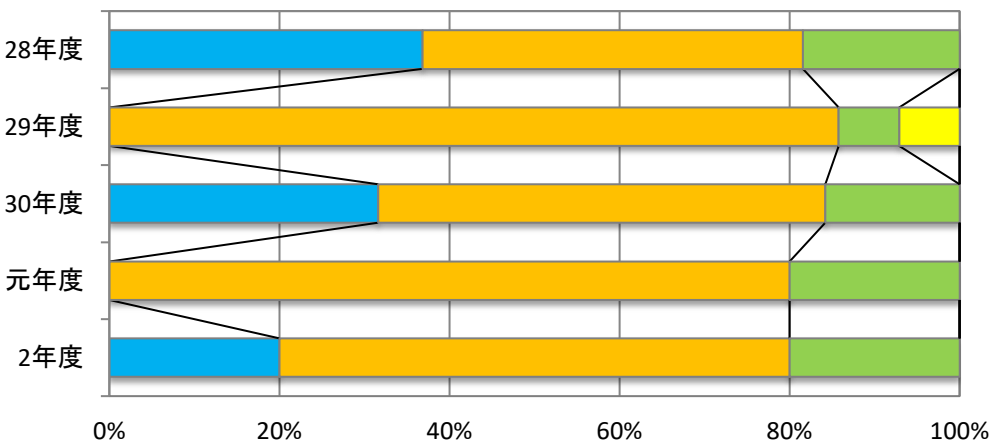
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	71.1	28.9	100.0	—
平成29年度	21.4	71.4	92.8	△ 7.2
平成30年度	42.1	57.9	100.0	+7.2
令和元年度	40.0	60.0	100.0	+0.0
令和2年度	70.0	30.0	100.0	+0.0

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

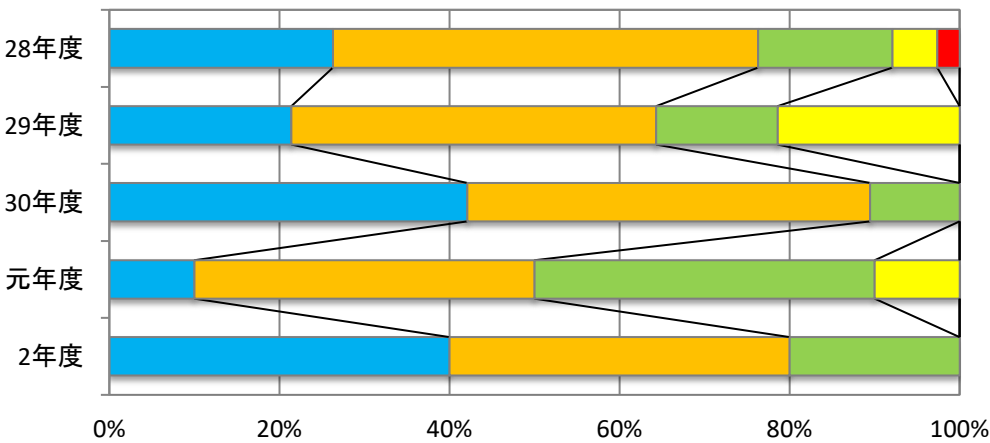
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	36.8	44.7	81.6	—
平成29年度	0.0	85.7	85.7	+4.1
平成30年度	31.6	52.6	84.2	△ 1.5
令和元年度	0.0	80.0	80.0	△ 4.2
令和2年度	20.0	60.0	80.0	+0.0

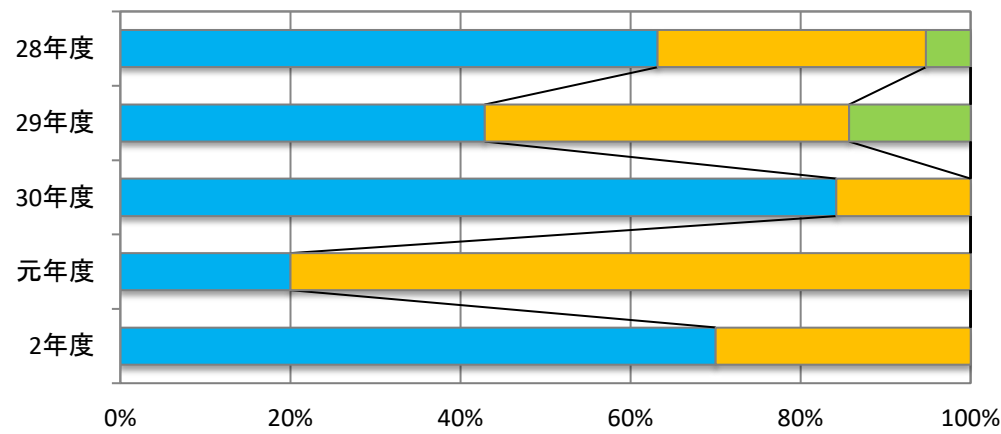
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

(%)



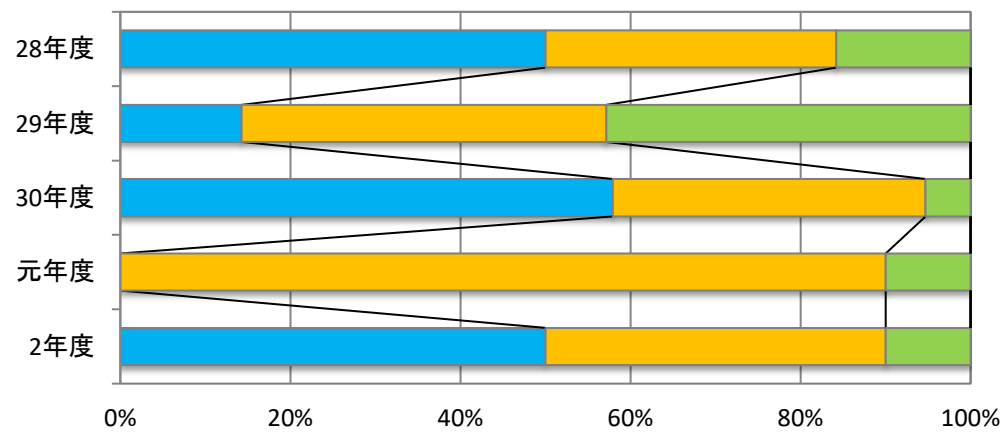
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	26.3	50.0	76.3	—
平成29年度	21.4	42.9	64.3	△ 12.0
平成30年度	42.1	47.4	89.5	+25.2
令和元年度	10.0	40.0	50.0	△ 39.5
令和2年度	40.0	40.0	80.0	+30.0

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



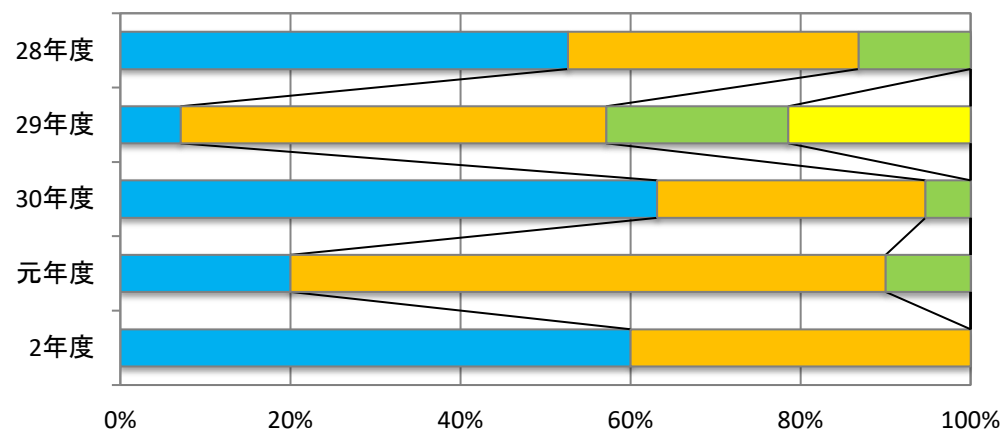
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	63.2	31.6	94.7	—
平成29年度	42.9	42.9	85.8	△ 8.9
平成30年度	84.2	15.8	100.0	+14.2
令和元年度	20.0	80.0	100.0	+0.0
令和2年度	70.0	30.0	100.0	+0.0

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



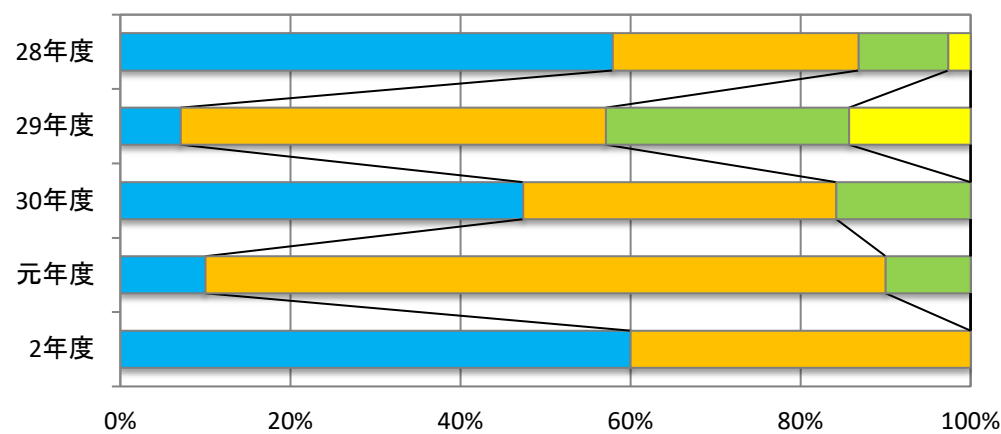
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	50.0	34.2	84.2	—
平成29年度	14.3	42.9	57.2	△ 27.0
平成30年度	57.9	36.8	94.7	+37.5
令和元年度	0.0	90.0	90.0	△ 4.7
令和2年度	50.0	40.0	90.0	+0.0

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



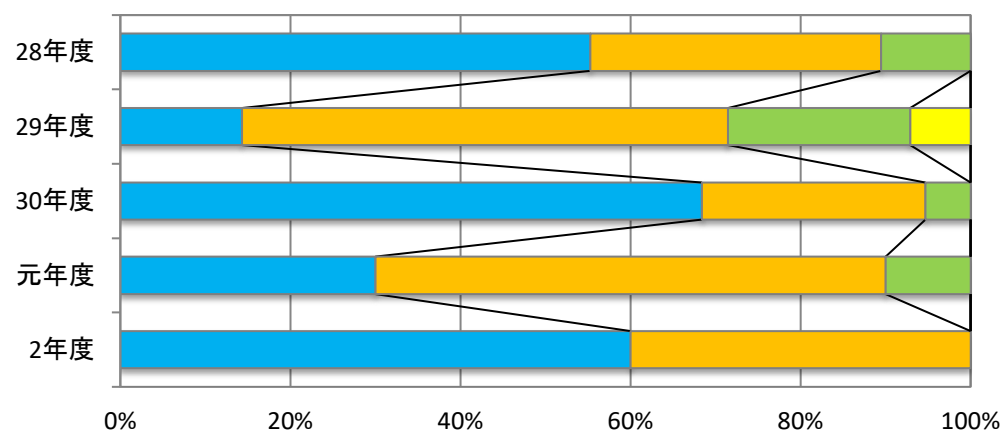
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	52.6	34.2	86.8	—
平成29年度	7.1	50.0	57.1	△ 29.7
平成30年度	63.2	31.6	94.8	+37.7
令和元年度	20.0	70.0	90.0	△ 4.8
令和2年度	60.0	40.0	100.0	+10.0

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	57.9	28.9	86.8	—
平成29年度	7.1	50.0	57.1	△ 29.7
平成30年度	47.4	36.8	84.2	+27.1
令和元年度	10.0	80.0	90.0	+5.8
令和2年度	60.0	40.0	100.0	+10.0

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成28年度	55.3	34.2	89.5	—
平成29年度	14.3	57.1	71.4	△ 18.1
平成30年度	68.4	26.3	94.7	+23.3
令和元年度	30.0	60.0	90.0	△ 4.7
令和2年度	60.0	40.0	100.0	+10.0

令和2年度 大学院和歌山看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・和歌山看護学研究科長
八島 妙子

1. 授業評価の結果について

全体評価でとして、「学びやすさ」「満足度」ともに平均 4.85、4.74 と高い評価でした。社会人である学生が問題意識をもって授業に参加し、理論的背景を学生の実践に即して意味づけできるような講義を意識して行ったことが学生の学びや満足につながったと思いました。さらに、学生同士がディスカッションすることで学びが深まったと考えます。また、仕事の都合で通学できなかったときや感染拡大地域においては、zoom での参加を選択できたために学生は授業に参加しやすい環境であったことが要因と考えます。

全科目の授業評価の回収ができていないので、今後さらにすべての科目に対して学生からより多くの意見が聞けるような工夫が必要と思いました。

2. 授業において工夫した点について

Zoom と対面での講義であったため、学生には平等に発言の機会を与え、理解を確認していくように努めました。また双方で受講している学生間のディスカッションが発展するように対面と zoom の学生の顔の見える環境を工夫して授業を進行しました。

学生自身が難しいと思わず興味がわくように、体験した事例や現象を取り上げて意味づけ、論理的な思考ができるように進めました。

難易度の高いと思われた科目については、可能な限りわかりやすく、時にはゆっくり、視覚教材にはイラストを用いるなどの工夫をしながら講義しました。

3. 今後の授業への生かし方について

学生間のディスカッションができるように集音器やワイドカメラなどの機材を導入して進められるように検討したいと思います。

4. その他

現在、入学前教育として論文の書き方や文献検索などを行っているが、さらに研究の基礎、文献の読み方についても準備教育として検討する必要があると思われました。

令和2年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 大学院 和歌山看護学研究科 修士課程

○全科目数 17科目

○調査対象者数 124人（延人数）
○総回答数 57件（回答率 46.0％）

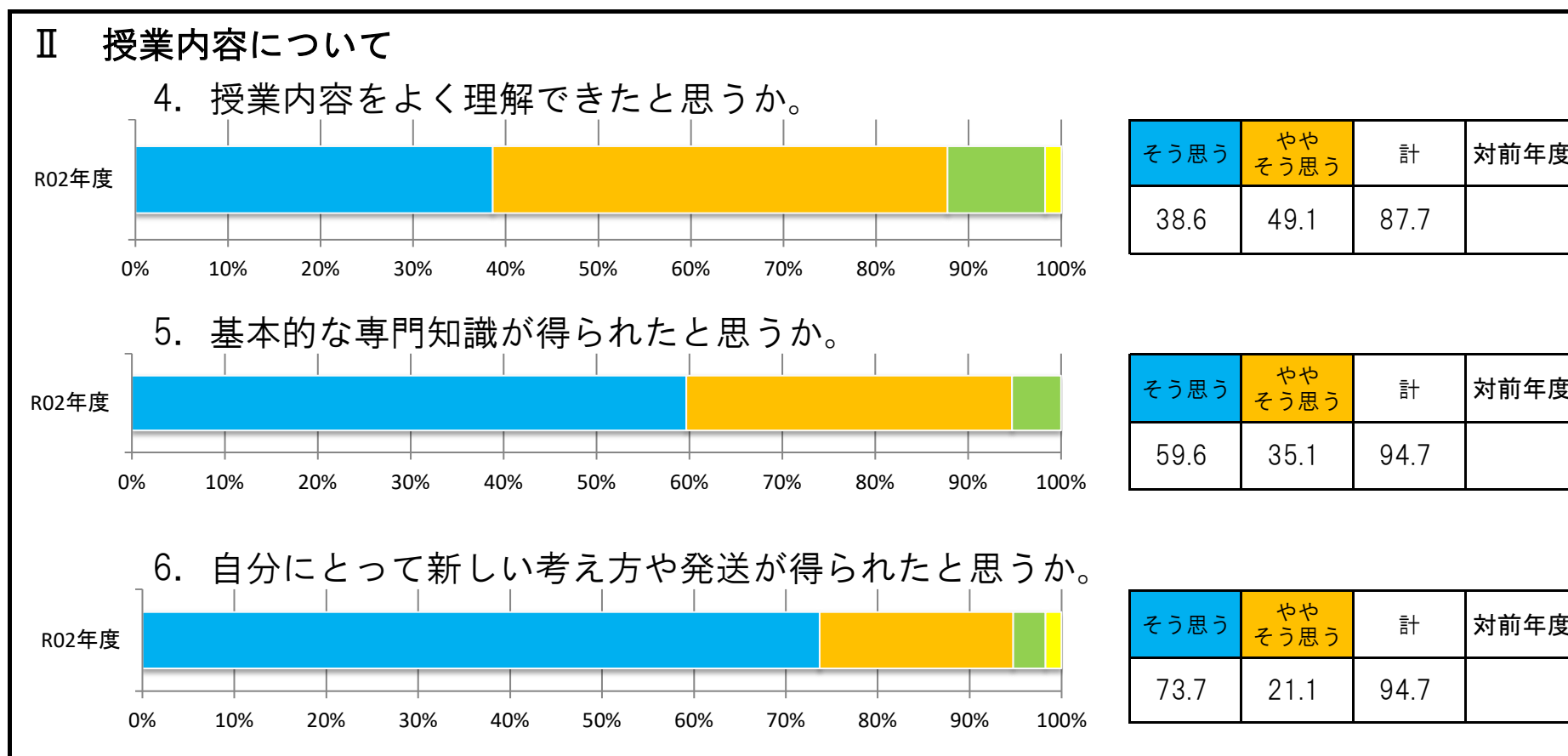
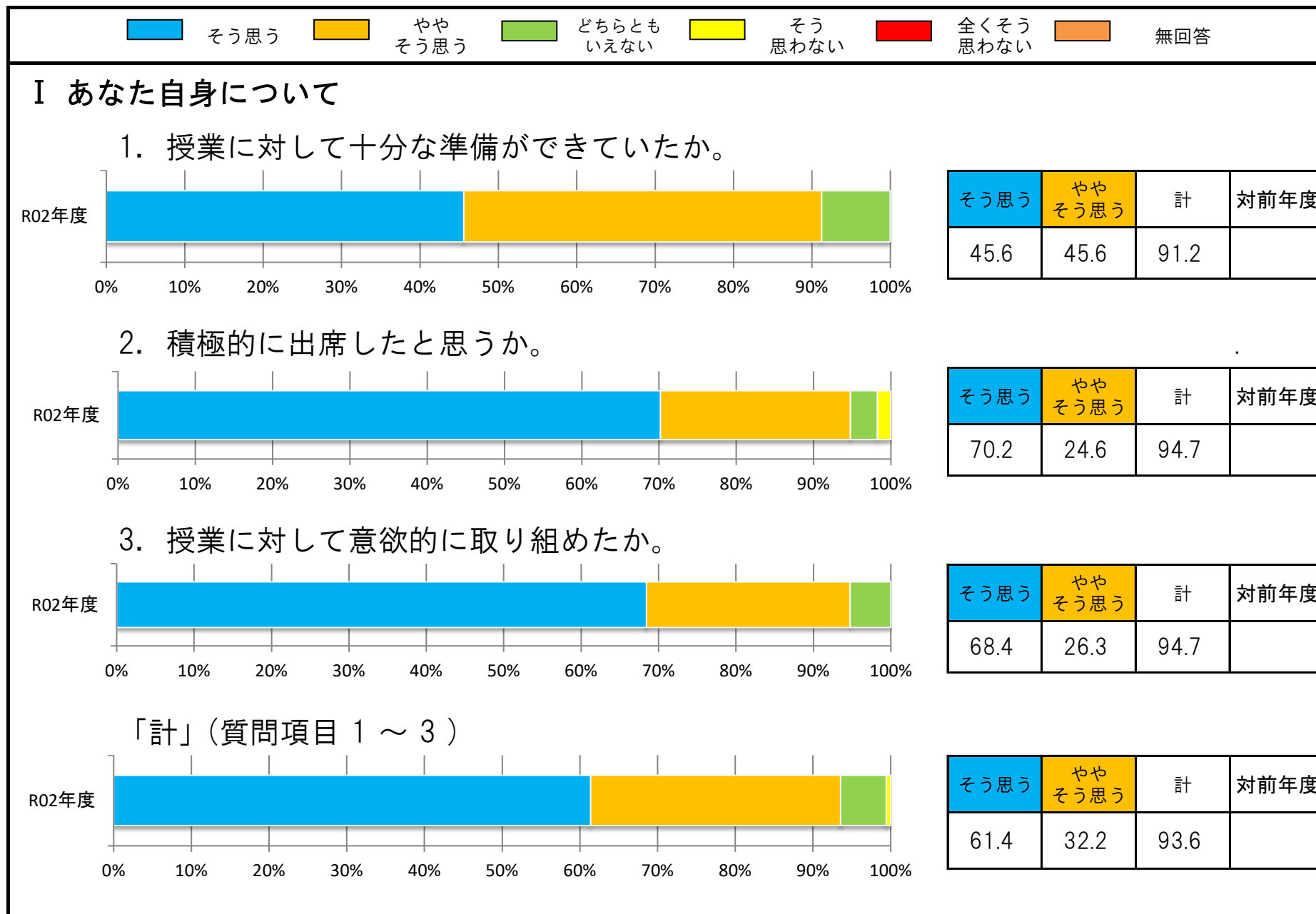
◆ 質問項目別集計結果

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	45.6	45.6	8.8	0.0	0.0	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	70.2	24.6	3.5	1.8	0.0	0.0	100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	68.4	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	100
計	61.4	32.2	5.8	0.6	0.0	0.0	100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	38.6	49.1	10.5	1.8	0.0	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	59.6	35.1	5.3	0.0	0.0	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	73.7	21.1	3.5	1.8	0.0	0.0	100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	73.7	24.6	1.8	0.0	0.0	0.0	100
計	61.4	32.5	5.3	0.9	0.0	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	71.9	22.8	5.3	0.0	0.0	0.0	100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	93.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	87.7	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	82.1	7.1	10.7	0.0	0.0	0.0	100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	96.2	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	87.7	8.8	3.5	0.0	0.0	0.0	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	89.5	8.8	1.8	0.0	0.0	0.0	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	91.2	7.0	1.8	0.0	0.0	0.0	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	80.7	14.0	3.5	1.8	0.0	0.0	100
計	86.7	10.2	2.9	0.2	0.0	0.0	100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	84.2	12.3	1.8	1.8	0.0	0.0	100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	78.9	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	100
計	81.6	14.0	3.5	0.9	0.0	0.0	100
全質問項目の平均	72.8	22.2	4.4	0.6	0.0	0.0	100

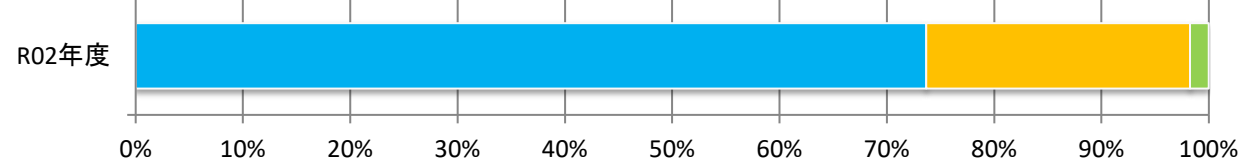
授業評価集計結果 年度別比較

	令和 2 年度		
全科目数	17科目		
調査対象者数（延人数）	124人		
総回答数（回答率）	57枚（46％）		

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

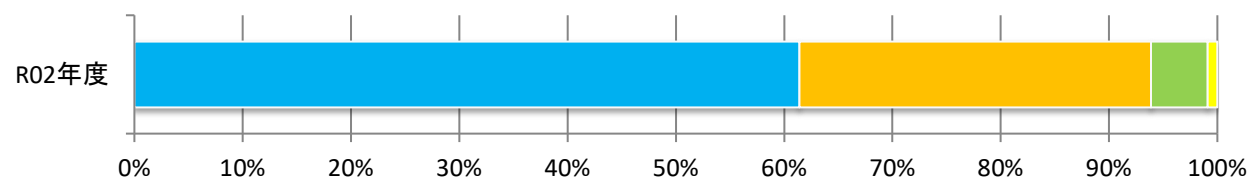


7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
73.7	24.6	98.2	

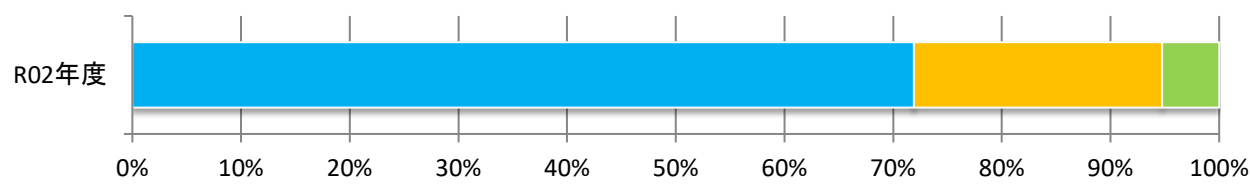
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
61.4	32.5	93.9	

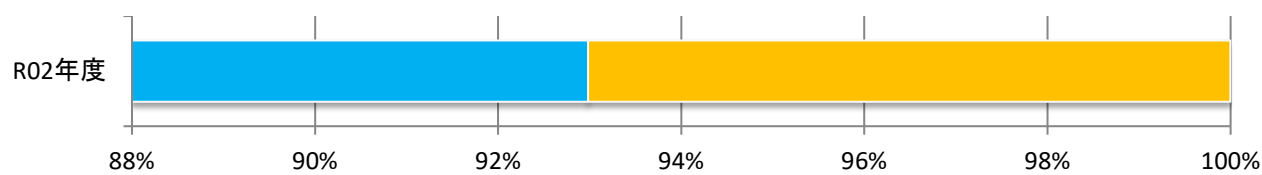
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



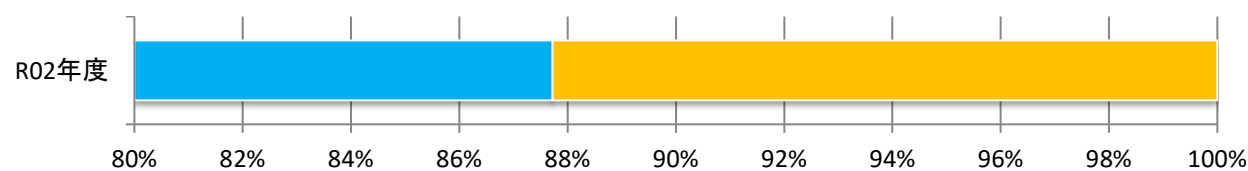
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
71.9	22.8	94.7	

9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



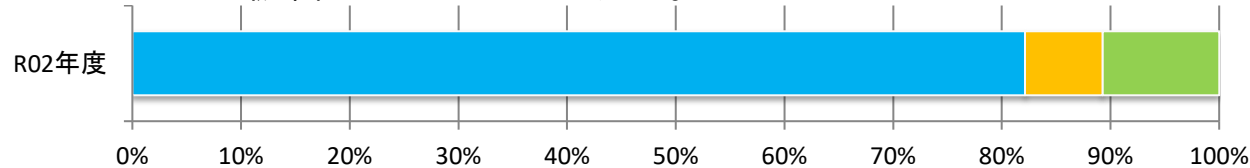
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
93.0	7.0	100.0	

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



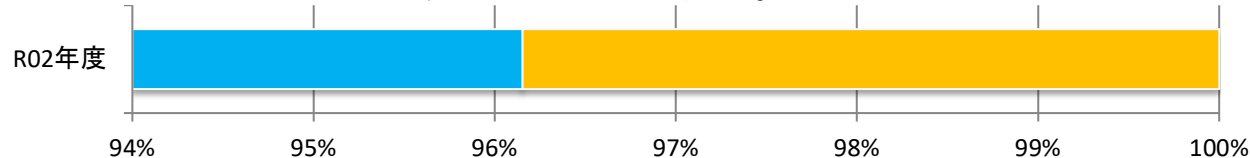
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
87.7	12.3	100.0	

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



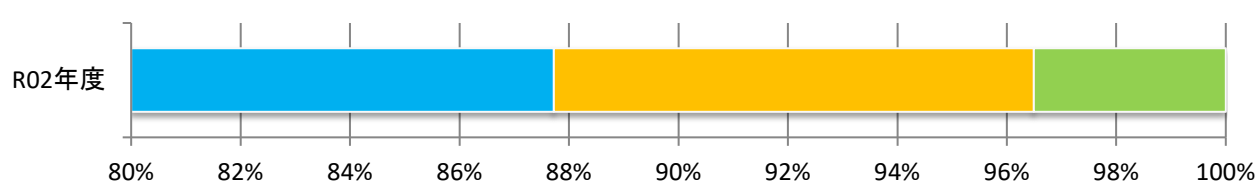
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
82.1	7.1	89.3	

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



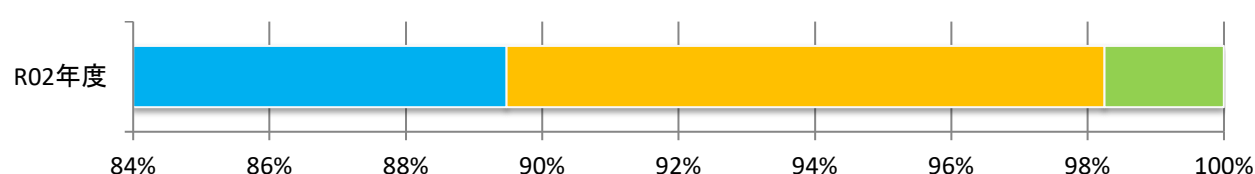
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
96.2	3.8	100.0	

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



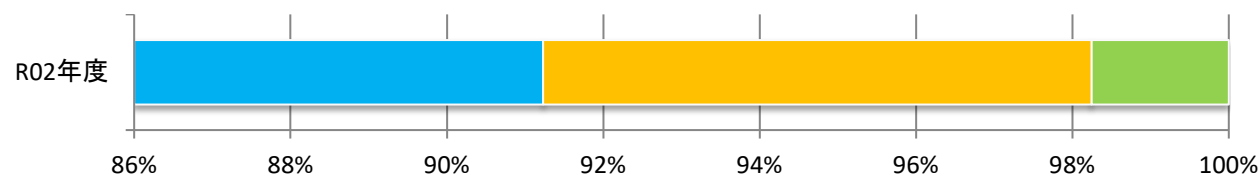
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
87.7	8.8	96.5	

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



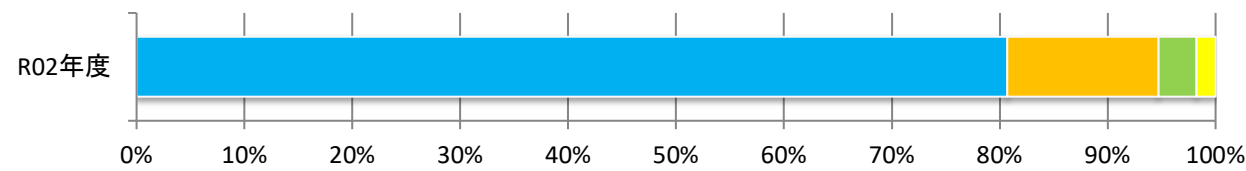
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
89.5	8.8	98.2	

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



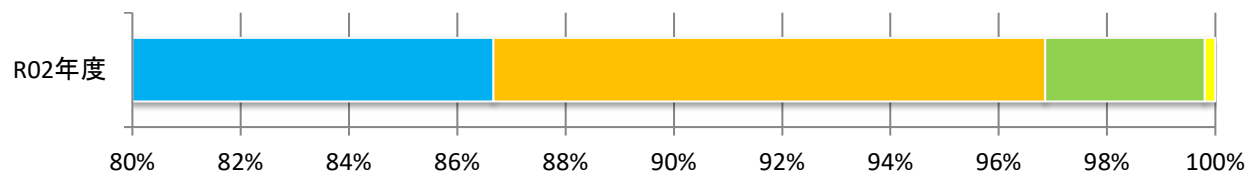
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
91.2	7.0	98.2	

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
80.7	14.0	94.7	

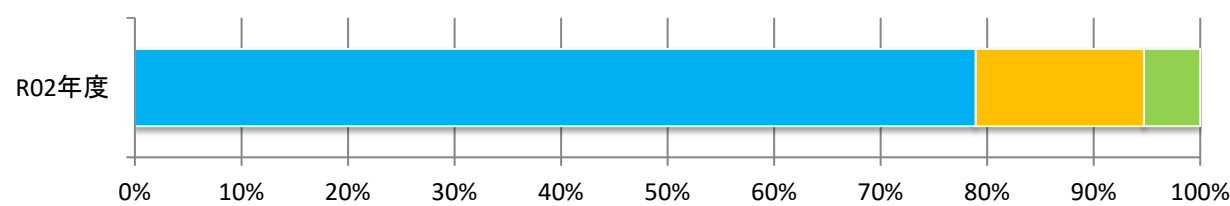
「計」(質問項目 8 ～ 15)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
86.7	10.2	96.9	

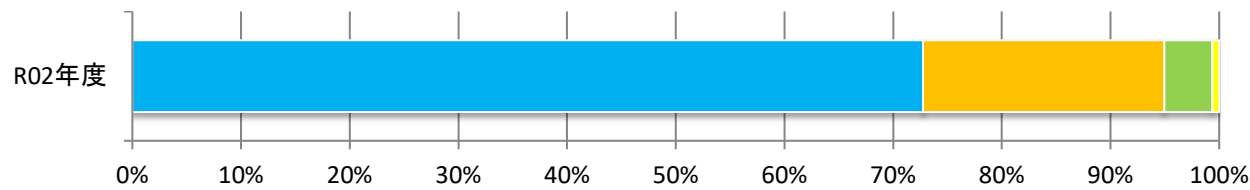
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
78.9	15.8	94.7	

全質問項目の平均

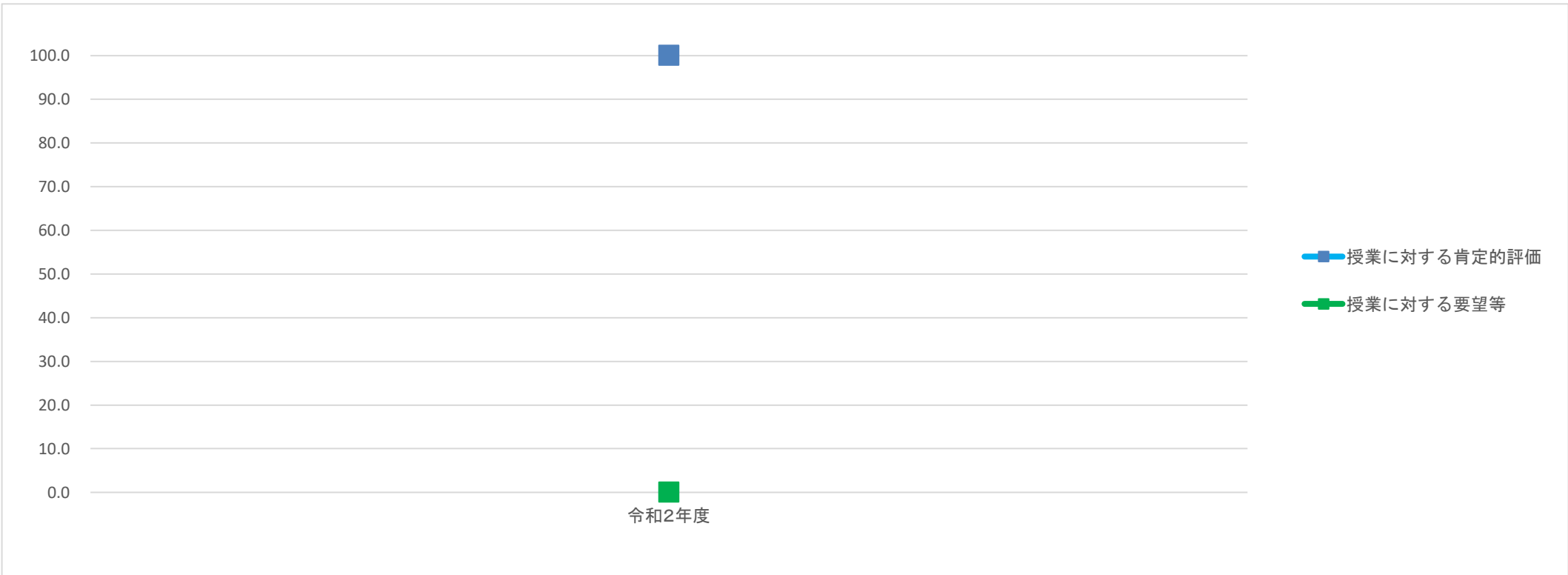


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
72.8	22.2	95.0	

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	令和2年度				
授業に対する肯定的評価	(100.0%) 24				
授業に対する要望等	(0.0%) 0				
総件数	(100.0%) 24				

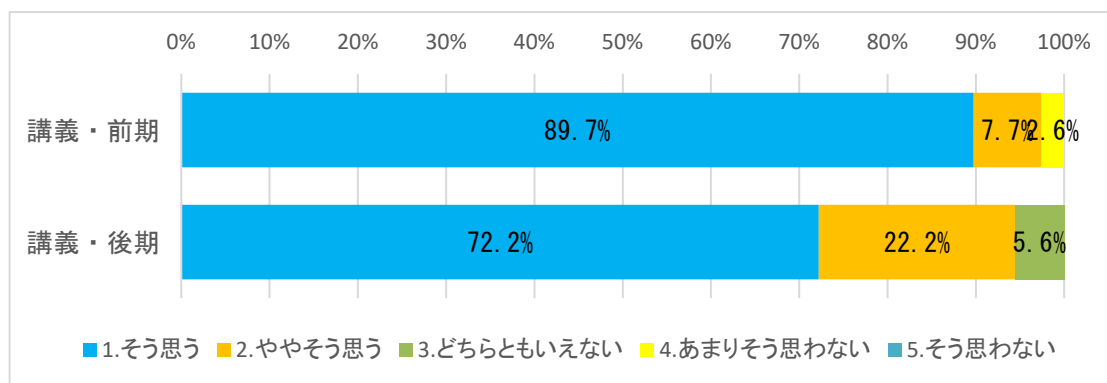
※（ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	24	・ NSTからの視点で、自分の未経験の分野を、じっくり考え、調べ、理解を深めることができたと思います。 ・ 自分が認識していた「ケアマネジメント」の意味がとても狭義だったと驚きました。自分とは違う病院組織のマネジメントや問題を学んで、自分の組織と比較することで、「この問題は自分の組織では起こりえない」「この問題は共通する」など考えることができ、興味を持って授業を受けられました。 ・ 研究の仕方、論文の読み方を教えていただき、ありがとうございました。資料もわかりやすく、後で見直し復習するときにとっても参考になります。 ・ 関係のなかった看護理論も、その必要性を感じる事ができるようになりました。 ・ 看護研究の基本的な内容について、まったく知識がなかった私ですが、少しずつですが、何度でも、丁寧に指導を頂き、理解できてきたように思います。 ・ 先生方は、学生の気持ちや思いを大切に、授業を進めてくださいました。むづかしい授業であっても、授業に参加することで、多くの刺激をいただきました。 ・ 研究を行っていくにあたり、壁にぶつかることもあると思いますが、何かヒントになるようなアドバイスをこれからもよろしくお願い致します。 ・ 個人ワークでの発表で多くの教員の方も含めてディスカッションすることができて、様々な意見交換ができ良かったです。今後臨床で勤務する際にも理論を取り入れていきたいと思っています。
授業に対する要望等	0	
計	24	

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か

